

EOS ビバス X10 活用ガイド



はじめに必ずお読みください

撮影の失敗や事故を未然に防ぐため、はじめに「安全上のご注意」 (皿22)、および「取り扱い上のご注意」(皿25)をお読みください。 また、本書をよく読んで正しくお使いください。

操作しながら本書を参照すると理解が深まります

本書を読みながら実際に撮影し、その結果を確認しながら理解を深め、操 作に慣れてください。また、必要なときに確認できるように本書を大切に 保管してください。

試し撮りと撮影内容の補償について

撮影後は画像を再生して、画像が正常に記録されていることを確認してく ださい。万一、カメラ(本機)やメモリーカードなどの不具合により、画 像の記録やパソコンへの画像の取り込みができなかった場合の記録内容の 補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラ(本機)で記録した画像やメモリーカードに取り込んだ音 楽および音楽付き画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、 権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などのうちには、 個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があり ますのでご注意ください。

カメラと主な付属品

ご使用前に、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。万一、 足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ (アイカップ、ボディキャップ付き)





Canon
÷.

ストラップ



充電器 バッテリーチャージャー LC-E17

- ソフトウェア CD-ROM、インターフェースケーブル、HDMI ケーブ ルは付属していません。
- レンズキットをお買い求めのときは、レンズが付属しているか確認してください。
- 付属品は、なくさないように注意してください。

↓ レンズの使用説明書が必要なときは、キヤノンのホームページからダウン ロードしてください。 なお、レンズの使用説明書(PDF ファイル)は、レンズ単体販売用ですので、 レンズキットをご購入いただいた場合、レンズに付属するアクセサリーが、 レンズ使用説明書の記載と一部異なることがあります。ご了承ください。

 ソフトウェアは、キヤノンのホームページ(canon.jp/eos-sw)からダウン ロードしてお使いください(①491)。





電池(バッテリー)を入れる(〇〇37)

 購入時は電池を充電してからお使いく ださい(皿35)。





- カードを入れる (皿37)
 - カードの表を、カメラの背面側にして 差し込みます。



レンズを取り付ける(〇〇48)

 レンズの取り付け指標(白または赤) とカメラ側の取り付け指標の色を合わ せて取り付けます。



レンズのフォーカスモードスイッチを 〈AF〉にする (□148)



電 源 ス イ ッ チ を〈ON〉 に し、〈ᅜ〉 (シーンインテリジェントオート)にす る(囗 71)

撮影に必要な設定がすべて自動設定されます。





液晶モニターを開いてセットする (囗40)

 液晶モニターに日付/時刻/エリアの 設定画面が表示されたときは、44 ページを参照してください。



ピントを合わせる(0051)

- ファインダーをのぞき、写したいもの を画面中央に配置します。
- シャッターボタンを軽く押すと、ピン トが合います。
- 必要に応じてストロボを指で持ち上げ てください。



撮影する(皿51) さらにシャッターボタンを押して撮影します。



撮影した画像を確認する

- 撮影した画像が液晶モニターに約2秒 間表示されます。
- 〈
) ボタンを押すと、もう一度画像 が表示されます(
 102)。
- 液晶モニターを見ながら撮影するときは、「液晶モニターを見ながら撮影する(ライブビュー撮影)」(□180)を参照してください。
- 今までに撮影した画像を確認したいときは、「画像を再生する」 (血102)を参照してください。
- 撮影した画像を消去したいときは、「消去する」(□313)を参照してください。

使用できるカードについて

カードの容量に関係なく、下記のカードが使用できます。なお、新しく買ったカードや、他のカメラ、パソコンで初期化したカードは、このカメラで 初期化(フォーマット)してください(〇〇67)。

SD/SDHC*/SDXC* メモリーカード

* UHS-I 対応

動画が記録できるカードについて

動画を撮影するときは、動画記録サイズに適応する性能(書き込み/読み 取り速度)を備えた、大容量のカードを使用してください。



章目次

はじめに	2
撮影前の準備と操作の基本	34
かんたん撮影と画像確認	70
	104
	115
	147
ストロボ撮影	169
液晶モニターを見ながら撮影する(ライブビュー撮影)	180
	216
	261
	283
撮影した画像を加工する	331
	347
カメラの機能を自分好みに変更する	452
	467
 ソフトウェアスタートガイド/パソコンに画像を 取り込む	490

やりたいこと目次

撮影

● カメラまかせで簡単に撮影したい	→□70~□101(かんたん撮影ゾーン)
● 連続して写真を撮りたい	→□113(□」連続撮影)
● 自分も写真に写りたい(記念写真)	→□205 (3 セルフタイマー)
● 動きを止めた写真を撮りたい	→□150(Tv シャッター優先
● 流動感のある写真を撮りたい	AE)
● 自分好みに効果をつけて撮りたい	→□77 (クリエイティブアシ スト)
● 背景をぼかした写真を撮りたい	→Щ153(Av 絞り優先 AE)
● 背景まで鮮明な写真を撮りたい	
● 写真の明るさ(露出)を調整したい	→□161(露出補正)
● 暗いところで撮影したい	→Щ79、Щ170 (\$ スト
	ロボ撮影)
	ロボ撮影) → Щ 1 1 9(ISO 感度設定)
● ストロボ禁止の場所で撮影したい	ロボ撮影) → ① 119(ISO 感度設定) → ① 175(③ ストロボ発光禁 止)
 ストロボ禁止の場所で撮影したい 花火を撮影したい 	ロボ撮影) → □ 119 (ISO 感度設定) → □ 175 (③ ストロボ発光禁 止) → □ 158 (バルブ撮影)
 ストロボ禁止の場所で撮影したい 花火を撮影したい 液晶モニターを見ながら撮りたい 	 □ボ撮影) →□119 (ISO 感度設定) →□175 (③ ストロボ発光禁止) >□158 (バルブ撮影) >□180 (□ ライブビュー撮影)
 ストロボ禁止の場所で撮影したい 花火を撮影したい 液晶モニターを見ながら撮りたい 写真に効果をつけて撮りたい 	ロボ撮影) → (119 (ISO 感度設定) → (175 (③ ストロボ発光禁 止) → (158 (バルブ撮影) → (180 (
 ストロボ禁止の場所で撮影したい 花火を撮影したい 液晶モニターを見ながら撮りたい 写真に効果をつけて撮りたい 自分の写真を撮りたい 	 □ボ撮影) >□119 (ISO 感度設定) >□175 (③ ストロボ発光禁止) >□158 (バルブ撮影) >□180 (□ ライブビュー撮影) >□94、□187 (クリエイティブフィルター) >□209 (in 自分撮り)



- 撮るものに合った仕上がり →□122(ピクチャースタイル選択)
 にしたい
- 写真をあとで大きく印刷し → □116 (▲L, ຟL, 図W, C図W) たい
- たくさん写真を撮りたい → □116 (▲ S1, ▲ S1, S2)

AF (ピント合わせ)

- ピントを合わせる位置を変 → □ 109 (I AF フレーム選択) 更したい
- 動いている被写体を撮影し ⇒ □ 84、□ 85、□ 107 (AI たい サーボ AF)

再生

● 写真をカメラで見たい	→Щ102	(▶ 再生)
● 写真を素早く探したい	→Щ284	(🖪 インデックス表示)
	<u> </u>	(🖬 画像送り)
● お気に入り度を設定したい	→Щ291	(レーティング)
● 大事な写真を誤って消さな	→Щ310	(🖬 プロテクト)
いようにしたい		
● 不要な写真を消したい	→ ∭313	(面 消去)
● 写真や動画を自動再生した	→∭306	(スライドショー)
い		
● 写真や動画をテレビで見た	→∭308	(テレビ)
し		
● 液晶モニターの明るさを調	→Щ264	(液晶モニターの明るさ)
整したい		
● 写真に効果をつけたい	→Щ332	(クリエイティブフィル
	ター)	

無線通信機能

- スマートフォンに画像を送 → □ 352 (スマートフォンと通信)
 りたい
- パソコンに画像を送りたい → □ 383 (ソフトウェアと連携)

● 写真を印刷したい
 ⇒ □ 386 (Wi-Fi 対応プリンターで印刷)

Web サービスで画像を共有 → □ 396 (Web サービスへ画像を送したい

機能目次

電源

• 電池

- 充電(🛄 35)
- •入れ方/取り出し方(二37)
- 電池残量 (〇〇43)
- 電池情報確認(00468)
- 家庭用電源(□□469)
- オートパワーオフ (単42)

カード

- 入れ方/取り出し方(□□37)
- カード初期化(□□67)
- カードなしレリーズ (〇262)

レンズ

- 取り付け/取り外し(0048)
- ズーム (皿49)

基本設定

- 視度調整(□150)
- 言語 (篇47)
- 日付/時刻/エリア(□□44)
- 電子音(〇262)

液晶モニター

- 液晶モニターを使う()40)
- 液晶の消灯/点灯(□274)
- 明るさ調整 (□□264)
- タッチパネル (□64)
- 表示レベル設定(□152)
- 機能ガイド (□□56)

画像記録

- フォルダ作成/選択(□265)
- 画像番号 (〇〇267)

AF

- AF動作(□□105)
- AFフレーム選択(□□109)
- 手動ピント合わせ (□112)
- 瞳AF (Ⅲ203)
- コンティニュアスAF (□204)
- MFピーキング設定(□212)

ドライブ

- ドライブモード(□113)
- 連続撮影(🛄 113)

画質

- 記録画質(□□116)
- ピクチャースタイル (〇〇 122)
- ホワイトバランス(□130)
- オートライティング
 オプティマイザ(□136)
- 長秒時露光ノイズ低減(□□ 140)
- 高感度時ノイズ低減(□□139)
- レンズ光学補正(□142)
- 高輝度側・階調優先(□138)
- 色空間(□□ 146)

撮影

- 撮影モード(□□30)
- ISO感度(□□119)
- バルブ (🛄 158)
- 測光モード(□□159)
- ミラーアップ(□166)
- リモコン (皿471)

露出調整

- 露出補正(🛄 161)
- 露出補正(M+ISOオート) (□157)
- AEB (📖 163)
- AEロック(□□165)

ストロボ

- 内蔵ストロボ (□170)
- 外部ストロボ (□174)
- ストロボ機能設定(□□175)

ライブビュー撮影

- ライブビュー撮影(□180)
- アスペクト比(皿191)
- AF動作(□□194)
- AF方式(〇〇196)
- クリエイティブフィルター (皿 187)
- セルフタイマー (①205)
- タッチシャッター (□207)
- 自分撮り(□□209)

動画撮影

- 動画撮影(0216)
- AF方式(🛄 196)
- 動画記録サイズ (□227)
- 動画サーボAF (□254)
- 録音(□□252)
- マニュアル露出(□221)
- デジタルズーム (□230)
- HDR動画撮影(□□234)
- 動画クリエイティブ フィルター(皿235)
- ビデオスナップ(□246)
- タイムラプス動画(□238)
- リモコン撮影(□□471)

再生

- 撮影直後の表示時間(□263)
- 1枚表示(🛄 102)
- 撮影情報(00326)
- インデックス表示(□284)
- 画像送り(ジャンプ表示)
 (□ 285)
- 拡大 (📖 287)
- 回転 (皿290)
- レーティング(皿291)
- 動画再生(0299)
- スライドショー (皿306)
- テレビで見る (皿308)
- プロテクト(保護)(□310)
- 消去(□□313)
- タッチ再生(□□288)
- 印刷指定 (DPOF) (□ 319)
- フォトブック指定(□□323)

画像加工

- クリエイティブフィルター (皿332)
- リサイズ (皿341)
- トリミング (□343)

カスタマイズ

- カスタム機能(C.Fn)(□453)
- マイメニュー (□ 462)

ソフトウェア

- ソフトウェアスタートガイド (□491)
- ソフトウェア使用説明書 (□ 493)

無線通信機能

- スマートフォンと通信(□352)
- スマートフォンに画像を自動送信 (□365)
- EOS Utilityでカメラを操作 (□378)
- パソコンに画像を自動送信 (QQ 383)
- Wi-Fi対応プリンターで印刷 (⁽⁾386)
- Webサービスへ画像を送信 (⁽⁾396)
- 無線通信設定初期化(□□432)

本書の表記について

本文中の絵文字について

〈『凸〉 :電子ダイヤルを示しています。

〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈►〉:〈◆〉 十字キーの上下左右ボタンを示しています。
〈SET〉:設定ボタンを示しています。

*その他、本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンや液晶モニターの表示な ど、カメラで使われている絵文字を使用しています。

Image: スージタイトル右の Mage: は、応用撮影ゾーン(口31)限定で使用できる機能であることを示しています。

(□1***) :参照ページを示しています。

: 撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。

□ :補足説明や補足事項を記載しています。

☆ : 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

? : 困ったときの手助けになる事項を記載しています。

操作説明の前提と作例写真について

- 電源スイッチが〈ON〉になっていることを前提に説明しています (①42)。
- メニュー機能やカスタム機能などが初期状態になっていることを前提 に説明しています。
- 本文中のイラストは、EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM レンズを取り 付けた状態で説明しています。
- カメラに表示される作例写真や、本書で使用している作例写真は、効果を分かりやすく伝えるためのイメージです。

目 次

はじめに

カメラと主な付属品	З
すぐ撮影するには	4
使用できるカードについて	7
章目次	8
やりたいこと目次	9
機能目次	12
本書の表記について	15
目 次	16
安全上のご注意	22
取り扱い上のご注意	25
各部の名称	28
影前の準備と操作の基本	34

2

撮影前の準備と操作の基本

電池を充電する	35
電池とカードを入れる/取り出す	37
液晶モニターを使う	40
電源を入れる	42
日付/時刻/エリアを設定する	44
表示言語を選ぶ	47
レンズを取り付ける/取り外す	48
撮影の基本操作	50
画面の表示レベルを設定する	52
撮影機能のクイック設定	58
メニュー機能の操作と設定	60
画面にタッチして操作する	64
カードを初期化する	67
液晶モニターの表示切り換え	69
かんたん撮影と画像確認	70

全自動を使いこなす(シーンインテリジェントオート)	75
スペシャルシーンモードで撮る	79
人物を写す	80
人物の肌をより美しく写す	
集合写真を写す	82
風景を写す	83
動きのあるものを写す	
子供を写す	
花や小物を大きく写す	
料理を写す	87
キャンドルライトと人物を写す	
夜景と人物を写す(三脚を使う)	
夜景を写す(手持ち撮影)	90
逆光シーンを写す	91
フィルター効果を付けて撮影する	94
クイック設定について	100
明るさを調整する	101
明るさを調整する 画像を再生する	101 102
明るさを調整する	101 102 104
明るさを調整する	101 102 104 105
明るさを調整する 画像を再生する AF /ドライブの設定 ピント合わせの動作を変える ピントを合わせる枠を選ぶ	101 102 104 105 109
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 111
明るさを調整する 画像を再生する AF /ドライブの設定 ピント合わせの動作を変える ピントを合わせる枠を選ぶ ピントが合いにくい被写体 ドライブモードの選択	101 102 104 105 109 111 113
明るさを調整する 画像を再生する AF /ドライブの設定 ピント合わせの動作を変える	101 102 104 105 109 111 113 115
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 111 113 115 116
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 111 113 115 116 119
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 111 113 115 116 119 122
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 111 113 115 116 119 122 125
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 111 113 115 116 119 122 125 128
明るさを調整する 画像を再生する	101 102 104 105 109 113 115 116 116 119 122 125 128 130

明るさ・コントラストを自動補正する136	3
高輝度側・階調優先の設定138	3
ノイズ低減機能を設定する139)
レンズの光学特性による影響を補正する142	2
色の再現範囲を設定する146	3
撮影目的にあわせた応用撮影 147	7
プログラム AE 撮影(P モード)148	3
被写体の動きを表現する(Tv モード)15C)
ピントの合う範囲を変える(Av モード)153	3
露出を自分で決めて撮る(M モード)156	3
明るさの測り方を変える159	9
自分の好みに明るさを調整する161	
明るさを自動的に変えて撮る163	3
明るさを固定して撮る165	5
カメラ内部の振動によるブレを防止する166	3
AF 補助光の設定168	3
ストロボ撮影 169)
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る170)
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る) 1
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9) 1 5
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る 170 外部ストロボを使って撮る 174 ストロボの機能を設定する 175 液晶モニターを見ながら撮影する(ライブビュー撮影) 180	9 1 5)
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 0 1 5)
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 1 5)
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 1 5) 3 7
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 1 5)
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 1 5 7
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 1 5 1 5 7 1 3
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 1 5 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 1 5 7 1 1 5 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ストロボ撮影 169 内蔵ストロボを使って撮る	9 0 1 5 1 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7

自分を撮影する(自分撮り)	209
MF:手動でピントを合わせる	211
動画を撮影する	216
動画を撮影する	217
撮影機能の設定	226
動画記録サイズの設定	227
動画デジタルズームを使う	230
動画電子 IS	232
HDR 動画を撮影する	234
フィルター効果を付けて動画を撮影する	235
タイムラプス動画を撮影する	238
ビデオスナップを撮影する	246
メニュー機能の設定	251
知っていると便利な機能	261
普段使う上で便利な機能	262
撮像素子の自動清掃	275
ゴミ消し情報を画像に付加する	277
手作業で撮像素子を清掃する	279
HDMI 出力時の解像度	281
HDR 対応テレビでの RAW 画像の表示	282
画像の再生	283
見たい画像を素早く探す	284
拡大して見る	287
画面にタッチして再生する	288
回転させる	290
お気に入りのレベルを設定する	291
冉生する画像を絞り込む	294
冉生する回像を絞り込む 再生時のクイック設定	294 296
冉生する画像を絞り込む 再生時のクイック設定 撮った動画の楽しみ方	294 296 298
円生する回像を絞り込む 再生時のクイック設定 撮った動画の楽しみ方 動画を再生する	294 296 298 299

4K 動画/4K タイムラプス動画からのフレームの切り出し	304
自動再生する (スライドショー)	306
テレビで見る	308
保護する (プロテクト)	310
消去する	313
印刷の準備をする	316
印刷する	318
画像を印刷指定する/ DPOF	319
フォトブックにする画像を指定する	323
撮影情報の内容	326
影した画像を加工する	331

撮影した画像を加工する
画像にフィルター効果を付ける…

画像にフィルター効果を付ける	.332
好みの効果を付ける(クリエイティブアシスト)	.335
赤目補正	.337
ビデオスナップアルバムの編集	.338
JPEG 画像をリサイズする	.341
JPEG 画像をトリミングする	.343
再生開始時に最初に表示する画像を設定する	.346

無線通信機能

無線通信機能でできること	
メニュー目次:無線タブ	
Wi-Fi/Bluetooth 接続の選択	
スマートフォンと通信	
パソコンと Wi-Fi 接続	
プリンターと Wi-Fi 接続	
Web サービスへ画像を送信	
アクセスポイントを使用した Wi-Fi 接続	411
ワイヤレスリモコンと接続	416
2回目以降の Wi-Fi 接続	419
複数の接続設定の登録	
Wi-Fi 機能の設定	

Bluetooth 機能の設定	
ニックネームの変更	
GPS 機器を使用した位置情報の付加	425
接続設定の変更/削除	430
無線通信の設定初期化	432
情報表示画面	433
仮想キーボードの操作方法	434
エラー表示の対応	435
無線通信機能での注意事項	
セキュリティーについて	
ネットワークの設定を確認する	
無線通信機能の接続状態	450
カメラの機能を自分好みに変更する	452
カスタム機能の設定方法	
カスタム機能で変更できる内容	
マイメニューを登録する	
資料	467
電池情報を確認する	
家庭用電源を使う	
リモコン撮影	
アイカップの外しかた	
故障かな?と思ったら	
エラー表示	
ソフトウェアスタートガイド/パソコンに画像を取	76:24: 490
ソフトウェアについて	
ソフトウェアについて ソフトウェア使用説明書(PDF ファイル)のダウンC	491 コードと
ソフトウェアについて ソフトウェア使用説明書(PDF ファイル)のダウンロ 見かた	491 コードと
ソフトウェアについて ソフトウェア使用説明書(PDF ファイル)のダウンロ 見かた	491 コードと 493 494

安全上のご注意

下記注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため のものです。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

- 発火、発熱、液漏れ、破裂、感電の原因となりますので次のことはしないでください。
 - 指定以外の電池、電源、付属品、変形または改造した電池、破損した製品の使用。
 - 電池のショート、分解、変形、加熱、はんだ付け、火中、水中投入、強い衝撃を 与えること。
 - 電池の+-を逆に入れること。
 - 充電(使用)可能温度範囲外での電池の充電。または、指定の充電時間を超える 充電。
 - カメラ本体、付属品、接続ケーブル等の接点部に金属を差し込むこと。
- 電池を廃却する時は、接点にテープなどを貼り、絶縁してください。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。
- 電池の充電中、電池が熱くなる、煙が出る、焦げ臭い等、異常状態が起こった場合、 直ちに充電器のプラグをコンセントから抜いて充電をやめてください。火災、発熱、 感電の原因になります。
- 液漏れ、変色、変形、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は、火傷に十分注意して速やかに電池を抜いてください。そのまま使用すると火災、感電、火傷の原因となります。
- 電池の液が目に入ったり、肌や衣服に付着しないように注意してください。失明や 皮膚の障害を起こす恐れがあります。万一、液が目に入ったり肌や衣服についたと きは、こすらずにすぐきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。外装が変形したり、コードの被覆が 溶けて、火災、感電の原因となります。
- 長時間、身体の同じ箇所に触れたまま使用しないでください。熱いと感じなくても、 皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因になる恐れ があります。気温の高い場所で使用する場合や、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方 などが使用する場合は、三脚などをお使いください。
- 車の運転者等にむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。
- カメラ及び付属品を使用しないときは、電源プラグ及び電池、接続ケーブルを外して保管してください。感電、発熱、発火、汚損の原因となることがあります。
- 可燃性ガスの雰囲気中で使用しないでください。爆発、火災の原因となります。
- 落下等により機器内部が露出した際は、露出部に手を触れないでください。感電の 危険があります。
- 分解、改造しないでください。内部には高電圧部があり感電の危険があります。
- カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。

- 製品はお子様や幼児の手の届かないところで使用、保管してください。誤ってストラップや電源コードを首に巻きつけて窒息したり、感電、けがの原因になります。 また、カメラやアクセサリーの部品を誤って飲み込むと、窒息したり、けがの原因になります。万一飲み込んだ際は、直ちに医師に相談してください。
- 湿気、油煙やほこりの多い場所で使用、保管しないでください。また、電池は、ショートを防ぐため、金属類と一緒の保管を避け、付属の保護カバーを取り付けて保管してください。火災、発熱、感電、火傷の原因となります。
- 飛行機内、病院で使用の際は、航空会社、病院の指示に従ってください。本機器が 出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。
- 火災や感電の原因となることがありますので次のことに注意してください。
 - 電源プラグは確実に奥まで差し込んでください。
 - 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
 - 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたりしないでください。また、束ねたり、結んだりして使用しないでください。
 - 二股ソケット等を使ったタコ足配線をしないでください。
 - 断線や被覆のはがれたコードは使用しないでください。
- ・電源ブラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、 乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源ブラグ を長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良 となり、火災の原因になります。
- 電池をコンセントや車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。
 電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、火傷、けがの原因となります。
- お子様が使用の時は、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。感電、けがの原因となります。
- レンズやレンズをつけた一眼レフカメラを、レンズキャップを外したまま日光の下に放置しないでください。太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
- 製品を布でおおったり、包んだりして使用しないでください。熱がこもり外装が変形し、火災の原因となることがあります。
- 製品を水に濡らさないでください。万一水に落としたり、内部に水または金属等の 異物が入った際は、速やかに電池を抜いてください。火災、感電、火傷の原因とな ることがあります。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を製品の清掃に使用しないでください。火災や 健康障害の原因となることがあります。

於意 下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生 が想定されます。

- 直射日光下の車中など、高温の場所で使用、保管しないでください。製品自体が高温になり、触ると火傷の原因になることがあります。また、電池の液漏れ、破裂など、製品の性能や寿命を低下させる原因になることがあります。
- カメラを三脚につけたまま移動しないでください。けがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ、レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
- 製品を低温状態に放置しないでください。製品自体が低温になり、触れるとけがの 原因となることがあります。
- ストロボを目に近付けて発光しないでください。目をいためる恐れがあります。
- 使用中や使用後に肌に異常を感じた場合は、使用を中止し医師にご相談ください。

取り扱い上のご注意

カメラについて

- カメラは精密機器です。落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- このカメラは防水構造になっていませんので、水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに修理受付窓口にご相談ください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- カメラを磁石やモーターなどの強力な磁気が発生する装置の近くに、
 絶対に置かないでください。また、電波塔などの強い電波が発生しているところで使用したり、放置したりしないでください。電磁波により、
 カメラが誤動作したり、記録した画像データが破壊されることがあります。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因になることがありますので、このような場所にカメラを放置しないでください。
- カメラには精密な回路が内蔵されていますので、絶対に自分で分解しないでください。
- 指などでミラーの動作を阻害しないでください。故障の原因になります。
- レンズ、ファインダー、ミラー、フォーカシングスクリーンなどにゴ ミが付いているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてくだ さい。カメラボディおよびレンズは、有機溶剤を含むクリーナーなど でふかないでください。特に汚れがひどいときは、修理受付窓口にご 相談ください。
- カメラの電気接点は手で触らないでください。腐食の原因になることがあります。腐食が生じるとカメラが作動不良を起こすことがあります。

- カメラを寒いところから、急に暑いところに移すと、カメラの外部や 内部に結露(水滴)が発生することがあります。カメラを寒いところ から、急に暑いところに移すときは、結露の発生を防ぐために、カメ ラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから、 袋から取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因になりますので、カメラを使用しないでください。レンズ、カード、電池をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラを使用してください。
- カメラを長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出し、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。保管期間中でも、 ときどきシャッターを切るようにして作動することを確認してください。
- カメラの保管場所として、実験室などのような薬品を扱う場所は、さび・ 腐食などの原因になるため避けてください。
- 長期間使用しなかったカメラは、各部を点検してから使用してください。長期間使用しなかったあとや、海外旅行など大切な撮影の前には、 各部の作動を修理受付窓口、またはご自身でチェックしてからご使用 ください。
- 連続撮影を長時間繰り返したり、ライブビュー撮影や動画撮影を長時 間行うと、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障では ありません。
- 明るい光源が撮影画面の内側や外側近くにあると、ゴーストが写り込むことがあります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤などの点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。
 また、記録されている画像には影響ありません。
- 液晶モニターを長時間点灯したままにすると、表示していた内容の像が残ることがあります。この残像は一時的なもので、カメラを数日間 使用しないでおくと自然に消えます。

 液晶の特性で低温下での表示反応がやや遅くなったり、高温下で表示 が黒くなったりすることがありますが、常温に戻れば正常に表示され ます。

カードについて

カードとその中に記録されているデータを保護するために、次の点に注意 してください。

- 「落とさない」、「曲げない」、「強い力や衝撃、振動を加えない」、「濡ら さない」。
- カードの接点に指や金属が触れないようにする。
- カード表面にシールなどを貼らない。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものや、静電気の発生しやすいところで保管、使用しない。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しない。
- ケースなどに入れて保管する。
- 温度の高いところ、ほこりや湿気の多いところに保管しない。

撮像素子の前面に付着する汚れについて

撮像素子の前面には、外部から入り込むゴミのほかに、ごくまれにカメラ 内部の潤滑剤などが付着することがあります。汚れが画像に写り込むとき は、できるだけ修理受付窓口に撮像素子の清掃をお申し付けください。

レンズについて

レンズを取り外したときは、接点(1)やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。



各部の名称



- (1) レンズマウント
- (2) レンズロックピン
- (3) グリップ
- (4) EF-S レンズ取り付け指標
- (5) EF レンズ取り付け指標
- (6) シャッターボタン
- (7) 電子ダイヤル
- (8) ストラップ取り付け部
- (9) 内蔵マイク
- (10)内蔵ストロボ/AF補助光投光部
- (11)スピーカー
- (12)〈�〉撮像面マーク

- (13)ミラー
- (14) レンズロック解除ボタン
- (15)接点
- (16) リモコン端子
- (17) 外部マイク入力端子
- (18)シリアル番号
- (19) 三脚ねじ穴
- (20)カード/バッテリー収納部ふた
- (21)カード/バッテリー収納部ふたロック
- (22) DC コード通し部
- (23) ボディキャップ



- 液晶モニター/タッチパネル 左側に約180°まで開き、上下にも 回転します。
- (2) 〈INFO〉(インフォ) ボタン
- (3) 〈MENU〉(メニュー) ボタン MENU を表示します。
- (4) アイカップ
- (5) ファインダー接眼部
- (6) アクセサリーシュー
- (7) シンクロ接点
- (8) 視度調整つまみ
- (9) モードダイヤル
- (10) 〈**ISO** 〉 (ISO 感度設定) ボタン
- (11) (**DISP**) (ディスプレイ) ボタン
- (12)電源スイッチ
- (13) HDMI ミニ出力端子
- (14)デジタル端子

- (15) (▲) (ライブビュー撮影/動画撮 影)ボタン ファインダー表示から、ライブ ビュー表示に切り換えます。電源ス イッチが (≒) のときは、動画が 撮影できます。
- (16)〈Av図〉(絞り数値/露出補正)ボタ ン
- (17) 〈団〉 (AF フレーム選択) /(④〉 (拡大) ボタン
- (18) 〈★〉(AE ロック/ FE ロック) / 〈図・Q〉(インデックス/縮小) ボ タン
- (19) 〈Q〉 (クイック設定) / 〈SET〉(設定) ボタン

クイック設定画面を表示します。 選択の決定にも使用します。

- $(20)\langle \mathbf{A} \rangle \langle \mathbf{V} \rangle \langle \mathbf{A} \rangle \langle \mathbf{V} \rangle$:〈�〉+字キー
- (21)アクセスランプ
- (22)(面)(1 画像消去)ボタン
- (23) 〈 〉 (再生) ボタン

モードダイヤル

モードダイヤルには、「かんたん撮影」と「応用撮影」の機能ゾーンがあり ます。



(1) かんたん撮影ゾーン

基本操作はシャッターボタンを押すだけです。被写体やシーンに応じてカ メラまかせの撮影ができます。

▲ :シーンインテリジェントオート(□71)

SCN: スペシャルシーン (□79)

Þ	ポートレート (皿80)	*	クローズアップ(與86)
Ð	美肌(囗81)	٣٩	料理 (🛄 87)
İİİ	集合写真(囗282)	2î	キャンドルライト (叫88)
	風景(〇〇83)	N	夜景ポートレート(〇189)
×	スポーツ (囗84)	2	手持ち夜景(🛄 90)
94.	キッズ (叫85)	à	HDR 逆光補正(與91)

② : クリエイティブフィルター (1)94)

8,	ラフモノクロ(皿96)	ł	ジオラマ風(囗97)
	ソフトフォーカス(叫96)	HDR	HDR 絵画調標準(🛄 97)
()	魚眼風 (🛄 96)	HDR	HDR グラフィック調(🛄 97)
•	水彩風(🛄 96)	KHDR	HDR 油彩調(🛄 97)
0	トイカメラ風(囗97)	HDR	HDR ビンテージ調(與97)



(2) 応用撮影ゾーン

思いどおりのさまざまな撮影ができます。

- P :プログラム AE (□148)
- Tv:シャッター優先 AE (〇〇 150)
- Av: 絞り優先 AE (□153)
- M :マニュアル露出 (□156)

ファインダー内表示



- (1) フォーカシングスクリーン
- (2) スポット測光範囲
- (3) AF フレーム点灯表示位置
- (4) AFフレーム
- (5) ハイスピードシンクロ FE ロック/ FEB 撮影中
- (6) AE ロック/ AEB 撮影中
- (7) 警告表示
- (8) ISO 表示
- (9) 合焦マーク
- (10) ストロボ充電完了FE ロック連動範囲外警告
- (11) ストロボ調光補正

- (12) シャッタースピード バルブ撮影(buLb) FE ロック(FEL) データ処理中(buSy) 内蔵ストロボ充電中(buSy) カード未装填警告(Card) カードエラー表示(Card) カードフル警告(FuLL) エラー表示(Err)
- (13) 絞り数値
- (14) 露出補正
- (15) 露出レベル表示 露出補正量 AEB レベル
- (16) 高輝度側·階調優先
- (17) ISO 感度
- (18) 連続撮影可能枚数

設定に応じた部分のみ表示されます。

バッテリーチャージャー LC-E17

バッテリーパック LP-E17 の充電器です(QQ35)。



(1)電源プラグ
 (2)充電ランプ
 (3)充電完了ランプ
 (4)電池取り付け部

撮影前の準備と操作の基本

この章では、撮影に入る前にあらかじめ準備しておくことと、操 作の基本について説明しています。



付属のストラップ(吊りひも)の取 り付け方

ストラップの先端をストラップ取り 付け部の下から通し、さらにスト ラップに付いている留め具の内側を 通します。留め具の部分のたるみを 取り、引っぱっても留め具の部分が ゆるまないことを確認してください。

電池を充電する



- 1 保護カバーを外す
 - 付属の保護カバーを外します。





2 電池を取り付ける

- 図のようにして、電池を充電器にしっかりと取り付けます。
- 取り外しは逆の手順で行います。

3 充電する

- 充電器のプラグを矢印の方向に起こし (1)、プラグをコンセントに差し込みま す(2)。
- → 自動的に充電が始まり、充電ランプ(3) がオレンジ色に点灯します。
- ⇒ 充電が完了すると、充電完了ランプ(4) が緑色に点灯します。
- 使い切った電池の充電に要する時間は、常温(+23℃)で約2時間です。
 なお、充電時間は、周囲の温度や電池の残容量によって大きく異なります。
- 安全に充電を行うため、低温下(+5℃~+10℃)では、充電時間が長くなります(最長約4時間)。

👋 電池と充電器の上手な使い方

- 購入時、電池はフル充電されていません
 充電してからお使いください。
- 充電は、使用する当日か前日にする
 充電して保管していても、自然放電により少しずつ電池の容量が少なくなっていきます。
- 充電が終わったら、電池を取り外し、プラグをコンセントから抜く
- カメラを使わないときは、電池を取り出しておく

電池を長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて 過放電状態になり、電池寿命短縮の原因となります。電池の保護カバー (付属)を取り付けて保管してください。なお、フル充電して保管する と、性能低下の原因になることがあります。

• 充電器は海外でも使うことができる

充電器は、家庭用電源のAC100~240V 50/60Hz に対応しています。お使いになる国や地域に対応した、市販の電源プラグ変換アダプターを使用してください。なお、充電器が故障する恐れがありますので、海外旅行用の電子変圧器などに接続しないでください。

- フル充電したのにすぐ使えなくなるときは、電池の寿命です
 電池の劣化度(単468)を確認した上で、新しい電池をお買い求めください。
- 充電器をコンセントから取り外したときは、約5秒間、充電器のプラグに触れないようにしてください。
 - バッテリーパック LP-E17 以外は充電しないでください。
 - バッテリーパックLP-E17は、キヤノン製品専用です。指定外の充電器、および製品と組み合わせて使用した場合の故障、事故に関しては一切保証できません。
電池とカードを入れる/取り出す

充電したバッテリーパック LP-E17 をカメラに入れます。カード(別売) は、SD/SDHC/SDXC メモリーカードが使えます。また、UHS-I 対応の SDHC/SDXC メモリーカードも使えます。撮影した画像はカードに記録 されます。

 カードの書き込み禁止スイッチが上側(書き込み/消去可能位置)にセット されていることを確認してください。





1 ふたを開ける

 レバーを矢印の方向にスライドさせて、 ふたを開きます。



- 2 電池を入れる
 - 電池接点の方から入れます。
 - ロック位置までしっかりと入れてくだ さい。



3 カードを入れる

 図のように、カードの表をカメラの背 面側にして、「カチッ」と音がするまで 差し込みます。



4 ふたを閉める

- 「カチッ」と音がするまで、ふたを押します。
- 電源スイッチを〈ON〉にすると、液晶 モニターに撮影可能枚数が表示されま す。
- カード/バッテリー収納部ふたは、開いた状態から無理に押し開かないでください。ヒンジ部分が壊れる恐れがあります。
- 撮影可能枚数は、使用するカードの空き容量や、記録画質、ISO 感度などに より変わります。
 - [△:カードなしレリーズ]を[しない]に設定しておくと、カードを入れ忘れたまま撮影してしまうのを防ぐことができます(□262)。

取り出し方



1 電源スイッチを〈OFF〉にする (□□42)

- 2 ふたを開ける
 - アクセスランプが消えていることを確認して、ふたを開きます。
 - [書き込み中…] と表示されたときは、ふたを閉じてください。
- 3 電池を取り出す
 - 電池ロックレバーを矢印の方向に押してロックを外し、電池を取り出します。
 - ショート防止のため、必ず電池に付属の保護カバー(付属/印35)を取り付けてください。





4 カードを取り出す

- カードを軽く押し込んで離すと、出て きます。
- カードをまっすぐ取り出します。



- 5 ふたを閉める
 - 「カチッ」と音がするまで、ふたを押します。

● アクセスランブが点灯/点滅しているときは、カードへの記録/読み出し中や、消去中、データ転送中です。カード/パッテリー収納部ふたを開けないでください。

また、アクセスランプが点灯/点滅しているときに次のことを行うと、画像 データが壊れたり、カードやカメラ本体が損傷する原因になりますので、絶 対に行わないでください。

- カードを取り出す
- 電池を取り出す
- カメラ本体に振動や衝撃を与える
- **電源コードの抜き差しを行う**(家庭用電源アクセサリー(別売)使用時/ (1)469)
- 画像が記録されているカードを使用すると、撮影した画像の番号が0001 から始まらないことがあります(267)。
- 液晶モニターにカードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、 カードの抜き差しを行ってください。それでも改善しないときは、別のカードに交換してください。
 なお、パソコンでカードの内容が読み取れるときは、カード内のデータを
 - すべてパソコンに保存したあと、カメラでカードを初期化してください (囗67)。正常な状態に戻ることがあります。
- カードの端子部分に指や金属が触れないようにしてください。また、ゴミや 水などを付着させないでください。端子部分に汚れが付着すると、接触不良 の原因になります。
- マルチメディアカード(MMC)は使用できません(カードエラー表示)。

液晶モニターを使う

液晶モニターを開いてメニュー機能の設定や、ライブビュー撮影、動画撮影、 画像の再生を行います。液晶モニターは、向きと角度を変えて使用するこ とができます。



1 液晶モニターを開く



2 液晶モニターを回転させる

- 液晶モニターは、開いた状態や上向き、 下向き、対面(裏返し)でも使用する ことができます。
- 角度は「約」です。



3 画面を表向きにする

通常は、画面を表向きにして使用します。

液晶モニターを無理に回転させて、軸の部分(ヒンジ部)に強い力がかからないようにしてください。

 カメラの端子にケーブルを接続しているときは、液晶モニターを開いた状態 での回転範囲が制限されます。

- カメラを使わないときは、液晶モニターを内側にして閉じてください。画面 を保護することができます。
 - ライブビュー撮影と動画撮影で、液晶モニターを被写体に向けた対面撮影を 行うと、映像が鏡像(左右反転)で表示されます。

電源を入れる

電源スイッチを入れたときに、日付 / 時刻 / エリアの設定画面が表示され たときは、44ページを参照して日付 / 時刻 / エリアを設定してください。



- ⟨!果〉:カメラが作動します。動画を撮影 することができます(□217)。
- 〈ON〉:カメラが作動します。静止画を撮 影することができます。
- 〈OFF〉: カメラは作動しません。カメラを 使用しないときはこの位置にしま す。

撮像素子の自動清掃について

- 電源スイッチを〈ON〉にしたときと、〈OFF〉にしたときに、撮像素子の自動清掃が行われます(小さな音が鳴ることがあります)。清掃中は、液晶モニターに〈. (ユ・)が表示されます。
- 清掃中でもシャッターボタンを半押し(皿51)すると、清掃作業が中止され、すぐに撮影することができます。
- 電源スイッチの〈ON〉〈OFF〉を短い時間で繰り返すと、〈こ 〉が表示されないことがありますが、故障ではありません。

オートパワーオフについて

電池の消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態が続くと、【♥:オートパワー オフ】の設定時間で電源が自動的に切れます(□263)。シャッターボタ ンを半押し(□51)すると、もう一度電源が入ります。

カードへの画像記録中に電源スイッチを〈OFF〉にすると、【書き込み中…】が 表示され、画像記録が終了してから電源が切れます。

電池残量表示について

電池の残量は、電源を入れたときに、4 段階で表示されます。



- 二 電池の残量は十分です。
- こ 電池の残量が少なくなってきましたが、まだ使用できます。
- こまもなく電池切れになります。
 (点滅表示)
- □ : 電池を充電してください。
- 下記の操作を行うと、電池が早く消耗します。

 シャッターボタン半押し状態を長く続ける
 AF 動作だけを行って撮影しない操作を頻繁に行う
 レンズの手ブレ補正機能を使用する
 液晶モニターを頻繁に使用する
 Wi-Fi 機能、Bluetooth 機能を使用する
 実際の撮影条件により、撮影可能枚数が少なくなることがあります。
 レンズの動作にはカメラ本体の電源を使用します。使用するレンズにより、 電池が早く消耗することがあります。

日付/時刻/エリアを設定する

初めて電源を入れたときや、日付/時刻/エリアの設定が解除されている ときは、電源を入れると、日付/時刻/エリアの設定画面が表示されます ので、以下の操作手順に従って、エリアから設定してください。住んでい るエリア(地域)を設定しておくと、他の地域に旅行したときは、エリア 設定を変更するだけで、そのエリアの日時に変更されます。

撮影画像には、ここで設定した日付 / 時刻を起点にした撮影日時の情報が 付加されますので、必ず設定してください。







- 1 メインタブを表示する
 - 〈MENU〉ボタンを押すと表示されます。
- 2 [4] タブの [日付 / 時刻 / エリア] を選ぶ
 - <<>>< <>>< を押してメインタブ [♥] を 選び、
 SET を押します。
 - <◄><►>を押してサブタブを選びます。
 - 〈▲〉〈▼〉を押して[日付/時刻/エリア] を選び、〈SET〉を押します。



- 3 エリアを設定する
 - 初期状態では [ロンドン] に設定されてい ます。
 - <
 <
 <> を押して [エリア設定] を選び、
 <> SET > を押します。
- メニュー機能の設定操作は、60ページ~63ページを参照してください。
 - 手順3の【エリア設定】に表示される時間は、協定世界時との時差です。

2010/02/02 10:00:00	エリア/時差設定
2015/02/02 10:00:00	2019/02/02 10:00:00
エリア	エリア
ロンドン	ロンドン

エリア設定	
2019/02/02	10:00:00
サンパウロ	-03:00
フェルナンド	-02:00
アゾレス諸島	-01:00
ロンドン	±00:00
パリ	+01:00
	SET OK

エリア/時差設定	
2019/02/0	2 10:00:00
エリア	
時差	+ 09:15
• • OK	キャンセル

日付/時刻/エリア
(2019/02/02)
2019.02.02 10:00:00
 OK キャンセル

日付/時刻/エリア
サマータイム:切
2019.02.02 10:00:00
年/月/日
עאעם
 OK キャンセル

- もう一度〈SET〉を押します。
- <▲><▼>を押して、エリアを選び<SET> を押します。
- 設定したいエリアがないときは、 〈MENU〉ボタンを押したあと、次の操作(協定世界時との時差)で設定します。
- 「協定世界時との時差」で設定するとき は、〈◀〉〈►〉を押して【時差】の項目 (+-/時/分)を選びます。
- 〈SET〉を押して〈♀〉の状態にします。
- 〈▲〉〈▼〉を押して設定し、〈SET〉を 押します(〈□〉の状態に戻ります)。
- エリア / 時差の設定が終わったら、<
 <> を押して [OK] を選び、〈SET〉を 押します。

4 日付 / 時刻を設定する

- <
 <
 <

 <
- 〈▲〉〈▼〉を押して設定し、〈SET〉を 押します(〈□〉の状態に戻ります)。

5 サマータイムを設定する

- 必要に応じて設定します。
- 〈◀〉 〈▶〉 を押して [※] を選びます。
- 〈SET〉を押して〈♀〉の状態にします。
- <▲> 〈▼〉を押して [※]を選び、〈SET 〉 を押します。
- サマータイムを [※] にすると、手順
 4 で設定した時刻が、1 時間進みます。
 [※] にするとサマータイムが解除され、
 1 時間戻ります。



 ● 以下の条件の場合、日付 / 時刻 / エリアの設定が解除されることがあります。 そのときは再度設定してください。
 カメラから電池を取り出して保管したとき
 カメラの電池残量がなくなったとき
 カメラを氷点下に長時間放置したとき

- 設定した日付 / 時刻のカウントは、手順 6 で[OK]を選んだときに始まります。

 - エリア / 時差設定を変更したときは、日付 / 時刻が正しく設定されているか 確認してください。

表示言語を選ぶ



一機能設定	
1 2 3 4 5	SET UP2
オートパワーオフ	10秒/30秒
画面の明るさ	*++++++++
モニター消灯/点灯	半押し連動
日付/時刻/エリア	'19/02/02 10:00
言語例	日本語
	MENU 🗂



1

- 〈MENU〉ボタンを押すと表示されます。
- 2 [4] タブの [言語 👦] を選ぶ
 - <<>>

 </>
 </>
 </>
 </>

 </
 - <<>><►>を押してサブタブを選びます。
 - 〈▲〉〈▼〉を押して[言語 ②]を選び、 〈SET〉を押します。

言語の		
	日本語	_
	山本曲	_
	English	
		SET OK

- 3 言語を設定する
 - <▲><▼>を押して言語を選び、<SET> を押します。
 - ⇒ 表示言語が切り換わります。

レンズを取り付ける/取り外す

すべての EF レンズ、EF-S レンズを使用することができます。なお、RF レンズ、EF-M レンズは使用できません。

取り付け方



1 キャップを外す

 レンズのダストキャップとボディ キャップを矢印の方向に回して外しま す。



2 レンズを取り付ける

- レンズの取り付け指標(白または赤)と カメラ側の取り付け指標の色を合わせ、 レンズを矢印の方向に「カチッ」と音 がするまで回します。
 - (1) 白い指標
 - (2) 赤い指標



- 3 レンズのフォーカスモードスイッチを 〈AF〉にする
 - 〈AF〉は Auto Focus:自動ピント合わせのことです。
 - 〈MF〉は Manual Focus:手動ピント 合わせのことです。

4 レンズキャップを外す

レンズのズームリングを手で回す

 ズーム操作は、ピント合わせの前に行っ てください。ピントを合わせたあとで ズーム操作を行うと、ピントがズレる ことがあります。

レンズロック解除ボタンを押しながら、 レンズを矢印の方向に回す

- 回転が止まるまで回してから、取り外 します。
- 取り外したレンズにダストキャップを 取り付けます。
- ↓ リンズで太陽を直接見ないでください。失明の原因になります。

 レンズの取り付け/取り外しを行うときは、カメラの電源スイッチを〈OFF〉 にしてください。

自動ピント合わせのときに、レンズの先端(フォーカスリング)が動くレン ズは、動いている部分に触れないでください。

- 撮影画面は、35mm 判力メラの撮影画面より小さいため、装着したレン ズの有効撮影画角は、「表記焦点距離×約1.6倍|相当になります。

> 撮影画面(約)(22.3×14.9mm) 35mm 判フィルム撮影画面 (36 × 24mm)

レンズの使用方法については、レンズの使用説明書を参照してください。

ゴミやほこりについて、普段から以下のことに注意してください

- レンズの交換は、ほこりの少ない場所で素早く行う
- レンズを取り外してカメラを保管するときは、ボディキャップを必ずカメラに 取り付ける
- ボディキャップは、ゴミやほこりを落としてからカメラに取り付ける



ズーム操作について





撮影画角について

撮影の基本操作

ファインダーが鮮明に見えるように調整する



視度調整つまみを回す

- ファインダー内のAFフレームが最も鮮
 明に見えるように、つまみを右または
 左に回します。
- つまみが回しにくいときは、アイカップを取り外します(単472)。

視度調整を行ってもファインダーが鮮明に見えないときは、別売の視度補正 レンズEの使用をおすすめします。

カメラの構え方

手ブレのない鮮明な画像を撮るために、カメラが動かないようにしっかり 構えて撮影します。



- (1) 右手でグリップを包むようにしっかりと握ります。
- (2) 左手でレンズを下から支えるように持ちます。
- (3) 右手人差し指の腹をシャッターボタンに軽くのせます。
- (4) 脇をしっかり締め、両ひじを軽く体の前に付けます。
- (5) 片足を軽く踏み出して、体を安定させます。
- (6) カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。
- 液晶モニターを見ながら撮影するときは、180ページを参照してください。



シャッターボタンは二段階になっています。シャッターボタンを一段目ま で浅く押すことを「半押し」といいます。半押しからさらに二段目まで深 く押すことを「全押し」といいます。



半押し

自動ピント合わせと、自動露出機構による シャッタースピードと絞り数値の設定が行 われます。

露出値(シャッタースピードと絞り数値) が、ファインダー内に表示されます。

シャッターボタン半押し中は、液晶モニ ターが消灯します(皿274)。



全押し

シャッターが切れて撮影されます。

手ブレしにくい撮影のしかた

手にしたカメラが撮影の瞬間に動くことを「手ブレ」といい、全体がぼや けたような写真になります。鮮明な写真を撮るために、次の点に注意して ください。

- 「カメラの構え方」(□50)のように、カメラが動かないようしっかり構える。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせたあと、ゆっくりシャッ ターボタンを全押しする。
- シャッターボタンを一気に全押ししたり、半押し後すぐに全押しすると、一瞬の間を置いてから撮影されます。
 - メニュー画面表示中、画像再生中、画像記録中でも、シャッターボタンを半 押しすると、すぐに撮影準備状態に戻ります。

画面の表示レベルを設定する

自分の好みに合わせて、画面の表示方法を設定することができます。必要 に応じて設定を変更してください。





1 メインタブを表示する

〈MENU〉ボタンを押すと表示されます。

2 [0] タブを選ぶ

+字キーの〈◀〉〈►〉を押して[凸1]
 タブを選び、〈SET〉を押します。



ファインダー撮影時のクイック設定画面を【標準】、【やさしい】(簡単な表示) から選ぶことができます。初期状態では、【やさしい】に設定されています。



1 [撮影画面表示] を選ぶ



2 表示方法を選ぶ



応用撮影ゾーンでは、「やさしい」に設定すると、クイック設定画面に表示される項目は、その撮影モードの特徴的な機能に限定されます。なお、「やさしい」設定時にクイック設定画面で設定できない項目は、メニュー画面から設定することができます(Д61)。

メニュー表示

OK

メニューの表示方法を【標準】、【やさしい】から選ぶことができます。【やさしい】設定時は〈MENU〉ボタンを押すとメニューのメインタブの説明が表示されます。【標準】設定時は〈MENU〉ボタンを押すと、そのままメニュー画面に進みます。初期状態では、【やさしい】に設定されています。

	1 [メニュー表示] を選ぶ
メニュー表示 使さしい 様準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2表示方法を選ぶ
(1) (小) 撮影設定 記録画質など、静止画欄影に関する設定が できます	(1) メインタブ

■ 「やさしい」に設定しているときは、【★ (マイメニュー)】タブは表示されません。 マイメニュー(□1462)の設定をするときは、【標準】に変更してください。

撮影モードガイド

撮影モードを変更したときに、撮影モードの説明(撮影モードガイド)を 表示することができます。初期状態では、**【表示する】**に設定されています。

1 DOSFLAY LEVEL 撮影画面表示 やさしい メニュー表示 やさしい 撮影モードガイド 表示する	en al construction de la construcción de la constru	表示レベル設定	
撮影画面表示 やさしい メニュー表示 やさしい 撮影モードガイド 表示する	1 DISPLAY LEVEL		
メニュー表示 やさしい 撮影モードガイド 表示する	撮影	画面表示	やさしい
撮影モードガイド 表示する	X	ユー表示	やさしい
	撮影	モードガイド	表示する
機能ガイド 表示する	機能	ガイド	表示する



SCN の Av クリエイティブフィルター さまざまな効果のフィルターが選べます フィルターつ理 でのしたいではないまた。フィンピュー場覧の とさは、効果を確認しながら厳密できます

[撮影モードガイド] を選ぶ

2 [表示する] を選ぶ

3 モードダイヤルを回す
 ⇒ 設定した撮影モードの説明が表示され

ます。

4 〈▼〉ボタンを押す

- ⇒ さらに、説明が表示されます。
- 〈SET〉を押すと、撮影モードガイドは 消えます。
- 〈SCN〉〈②〉モードのときは、撮影モードの選択画面が表示されます。

クイック設定時やメニュー設定時に、機能・項目の簡単な説明(機能ガイド) を表示することができます。初期状態では、[表示する]に設定されています。

な 表示レベル設定 1 DISPLAY LEVEL	1 [機能ガイド] を選ぶ
撮影画面表示 やさしい	
メニュー表示 やさしい 提彩モードガイド 東示オス	
機能ガイド 表示する	
MENU	
な 表示レベル設定 DISPLAY LEVEL	2 [表示する] を選ぶ
機能ガイド)表示する 表示しない	
● 面面砌	
クイック設定画面	メニュー画面
1. ラフモノクロ	□ 撮影設定 1 2 SH0011
	記録画質

 ラフモノクロ
 世界
 世界
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 日本
 <t

🔄 🔹 説明の表示中に、説明をタッチしたり、操作を続けると説明は消えます。

🔆 撮影のヒント

[撮影画面表示]を[やさしい]に設定しているとき(口52)、カメラの設定が下記の状況の場合に、撮影のヒントが表示されます。なお、かんたん撮影ゾーンでは[撮影画面表示]の設定に関わらず、表示されます。

- 背景をさらにぼかしたいとき(〈Av〉モードで絞り数値を最も小さくしたとき)
- 明るすぎる写真になりそうなとき
- 暗すぎる写真になりそうなとき
- 手ブレしそうなとき(かんたん撮影ゾーン時のみ)



●背景をさらにほかすには
 ぼかすためのとント
 ・被写体に近づく
 ・ 背景と被写体の距離を離す



- 1 枠で囲んだ部分をタッチする
 - → 撮影のヒントが表示されます。
 - 〈 価〉ボタンを押して表示することもで きます。
- 2 撮影のヒントを確認する
 - タッチで画面をスクロールすることが できます。
 - 〈▲〉〈▼〉を押して画面をスクロールすることもできます。
- 3 [ጏ] をタッチする
 - ⇒ 表示が消え、手順1の画面に戻ります。
 - 〈SET〉を押して表示を消すこともできます。

撮影機能のクイック設定

液晶モニターに表示されている撮影機能を直接選択して、直感的な操作で 機能の設定を行うことができます。この操作を「クイック設定」といいます。



クイック設定の画面例

[0. : 撮影画面表示:やさしい] 設定時





- (3) ピクチャースタイル
- (4) ホワイトバランス
- (5) AF 動作
- (6) 戻る
- (7) シャッタースピード
- (8) 絞り数値
- (9) 高輝度側・階調優先*
- (10)ISO 感度
- * クイック設定できません。

- (13)記録画質
- (14)オートライティングオプティマ イザ
- (15) AF フレーム選択
- (16)ホワイトバランス補正
- (17)ドライブモード
- (18)ホワイトバランスブラケティン グ

59

メニュー機能の操作と設定

このカメラでは、記録画質や日付 / 時刻など、さまざまな設定をメニュー 機能で行います。





撮影モードによって、表示されるタブやメニュー項目は異なります。



60

(3) 設定内容

	● 撮影設定	(
A	2 3 4 5 6	(1)
W	記録画質	
	撮影画像の確認時間 2秒	
5 1	カードなしレリーズ ON	-(3)
	レンズ光学補正 -	(-)
	ストロボ制御 / -	
		(2)
	MENU 🕤	(2)

メニュー機能の設定操作

• [🕰: : メニュー表示: やさしい] 設定時



1 メインタブを表示する

 〈MENU〉ボタンを押すとメインタブ(1) の説明が表示されます。

2 メインタブを選ぶ

+字キーの〈◀〉〈►〉を押すと、メインタブ(系統)が切り換わります。

3 メニューを表示する

- 〈SET〉を押すと表示されます。
- メインタブの画面に戻るときは〈MENU〉 ボタンを押します。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT1
記録画質 🛋	
撮影画像の確認時間 2秒	
カードなしレリーズ	ON
レンズ光学補正	-
ストロボ制御	-
	MENU 🕤

Δ	サ	フ	゚タ	フ	゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	選	ß
_		~	~	~	~	~	

 +字キーの〈◀〉〈►〉を押してサブタ ブを選びます。

 撮影設定 	
1 2 3 4 5 6	SHOOT4
ホワイトバランス	AWB
MWB画像選択	
WB補正/BKT設定	0,0/±0
色空間	sRGB
ピクチャースタイル	オート
	MENU 🕤

ピクチャースタイル	6,6,6,0,&,0
座A オート	4, 2, 4, 0, 0, 0
座Sスタンダード	4, 2, 4, 0, 0, 0
空間ポートレート	3, 2, 4, 0, 0, 0
○□風景	5, 2, 4, 0, 0, 0
空間ディテール重視	4, 1, 1, 0, 0, 0
፼Nニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
INFO 詳細設定	SET OK

5 項目を選ぶ

 +字キーの〈▲〉〈▼〉を押して項目を 選び、〈SET〉を押します。

6 内容を選ぶ

- 十字キーの〈▲〉〈▼〉または〈◀〉〈▶〉 で内容を選びます(〈▲〉〈▼〉で選ぶ内 容と、〈◀〉〈▶〉で選ぶ内容があります)。
- 現在設定されている内容は青色で表示 されます。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT4
ホワイトバランス	AWB
MWB画像選択	
WB補正/BKT設定	0,0/±0
色空間	sRGB
ピクチャースタイル	ポートレート
	MENU 🕤

7 内容を設定する

- 〈SET〉を押すと設定されます。
- 初期状態から設定を変更すると、青色で表示されます([△] タブのメニューのみ)。

晑 設定を終了する

- 〈MENU〉ボタンを2回押すと表示が消え、撮影準備状態に戻ります。
- 手順2の十字キーの代わりに〈☆〉と〈INFO〉ボタンで操作することも できます。
 - 手順3で [OK] をタッチして、メニュー画面に進むこともできます。
 - 手順2~8は、液晶モニターにタッチして操作することもできます (単64)。
 - これ以降のメニュー機能の説明は、メニュー画面が表示されていることを前 提に説明しています。
 - 操作の途中でキャンセルするときは、〈MENU〉ボタンを押します。

● [□: メニュー表示:標準]設定時

(1)



1 メニューを表示する

- 〈MENU〉ボタンを押すと表示されます。
- 2 タブを選ぶ
 - +字キーの〈◀〉〈►〉を押してメイン タブ(1)とサブタブを選びます。
 - これ以降の操作は [ひょ: メニュー表示: や さしい] と同じです。「メニュー機能の設 定操作」((61)の手順5から参照 してください。
 - 設定を終了するときは〈MENU〉ボタン を1回押します。

手順2の十字キーの代わりに〈
 そくINFO〉ボタンで操作することもできます。ただし、サブタブは〈INFO〉ボタンでは操作できません。

メニュー項目の灰色表示について

例: [マルチショットノイズ低減機能] 設定時



OK

灰色で表示されている項目は設定できません。すでに設定されている他の機能が優先 されるためです。

灰色で表示されている項目を選び〈SET〉 を押すと、優先されている機能を確認する ことができます。

優先されている機能の設定を解除すると、 灰色で表示されていた項目が設定できるようになります。

↓ • 項目によっては、優先されている機能を確認できないことがあります。

■ ● 【◆:設定解除】の【カメラ設定初期化】で、メニュー機能の設定を初期状態に戻す ことができます(□273)。

画面にタッチして操作する

液晶モニター(タッチパネル)に指で触れて操作することができます。

タッチ

画面例(クイック設定)



- 液晶モニターに指を触れて、指を離し ます。
- 液晶モニターに表示されるメニューや アイコンなどを選択するときに使いま す。
- 例えば、[@] をタッチすると、クイッ ク設定の状態になります。[♪] をタッ チすると、元の画面に戻ります。



タッチでできる操作

- ●〈MENU〉ボタンを押したあとのメニュー機能の設定
- クイック設定
- 〈ISO〉 〈団〉 ボタンを押したあとの機能設定
- ライブビュー撮影時のタッチ AF / タッチシャッター
- AF フレームの選択
- ライブビュー撮影/動画撮影時の機能設定
- 再生操作
- 「(+:電子音)を「タッチ音切」に設定すると、タッチ操作時に電子音が鳴らないようになります(□262)。



画面例(メニュー画面)



液晶モニターに指を触れたまま動かします。

画面例(目盛り表示)

▶調光補正	
(328 +²/ ₃	
暗< 明3。 	<

ドラッグでできる操作

- 〈MENU〉ボタンを押したあとのメニュー画面のタブや項目の選択
- 目盛り表示の設定
- クイック設定
- AF フレームの選択
- ライブビュー撮影/動画撮影時の機能設定
- 再生操作

タッチしたときの反応を設定する

一機能設定		
1 2 3 4 5		SET UP3
ビデオ方式	NTSC	
タッチ操作	標準	
電子音	入	
バッテリー情報		
センサークリーニング		
		MENU 🕤

_ タッチ操作 標準 敏感 しない SET (0K)

1 [タッチ操作] を選ぶ

 [♥] タブの [タッチ操作] を選び、〈SET〉 を押します。

2 タッチしたときの反応を設定する

- 内容を選び (SET) を押します。
- 通常は [標準] を選びます。
- 【敏感】に設定すると、【標準】に比べて画面に触れたときの反応がよくなります。 操作して使いやすい方を選んでください。
- タッチ操作を禁止するときは、[しない]
 を選びます。

↓ タッチパネル操作時の注意事項

- 感圧式ではありませんので、爪やボールペンなど、先のとがったもので操作しないでください。
- 濡れた指で操作しないでください。
- 液晶モニターに水滴がついていたり、濡れた指で操作すると、反応しなくなったり、誤動作することがあります。カメラの電源を一旦切ってから、布などでふき取ってください。
- 液晶モニターに市販の保護シートやシールを貼ると、タッチの反応が悪くなることがあります。
- 【敏感】 設定時に素早いタッチ操作を行うと、反応しづらいことがあります。

カードを初期化する

新しく買ったカードや、他のカメラ、パソコンで初期化したカードは、このカメラで正しく記録できるように、初期化(フォーマット)してください。

● カードを初期化すると、カードに記録されている内容は、画像だけでなくす べて消去されます。ブロテクトをかけた画像も消去されますので、記録内容 を十分に確認してから初期化してください。必要なデータは、初期化する前 に必ずパソコンなどに保存してください。

一 機能設定	
1 2 3 4 5	SET UP1
フォルダ選択	
画像番号	通し番号
縦位置画像回転表示	する白旦
カード初期化	
	MENU ᠫ

- **1 [カード初期化] を選ぶ**
 - [+] タブの [カード初期化] を選び、〈SET〉 を押します。

カード初期化		
カードを初期化します すべてのデータが消去されます		
160 KB使用 29.7 GB 10 物理フォーマット		
キャンセル OK		



2 初期化する

- [OK] を選び〈SET〉を押します。
- ⇒ カードが初期化されます。
- → 初期化が終了すると、メニューに戻り ます。
- 物理フォーマットを行うときは、〈面〉 ボタンを押して、[物理フォーマット]の横 に〈√〉が付いた状態で[OK]を選びます。

 カード初期化画面に表示されるカードの総容量は、カードに表記されている 容量よりも少なくなることがあります。

本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。

🕸 こんなときに [カード初期化] を行います

- 新しく買ってきたカードを使うとき
- 他のカメラやパソコンで初期化されたカードを使うとき
- 画像やデータでカードがいっぱいになったとき
- カードに関するエラーが表示されたとき(□486)

物理フォーマットについて

- 物理フォーマットは、カードへの記録/読み出し速度が遅くなったと感じたときや、データを完全に消去するときなどに行います。
- 物理フォーマットは、カード内の全記憶領域に渡って初期化を行うため、通常のカード初期化よりもやや時間がかかります。
- 物理フォーマット中に「キャンセル」を選ぶと、初期化を中止することができます。
 中止した場合でも、通常の初期化は完了しているため、カードはそのまま問題なく使用できます。

カード初期化時のファイルフォーマットについて

SD/SDHC カードは FAT32 形式、SDXC カードは exFAT 形式でフォー マットされます。

なお、exFAT 形式でフォーマットされたカードを使用して動画撮影を行ったときは、1回の撮影でファイルサイズが 4GB を超える場合でも、(ファイルが分割されず)1 つの動画ファイルに記録されます(4GB を超える動画ファイルが作成されます)。

- このカメラで初期化した SDXC カードを他のカメラに入れると、エラーが 表示され、使用できないことがあります。また、exFAT 形式でフォーマットされたカードは、パソコンの OS やカードリーダーにより、正しく認識されないことがあります。
 - カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイルの管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、注意してください。カードを廃棄するときは、物理フォーマットを行ったり、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

液晶モニターの表示切り換え

液晶モニターには、クイック設定画面や、メニュー機能、撮影した画像な どを表示させることができます。





- シャッターボタンを半押しすると表示 が消え、指を離すと表示されます。
- 〈DISP〉ボタンを押して表示を消すこと もできます。もう一度押すと表示され ます。





●〈MENU〉ボタンを押すと表示さ
●〈IND〉ボタンを押すと表示され、 れ、もう一度押すと、元の画面 もう一度押すと、元の画面に戻 に戻ります。

撮影した画像



- ります。
- • 「+:モニター消灯/点灯」で、液晶モニターの表示が、消えたり点いたりしない ようにすることができます(0)274)。
 - メニュー機能や撮影した画像が表示されている状態でも、シャッターボタン を押すと、すぐに撮影することができます。
 - (INFO)ボタンを押して表示を消すこともできます。もう一度押すと表示さ れます。

かんたん撮影と画像確認

この章では、モードダイヤルのかんたん撮影ゾーンを使って上手 に撮影する方法と、撮影した画像の確認方法を説明しています。 かんたん撮影ゾーンでは、シャッターボタンを押すだけで、カメ ラまかせの撮影ができるように、各種機能が自動設定されます。 また、誤操作による失敗を防ぐため、複雑な撮影機能の設定変更 はできないようになっていますので、安心して撮影してください。



全自動で撮る(シーンインテリジェ ントオート)

⟨Δ'⟩はカメラまかせの全自動撮影ができるモードです。カメラが撮影シーンを解析し、シーンに適した設定を自動的に行います。また、被写体の動きを検知して、止まっている被写体や動いている被写体に、自動でピントを合わせることができます(□25)。



1 モードダイヤルを (区) にする



(1)

- 2 被写体(写したいもの)に AF フレー ムを合わせる
 - すべての AF フレーム (1)を使ってピン ト合わせが行われ、基本的に一番近く にある被写体にピントが合います。
 - 中央のAFフレームを被写体に重ね合わ せると、ピントが合いやすくなります。





3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しすると、レン ズが動いてピント合わせが行われます。
- ⇒ ピントが合うと、ピントを合わせた AF フレーム内の点が一瞬赤く光ります。同 時に「ピピッ」と電子音が鳴り、ファ インダー内に合焦マーク〈●〉(1)が点 灯します。
- 必要に応じて、ストロボを指で持ち上 げてください。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると撮影 されます。
- 液晶モニターに撮影した画像が約2秒
 間表示されます。
- 撮影を終了するときは、内蔵ストロボ を手で押し下げて収納します。
- ストロボを上げるときは、アクセサリーシューからアクセサリーを外してください。
- 手順1で、撮影モードの説明が表示されたときは、〈SET〉を押すと説明が 消えます(1155)。
 - 〈(ご)〉モードで、自然や屋外シーン、または夕景シーンを撮ると、より印象的な色あいの写真になります。なお、好みの色あいにならなかったときは、応用撮影ゾーンで、〈EEA〉以外のピクチャースタイルを選んで撮影してください(①122)。
? こんなときは

● 合焦マーク〈●〉が点滅してピントが合わない

- 明暗差 (コントラスト) のある部分に AF フレームを合わせてシャッ ターボタンを半押ししてください (¹¹51)。
- 被写体に近づきすぎているときは、離れて撮影してください。
- ピントを合わせたい位置に近い AF フレームを選択してください (①109)。初期状態では、自動選択に設定されています。
- 複数のAFフレームが同時に表示される 赤く光ったすべての位置にピントが合っています。被写体に合わせた AFフレームも表示されているときは、そのまま撮影してください。

● 電子音が小さく鳴り続ける(合焦マーク〈●〉も点灯しない)

動いている被写体に、カメラがピントを合わせ続けている状態です(合 焦マーク〈●〉は点灯しません)。動いている被写体にピントが合った 写真を撮ることができます。

なお、この状態のときは、フォーカスロック撮影(印75)はできません。

シャッターボタンを半押ししてもピント合わせをしない
 レンズのフォーカスモードスイッチが〈MF〉(手動ピント合わせ)になっているときは、〈AF〉(自動ピント合わせ)にしてください。

明るい日中なのにストロボ撮影になった

逆光状態のときは、被写体の影を和らげるためにストロボ撮影になる ことがあります。ストロボを発光させたくないときは、内蔵ストロボ を手で押し下げてください。

 内蔵ストロボが発光して、かなり明るい写真になった 被写体から離れて撮影してください。ストロボ撮影時に、被写体が近いと、かなり明るい写真(露出オーバー)になることがあります。

暗い場所で内蔵ストロボが連続して光った

AF でピントを合わせやすくするため、シャッターボタンを半押しする と内蔵ストロボが連続的に光ることがあります。AF 補助光といわれる 機能で、有効距離の目安は4 m以内です。なお、内蔵ストロボが連続 して発光するときに音がしますが、故障ではありません。

• ストロボ撮影したら、画面の下側が不自然に暗くなった

写したいものに近づきすぎて、レンズの影が写り込んでいます。被写 体から離れて撮影してください。また、レンズの先端にフードが付い ているときは、外して撮影してください。

全自動を使いこなす(シーンインテ リジェントオート)

構図を変えて撮影する



シーンによっては、被写体を左右どちらかに配置して、背景もバランス良 く入れた方が、奥行きのある写真に仕上がります。

〈広〉 モードでは、止まっている被写体にピントを合わせると、シャッターボタンを半押ししている間、ピントが固定されます。そのまま構図を変え、シャッターボタンを全押しして撮影します。これを「フォーカスロック撮影」といいます。かんたん撮影ゾーンの他のモードでもフォーカスロック撮影ができます(〈SCN: ≪ §〉を除く)。

動いているものを撮影する



〈広〉 モードでは、ピントを合わせるときや、ピントを合わせたあとに被写体が動く(距離が変わる)と、被写体に対して連続的にピントを合わせ続ける機能(AIサーボ AF)が働きます(電子音が小さく鳴り続けます)。被写体が AF フレームから外れないようにして、シャッターボタンを半押しし続けると、ピントを合わせ続けます。シャッターチャンスがきたらシャッターボタンを全押しします。

ライブビュー撮影について

液晶モニターに表示される映像を見ながら撮影することができます。この 撮影方法を「ライブビュー撮影」といいます。詳しくは、180 ページを参 照してください。



1 液晶モニターに映像を表示する

- 〈**山**〉ボタンを押します。
- → 液晶モニターに映像が表示されます。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。
- → ピントが合うと AF フレームが緑色に変わり、「ピピッ」と電子音が鳴ります。



3 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- → 撮影が行われ、液晶モニターに撮影した画像が表示されます。
- ⇒ 表示が終わると、自動的にライブビュー 撮影に戻ります。

液晶モニターの向きを変えて撮影することができます(0040)。



通常のアングル



ローアングル



効果を付けて撮影する(クリエイティブアシスト)





1 〈 🖸 〉ボタンを押す

- ファインダー撮影時は、〈▲〉〈►〉で[ク リエイティブアシスト]を選び、〈SET〉を 押します。
- ライブビュー撮影時は、メッセージを 確認して [OK] を選びます。



2 効果を選ぶ

<<>> で効果を選び、<SET>を押します。



3 効果の度合い・内容を選ぶ

- <<>>で設定し、<SET >を押します。
- 設定をリセットしたいときは、〈★〉ボ タンを押して [OK] を選びます。

クリエイティブアシストの効果

• [] プリセット

用意された効果の中から選ぶことができます。 [B&W] を設定したときは [鮮やかさ] [色あい 1] [色あい 2] は選べません。 ● [▲] 背景ぼかし

背景のボケ具合を設定することができます。設定値が大きいほど背景 がくっきりした画像になります。設定値が小さいほど背景がぼけた画 像になります。[AUTO] に設定したときは、明るさに応じて背景のボケ 具合が変わります。レンズの明るさ(F値)によっては、設定できな い位置があります。

● [★] 明るさ

画像の明るさを設定することができます。

- 【①】コントラスト
 コントラスト(明暗差)の強さを設定することができます。
- [目] 鮮やかさ
 色の鮮やかさを設定することができます。
- [①] 色あい1
 アンバーとブルーの色あいを設定することができます。
- [①] 色あい2
 グリーンとマゼンタの色あいを設定することができます。

[日] モノクロ
 モノクロで撮影するときの色調を設定することができます。【切】を設定したときはカラーで撮影されます。【切】以外を設定したときは【鮮やかさ】[色あい1] [色あい2] は選べません。

- ストロボ撮影時、【背景ぼかし】は設定できません。
 - 撮影モードを変更したり電源スイッチを〈OFF〉にすると、設定した内容は 初期設定に戻ります。なお、[△:クリエイティブアシスト設定記憶]を[する]に 設定しておくと、設定が保持されます。
 - [△:クリエイティブアシスト設定記憶]を[する]にした状態で設定を変更すると、ファインダーの左下に〈!〉が表示されます。

効果の登録

現在の効果をカメラに登録したいときは、クリエイティブアシストの設定 画面で〈INFO〉ボタンを押して [OK] を選びます。最大 3 つまで [**ブリセット**] の [USER*] に登録することができます。すでに 3 つ登録されているときは、 [USER*] のいずれかを上書きする必要があります。

スペシャルシーンモードで撮る

被写体やシーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、撮影に適した機能が 自動設定され、カメラまかせで撮影することができます。

* 〈**SCN**〉は、Special Scene (スペシャルシーン)の略です。



1 モードダイヤルを〈SCN〉にする



2 〈 🖸 〉 ボタンを押す



3 撮影モードを選ぶ

- 〈▲〉〈▼〉を押して撮影モードを選び、
 〈SET〉ボタンを押します。
- 〈ごこ〉を回して選ぶこともできます。

SCNモードで設定できる撮影モード

撮影モード		参照頁
Ð	ポートレート	Щ80
3	美肌	Щ81
iji	集合写真	M 82
2	風景	Щ83
×	スポーツ	₩84
9.4.	キッズ	Щ85

撮影モード		参照頁
ŝ.	クローズアップ	Щ86
٣f	料理	Щ87
21	キャンドルライト	Щ88
2	夜景ポートレート	Щ89
2	手持ち夜景	Щ90
ě.	HDR 逆光補正	Щ91



背景をぼかして人物を浮き立たせた写真を撮りたいときは、〈�〉(ポート レート)を使用します。肌や髪の毛の感じが柔らかな写真になります。





☆ 撮影のポイント

人物と背景ができるだけ離れている場所を選ぶ

人物と背景が離れているほど、背景のボケ方が大きくなります。また、 背景がすっきりしていて暗いほど人物が浮き立ちます。

望遠レンズを使用する

ズームレンズのときは、レンズを望遠側にして、人物の上半身が画面 いっぱいに入るよう人物に近づきます。

● 顔にピントを合わせる

ピント合わせのときに、顔の位置にある AF フレームが光ったことを 確認して撮影します。なお、顔をアップで写すときは、目にピントを 合わせると効果的です。

初期設定では、〈
ふ〉(連続撮影)が設定されています。シャッターボタンを 押し続けると、連続撮影して表情やボーズの変化を写すことができます。

人物の肌をより美しく写す

人物の肌をきれいに写したいときは、〈♪〉(美肌)を使用します。画像処 理によって肌がなめらかに見えるような写真を撮ることができます。





☆ 撮影のポイント

顔の大きさを調整する

美肌効果をかける主被写体が検出されたときに顔に枠が表示されます。 被写体の顔に枠が表示されるよう大きさを調整すると、効果的に美肌 効果をかけることができます。

顔にピントを合わせる

ピント合わせのときに、顔の位置にある AF フレームが光ったことを 確認して撮影します。なお、顔をアップで写すときは、目にピントを 合わせると効果的です。

↓ • 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。

ファインダー撮影時は、背景が明るいシーンなどで顔が暗くなり、思いどおりに美肌効果がかからないことがあります。そのときは、【明るさ】を調整するか、ライブビュー撮影を行ってください。

集合写真を写す

集合写真を撮るときは〈\ () (集合写真) を使用します。手前から奥の人物までピントが合った写真を撮ることができます。





☆ 撮影のポイント

• 広角レンズを使用する

ズームレンズのときは、レンズを広角側にすると、手前から奥の人物 までピントが合いやすくなります。また、(人物の全身が写るくらいに) 人物から少し離れると、ピントの合う範囲が前後に広くなります。

同じシーンを何枚か撮影する

目を閉じてしまう人がいることがあるため、何枚か撮影しておくこと をおすすめします。

● ● 注意事項は 92 ページを参照してください。

- 室内や暗い場所で撮影するときは、カメラが動かないようにしっかり構えるか、三脚を使用してください。
 - [明るさ] で、画像の明るさを調整することができます。

風景を写す

広がりのある風景など、近くから遠くまでピントの合った写真を撮りたい ときは、〈☆〉(風景)を使用します。空や緑が鮮やかで、とてもくっきり した写真になります。





☆ 撮影のポイント

ズームレンズは広角側にする

ズームレンズのときは、レンズを広角側にすると、近くから遠くまで ピントの合った写真を撮ることができます。また、風景の広がりも表 現することができます。

夜景を撮影するときは

〈▲〉は内蔵ストロボが発光しませんので、夜景を写すこともできます。 手持ちで夜景を撮影すると手ブレしますので、三脚を使用して撮影し ます。

● 逆光や暗い場所でも内蔵ストロボは発光しません。

動きのあるものを写す

人の走っている姿や乗り物など、動いているものにピントの合った写真を 撮りたいときは、〈��〉(スポーツ)を使用します。





☆ 撮影のポイント

 望遠レンズを使用する 遠くからでも撮影できるように望遠レンズの使用をおすすめします。

中央の AF フレームで被写体を捉え続ける

ファインダー中央の AF フレームを写したいものに合わせ、シャッター ボタンを半押しすると、ピント合わせが始まります。ピント合わせを 行っている間、電子音が小さく鳴り続け、ピントが合わないと合焦マー ク〈●〉が点滅します。

初期設定では、〈**山**〉(連続撮影)が設定されています。シャッターチャンスがきたらシャッターボタンを全押しします。そのままシャッター ボタンを押し続けると、ピントを合わせ続けながら連続して撮影が行われ、被写体の動きの変化を写すことができます。

- 逆光や暗い場所でも内蔵ストロボは発光しません。
 - 手ブレしやすい暗い場所では、ファインダー左下の数値(シャッタースピード) が点滅します。カメラが動かないようにしっかり構えて撮影してください。
 - 外部ストロボ使用時は、ストロボが発光します。

動き回る子供にピントを合わせ続けて撮影したいときは、〈**%**〉(キッズ) を使用します。肌色が健康的な写真になります。





☆ 撮影のポイント

• 中央の AF フレームで被写体を捉え続ける

ファインダー中央の AF フレームを写したいものに合わせ、シャッター ボタンを半押しすると、ピント合わせが始まります。ピント合わせを 行っている間、電子音が小さく鳴り続け、ピントが合わないと合焦マー ク〈●〉が点滅します。

● 連続して撮影する

初期設定では、(□) (連続撮影) が設定されています。シャッターチャンスがきたらシャッターボタンを全押しします。そのままシャッターボタンを押し続けると、ピントを合わせ続けながら連続撮影して、表情や動きの変化を写すことができます。

- ストロボ充電中は、ファインダー内に「buSy」が表示され、撮影できません。 表示が消えてから撮影をしてください。
 - 注意事項は92ページを参照してください。

花や小物を大きく写す

花や小物などに近づいて大きく写したいときは、〈♥〉(クローズアップ) を使用します。別売のマクロレンズを使用すると、小さなものをより大き く写すことができます。





◎ 撮影のポイント

すっきりした背景を選ぶ

背景がすっきりしているほど、花や小物が浮き立ちます。

写したいものにできるだけ近づく

最も近づくことができる距離(最短撮影距離)は、使用しているレン ズで確認してください。レンズによっては、〈**0.25m/0.8ft**〉という ように書かれているものもあります。なお、最短撮影距離は、カメラ の上面の〈○〉(撮像面マーク)から被写体までの距離です。近づき すぎるとピントが合わないため合焦マーク〈●〉が点滅します。 内蔵ストロボが発光して、画像の下側が不自然に暗くなった場合は、 少し離れて撮りなおしてください。

ズームレンズは望遠側にする

ズームレンズのときは、望遠側にすると大きく写すことができます。

料理を写す

料理を撮影するときは、〈♥♥〉(料理)を使用します。明るく、おいしそう な色あいの写真になります。また、白熱電球下などで撮影するときは、光 源による赤みを抑えた写真になります。





🔆 撮影のポイント

• 色あいを変える

[色あい] を変えることができます。料理の赤みを強めにしたいときは [暖 色] 側に、赤みが強すぎるときは [寒色] 側に設定を変更して撮影して ください。

なるべくストロボを使わないで撮影する

料理にストロボ光が直接あたると、お皿や料理に反射光が写り込んだ り、不自然な影ができてしまったりします。ストロボを使わないで撮 影することをおすすめしますが、暗い場所では手ブレに注意してくだ さい。

- 料理をおいしそうな色あいに撮影するためのモードなので、人物は適切な色 あいにならないことがあります。
 - 赤みのある被写体の色が薄くなることがあります。
 - 画面内に複数の光源が含まれるときは、赤みの少ない写真にならないことが あります。
 - ストロボ撮影時は、[色あい]の設定が標準設定に切り換わります。

キャンドルライトと人物を写す

キャンドルライトに照らされた人物を撮りたいときは、〈聞〉(キャンドル ライト)を使用します。キャンドルライトの雰囲気を生かした色あいの写 真になります。





🔆 撮影のポイント

中央の AF フレームでピントを合わせる

ファインダー内の中央の AF フレームを人物に合わせて撮影します。

ファインダー内の数値が点滅したら手ブレに注意する

暗い場所では、ファインダー内の数値(シャッタースピード)が点滅 します。カメラが動かないようにしっかり構えるか、三脚を使用して ください。ズームレンズのときは、ズーム位置を広角側にすると、手 持ち撮影でも手ブレしにくくなります。

● 色あいを変える

[色あい] を変えることができます。キャンドルライトの赤みを強めにしたいときは[暖色] 側に、赤みが強すぎるときは[寒色] 側に設定を変更して撮影してください。

- ライブビュー撮影はできません。
 - ストロボ撮影はできませんが、暗い場所では AF 補助光が光るよう、あらか じめストロボを上げておくことをおすすめします(①168)。

夜景と人物を写す(三脚を使う)

人物と、その背景にある美しい夜の街並みや夜景を明るくきれいに写した いときは、〈■〉(夜景ポートレート)を使用します。三脚の使用をおすす めします。





🔆 撮影のポイント

● 広角レンズと三脚を使用する

ズームレンズのときは、レンズを広角側にすると、広い範囲の夜景を 写すことができます。また、手持ち撮影では手ブレしますので、三脚 を使用して撮影します。

• 画像の明るさを確認する

暗い場所では、ストロボ撮影を行うと人物がきれいに写ります。 なお、撮影した画像はその場で再生し、画像の明るさを確認すること をおすすめします。人物が暗いときは、近づいて撮影してください。

• 他の撮影モードでも撮影しておく

ブレた写真になりやすいので、〈C 〉と〈図〉でも撮影しておくこと をおすすめします。

- ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。
 - 注意事項は92ページを参照してください。

夜景を写す(手持ち撮影)

夜景を撮影するときは三脚を使用した方がきれいに撮影できますが、〈図〉 (手持ち夜景)を使用すると、カメラを手に持ったまま夜景を撮影すること ができます。この撮影モードでは、1回の撮影で4枚連続撮影し、手ブレ を抑えた画像が1枚記録されます。





※ 撮影のポイント

カメラをしっかり構える

撮影中、カメラが動かないようにしっかり構えます。この撮影モードは、 4枚の画像の位置を合わせながら合成して、1枚の画像を作成します が、手ブレなどにより、画像のズレ量が大きいと、画像の位置合わせ が正常に行われないことがあります。

● 人物も一緒に撮るときはストロボ発光

人物も一緒に撮るときは、内蔵ストロボを指で持ち上げます。人物も きれいに写るように、初めの1枚がストロボ撮影になります。4枚撮 影し終わるまで人物が動かないように注意してください。

↓ • 他の撮影モードより、撮影される範囲が狭くなります。

• 注意事項は 92 ページ、93 ページを参照してください。

逆光シーンを写す

明るいところと暗いところが混在する逆光シーンなどを写すときは、〈▲〉 (HDR 逆光補正)を使用します。1回の撮影で明るさの異なる3枚の画像 を連続撮影し、特に逆光による黒つぶれを抑えた広い階調の画像が1枚記 録されます。





※ 撮影のポイント

カメラをしっかり構える

撮影中、カメラが動かないようにしっかり構えます。この撮影モードは、 3枚の画像の位置を合わせながら合成して、1枚の画像を作成します が、手ブレなどにより、画像のズレ量が大きいと、画像の位置合わせ が正常に行われないことがあります。

● 他の撮影モードより、撮影される範囲が狭くなります。

ストロボ撮影はできませんが、暗い場所では AF 補助光が光るよう、あらかじめストロボを上げておくことをおすすめします(①168)。

• 注意事項は 92 ページ、93 ページを参照してください。

📱 🔹 HDR は、High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略です。

↓ 〈₩〉集合写真の注意事項

 ・ 歪曲収差補正が行われるため、ファインダー撮影時に見えていた範囲よりも 狭い範囲が記録されます(画像の周辺部分が少しトリミングされ、解像感が 若干低下します)。また、ライブビュー撮影時は、画角がわずかに変化します。

< ⟨ € ⟩ キッズの注意事項

ライブビュー撮影時、連続撮影中にストロボが発光したときは、連続撮影速度が低下します。その後、ストロボが発光しなくても、連続撮影速度は低下したまま撮影されます。

〈図〉夜景ポートレートとどうを見つたのです。

- ライブビュー撮影時、夜景など、点状の光源ではピントが合いにくいことが あります。このようなときは、レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉 にして手動でピントを合わせてください。
- ライブビュー映像で表示される仕上がりのイメージは、撮影した画像と完全には同じになりません。

ライブビュー撮影時、人物の顔が暗いときはピントが合いにくいことがあります。このようなときは、レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉にして手動でピントを合わせてください。

〈四〉手持ち夜景と〈ふ〉HDR 逆光補正の注意事項

- RAW 画質は選択できません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ったり、被 写体の周辺が暗めに写ることがあります。
- 格子模様、ストライプ模様のような繰り返しパターンや、画面全体が平坦で 単調なとき、また手ブレなどにより画像のズレ量が大きいときは、画像の位 置合わせが正常に行われないことがあります。
- 撮影後に画像を合成してからカードに記録するため時間がかかります。画像 処理中は、ファインダー内に「buSy」が表示され、処理が終わるまで次の 撮影はできません。

↓ 〈四〉手持ち夜景の注意事項

- ストロボ撮影時に、被写体が近いと、かなり明るい写真(露出オーバー)に なることがあります。
- ストロボ撮影時に、明かりが少ない夜景を撮影するときは、画像の位置合わせが正常に行われず、ブレた写真になることがあります。
- ストロボ撮影時に、人物と背景が近く、背景にもストロボ光が当たっているときは、画像の位置合わせが正常に行われず、ブレた写真になることがあります。また、不自然な影ができたり、色あいが適切にならないことがあります。
- 外部ストロボ使用時の照射角について
 - 照射角の自動設定に対応したストロボのときは、レンズのズーム位置に関係なく、ストロボのズーム位置がワイド(広角)端に固定されます。
 - 照射角を手動で設定するストロボのときは、発光部を通常状態にして撮影 してください。

〈 ふ 〉 HDR 逆光補正の注意事項

- グラデーションが滑らかに再現されなかったり、ムラやノイズが発生することがあります。
- 極端に強い逆光シーンや、明暗差が大きいシーンでは、補正効果が十分に得られないことがあります。
- 順光シーンなど、被写体がもともと明るいシーンでは、HDR効果で不自然な画像になることがあります。

フィルター効果を付けて撮影する

〈◇〉(クリエイティブフィルター)モードでは、フィルター効果(10種類: ラフモノクロ*/ソフトフォーカス*/魚眼風*/水彩風*/トイカメラ 風*/ジオラマ風*/HDR 絵画調標準/HDR グラフィック調/HDR 油 彩調/HDR ビンテージ調)を付けた画像を撮影することができます。ラ イブビュー撮影状態にすると、撮影前にフィルター効果を画面で確認する ことができます。保存される画像は、フィルター効果ありの画像のみです。 *印の効果は、フィルター効果なしで通常の撮影を行い、撮影後に画像に効果を付 けて別画像として保存することもできます(□332)。



1 モードダイヤルを〈②〉にする



- 2 ライブビュー映像を表示する
 - (▲) ボタンを押して、ライブビュー映像を表示します。



- 3 クイック設定で [クリエイティブフィル ター]を選ぶ
 - 〈Q〉ボタンを押します。

 設定時にライブビュー映像を表示したくないときは、手順1のあと〈Q〉 ボタンを押して、「フィルター選択」を選択します。



- 4 撮影モードを選ぶ

 - → フィルター効果が反映された映像が表示されます。

◎ モードで設定できる撮影モード

撮影モード		参照頁
8	ラフモノクロ	Щ96
2	ソフトフォーカス	Щ96
4	魚眼風	Щ96
-	水彩風	Щ96
đ	トイカメラ風	Щ97

撮影モード		参照頁
Þ	ジオラマ風	Щ97
HDR	HDR 絵画調標準	Щ97
HDR	HDR グラフィック調	Щ97
KHDR	HDR 油彩調	Щ97
HDR	HDR ビンテージ調	Щ97



5 効果を調整する

- 〈(Q) ボタンを押して、[クリエイティブフィ ルター]の下のアイコンを選びます(温、 、 いの、、、、いの、たいのを除く)。
- <<>><ト>を押して効果を調整し、<
 SET>を押します。

6 撮影する

- シャッターボタンを押して撮影します。

● RAW 画質は選択できません。

- ●〈��〉〈♪〉〈❹〉〈◀〉〈団〉〈♪〉設定時は、連続撮影は設定できません。
- 魚眼風で撮影した画像には、ダストデリートデータ(□277)は付加されません。

🖬 ライブビュー撮影時について

- ラフモノクロのときは、液晶モニターに表示される映像と撮影画像のざらつ き感が異なります。
- ソフトフォーカス、ジオラマ風のときは、液晶モニターに表示される映像と 撮影画像でぼかし具合が異なることがあります。
- ヒストグラムは表示されません。
- 拡大表示はできません。
- 応用撮影ゾーンのときは、クイック設定で一部のクリエイティブフィルター を設定することができます(単94)。

各クリエイティブフィルターの特徴について

● 🖺 ラフモノクロ

ざらついた感じの白黒写真になります。コントラストを調整すること で、白黒の感じを変えることができます。

• 🚨 ソフトフォーカス

やわらかい感じの写真になります。ぼかし具合を調整することで、や わらかさの感じを変えることができます。

• 🛯 魚眼風

魚眼レンズで撮影したような効果が得られます。タル型にゆがんだ写 真になります。

なお、フィルター効果のレベルによって、画像周辺のカットされる領 域が変わります。また、フィルター効果により画面中央が拡大される ため、記録画素数によっては、画面中央の解像感が低下することがあ りますので、映像を確認しながら設定してください。AF フレームは、 中央1点固定になります。

● 髦 水彩風

水彩画のような写真で、やわらかい感じの色になります。効果を調整 することで、色の濃度を変えることができます。なお、夜景や暗い撮 影シーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、ムラやノ イズが発生することがあります。

〇 トイカメラ風

トイカメラ(おもちゃのカメラ)で撮影したような独特の色調で、画 面の四隅が暗い写真になります。色調によって、色の感じを変えるこ とができます。

• 過 ジオラマ風

ジオラマ(ミニチュア模型)風の写真になります。 画面の中央をはっきり見せたい場合は、そのまま撮影します。 ライブビュー撮影時にはっきり見せたい部分(ジオラマ枠)を移動す る場合は「ジオラマ風の操作」(⁽¹⁾99)を参照してください。AF 方式は1点AFになります。AFフレームとジオラマ枠の位置を合わせ て撮影することをおすすめします。

ファインダー撮影時は、ファインダー内の中央に表示された AF フレームを写したいものに合わせて撮影します。

Share HDR 絵画調標準

白とびや黒つぶれが緩和された写真になります。コントラストを抑え たフラットな階調のため、絵画のような仕上がりになります。被写体 の輪郭部分に明るい(または暗い)縁取りが付きます。

● ¥www HDR グラフィック調

[HDR 絵画調標準] よりも鮮やかでありながら、コントラストを抑えたフ ラットな階調で、グラフィックアートのような仕上がりになります。

最も鮮やかで被写体の立体感を強調した、油絵のような仕上がりになります。

● 🐝 HDR ビンテージ調

鮮やかさと明るさを抑えながら、コントラストをさらに抑えたフラットな階調で、色あせた古めかしい感じの仕上がりになります。被写体の輪郭部分に明るい(または暗い)縁取りが強めに付きます。

↓ 〈𝔅_{RR}〉 HDR 絵画調標準〈𝔅_{KR}〉 HDR グラフィック調〈𝔅_{RR}〉 HDR 油彩調 〈𝔅_{RR}〉 HDR ビンテージ調の注意事項

- 他の撮影モードより、撮影される範囲が狭くなります。
- ライブビュー映像で表示されるフィルター効果の仕上がりイメージは、撮影 画像と完全には同じになりません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ったり、被 写体の周辺が暗めに写ることがあります。
- 格子模様、ストライブ模様のような繰り返しパターンや、画面全体が平坦で 単調なとき、また手ブレなどにより画像のズレ量が大きいときは、画像の位 置合わせが正常に行われないことがあります。
- 手持ち撮影のときは手ブレに注意して撮影してください。
- 空や白壁のようなシーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、 露出ムラや色ムラ、ノイズが発生することがあります。
- 蛍光灯やLED照明などの光源下で撮影を行うと、照明されている部分が適切な色で再現されないことがあります。
- 撮影後に画像を合成してからカードに記録するため時間がかかります。画像 処理中は、ファインダー内には「buSy」が表示され、処理が終わるまで次 の撮影はできません。
- ストロボ撮影はできませんが、暗い場所ではAF補助光が光るよう、あらかじめストロボを上げておくことをおすすめします(□168)。

ジオラマ風の操作





1 AF フレームを移動する

ピントを合わせたい位置に、AF フレームを移動します。

2 ジオラマ枠を移動する

- AF フレームがジオラマ枠から出たとき は、ジオラマ枠を移動させて AF フレー ムの位置に合わせます。
- 〈Q〉ボタンを押す(または画面右下の
 [•]をタッチする)と、ジオラマ枠が オレンジ色に変わり、移動することが できます。
- 〈INFO〉ボタンを押す(または画面左下の[记]をタッチする)と、ジオラマ枠の縦/横を切り換えることができます。
- 〈SET〉を押すと、ジオラマ枠の位置が 確定します。
- AF フレームやジオラマ枠の移動は〈▲〉
 〈▼〉または〈◀〉〈▶〉を押します。
 画面の中央に戻したいときは〈´ω〉ボ タンを押します。

3 撮影する

クイック設定について

4^

内蔵ストロボの発光

かんたん撮影ゾーンで、〈Q〉ボタンを押すと、液晶モニターに表示されている項目を直接選択して、設定することができます。

- 1 モードダイヤルをかんたん撮影ゾーン にする
- 2 〈 🖸 〉 ボタンを押す

⇒ クイック設定の状態になります。



コントラスト

🗆 லோ

、 1枚/ タイマ・

例:〈鳥〉

乱

フィルタ・ 週初

ラフモノクロ

3 機能を設定する

- <↔>+字キーを押して機能を選びます。
- → 選んだ機能の内容と、機能ガイド (□56)が画面に表示されます。
- 〈☆☆〉を回して設定を変更します。
- 機能を選び〈SET〉を押すと、一覧から選ぶこともできます。

[♪: 撮影画面表示:標準]設定時は、以下のような画面が表示されます。

例:〈��〉





明るさを調整する

〈SCN: ※〉を除く〈SCN〉モードで、明るさを調整して撮影する方法を 説明します。「○」を基準に、明るさ、暗さを、それぞれ3段階ずつ調整す ることができます。

1 モードダイヤルを〈SCN: 約 創 帶 ▲ ≪ 多 単 11 四 回 四〉にする

〈

 ふ
 〉以外のいずれかに設定します。

- 2 ライブビュー映像を表示する
 - (

 ・ボタンを押して、ライブビュー映
 像を表示します(

 ・ないのでのです。



â

A (2405) 1

3 クイック設定で明るさを選ぶ

- 〈Q〉ボタンを押します。
- ➡ 選んだ明るさの仕上がりイメージが表示されます。

4 撮影する

- シャッターボタンを押して撮影します。
- ファインダー撮影を行うときは、(▲) ボタンを押してライブビュー撮影を終 了します。それからシャッターボタン を押して撮影します。
- 撮影モードを変えたり、電源スイッチを 〈OFF〉にすると、[0](標準)に戻ります。

 設定時にライブビュー映像を表示したくないときは、手順3から操作してく ださい。

画像を再生する

ここでは、一番手軽に画像を再生する方法を説明します。再生方法に関す る詳しい説明は、283ページを参照してください。



1 画像を再生する

- 〈
 ▶
 >
 ボタンを押します。
- ➡ 最後に撮影した画像、または最後に再 生した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- く<>>を押すと、最後に撮影した画像か ら新しい順に画像が表示されます。<>> を押すと、古い画像から順に新しい画 像が表示されます。
- 〈INFO〉ボタンを押すたびに、表示形 式が切り換わります。



撮影情報表示

3 再生を終了する

 〈▶〉ボタンを押すと再生が終了し、撮 影準備状態に戻ります。

撮影情報表示について

撮影情報表示の画面(□102)が表示されている状態で〈▲〉〈▼〉を 押すと、画面下側の撮影情報が以下のように切り換わります。詳しくは 327ページ~328ページを参照してください。



 ・ 表示される内容は、撮影モートや設定によって異なります。

 ・ GPS レシーバー GP-E2 やスマートフォンを使用して、画像に GPS 情報が
 記録されているときは、「GPS 情報」の画面も表示されます。

AF / ドライブの設定



ファインダー内に配置されたAFフ レームを使用して、さまざまな撮影 シーンに対応したAF撮影を行うこと ができます。

また、撮影状況や被写体にあわせて、オートフォーカスの作動特 性を選択したり、最適なドライブモードを選択することができま す。

- ページタイトル右の MB は、応用撮影ゾーン(口31)限 定の機能であることを示しています。
- AF 動作は、かんたん撮影ゾーンでは自動設定されます。
- AF〉は Auto Focus (オートフォーカス)の略で自動ピント合わせのことです。(MF〉は Manual Focus (マニュアルフォーカス)の略で手動ピント合わせのことです。

ピント合わせの動作を変える

撮影状況や被写体にあわせて、AF(Auto Focus:自動ピント合わせ)の 作動特性を選ぶことができます。なお、かんたん撮影ゾーンでは、撮影モー ドごとに最適な AF 動作が自動設定されます。



- 1 レンズのフォーカスモードスイッチを (AF) にする
- 2 モードダイヤルを応用撮影ゾーンにす る
- 撮影設定 6 SHOOTE ONE SHOT AF ACT //E レンズの雷子式手動フォーカス ©+off AF補助米の投来

11 18030003200	0.1
	MENU 🕤

ワンショットAF

ONE SHOT AI FOCUS AI SERVO

SET OK

AF動作

- 3 [AF動作] を選ぶ
 - 「▲] タブの [AF動作] を選び、〈SFT〉 を押します。
 - ➡ [AF 動作] が表示されます。

AF 動作を選ぶ

 <
 <
 <

 < <**SET**〉を押します。

5 ピントを合わせる

 AF フレームを被写体に合わせ、シャッ ターボタンを半押しすると、設定した AF 動作でピント合わせが行われます。

応用

止まっている被写体を撮る:ワンショット AF



止まっている被写体の撮影に適していま す。シャッターボタンを半押しすると1 回だけピント合わせを行います。

- 被写体にピントが合うと、ピント合わ せを行った AF フレーム (1) 内の点が一 瞬赤く光り、ファインダー内に合焦マー ク (●) (2) が点灯します。
- 評価測光のときは、ピントが合うと同時に露出値が決まります。
- シャッターボタンを半押ししている間、 ピントが固定され、構図を変えて撮影 することができます。
- ピントが合わないとファインダー内の合焦マーク〈●〉が点滅します。この ときはシャッターボタンを全押ししても撮影できません。構図を変えて再度 ピント合わせを行うか、「ピントが合いにくい被写体」(□111)を参照し て再度ピント合わせを行ってください。
 - [♥:電子音]を[切]に設定すると、ピントが合ったときに、合焦音が鳴らな いようになります。
 - ワンショット AF でピントを合わせたあと、ピントを固定したまま構図を変えて撮影する方法を「フォーカスロック撮影」といいます。画面の端に被写体があるときなどに有効です。
 - 電子式手動フォーカス機能を備えたレンズ使用時は、108ページを参照してください。

動いている被写体を撮る:AI サーボ AF

撮影距離がたえず変化する(動いている)被写体の撮影に適しています。 シャッターボタンを半押ししている間、被写体にピントを合わせ続けます。

- 露出は撮影の瞬間に決まります。
- AF フレーム選択(□109)が、自動選択のときは、初めに中央の AF フレームで被写体をとらえます。AF を行っているときに被写体が 中央の AF フレームから外れても、他の AF フレームのいずれかで被写 体をとらえていれば、継続してピント合わせが行われます。
- AI サーボ AF のときは、ピントが合っても電子音は鳴りません。また、ファ インダー内の合焦マーク〈●〉も点灯しません。

AF 動作を自動的に切り換える:AI フォーカス AF

被写体の状態に応じて、[ワンショットAF]から [AIサーボAF]へと作動特性が自動的に切り換わります。

- ワンショット AF で被写体にピントを合わせたあと、被写体が連続して移動を始めると、その移動をカメラが検知して自動的に AI サーボ AF に切り換わり、被写体の動きに追従してピントを合わせ続けます。
- AI フォーカス AF のサーボ状態でピントが合うと、合焦音が小さく鳴り続けます。ただし、ファインダー内の合焦マーク〈●〉は点灯しません。なお、この状態のときは、フォーカスロック撮影はできません。

内蔵ストロボによる AF 補助光について

暗い場所などでシャッターボタンを半押しすると、内蔵ストロボが連続的 に光ることがあります。これは AF でピントを合わせやすくするためです。

- <SCN: 2000 ません。</p>
 - AF 動作が AI サーボ AF のときは、AF 補助光は投光されません。
 - 内蔵ストロボが連続して発光するときに音がしますが、故障ではありません。

□ • 内蔵ストロボによる AF 補助光でピントが合う範囲の目安は 4 m以内です。

 ストロボを上げておくと、必要に応じて AF 補助光が光ります。[▲: AF 補助 光の投光] を [しない] に設定すると投光されません(□168)。

レンズの電子式手動フォーカスの設定

ワンショット AF 時、電子式の手動フォーカス機能を備えた USM レンズ、 STM レンズ使用時に、電子式手動フォーカスを行うかどうかを設定するこ とができます。初期状態では[ワンショットAF 作動後・不可]に設定されています。



レンズの電子式手動フォーカス ワンショットAF作動後・不可

ワンショットAF作動後・可能

 【レンズの電子式手動フォーカス】を選ぶ
 【△】タブの【レンズの電子式手動フォーカス】 を選び、〈SET〉を押します。

2 内容を設定する

項目を選び〈SET〉を押します。

ワンショット AF 作動後・不可
 AF 動作を行ったあとの、手動ピント調整を禁止します。

⊙+0FF

@+0N

ワンショット AF 作動後・可能
 AF 動作を行ったあと、シャッターボタン半押しを続けていれば、手動でピント調整ができます。
ピントを合わせる枠を選ぶ



- ┫ 〈 🖽 〉 ボタンを押す
 - ⇒ 現在選択されている AF フレームが、液 晶モニターとファインダー内に表示さ れます。





2 AF フレームを選ぶ

- <
 ◆
 >
 十字キーを押して AF フレームを 選びます。
- ファインダーをのぞきながら AF フレー ムを選ぶときは、〈ごふ〉を回して赤く 光る点を移動させます。
- すべての AF フレームが点灯していると きは自動選択です。被写体の位置に応じ て、自動的に AF フレームが決まります。
- 〈SET〉を押すと、中央の AF フレーム と自動選択が交互に切り換わります。

3 ピントを合わせる

 選んだ AF フレームを被写体に合わせ、 シャッターボタンを半押しすると、ピ ント合わせが行われます。



🔆 撮影のポイント

- 人物をアップで撮影するときは、「ワンショットAF」で目にピントを合わせる
 写される人の目にピントを合わせてから構図を決めます。
- ピントが合いにくいときは、中央のAFフレームを選ぶ
 9点の中で、一番ピントの合いやすいAFフレームです。
- 動いているものに楽にピントを合わせ続けたいときは、「自動選択」と AF動作の [Al サーボ AF] (① 107)を組み合わせる 初めに中央の AF フレームで被写体をとらえます。AF を行っていると きに被写体が中央の AF フレームから外れても、他の AF フレームのい ずれかで被写体をとらえていれば、継続してピント合わせが行われま す。
- エクステンダー(別売)を組み合わせたときの開放絞り数値が、F5.6より も大きい場合は、AF 撮影できません(ライブビュー撮影時を除く)。詳しくは、 エクステンダーの使用説明書を参照してください。

ピントが合いにくい被写体

次のような特殊な被写体に対してはピント合わせができない(ファインダー 内の合焦マーク〈●〉が点滅する)ことがあります。

- 明暗差(コントラスト)が極端に低い被写体(例:青空、単色の平面など)
- 非常に暗い場所にある被写体
- 強い逆光状態、または光の反射が強い被写体(例:反射光の強い車の ボディなど)
- 遠いところと近いところにある被写体が、AFフレームの近くにある場合(例:おりの中の動物など)
- 点状の光源などが、AF フレームの近くにある場合(例:夜景など)
- 繰り返し模様の被写体(例:ビルの窓やパソコンのキーボードなど)
- AF フレームに対してパターンが細かい被写体(例:AF フレームと同じ、 または小さいサイズの顔や花など)

これらの場合は次のいずれかの方法でピントを合わせます。

- ワンショット AF のときは、被写体とほぼ同じ距離にあるものにピントを固定し、構図を決めなおして撮影する(275)。
- (2) レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉にして手動ピント合わ せを行う。
- 被写体によっては、構図をわずかにすらして再度 AF を行うと、ピント合わせができることがあります。
 - ライブビュー撮影時、動画撮影時に、AFでピントが合いにくい撮影条件については、201ページを参照してください。

MF: 手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)



1 レンズのフォーカスモードスイッチを 〈MF〉にする



2 ピントを合わせる

 ファインダー内の被写体がはっきり見 えるまで、レンズのフォーカスリング を回します。

● シャッターボタンを半押ししながら手動ピント合わせを行うと、ファイン ダー内にピントが合った AF フレーム内の点が一瞬赤く光り、合焦マーク(●) が点灯します。

ドライブモードの選択

ドライブモードには1枚撮影と連続撮影があります。





- 1 (Q)を押す
 → クイック設定の状態になります。
- 2 □○ (m) を選ぶ
 〈◆〉+字キーを押して □○ (m) を選び、
 ◇ SET〉を押します。



 3 ドライブモードを選ぶ
 ● 〈●〉〈▶〉を押してドライブモードを 選び、〈SET〉を押します。

□:1枚撮影

シャッターボタンを全押しすると、1枚だけ撮影します。

□:連続撮影

シャッターボタンを全押しすると、押している間、連続撮影します。

ロS:ソフト1枚撮影 MB

シャッターボタンを全押しすると、静かな作動音で1枚だけ撮影します。

□S:ソフト連続撮影 MB

シャッターボタンを全押しすると、押している間、静かな作動音で連 続撮影します。

№0/10:セルフタイマー:10秒/リモコン撮影

(ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 (別売) 使用時)

- 必2:セルフタイマー:2秒
- **ひc:セルフタイマー:連続撮影** セルフタイマー撮影については 205 ページ、BR-E1 を使用したリ モコン撮影については 471 ページを参照してください。
- 連続撮影速度は、シャッタースピードや絞り数値、被写体条件、明るさ、レンズの種類、ストロボ使用、温度、電源の種類、電池残量などにより低下することがあります。
 - ライブビュー撮影時は、〈ロS〉〈リS〉は設定できません。
 - 電池残量が少ないときや、暗い場所で撮影を行ったときは、連続撮影速度が 低下することがあります。
 - AI サーボ AF 時は、被写体条件や使用レンズによって連続撮影速度が若干低 下することがあります。
 - 連続撮影中に内部メモリーがいっぱいになると、一時的に撮影ができなくなるため、連続撮影速度が途中から遅くなることがあります。
 - BR-E1 とペアリング後は、〈い) が〈い) に変わります(□471)。

画像に関する設定

この章では、記録画質、ISO 感度、ピクチャースタイル、ホワイ トバランス、オートライティングオプティマイザ、ノイズ低減機 能、レンズ光学補正など、画像に関係する機能設定について説明 しています。

 ページタイトル右の MB は、応用撮影ゾーン(皿31)限 定の機能であることを示しています。

記録画質を設定する

(1) (2)

4.

SET OK

1 24M 6000×4000 929

記録する画素数と画質を選ぶことができます。JPEG 画像の記録画質は、 ▲L、▲L、▲M、▲M、▲S1、▲S1、S2 です。RAW 画像の記録画質は、RAW 、 CRAW です。

Ó	撮影	定				
1 2	3	4	5	6		SHOOT1
記録	画質				A L	
撮影	画像(の確	認時	間	2秒	
カー	ドな	レ	<u>у–</u>	ズ		ON
レン	ズ光	学補)	E			-
スト	ロボ	訓御				-
						MENU 🕤

- **al al am am as**1 **s**2

記録画質

- BAWA CBAW

RAW

JPEG

- 1 記録画質を選ぶ
 - [△] タブの [記録画質] を選び、〈SET〉 を押します。
 - → [記録画質] が表示されます。

2 記録画質を設定する

- RAW 画質は〈 <ご > を回して、JPEG 画質は〈 ◄〉 < ► > で選びます。
- 画面上に表示される「記録画素数」(1)
 と、「撮影可能枚数」(2)を目安に選び、
 〈SET〉を押します。
- □ UHS-I対応のカードを使用しても、連続撮影可能枚数の表示は変わりません。
 記録画質の読み方は、 I (ロウ)、 CI (コンパクトロウ)、 JPEG (ジェ イペグ)、 ▲ (ファイン)、 ▲ (ノーマル)、 L (ラージ)、 M (ミドル)、 S (ス モール)です。

? こんなときは

• 印刷する用紙サイズで記録画質を選びたい

用紙サイズ



図を目安に記録画質を選んでください。 撮影後にトリミング(画像の切り抜き) をするときは、記録画素数の多い 4L、 4L、RAW、CRAW をおすすめします。 なお、S2 は市販のデジタルフォトフレー ムでの再生にも適しています。

● ▲、▲の違いは?

圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、 ▲の方がきれいです。▲を選ぶと画質は少し落ちますが、▲よりもカードに多く記録できます。なお、S2は▲(ファイン)の画質です。

表記されている撮影可能枚数よりも多く撮影できた 撮影条件によっては、表記の枚数よりも多く撮影できることがありま す。逆に、撮影できる枚数が少なくなることもありますので、目安と してとらえてください。

連続撮影可能枚数(バースト撮影枚数)は、カメラに表示される?
 ファインダー内右端の数字が連続撮影可能枚数です。ただし、0~9の1桁表示なので、連続撮影できる枚数が、8枚以下になるまで「9」表示のままです。なお、この数値はカードが入っていないときにも表示されますので、カードを入れずに撮影しないよう注意してください。

RAW 画像と JPEG 画像について

- カードに記録される RAW 画像は、撮像素子から出力されたデータを デジタル変換して記録した「生(ロウ)データ」で、 MM または MM よりもファイルサイズが小さい CMM から選ぶことができます。
 RAW 画像は、EOS 用ソフトウェアの Digital Photo Professional で現像処理を行うことができます。使用目的に応じてさまざまな画像 調整を行い、その調整結果を反映した JPEG 画像などを生成すること ができます。
- RAW 画像と JPEG 画像の設定を両方 [-] にしたときは、 **4** に設定 されます。
- RAW と JPEG の両方を選んだときは、1回の撮影で設定した記録画 質の画像がカードに記録されます。2つの画像は同じ画像番号(1)で 記録されます。拡張子(2)は JPEG: JPG、RAW: CR3です。



🔋 RAW 画像処理用のソフトウェアについて

- パソコンで RAW 画像を表示するときは、EOS 用ソフトウェアの Digital Photo Professional (以下 DPP)の使用をおすすめします (囗 491)。
- 古いバージョンの DPP Ver.4.x では、このカメラで撮影した RAW 画像の 処理はできません。パソコンに古いバージョンの DPP Ver.4.x がインストー ルされているときは、キヤノンの Web サイトから、最新の DPP を入手して、 アップデート(上書きインストール)してください。なお、Ver.3.x 以前の DPP では、このカメラで撮影した RAW 画像の処理はできません。
- 市販のソフトウェアでは、このカメラで撮影した RAW 画像を表示できない ことがあります。対応状況については、ソフトウェアメーカーにお問い合わ せください。

静止画の ISO 感度を設定する

ISO 感度(撮像素子の感度)は、撮影場所の明るさに応じて設定します。 かんたん撮影ゾーンでは、ISO 感度が自動設定されます。 なお、動画撮影時の ISO 感度については、〇218、〇219、〇222 を参照してください。







1〈ISO〉ボタンを押す

2 ISO 感度を設定する

 ファインダー内または液晶モニターを 見ながらく
 くト>またはくごふ>で ISO 感度を選び、くSET>を押します。

応用

- ISO 感度は、ISO100~25600の範 囲で設定することができます。
- [AUTO] を選ぶと、ISO 感度が自動設定 されます(囗120)。
- [△ISO 感度に関する設定]の[ISO 感度]から設定するときは(左図)、〈INFO〉ボタンを押すと、[AUTO]に設定することができます。

ISO 感度を選ぶときの目安

- ISO 感度の数値が小さい(感度が低い)ほど、ノイズが少ない画像が 撮影できますが、撮影シーンによっては、手ブレや被写体ブレが起き やすくなったり、ピントの合う範囲が狭く(被写界深度が浅く)なる ことがあります。
- ISO 感度の数値が大きい(感度が高い)ほど、暗い場所で撮影できる ようになったり、ピントの合う範囲を広く(被写界深度を深く)したり、 ストロボ撮影時に遠くの被写体が撮影できるようになりますが、ノイ ズが多くなります。

□ ● [△ISO感度に関する設定]の[ISO感度]から設定することもできます。

- [白:高輝度側・階調優先)を(する)(強)に設定すると、ISO100と[H](ISO51200 相当)は選択できなくなります(□138)。
 - 高温下で撮影すると、画像のザラツキ感がやや増すことがあります。さらに、 長時間露光の条件で撮影を行うと、画像に色ムラが発生することがあります。
 - 高 ISO 感度で撮影すると、ノイズ(輝点、縞など)が目立つことがあります。
 - 高 ISO 感度で近距離の被写体をストロボ撮影すると、露出オーバーになることがあります。
 - 高 ISO 感度、高温、長秒時露光の組み合わせなど、ノイズが非常に多くなる 条件で撮影したときは、正常な画像が記録できないことがあります。
 - 「H」(ISO51200 相当)は拡張 ISO 感度のため、通常よりもノイズ(輝点、 縞)や色ムラが多くなり、解像感も低下します。

ISO 感度の自動設定 [AUTO] について



- ISO 感度の設定が [AUTO] のときに シャッターボタンを半押しすると、実際に設定される ISO 感度の数値が、ファ インダー内または液晶モニターに表示 されます。
- [AUTO] のときの ISO 感度表示は 1 段 ステップですが、実際はより細かく制 御されています。そのため、撮影情報 (¹¹326)で ISO 感度を確認すると、 ISO125 や 640 などと表示されるこ とがあります。

ISO 感度 [AUTO] 時の上限値設定について

ISO 感度オート時に自動設定される感度の上限値を、ISO400 ~ 25600の間で設定することができます。



【□ISO 感度に関する設定】を選ぶ

 [△] タブの [△ISO 感度に関する設定] を 選び、〈SET〉を押します。

□ISO感度に関する設定			
ISO感度	オート		
オートの上限	6400		
	MENU 🛳		

2 [オートの上限] を選ぶ

• 【オートの上限】を選び、〈SET〉を押します。

<mark>3</mark> ISO 感度を選ぶ

• ISO 感度を選び、〈**SET**〉を押します。

□ISO感度に関する設定		
	400	
オートの上限	800	
	1600	
	3200	
	€400	
	12800	
	25600	

ピクチャースタイルを選択する

ピクチャースタイルは、写真表現や被写体にあわせて、用意された項目を 選ぶだけで効果的な画像特性が得られる機能です。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT4
ホワイトバランス	AWB
MWB画像選択	
WB補正/BKT設定	0.0/±0
色空間	sRGB
ピクチャースタイル	オート
	MENU 🕤

- 1 [ピクチャースタイル] を選ぶ
 - [△] タブの [ピクチャースタイル] を選び、 (SET) を押します。

応用

⇒ スタイル選択画面が表示されます。

ピクチャースタイル	6,6,6,0,&,0
₩Aオート	4, 2, 4, 0, 0, 0
ESIスタンダード	4, 2, 4, 0, 0, 0
EP ポートレート	3, 2, 4, 0, 0, 0
座山風景	5, 2, 4, 0, 0, 0
◎−−−−ル重視	4, 1, 1, 0, 0, 0
ENニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
INFO 詳細設定	SET OK

2 スタイルを選ぶ

- スタイルを選び、〈SET〉を押します。
- ⇒ スタイルが設定されます。

各スタイルの画像特性について

「本本語」オート

撮影シーンに応じて、色あいが自動調整されます。特に自然や屋外シー ン、夕景シーンでは、青空、緑、夕景が色鮮やかな写真になります。

「オート」で好みの色あいにならなかったときは、他のスタイルに変更して撮影してください。

S スタンダード

鮮やかで、くっきりした写真になります。通常はこの設定でほとんどのシーンに対応できます。

Image: Second state Image: Second st

肌色がきれいで、ややくっきりした写真になります。人物をアップで 写すときに効果的です。

126ページの[色あい]を変えると、肌色を調整することができます。

🖭 風景

青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした写真になります。印象 的な風景を写すときに効果的です。

◎ ディテール重視

被写体の細部の輪郭や繊細な質感の描写に適しています。やや鮮やか な写真になります。

◎ ニュートラル

パソコンで画像処理するかた向けの設定です。自然な色あいで、メリ ハリの少ない控えめな写真になります。

◎ 王 忠実設定

パソコンで画像処理するかた向けの設定です。5200K(色温度)程度 の環境光下で撮影した写真が、測色的に被写体の色とほぼ同じになる ように色調整されます。メリハリの少ない控えめな写真になります。

🔤 モノクロ

白黒写真になります。

- ↓ JPEG 画質で撮影した画像を、カラー写真に戻すことはできません。[モノクロ] に設定したまま、カラー写真のつもりで撮り続けないように注意してください。
- [モノクロ] 設定時に、ファインダー内に〈!〉を表示することができます (□457)。

◎ ユーザー設定1~3

【ポートレート】や「風景」、ピクチャースタイルファイルなどの基本スタイルを登録し、好みにあわせて調整することができます(囗128)。 登録されていないときは、【オート】の初期設定と同じ特性で撮影されます。 スタイル選択画面の記号は、[シャーブネス]の[強さ][細かさ][しきい値]や、[コ ントラスト] などを表しています。数値は、各スタイルに設定されている各 項目の設定値を示しています。

ピクチャースタイル	6,6,6,0,&,0
座Aオート	4, 2, 4, 0, 0, 0
回るスタンダード	4, 2, 4, 0, 0, 0
座Pポートレート	3, 2, 4, 0, 0, 0
座口風景	5, 2, 4, 0, 0, 0
座回ディテール重視	4, 1, 1, 0, 0, 0
EMニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
INFO 詳細設定	SET OK

ピクチャースタイル	G,G,G,O,0,0
空間ディテール重視	4, 1, 1, 0, 0, 0
Nニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
EEEEEEEEE	0,2,2,0,0,0
<u>፼</u> Mモノクロ	4, 2, 4, 0, N, N
◎11ユーザー設定1	オート
空2ユーザー設定2	オート
INFO 詳細設定	SET OK

記号の意味

	シャープネス		
	ß	強さ	
U	G	細かさ	
	G	しきい値	
\bullet	コントラスト		
0	色の濃さ		
	色あい		
۲	フィルター効果(モノクロ)		
۲	調色(モノクロ)		

● 動画撮影時、[シャーブネス]の[細かさ][しきい値]は、ともに「*」と表示されます。また、[細かさ][しきい値]は動画には反映されません。

ピクチャースタイルを調整する

それぞれのピクチャースタイルは、好みにあわせて設定内容([シャーブネス]の[強さ][細かさ][しきい値、[コントラスト]など)を初期設定から変更(調整)することができます。効果については、試し撮りを重ねて確認してください。 [モノクロ]の調整については、127ページを参照してください。

ピクチャースタイル	6,6,6,0,&,0
藤A オート	4, 2, 4, 0, 0, 0
座Sスタンダード	4, 2, 4, 0, 0, 0
空間ポートレート	3, 2, 4, 0, 0, 0
○□風景	5, 2, 4, 0, 0, 0
回ディテール重視	4, 1, 1, 0, 0, 0
座N ニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
INFO 詳細設定	SET OK

1 [ピクチャースタイル] を選ぶ

 [△] タブの [ピクチャースタイル] を選び、 〈SET 〉を押します。

応用

- ⇒ スタイル選択画面が表示されます。
- 2 スタイルを選ぶ
 - スタイルを選び〈INFO〉ボタンを押し ます。

詳細設定	歴史ポートレート
●シャープネス	
⑥強さ	0
€細かさ	0
Gしきい値	aa
●コントラスト	=·····
初期設定	MENU 🗂



ピクチャースタイル	6,6,6,0,&,0
■A オート	4, 2, 4, 0, 0, 0
座Sスタンダード	4, 2, 4, 0, 0, 0
空間ポートレート	4, 2, 4, 0, 0, 0
○□風景	5, 2, 4, 0, 0, 0
空間ディテール重視	4, 1, 1, 0, 0, 0
፼Nニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
INFO 詳細設定	SET OK

3 項目を選ぶ

- [シャープネス]の[強さ]などの項目を選び、
 (SET)を押します。
- 設定内容と効果については、126ページを参照してください。

4 内容を設定する

- 〈MENU〉ボタンを押すと、調整した内 容が保存され、スタイル選択画面に戻 ります。
- → 初期設定から変更した数値が、青色で 表示されます。

設定内容と効果について

	シャープネス			
	ß	強さ	O:輪郭強調・控えめ	7:輪郭強調・強め
U	G	細かさ *1	1:細かい	5:粗い
	G	しきい値 * ²	1:小さい	5:大きい
0	コントラ	ラスト	-4:明暗差 · 弱	+4:明暗差 · 強
-	色の濃さ		-4:薄い	+4:濃い
	色あい		-4:肌色が赤め	+4:肌色が黄色め

*1: 強調する輪郭線の細かさを示しています。値が小さいほど、より細部が強調さ れやすくなります。

- *2:「周囲に比べ、どの程度のコントラスト差があれば輪郭線を強調するか」の設定 です。値が小さいほど、コントラスト差が少ない輪郭線が強調されやすくなり ます。なお、値を小さくするとノイズも強調されやすくなります。
- 動画撮影時は [シャーブネス]の [細かさ] [しきい値] の設定はできません (項目 が表示されません)。
 - 手順3で【初期設定】を選ぶと、スタイルごとに設定した内容を初期状態に戻すことができます。
 - 調整したスタイルで撮影するときは、調整したスタイルを選択してから撮影します。

モノクロの調整

「設定内容と効果について」(□126)で説明した [シャープネス]の [強さ] [細かさ] [しきい値] と [コントラスト] の他に、[フィルター効果] [調色] を設定す ることができます。

💿 フィルター効果

詳細設定 座風モノクロ		
	▶N:なし	
	Ye:黄	
	0r:オレンジ	
●フィルター効果	R:赤	
	G:緑	

フィルター効果を使うと、同じモノクロ画 像でも、白い雲や木々の緑を強調した画像 にすることができます。

	フィルター	効果例	
Ν	: なし	フィルター効果なしの通常の白黒画像になります。	
Ye	:黄	青空がより自然に再現され、白い雲がはっきりと浮かび上がります。	
Or	:オレンジ	青空が少し暗くなります。夕日の輝きがいっそう増します。	
R	:赤	青空がかなり暗くなります。紅葉の葉がはっきりと明るくなります。	
G	:緑	人物の肌色や唇が落ち着いた感じになります。木々の緑の葉がはっ きりと明るくなります。	

[]
[コントラスト] をブラス側に設定して撮影すると、フィルター効果がより強調 されます。

⊘ 調色

詳細設定	座画モノクロ	
	▶N:なし	
	S:セピア	Γ
	B:青	
	P:紫	
②調色	G:緑	

調色を設定して撮影すると、色の付いたモ ノクロ画像にすることができます。より印 象的な画像を撮影したいときに有効です。 [N:なし] [S:セビア] [B:青] [P:紫] [G:緑] から選ぶことができます。

ピクチャースタイルを登録する

応用

[ポートレート] や [風景] などの基本スタイルを選択し、好みにあわせて調整 して、[ユーザー設定 1] から [ユーザー設定 3] に登録することができます。設 定が異なる、複数のスタイルを用意しておきたいときに使用します。 また、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility からカメラに登録したスタイル をここで調整することもできます。

1 [ピクチャースタイル] を選ぶ

- [△] タブの [ピクチャースタイル] を選び、 〈SET > を押します。
- ⇒ スタイル選択画面が表示されます。

ピクチャースタイル	
Nニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
○ F 忠実設定	0, 2, 2, 0, 0, 0
産業モノクロ	4, 2, 4, 0, N, N
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	オート
回21ユーザー設定2	オート
◎3コーザー設定3	オート
INFO 詳細設定	SET OK

座11ユーザー設定1

.

00------**1**

. .

MENU 5

詳細設定

●シャーブネス

に強さ

€細かさ

Gしきい値 ●コントラスト

ピクチャースタイル オート

4	レーサ	一訪	返し.	C 1	氏ル	S١
	-			-		-

 【ユーザー設定*】を選び〈INFO〉ボタン を押します。

3 〈SET〉を押す

 [ピクチャースタイル] が選ばれた状態で (SET)を押します。

詳細設定	座11ユーザー設定1
オート	ディテール重視
スタンダード	ニュートラル
ポートレート	忠実設定
風景	モノクロ
	SET OK

4 基本にするスタイルを選ぶ

- 基本にするスタイルを選び、〈SET〉を 押します。
- EOS 用ソフトウェアの EOS Utility か ら登録したスタイルを調整するときは、 この操作で選択します。





ピクチャースタイル	
፼Nニュートラル	0, 2, 2, 0, 0, 0
EEEE実設定	0, 2, 2, 0, 0, 0
<u>≊</u> Mモノクロ	4, 2, 4, 0, N, N
◎ 1 ユーザー設定1	風景
空2ユーザー設定2	オート
座3コーザー設定3	オート
INFO 詳細設定	SET OK

5 項目を選ぶ

[シャープネス]の[強さ]などの項目を選び、
 〈SET〉を押します。

6 内容を設定する

- く

 を押して効果の度合いを設定し、

 定し、

 を押します。
 詳しくは、
 「ピクチャースタイルを調整する

 する
 (□125)を参照してください)。
- 〈MENU〉ボタンを押すと内容が登録され、スタイル選択画面に戻ります。
- → [ユーザー設定*]の右に、基本にしたスタ イルが表示されます。
- [ユーザー設定*] にスタイルがすでに登録されているときは、手順4で基本に するスタイルを変更すると、登録されているスタイルの設定内容が無効にな ります。
 - ●【+:設定解除】の【カメラ設定初期化】(□273)を行うと、【ユーザー設定*】に 設定したスタイルと内容が初期化されます。なお、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility から登録したスタイルは、設定した内容のみ初期化されます。
- 登録したスタイルで撮影するときは、122ページの手順2で、【ユーザー設定*】
 を選択してから撮影します。
 - ピクチャースタイルファイルのカメラへの登録方法については、EOS Utility使用説明書を参照してください。

明かりにあわせて撮影する

ホワイトバランス(WB)は、白いものを白く写すための機能です。通常 はオート[MM](雰囲気優先)、[MMM W](ホワイト優先)で適切なホワイト バランスが得られます。オートで自然な色あいにならないときは、光源別 にホワイトバランスを選択したり、白い被写体を撮影して手動で設定しま す。

かんたん撮影ゾーンでは、[MMB](雰囲気優先)に自動設定されます(<भ)とモード時は、[MMBw](ホワイト優先))。



- 1 [ホワイトバランス] を選ぶ
 - [△] タブの [ホワイトバランス] を選び、 (SET) を押します。
 - → [ホワイトバランス] が表示されます。



- 2 ホワイトバランスを選ぶ
 - 項目を選び、〈SET〉を押します。
 - 〈※〉<▲>〈▲〉〈※〉<
 だときに表示される「約****K」(K: ケルビン)は、設定される色温度です。

ホワイトバランスについて

人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという 順応性があります。デジタルカメラでは、照明光の色温度に応じて色の基 準となる白を決め、ソフトウェア的に色あいを調整することで、自然な色 あいで撮影することができます。

オートホワイトバランスの設定

[MB](雰囲気優先)では、白熱電球(タングステン光)下などで撮影したときに、その場の雰囲気を重視してやや赤みがかった写真になります。 [MBW](ホワイト優先)を選ぶと、赤みの少ない写真にすることができます。 なお、従来機種のEOSデジタルカメラのオートホワイトバランスに合わせたいときは、[MBD](雰囲気優先)を選びます。

1 [ホワイトバランス] を選ぶ

- [△] タブの [ホワイトバランス] を選び、 (SET) を押します。
- → [ホワイトバランス] が表示されます。
- 2 [AWB] を選ぶ



オート(雰囲気優先)

🟧 💥 🏝 🔺 🗯 💈 🎿

SET OK

ホワイトバランス

INFO AWE = AWEWD

3 項目を選ぶ

- 【オート(雰囲気優先)]または【オート(ホワイト優先)]を選び、〈SET〉を押します。
 「加日:オート(雰囲気優先)
 「加日:オート(ホワイト優先)
- [mmw] (ホワイト優先) 設定時の注意事項
 赤みのある被写体の色が薄くなることがあります。
 画面内に複数の光源が含まれるときは、赤みの少ない写真にならないことがあります。
 - ストロボ使用時は【WB】(雰囲気優先)と同じ色あいになります。

マニュアルホワイトバランス

マニュアルホワイトバランス(MWB)は、撮影場所の光源にあわせてホ ワイトバランスを設定するときに使用します。必ず撮影する場所の光源下 で一連の操作を行ってください。



1	白い被写体を撮影する
	ファインダーをのぞき

- ファインダーをのぞき、図の点線の枠 内全体に、白い無地の被写体がくるようにします。
- 手動でピントを合わせ、白い被写体が 標準露出になるように撮影します。
- ホワイトバランスはどの設定でも構い ません。
- 2 [MWB 画像選択]を選ぶ
 - [▲]タブの[MWB画像選択]を選び、〈SET〉 を押します。
 - → MWB 画像選択画面が表示されます。

- 手順1で撮影した画像を選び、〈SET〉 を押します。
- ➡ 表示されるメッセージ画面で [OK] を選 ぶとデータが取り込まれます。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT4
ホワイトバランス	AWB
MWB画像選択	
WB補正/BKT設定	0,0/±0
色空間	sRGB
ピクチャースタイル	オート
	MENU 🕤

M			
	SET 🔜	MENU 🕤	



- 4 [▲」 (マニュアル)] を選ぶ
 [▲] タブの [ホワイトバランス] を選び、
 - 〈**SET**〉を押します。
 - [▲▲ (マニュアル)]を選び〈SET〉を押します。
- 手順1で撮影した画像の露出が、標準露出から大きく外れていると、正確な ホワイトバランスが設定されないことがあります。
 - ピクチャースタイルを【モノクロ】に設定して撮影した画像(皿122)、クリエイティブフィルターで撮影した画像、撮影後にクリエイティブフィルター処理した画像、トリミングした画像、他のカメラで撮影した画像は、手順3で選択できません。

明かりに対する色あいを補正する

応用

設定しているホワイトバランスを補正することができます。この機能を使 うと、市販の色温度変換フィルターや、色補正用フィルターと同じような 効果を得ることができます。補正幅は各色9段です。

特に色温度変換フィルターや、色補正用フィルターの役割と効果を理解さ れた、上級者向けの機能です。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT4
ホワイトバランス	AWB
MWB画像選択	
WB補正/BKT設定	0,0/±0
色空間	sRGB
ピクチャースタイル	オート
	MENU 🗂

ホワイトバランス補正



設定例:A2, G1



- [WB 補正 /BKT 設定]を選ぶ
 - [▲] タブの [WB 補正 /BKT 設定] を選び、
 〈SET〉を押します。
 - → WB 補正 /WB ブラケティング設定画面 が表示されます。
- 2 ホワイトバランスを補正する
 - 〈▲〉〈▼〉または〈◀〉〈►〉を押して、 画面上の「■」を希望する位置に移動し ます。
 - Bはブルー、Aはアンバー、Mはマゼ ンタ、Gはグリーンの意味です。移動 方向寄りの色に補正されます。
 - 画面右の「SHIFT」に補正方向と、補 正量が表示されます。
 - 〈 価〉ボタンを押すと [WB 補正 /BKT 設定]
 の設定が一括解除されます。
 - 〈SET〉を押すと設定が終了し、メニュー に戻ります。
- WB 補正時に、ファインダー内と液晶モニターに〈!〉を表示することができます(皿457)。
 - ブルー/アンバー方向の1段は、色温度変換フィルターの約5ミレッドに 相当します(ミレッド:色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用 される色温度の単位)。

ホワイトバランスを自動的に変えて撮る

1回の撮影で色あいの異なる3枚の画像を記録することができます。設定 されているホワイトバランスの色温度を基準に、ブルーとアンバー寄りの 色あい、またはマゼンタとグリーン寄りの色あいに補正した画像が記録さ れます。この機能をホワイトバランスブラケティング(WB-BKT)撮影と いいます。設定できる補正幅は、1段ステップ±3段です。



B/A 方向 ±3 段のとき



補正幅を設定する

- 「ホワイトバランス補正」(□134)の 手順2で〈ご〉を回すと、画面上の 「■」が「■■■」(3点)に変わります。 右に回すとB/A方向、左に回すとM/ G方向のブラケティングになります。
- → 画面右の「BKT」にブラケティング方 向と、補正幅が表示されます。
- 〈 価〉ボタンを押すと [WB 補正 /BKT 設定] の設定が一括解除されます。
- 〈SET〉を押すと設定が終了し、メニュー に戻ります。

記録される順序について

(1) 基準ホワイトバランス (2) ブルー (B) 寄り (3) アンバー (A) 寄り、 または (1) 基準ホワイトバランス (2) マゼンタ (M) 寄り (3) グリーン (G) 寄りの順に画像が記録されます。

- ♥ WB ブラケティング撮影時は、連続撮影可能枚数が少なくなり、撮影可能枚数も約 1/3 になります。
 - 1回の撮影で3枚の画像を記録するため、通常の撮影よりもカードに画像を 記録する時間が長くなります。
- WB 補正や AEB 撮影と組み合わせることができます。AEB 撮影と組み合わせたときは、合計 9 枚の画像が記録されます。
 - ライブビュー撮影時は、ホワイトバランスのマークが点滅します。
 - 「**BKT**」は、Bracketing:ブラケティングの略です。

明るさ・コントラストを自動補正す 📟 る

撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときに、明るさ・コントラストを自動的に補正することができます。この機能を「オートライティング オプティマイザ」といいます。初期状態では、【標準】に設定されています。 JPEG 画像は、撮影時に補正されます。

かんたん撮影ゾーンでは、【標準】に自動設定されます。



3 撮影する

 必要に応じて、明るさ・コントラスト が補正された画像が記録されます。



- で撮影したいときは、[しない] に設定してください。
- 撮影条件により、ノイズが増えることがあります。
- 【強め】設定時には、連続撮影可能枚数が少なくなったり、カードに記録する
 時間が長くなることがあります。

 手順2でくINFO>ボタンを押して[マニュアル露出時はOFF]の[√]を外すと、〈M〉 モードでも、オートライティングオプティマイザ機能が設定できるようにな ります。

高輝度側・階調優先の設定

画像のハイライト部分の白とびを緩和することができます。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT3
露出補正/AEB設定 321.01.	.2.:3
▲ISO感度に関する設定	-
オートライティングオプティマイザ	5
高輝度側・階調優先	OFF
測光モード 🔘	
MEN	US

- 1 [高輝度側・階調優先] を選ぶ
 - [△] タブの [高輝度側・階調優先] を選び、 (SET) を押します。

高輝度側・階調	周優先	
	する	
OFF	D+	D+2
		CET OK
		SELOK

2 内容を設定する

- [する]を選んだときは、高輝度(ハイラ イト)側の階調表現性が向上します。グ レーからハイライトまでの階調がより 滑らかになります。
- 【強】設定時は、撮影シーンによって【する】設定時よりもさらに白とびを緩和することができます。

3 撮影する

- ⇒ 高輝度側・階調優先による処理が行われた画像が記録されます。
- ・ ノイズが若干増えることがあります。
 - 動画撮影時は、【強】は選択できません。
 - 「強」に設定しても、撮影シーンによっては、思い通りの効果が得られないことがあります。

ノイズ低減機能を設定する

高感度撮影時のノイズ低減

画像に発生するノイズを低減することができます。すべての ISO 感度で作動しますが、特に高 ISO 感度撮影時に有効です。低 ISO 感度撮影時は、低輝度部(暗部)のノイズをさらに低減することができます。ノイズの程度に応じて設定を変更します。



SET OK

【強め】よりも高画質なノイズ低減処理が行われます。1回の撮影で4 枚連続撮影し、自動的に画像の位置を合わせながら合成を行い、1枚のJPEG画像が記録されます。

なお、記録画質が RAW、RAW+JPEG に設定されているときは、【マ ルチショットノイズ低減機能】は設定できません。

3 撮影する

 ノイズ低減処理が行われた画像が記録 されます。

応用

 マルチショットノイズ低減機能設定時に、ファインダー内に 〈!〉を表示す ることができます (□ 457)。

↓ [マルチショットノイズ低減機能] 設定時について

- 手ブレなどにより画像のズレ量が大きいときは、ノイズ低減効果が小さくなることがあります。
- 手持ち撮影のときは手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ることがあります。
- 格子模様、ストライプ模様のような繰り返しパターンや、画面全体が平坦で 単調なときは、位置合わせが正常に行われないことがあります。
- 4 枚連続撮影中に被写体の明るさが変化したときは、画像に露出ムラが発生 することがあります。
- 撮影後にノイズ低減処理と画像合成を行ってからカードに記録するため時間 がかかります。画像処理中は、ファインダー内に「buSy」が表示され、処 理が終わるまで次の撮影はできません。
- AEB 撮影、WB ブラケティング撮影はできません。
- 【△:長秒時露光のノイズ低減】、AEB撮影、WB ブラケティング撮影が設定されているときは、【マルチショットノイズ低減機能】は設定できません。
- ストロボ撮影はできませんが、暗い場所では AF 補助光が光るよう、あらか じめストロボを上げておくことをおすすめします。 なお、AF 補助光は、【●: AF 補助光の投光 の設定に応じて投光されます。
- バルブ撮影時は、【マルチショットノイズ低減機能】は設定できません。
- 電源を切ったり、撮影モードをかんたん撮影ゾーンにしたり、バルブ撮影や 動画撮影にすると、設定が自動的に【標準】になります。
- [□:ダストデリートデータ取得]は設定できません。

長秒時露光のノイズ低減

露光時間 1 秒以上で撮影した画像に対して、ノイズを低減することができ ます。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5 6	SHOOT5
長秒時露光のノイズ低減	OFF
高感度撮影時のノイズ低減	-10
ダストデリートデータ取得	
ライブビュー撮影 する	
	MENU 🕤

1 [長秒時露光のノイズ低減]を選ぶ

[△] タブの [長秒時露光のノイズ低減] を選び、〈SET〉を押します。

長秒時露光のノイズ低減				
しない				
	OFF	AUTO	ON	
露州行れ	と 時間1秒 Dれます	以上のときに	低減処理が	
			SET OK	

2 低減内容を設定する

内容を選び 〈SET〉を押します。

• [自動]

露光時間1秒以上で撮影した画像に対し、長秒時露光特有のノイズが 検出された場合に自動低減処理が行われます。通常は、この設定で十 分な効果が得られます。

• [する]

露光時間 1 秒以上で撮影した画像に対し、常に低減処理が行われます。 [自動] で検出できないノイズがあったときに [する] で撮影すると、ノ イズを低減できることがあります。

3 撮影する

- ノイズ低減処理が行われた画像が記録 されます。
- [自動] [する] 設定時は、撮影後、ノイズ低減処理のために露光時間と同じ時間が必要となることがあります。この場合、低減処理が終わるまで次の撮影はできません。
 - ISO1600以上の感度で撮影すると、[しない] [自動] 設定時よりも [する] 設定時の方が画像のザラつきが多くなることがあります。
 - [自動] [する] 設定時に、ライブビュー表示の状態から長秒時露光を行うと、 ノイズ低減処理中は、「BUSY」が表示され、処理が終了するまでライブビュー 表示は行われません(次の撮影はできません)。

レンズの光学特性による影響を補正 📾 する

レンズの光学特性によって、画像の四隅が暗くなったり、画像にゆがみが 生じたりするなどの現象が発生します。[レンズ光学補正]の機能を使用する ことで、これらの現象を補正することができます。

	撮影	0 定				
1 3	2 3	4	5	6		SHOOTI
記録	録画質				A L	
撮	影画像(の確認	忍時間	8	2秒	
カ・	ードな	1	J-;	ズ		ON
	ンズ光	学補i	F			-
			_			
ス	トロボ	制御	_			-
ス	トロボ	制御	_			-

- 1 [レンズ光学補正] を選ぶ
 - [△] タブの [レンズ光学補正] を選び、 (SET) を押します。

レンズ光学補正	
EF-S18-55mm f/4-5.	6 IS STM
周辺光量補正	ON
歪曲収差補正	OFF
デジタルレンズオプティ	マイザ ON 🗟
	MENU 🕤

周辺光量補正

EF-S18-55mr

補正データあ

しない

2 項目を選ぶ

			 3	Γ
n f/4-5.6	IS STM			2
J				
		ON		
		OFF		

SET OK

- 3 [する] を選ぶ
 - 装着しているレンズの名称と、【補正デー タあり】が表示されていることを確認します(ただし、【回折補正】設定時は、【補 正データあり】は表示されません)。
 - 【補正データなし】や【図】マークが表示されたときは、「デジタルレンズオプティマイザ」(①144)を参照してください。

4 撮影する

 レンズ光学補正が行われた画像が記録 されます。

周辺光量補正

画像の四隅が暗くなる「周辺光量の低下」を補正することができます。



- 撮影条件により、画像の周辺部分にノイズが発生することがあります。
- ISO 感度が高くなるほど、補正量が少なくなります。
- EOS 用ソフトウェアの Digital Photo Professional で最大補正を行った ときよりも、控えめに補正されます。
 - 補正用データがカメラに登録されている場合は、かんたん撮影ゾーンでは自動的に周辺光量補正が行われます。

歪曲収差補正

画像にゆがみが生じる「歪曲収差」を補正することができます。

- ゆがみの補正が行われるため、撮影時に見えていた範囲よりも狭い範囲が記録されます(画像の周辺部分が少しトリミングされ、解像感が若干低下します)。
 - 歪曲収差補正の設定により、画角がわずかに変化することがあります。
 - 拡大表示を行ったときは、ゆがみが補正されていない映像が表示されます。
 - ・ 歪曲収差補正が行われた画像には、ダストデリートデータ(□277)は付加されません。
 - ファインダー撮影のときは、再生時に表示される AF フレーム表示は歪量に よりわずかにずれる可能性があります。
- 補正用データがカメラに登録されている場合は、〈SCN〉モードの〈榊〉では自動的に歪曲収差補正が行われます。

デジタルレンズオプティマイザ

レンズの光学特性により生じる諸収差や、回折現象、ローパスフィルター に起因した解像劣化を補正することができます。

なお、「デジタルレンズオブティマイザ」で「補正データなし」や「塗」が表示された ときは、EOS Utilityを使用して、レンズの補正用データをカメラに登録 することができます。詳しくは、EOS Utility使用説明書を参照してくだ さい。

- ↓ 撮影条件により、補正効果とともにノイズが強調されることがあります。また、画像に輪郭強調が強くかかることがあります。必要に応じてピクチャースタイルのシャーブネスの調整を行ったり、「デジタルレンズオブティマイザ」を[しない]に設定して撮影してください。
 - ISO 感度が高くなるほど、補正量が少なくなります。
 - 動画撮影時は、「デジタルレンズオブティマイザ」は表示されません(補正できません)。
- 「ジタルレンズオブティマイザ」を「する」に設定したときは、「色収差補正」「回折補正」は表示されませんが、ともに「する」の設定で撮影されます。
 - 補正用データがカメラに登録されている場合は、かんたん撮影ゾーンでは自動的にデジタルレンズオプティマイザによる補正が行われます。

色収差補正

被写体の輪郭部分に色のにじみが生じる「色収差」を補正することができ ます。

「ジタルレンズオブティマイザ」を「する」に設定したときは、「色収差補正」は表示 されません。
回折補正

絞りの影響により画像の鮮鋭さが低下する「回折現象」を補正することが できます。

- ↓ 撮影条件により、補正効果とともにノイズが強調されることがあります。
 - ISO 感度が高くなるほど、補正量が少なくなります。
 - 動画撮影時は、【回折補正】は表示されません(補正できません)。
- 「回折補正」では回折現象だけでなく、ローバスフィルターなどの影響による 解像劣化も補正されます。そのため、開放絞り付近でも補正効果があります。
 - [デジタルレンズオブティマイザ]を「する]に設定したときは、[回折補正]は表示されません。

各補正共通注意事項

- 撮影した JPEG 画像の周辺光量低下、色収差、歪曲収差、回折現象を、後から補正することはできません。
- 他社製レンズ使用時は、【補正データあり】と表示されていても、【しない】に設定 することをおすすめします。
- 画面の端のほうを拡大表示したときは、記録されない範囲が表示されること があります。
- 距離情報を持たないレンズを使用したときは、補正量が少なくなります(回 折補正を除く)。

各補正共通事項

- レンズ光学補正の効果は、使用レンズや撮影条件などにより異なります。また、使用レンズや撮影条件などにより、効果が分かりにくい場合があります。
- 補正の効果が分かりにくいときは、撮影後に画像を拡大して確認することを おすすめします。
- エクステンダーやライフサイズコンバーター装着時にも補正が行われます。
- 補正データがカメラに登録されていないレンズで撮影したときは、補正しない)と同じ撮影結果になります(回折補正を除く)。
- 必要に応じて、EOS Utility 使用説明書をあわせて参照してください。

色の再現範囲を設定する

再現できる色の範囲(色域特性)のことを、色空間といいます。このカメ ラでは、撮影する画像の色空間を sRGB(エスアールジービー)、Adobe RGB(アドビアールジービー)から選ぶことができます。なお、一般的な 撮影のときは、sRGB をおすすめします。

かんたん撮影ゾーンでは、[sRGB] に自動設定されます。

1 [色空間] を選ぶ

 [△] タブの [色空間] を選び、〈SET〉 を押します。

応用

- 14	2	撮影	設定				
1	2	З	4	5	6	SHOOT4	
f	も空	1			▶ sRGB		
					Adob	e RGB	

2 色空間を設定する

 [sRGB] または [Adobe RGB] を選び、 (SET) を押します。

Adobe RGB について

主に商用印刷などの業務用途で使用します。画像処理と Adobe RGB、 DCF 2.0 (Exif 2.21 以上) についての知識がない方にはおすすめできま せん。sRGBのパソコン環境や、DCF 2.0 (Exif 2.21 以上) に対応して いないプリンターでは、とても控えめな感じに仕上がるため、撮影後、パ ソコンのソフトウェアなどで画像処理を行う必要があります。

- 色空間を Adobe RGB に設定して撮影した静止画は、ファイル名の先頭文字が「_」(アンダーバー)になります。
 - ICC プロファイルは付加されません。ICC プロファイルについては、Digital Photo Professional 使用説明書を参照してください。

撮影目的にあわせた 応用撮影



応用撮影ゾーンでは、シャッタースピー ドや絞り数値を選択したり、露出を自分 の好みに変えるなど、カメラの設定を思 いどおりに変えることで、さまざまな撮 影ができます。

- シャッターボタンを半押ししたあとで指を離しても、タイマーの働きにより、ファインダー内に露出値が約4秒間表示されます。
- ページタイトル右の MBは、応用撮影ゾーン限定の機能であることを示しています。

電子ダイヤルガイドについて

プログラム AE 撮影(P モード)

被写体の明るさに応じて、カメラがシャッタースピードと絞り数値を自動 的に設定します。これをプログラム AE といいます。

* 〈**P**〉は、Program(プログラム)の略です。

* AE は、Auto Exposure(オートエクスポージャー)の略で自動露出のことです。





1 モードダイヤルを (P) にする



2 ピントを合わせる

- ファインダーをのぞいて、AF フレーム を被写体に合わせ、シャッターボタン を半押しします。
- ⇒ ピントが合うと、ピント合わせを行ったAFフレーム内の点が一瞬赤く光り、 ファインダー内右下に合焦マーク〈●〉が点灯します(ワンショットAF時)。
- シャッタースピードと絞り数値が自動 的に決まり、ファインダー内に表示さ れます。



- 3 表示を確認する
 - シャッタースピードと絞り数値が点滅していなければ、標準露出です。

4 撮影する

- 構図を決め、シャッターボタンを全押 しします。
- 手順1で、撮影モードの説明が表示されたときは、〈SET〉を押すと説明が 消えます(¹¹55)。

🔆 撮影のポイント

 ISO 感度を変える。内蔵ストロボを使う 被写体や周囲の明るさに応じて ISO 感度(□119)を変えたり、内 蔵ストロボ(□170)を使います。

プログラムを変えることができる(プログラムシフト)

シャッターボタンを半押ししたあと、〈 ()を回すと、シャッタースピー ドと絞り数値の組み合わせ(プログラム)を変えて撮影することがで きます。プログラムシフトは、撮影すると自動的に解除されます。なお、 ストロボ使用時はシフトできません。



シャッタースピードの「30"」と小さな絞り数値が点滅す るときは、被写体が暗すぎます。ISO 感度を上げるか、ス トロボを使用してください。 シャッタースピードの「4000」と大きな絞り数値が点滅 するときは、被写体が明るすぎます。ISO 感度を下げてく ださい。

📱 〈 P 〉 と〈 🖾 〉 (シーンインテリジェントオート) の違いについて

〈広[†]〉モードのときは失敗を防ぐために、AF動作や測光モードなど、多くの機能が自動的に設定され、変更できる機能が限定されています。それに対して〈**P**〉モードのときは、自動的に設定されるのはシャッタースピードと絞り数値だけで、AF動作や測光モードなどの機能を自由に設定することができます。

被写体の動きを表現する (Tv モード)

動きの速い被写体が止まっているような写直や、ブレているような写直、 流れているような写真は、モードダイヤルの〈**Tv**〉(シャッター優先 AE) を使って撮影します。

* 〈**Tv**〉は、Time value(タイムバリュー)の略で時間量のことです。



流動感のある写直



Tν 1/125 121±





動きを止めた写直 (遅いシャッタースピード:1/30秒) (速いシャッタースピード:1/2000秒)

1 モードダイヤルを〈Tv〉にする

- 2 シャッタースピードを設定する
 - 「撮影のポイント」(□151)を参考に してシャッタースピードを決めます。
 - シャッタースピードは、〈ぷふ〉を右に 回すと速くなり、左に回すと遅くなり ます。
- 3 撮影する
 - ピントを合わせてシャッターボタンを 全押しすると、設定したシャッタース ピードで撮影されます。

📱 シャッタースピードの表示

液晶モニターでは、シャッタースピードを分数で表示していますが、ファインダー内では、その分母のみ表示しています。なお、「0"5」は 0.5 秒を、「15"」は 15 秒を表しています。

🔆 撮影のポイント

- 動きの速い被写体が、止まっているような写真にするには 動きの速さにもよりますが、シャッタースピードの数値を1/4000 ~ 1/500 秒に設定します。
- 子どもや動物が走る様子を、躍動感ある写真にするには

シャッタースピードの数値を 1/250 ~ 1/30 秒に設定し、被写体を ファインダーで追い続けながらシャッターボタンを押します。望遠レ ンズを使うときは、手ブレしないようにカメラをしっかり構えてくだ さい。

川の流れや噴水を、流動感ある写真にするには

シャッタースピードを、1/30 秒以下の遅い速度に設定します。手持ち撮影では手ブレしますので、カメラを三脚に固定して撮影してください。

を
絞り数値が点滅しないシャッタースピードを設定する

シャッターボタンを半押しして、絞り数値が表示され ている状態でシャッタースピードを変えると、露出(撮 像素子に入る光の量)を一定にするために、絞り数値 も一緒に変わります。このとき、絞り数値の調整範囲 を超えると、標準露出にならないことを知らせるため に絞り数値が点減します。



写真が暗くなるときは、小さな絞り数値が点滅します。〈 〈☆〉〉を左に 回してシャッタースピードを遅くするか、ISO 感度を上げます。 写真が明るくなるときは、大きな絞り数値が点滅します。〈 〈☆〉〉を右 に回してシャッタースピードを速くするか、ISO 感度を下げます。

内蔵ストロボを使う

自動設定された絞り数値に対し、主被写体が適切な露出になるように、ストロボの発光量が自動的に調整されます(自動調光)。

ピントの合う範囲を変える(Av モー ド)

背景をぼかした写真や、手前から遠くまでピントの合った写真など、ピントの合う範囲を調整した写真は、モードダイヤルの〈Av〉(絞り優先 AE)を使って撮影します。

*〈**Av**〉は、Aperture value(アパチャーバリュー)の略でレンズの中に入って いる「絞り」の開口量のことです。



背景をぼかした写真 (小さい絞り数値:F5.6)



背景にもピントの合った写真 (大きい絞り数値:F32)



1 モードダイヤルを〈Av〉にする





-25 (5.6)

2a1a9a1a12150 anii [3]●



- 数値が大きいほどピントの合う範囲が 前後に広く(深く)なります。
- 数値は、〈 (ご) を右に回すと大きくなり(絞る)、左に回すと小さくなります (開ける)。
- 3 撮影する
 - ピントを合わせてシャッターボタンを 全押しすると、設定した絞り数値で撮 影されます。

🔄 絞り数値の表示

 数字が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。表示される絞り 数値はレンズによって異なります。カメラにレンズが付いていないときは、 表示が「00」になります。

🔆 撮影のポイント

- 絞り数値を大きくしたときや、暗い場所では手ブレに注意する 絞り数値を大きくするほどシャッタースピードが遅くなります。また、 暗い場所ではシャッタースピードが最長 30 秒になります。ISO 感度 を上げてカメラをしっかり構えて撮影するか、三脚に固定して撮影し てください。
- ピントの合う範囲は、絞り数値だけでなく、使用するレンズと撮影する距離によっても変わる

広角レンズはピントが前後方向に合う範囲が広いので、絞り数値をあ まり大きくしなくても手前から遠くまでピントの合った写真が撮影で きます。逆に望遠レンズでは、ピントの合う範囲が狭くなります。 また、ピントの合う範囲は、撮影する距離が近くなるほど狭くなり、 撮影する距離が遠くなるほど広くなります。

シャッタースピードが点滅しない絞り数値を設定する

シャッターボタンを半押しして、シャッタースピード が表示されている状態で絞り数値を変えると、露出(撮 像素子に入る光の量)を一定にするために、シャッター スピードも一緒に変わります。このとき、シャッター スピードの調整範囲を超えると、標準露出にならない ことを知らせるためにシャッタースピードが点滅しま す。



写真が暗くなるときは、「**30**"」(30秒)が点滅します。〈☆☆〉を左 に回して絞り数値を小さくするか、ISO 感度を上げます。

写真が明るくなるときは、「**4000**」(1/4000秒)が点滅します。〈 🗥 〉を右に回して絞り数値を大きくするか、 ISO 感度を下げます。

内蔵ストロボを使う

設定した絞り数値に対し、適切な露出になるようにストロボの発光量が自 動的に調整されます(自動調光)。シャッタースピードは、その場の明るさ に応じて自動設定されます(〇〇176)。

暗い場所では、主被写体は自動調光で、背景は自動設定される低速シャッ ターの組み合わせで、ともに標準露出の雰囲気のある写真になります(自 動スローシンクロ撮影)。手持ち撮影のときは手ブレに注意してください。 手ブレを防ぐには三脚の使用をおすすめします。

ピントの合う範囲を確認する

レンズの絞りは、撮影する瞬間だけ絞りの大きさ(開口量)が変わり、撮影していないときは、絞りが開いた状態になっています。そのため、ファ インダーやライブビュー映像で見えるピントの合う範囲は、常に狭く(浅く) なっています。

〈SET〉ボタンや〈DISP〉ボタンに以下の設定をすると、各ボタンを押し て被写界深度を確認することができます。ライブビュー映像を見ながら、 〈SET〉ボタンや〈DISP〉ボタンを押したまま絞り数値を変えると、ピン トの合う範囲がよく分かります。

- [+:カスタム機能 (C.Fn)]の [SET ボタンの機能]を [7: 絞り込み] に設定。

- [♥:カスタム機能 (C.Fn)] の [DISP ボタンの機能] を [1: 絞り込み] に設定。

露出を自分で決めて撮る(M モード)

シャッタースピードと絞り数値を自由に組み合わせて撮影することができ ます。露出は、ファインダー内の露出レベル表示を参考にして、自分で任 意に決めます。これをマニュアル露出といいます。

* <**M**> は、Manual (マニュアル)の略です。





 1/125
 #848.30"
 1/60
 1/4000

 1/125
 #86.30"
 1/60
 1/60

 F5.6
 F6.0
 F725

 (AVE)
 +

(1) 200 5.5 ^{2admintet2180} 400 (9)● (2)

- 3 シャッタースピードと絞り数値を設定 する
 - シャッタースピードは、〈 心 〉を回して設定します。
 - 絞り数値は、〈Av図〉ボタンを押しながら〈ごふ〉を回して設定します。

4 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- → ファインダー内に露出値が表示されます。
- 露出レベルマーク〈●〉で、標準露出からどのくらいずれているか、確認することができます。
 - (1) 標準露出指標
 - (2) 露出レベルマーク

5 露出を決めて撮影する

- 露出レベル表示を確認し、任意のシャッ タースピード、絞り数値を設定します。
- 標準露出から±2段を超えるときは、 ファインダー内の露出レベル表示の端 がく4〉またはく♪〉の表示になります(液 晶モニターの露出レベル表示は、±3 段を超えると、く4〉または〈♪〉の表示 になります)。

♥ • 設定した露出値は、動画撮影には引き継がれません。

ISO オート設定時の露出補正について

マニュアル露出撮影時に ISO 感度を [AUTO] に設定したときは、以下の方法で露出補正(単161)を行うことができます。

- [🗅 : 露出補正/ AEB 設定]
- クイック設定(□58)
- ISO オート設定時は、設定したシャッタースピードと絞り数値に対して標準 露出になるように ISO 感度が変動するため、意図した露出で撮影できないことがあります。そのときは露出補正を行ってください。
 - ISOオート設定時にストロボを使用したときは、露出補正量を設定しても補 正は行われません。
- □ (□:オートライティングオブティマイザ]で [マニュアル露出時は OFF] の [√] を外す と、〈M〉モードでもオートライティングオブティマイザ機能が設定できる ようになります (□136)。
 - ISO オート設定時に〈★〉ボタンを押すと、ISO 感度を固定(ロック)する ことができます。
 - 〈★〉ボタンを押して構図を変えると、〈★〉ボタンを押したときとの露出 差を露出レベル表示で確認することができます。
 - 〈P〉〈Tv〉〈Av〉モードで露出補正(□161)を行っていたときは、〈M〉 モード+ ISO オートに変更したときに、設定していた補正量が引き継がれま す。

内蔵ストロボを使う

設定した絞り数値に対し、主被写体が適切な露出になるようにストロボの 発光量が自動的に調整されます(自動調光)。なお、設定できるシャッター スピードの範囲は、1/200 秒~30 秒、バルブに制限されます。

BULB:長時間露光(バルブ)撮影



バルブ撮影は、シャッターボタンを押している 間だけ露光を行う機能で、打ち上げ花火などの 撮影に使用します。

156 ページの手順3で〈△△〉を左に回して 行くと、〈BULB〉(バルブ撮影)ができます。 撮影中は液晶モニターに露光経過時間(1)が表 示されます。

- カメラを強い光源(太陽や人工的な強い光源など)に向けないでください。 撮像素子やカメラの内部が損傷する恐れがあります。
 - 長時間のバルブ撮影を行うと、画像に含まれるノイズが多くなるため、多少 ザラついた画像になることがあります。
 - ISO オート設定時は ISO400 になります。
 - セルフタイマーとミラーアップ撮影を併用してバルブ撮影を行うときは、 シャッターボタンを全押しし続けてください(セルフタイマー作動秒時+バ ルプ撮影時間)。セルフタイマー作動中に、シャッターボタンから指を離すと、 シャッターが切れたような音がしますが、実際は撮影されていません。
- □ [●:長秒時露光のノイズ低減]を[自動]または[する]に設定すると、長秒露光時に発生するノイズを低減することができます(□140)。
 - バルブ撮影を行うときは、三脚とリモートスイッチ(別売/□471)の使用をおすすめします。
 - ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 (別売/ □471)を使ってバルブ撮影を行うこともできます。BR-E1のレリーズボタン(送信ボタン)を押すと、(2秒後またはすぐに)バルブ撮影が始まり、もう一度押すと終了します。
 - 露光経過時間の表示は、〈INFO〉ボタンを押すと消すことができます。

明るさの測り方を変える

被写体の明るさの測り方(測光モード)を、4 種類の中から選ぶことがで きます。通常は、評価測光をおすすめします。かんたん撮影ゾーンでは、 評価測光に自動設定されます(〈SCN: ☎〉〈Q: ↔〉モード時は、中央部 重点平均測光)。





1 [測光モード] を選ぶ

 [△] タブの [測光モード] を選び、〈SET〉 を押します。

応用

2 測光モードを設定する

項目を選び 〈SET 〉を押します。



③ 評価測光

逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シー ンに応じてカメラが露出を自動補正します。





③ 部分測光

逆光などで被写体の周辺に強い光があるときに有効で す。おおよそ左図の灰色部分が標準露出になるように 測光が行われます。

• スポット測光

被写体の特定の部分を測光するときに有効です。おお よそ左図の灰色部分が標準露出になるように測光が行 われます。上級者向けの測光モードです。

[] 中央部重点平均測光



画面中央部に重点を置いて、画面全体を平均的に測光 します。経験豊富な上級者向けの測光モードです。

自分の好みに明るさを調整する

応用

ストロボを使用しないときの撮影結果が、思いどおりの明るさになってい ないときに使用します。この機能は、〈M〉以外の応用撮影ゾーンで使用 できます。補正できる範囲は、1/3段ステップ+5段*です。

なお、〈**M**〉モード+ ISO オート設定時の露出補正については、157 ペー ジを参照してください。

* ライブビュー撮影時/動画撮影時、または【**心**:撮影画面表示】を【やさしい】に設定 しているときは±3段までです。



シャッターボタンを半押しして、ファインダー内または液晶モニターで露出レベル表示を確認します。



2 補正量を設定する

- 撮影結果が暗いときは、〈Av図〉ボタン を押しながら〈心ふ〉を右に回します(プ ラス補正)。
- 撮影結果が明るいときは、〈Av型〉ボタンを押しながら〈
 マイナス補正〉。

暗く(マイナス)補正



- 3 撮影する
 - 露出補正を解除するときは、補正量の 設定をく、の位置に戻します。
- [△:オートライティングオブティマイザ](□136)が、[しない]以外に設定されているときは、暗めにする露出補正(マイナス補正)を行っても、明るく撮影されることがあります。

• 設定した露出補正値は、動画撮影には引き継がれません。

- 電源スイッチを〈OFF〉にすると、露出補正の設定が解除されます。
 - ファインダー内の露出補正表示は±2段です。±2段を超えるときは、露 出レベル表示の端が〈◀〉または〈▶〉の表示になります。
 - ±2段を超える補正を行うときは、【△:露出補正/AEB設定】(□163)で 設定することをおすすめします。

明るさを自動的に変えて撮る

露出補正の応用機能で、1/3 段ステップ±2 段の範囲で、自動的に明るさの異なる3 枚の写真を撮影し、あとで一番好ましい明るさの写真を選ぶことができます。

この機能を使った撮影のことを、AEB (Auto Exposure Bracketing:オートエクスポージャーブラケティング)撮影といいます。



標準露出



暗くなるよう補正 (マイナス補正)



応用

明るくなるよう補正 (プラス補正)

Ľ	2	撮影詞	腚			
1	2	3	4	5	6	SHOOT3
9	1日2	補正/	AEB	設定		321012.:3
	als)感度	に関	する	設定	Ē -



- 1 [露出補正/AEB 設定] を選ぶ
 - [△] タブの [露出補正/AEB 設定] を選び、 (SET) を押します。

2 AEB レベルを設定する

- 〈 ご ふ 〉 を回すと AEB レベル (1) が設定 できます。
- 〈 ◀〉 〈 ▶ 〉 を押すと露出補正量が設定 できます。AEB と併用するときは、露 出補正値を中心に AEB 撮影が行われま す。
- 〈SET〉を押すと設定されます。
- ⇒ シャッターボタンを半押しすると、ファ インダーにAEBレベルが表示されます。

3 撮影する

 ピントを合わせてシャッターボタンを 全押しすると、標準露出→マイナス補 正→プラス補正の順に撮影されます。

AEB 撮影の解除

- 手順1、2の操作でAEBレベルの表示を消します(ゼロに設定します)。
- 電源スイッチ〈OFF〉、ストロボ充電完了などで、AEB 設定が自動解除されます。

🔅 撮影のポイント

- 連続撮影と組み合わせる
 ドライブモードを〈□」〉〈□」S〉(□113)に設定してシャッターボタンを全押しすると、標準露出→マイナス補正→プラス補正の順に3枚連続撮影して自動停止します。
- ドライブモードが1枚撮影(□/□⁵)のときは
 シャッターボタンを3回押して撮影してください。標準露出→マイナス補正→プラス補正の順に撮影されます。
- セルフタイマーやリモコン(別売)と併用できる
 セルフタイマー(〈心o〉〈心o〉)、ワイヤレスリモートコントローラー
 BR-E1〈i心〉またはリモートスイッチ RS-60E3を使うと、1回の
 撮影操作で、10秒後または2秒後に3枚連続撮影されます。なお、
 〈心c〉(□205)に設定したときは、設定した枚数の3倍の枚数が
 連続撮影されます。
- AEB 撮影中は、ファインダー内の〈★〉と AEB レベルが点滅します。
 - ストロボ使用時、【マルチショットノイズ低減機能】設定時、クリエイティブフィル ター撮影時、バルブ撮影時は、AEB撮影できません。
 - [△:オートライティングオブティマイザ](□136)が[しない]以外に設定されていると、AEB撮影による露出補正の効果が小さくなることがあります。

明るさを固定して撮る

ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに 使用します。〈★〉ボタンを押して露出を固定したあと、構図を変えて撮 影します。これをAEロック撮影といいます。逆光下の撮影などで有効です。





1 ピントを合わせる

シャッターボタンを半押しします。

応用

- ➡ 露出値が表示されます。
- 2 〈 🗙 〉 ボタンを押す
 - → ファインダー内に〈★〉が表示され、 露出が固定(AEロック)されます。
 - 〈★〉ボタンを押すたびに、そのときの 露出が AE ロックされます。
- 3 構図を決めて撮影する
 - 続けて AE ロック撮影をするときは、 〈★〉ボタンを押しながら、シャッター ボタンを押します。

AE ロックの効果

測光モード	AF フレーム選択(🛄 109)				
(📖 159)	自動選択	任意選択			
*	ピントを合わせた AF フレームを 中心にした露出値で AE ロック	選択されている AF フレームを中 心にした露出値で AE ロック			
	中央の AF フレームを中心にした園	露出値で AE ロック			

* レンズのフォーカスモードスイッチが〈**MF**〉のときは、中央の AF フレームを中 心にした露出値で AE ロックされます。

バルブ撮影時は、AE ロックできません。

カメラ内部の振動によるブレを防止 📾 する

超望遠レンズを使用した撮影のときや、近接(マクロ)撮影のときに、機 械的な振動(ミラーショック)が気になるときは、ミラーアップ撮影とい う方法を使います。

[♥:カスタム機能(C.Fn)]の[ミラーアップ撮影]を[1:する]に設定すると、ミラーアップ撮影ができます(□1456)。

1 ピントを合わせ、シャッターボタンを全押しする
 ⇒ ミラーが上がります。

2 もう一度シャッターボタンを全押しする

- → 撮影が行われ、ミラーが下がります。
- 撮影が終わったら、[ミラーアップ撮影]を[0:しない]に設定します。

🔆 撮影のポイント

セルフタイマー くご10 くじ2 を併用する

シャッターボタンを1回全押しするとミラーが上がり、10秒後または2秒後にセルフタイマー撮影が行われます。

• リモコン撮影する

カメラに手を触れずに撮影できますので、ミラーアップ撮影と併用す ることで、より効果的にカメラブレを防止できます(〇〇471)。

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 (別売) では、2 秒後レリー ズに設定してレリーズボタンを押すとミラーが上がり、2 秒後に撮影 されます。

リモートスイッチ RS-60E3 (別売) では、レリーズボタンを全押し するとミラーが上がり、もう一度全押しすると撮影されます。

- カメラを強い光源(太陽や人工的な強い光源など)に向けないでください。 撮像素子やカメラの内部が損傷する恐れがあります。
 - 晴天の真夏の海岸や、スキー場のように極端に明るいところでミラーアップ 撮影を行うときは、ミラーアップ安定後、速やかに撮影してください。
 - セルフタイマーとバルブ撮影を併用してミラーアップ撮影を行うときは、 シャッターボタンを全押しし続けてください(セルフタイマー作動秒時+バ ルブ撮影時間)。セルフタイマー作動中に、シャッターボタンから指を離すと、 シャッターが切れたような音がしますが、実際は撮影されていません。
 - ミラーアップ中は、撮影機能の設定、メニュー操作などはできません。
- ドライブモードを〈□♪〉〈□S> 〈③c〉に設定していても、1枚撮影になります。
 - [△:高感度撮影時のノイズ低減」が【マルチショットノイズ低減機能】に設定されているときは、【ミラーアップ撮影】の設定に関係なく、1回の撮影で4枚連続撮影できます。
 - ミラーアップしてから約30秒経過すると、ミラーが自動的に下がります。
 再度シャッターボタンを全押しすると、ミラーアップします。
 - ミラーアップ撮影を行うときは、三脚とワイヤレスリモートコントローラー BR-E1(別売/□471)またはリモートスイッチ RS-60E3(別売/□471)の使用をおすすめします。

AF 補助光の設定

内蔵ストロボ、または EOS 用の外部ストロボから、AF 補助光の投光を行うかを設定することができます。

6 撮影	設定			
1 2 3	4	5 6		SHOOT6
AF動作			ONE SHO	T AF
レンズの)電子式:	手動フ	オーカス	⊛+0FF
AF補助为	もの投光			ON
			P	AENU 🕤

- 1 [AF 補助光の投光] を選ぶ
 - [△] タブの [AF補助光の投光] を選び、 (SET) を押します。

AF補助光の投光 する ON しない OFF 外部ストロボの補助光のみ投光 R ホ外光方式の補助光のみ投光 IR SET OK

2 項目を選ぶ

 〈▲〉〈▼〉を押して項目を選び、〈SET〉 を押します。

[ON] する

必要に応じて AF 補助光が投光されます。 内蔵ストロボで AF 補助光を投光するときは、ストロボを上げます。

• [0FF] しない

AF 補助光は投光されません。AF 補助光を投光したくないときに設定します。

● [ヽ] 外部ストロボの補助光のみ投光

外部ストロボ使用時のみ、必要に応じて AF 補助光が投光されます。

[IR] 赤外光方式の補助光のみ投光

赤外光方式の AF 補助光機能を搭載した外部ストロボ使用時は、赤外 光による AF 補助光が投光されます。

- (G¹) 〈SCN〉 〈Q〉 モードのときは、あらかじめストロボを上げて、[AF補助光の投光] を [する] に設定することをおすすめします。
 - 外部ストロボのカスタム機能で【AF補助光の投光】が【しない】に設定されているときは、外部ストロボからのAF補助光は投光されません。

ストロボ撮影

この章では、内蔵ストロボ、または外部ストロボ(EL/EX シリーズスピードライト/別売)を使った撮影、メニュー画面からストロボの設定を行う方法について説明しています。

♥ • ストロボ撮影時は AEB 撮影はできません。

内蔵ストロボを使って撮る

室内や暗い場所、日中の逆光状態では、ストロボを上げてシャッターボタンを押すだけで、手軽にきれいな写真を撮ることができます。〈**P**〉では、 手ブレしにくいシャッタースピード(1/60~1/200秒)が自動設定されます。





- 1 ストロボを指で持ち上げる
 - 応用撮影ゾーンではストロボを上げる と、いつでもストロボ撮影ができます。
 - ストロボ充電中は、ファインダー内に [buSy」、液晶モニターに [BUSY] が表 示されます。
- 2 シャッターボタンを半押しする
 - ファインダーの左下に〈\$〉が表示されていることを確認します。



- 3 撮影する
 - ピントを合わせてシャッターボタンを 全押しすると、常にストロボが発光し ます。
- ストロボを上げるときは、アクセサリーシューからアクセサリーを外してく ださい。



• 明るい日中では、ISO 感度を下げる

ファインダー内の数値が点滅するときは、ISO 感度の数値を小さくします。

• レンズのフードを外す。被写体に近づきすぎない

レンズ先端にフードが付いていたり、被写体に近づきすぎると、スト ロボの光がさえぎられて、写真の下側が暗くなることがあります。大 切な撮影のときは、画像を再生して写真の下側が不自然に暗くなって いないか確認してください。

ストロボ調光補正を使って撮影する

ストロボ撮影のときに、被写体が思いどおりの明るさになっていない(ストロボの発光量を調整したい)ときに使用します。補正できる範囲は 1/3 段ステップ±2段です。

応用



- て、調光補正を解除します。
- [□:オートライティングオブティマイザ](□136)が、[しない]以外に設定されているときは、露出を暗めにする調光補正(マイナス補正)を行っても、明るく撮影されることがあります。
 - 外部ストロボ側(別売/単174)で調光補正を設定したときは、カメラ側から調光補正を行うことはできません(クイック設定、外部ストロボ機能設定)。なお、同時に設定されているときは、外部ストロボ側の設定が優先されます。
- 🍒 🔹 設定した補正量は、電源スイッチを〈OFF〉にしても記憶されています。

ストロボの発光量を固定して撮る(FE ロック)

画面の端に被写体を置いてストロボ撮影を行うと、背景などの影響により、 被写体が明るく/暗く写ることがあります。そのようなときは、FE ロッ ク機能を使います。被写体を適切な明るさにするための発光量を決めたあ と、構図を変えて(画面の端に被写体を置いて)撮影することができます。 EL/EX スピードライト使用時もこの機能を使うことができます。

* FE は、Flash Exposure:フラッシュエクスポージャーの略です。





シャッターボタンを半押しして、ファインダー内に〈\$〉が点灯していることを確認します。

応用



2 ピントを合わせる

- 3 〈★〉ボタンを押す
 - ファインダーの中央に被写体を置いて、

 ★ 、ボタンを押します。
 - ⇒ ストロボがプリ発光し、撮影に必要な 発光量が記憶されます。
 - → ファインダー内に一瞬「FEL」と表示され、〈
 \$*〉が点灯します。
 - 〈★〉ボタンを押すたびにプリ発光し、 撮影に必要な発光量が記憶されます。



4 撮影する

- 構図を決めてシャッターボタンを全押 しします。
- ⇒ ストロボが発光し、撮影されます。
- 被写体までの距離が遠すぎて、撮影結果が暗くなるときは〈\$〉が点滅します。
 被写体に近づいて、再度手順2~4の操作を行ってください。
 - ライブビュー撮影時は、FE ロックできません。

外部ストロボを使って撮る

EOS 用 EL/EX シリーズスピードライト

EL/EX スピードライト(別売)を使用すると、簡単にストロボ撮影を行う ことができます。

操作方法については、EL/EX スピードライトの使用説明書を参照してくだ さい。

ストロボ機能設定に対応していない EX スピードライト使用時は、設定できる機能が制限されます。

 ● EL/EX シリーズ以外のキャノン製スピードライトは、発光しません。
 ● 他社製の特定カメラ専用のストロボ、およびストロボ用付属品を使用すると、 カメラが正常に機能を発揮しないばかりでなく、故障の原因になります。

ストロボの機能を設定する

内蔵ストロボ、またはストロボ機能設定に対応した EL/EX スピードライト(外部ストロボ)使用時は、カメラのメニュー画面からストロボの機能を設定したり、外部ストロボのカスタム機能を設定することができます。

外部ストロボ使用時は、設定を行う前にストロボをカメラに取り付け、ス トロボの電源を入れておきます。

なお、外部ストロボの機能については、各スピードライトの使用説明書を 参照してください。



MENU 5

- 1 [ストロボ制御] を選ぶ
 - [△] タブの [ストロボ制御] を選び、〈SET〉 を押します。
- 2 項目を選ぶ
 - 設定する項目を選び、〈SET〉を押します。



設定初期化

ストロ	コボの発き	ť	
		発光	
	4 ^	4	3
			SET OK

[4](かんたん撮影ゾーンまたは P モード時)に設定すると、撮影状況に応じて自動発光します。

[4] に設定すると、撮影時に常時発光します。

[①](応用撮影ゾーン時)は、ストロボ発 光の禁止や、ストロボでの AF 補助光を利 用するときに選びます。

 [ストロボの発光]を[⑤]に設定しても、暗い場所など AF でピントが合いに くいときは、ストロボが連続的に光ることがあります(「AF 補助光の設定」 (〔〕168))。ストロボを発光させたくないときは、内蔵ストロボを手で押 し下げてください。

応用



_ ストロボ制御 E-TTL II調光方式 ↓ 評価調光 平均調光



スローシンクロ	
1/200-30秒自動	1/200 -30° A
1/200-1/60秒自動	1/200 -1/50 A
1/200秒固定	1/200
	SET OK

通常は、標準的なストロボ露出が得られる [評価調光] に設定します。[平均調光] に設定 すると、測光領域全体を平均的に測光しま す。状況に応じてストロボ調光補正が必要 です。上級者向けの設定です。

応用

〈Av〉〈P〉モードでストロボ撮影を行う ときの、ストロボ同調速度を設定すること ができます。

• [1/200-30 秒自動

明るさに応じてシャッタースピードが1/200~30秒の範囲で自動 設定されます。暗い場所では(撮影状況に応じて)自動的にシャッター スピードが遅くなり、スローシンクロ撮影になります。

• [1/200A] 1/200-1/60 秒自動

暗い場所でシャッタースピードが自動的に遅くならないようになりま す。被写体ブレや手ブレを防止したいときに有効です。ただし、被写 体はストロボ光により標準露出になりますが、被写体の背景が暗くな ることがあります。

• [1/200] 1/200 秒固定

シャッタースピードが 1/200 秒に固定されるため、[1/200-1/60秒自動] よりも被写体ブレや手ブレを抑えることができます。ただし、暗い場所では [1/200-1/60秒自動] よりも被写体の背景が暗くなります。

- スローシンクロ撮影を行いたいときは、[1/200-30秒自動] に設定してください。
 - [1/200秒固定] 設定時は、〈Av〉〈P〉モードでハイスピードシンクロを行う ことはできません。

[内蔵ストロボ機能設定] と [外部ストロボ機能設定]

下記の表に示す機能を設定することができます。なお、**[外部ストロボ機能設定]** で表示される機能は、使用するストロボによって異なります。

ストロボ制御	
ストロボの発光	\$
E-TTL II調光方式	評価調光
スローシンクロ	1/200 -1/60 A
内蔵ストロボ機能設定	Ĕ
外部ストロボ機能設定	Ē
外部ストロボカスタム	」機能設定
設定初期化	MENU 🕤

 [内蔵ストロボ機能設定] または [外部ストロボ 機能設定] を選びます。

応用

→ 機能設定画面が表示されます。【内蔵スト □ボ機能設定】では、明るく表示されてい る機能が選択・設定できます。



[内蔵ストロボ機能設定]

[外部ストロボ機能設定]

[内蔵ストロボ機能設定]と[外部ストロボ機能設定]で設定でき る主な機能

松悠台比	[内蔵ストロボ機能設定]	「人如っしっギ継総約今」	参照頁	
你发月它	通常発光	「「アロストロ小成肥設た」		
発光モード		0	QQ178	
シンクロ設定	0	0	QQ178	
FEB*		0		
調光補正	0	0	QQ172	
光量比制御		0		
センダー発光		0		
ズーム*		0		

* [FEB] (フラッシュエクスポージャーブラケティング)、[ズーム] については、それ ぞれの機能に対応したストロボの使用説明書を参照してください。

発光モード

外部ストロボ使用時は、撮影目的に応じて発光モードを選ぶことがで きます。

外部ストロボ機能設定 ETTL WIRELESS OFF Zoom AUTO 取> び22±0 【ヨヨ±0	 [E-IILI] は、ストロホの目動撮影かで きる、EL/EX スピードライトの標準的 なモードです。 [マニュアル発光] は、ストロボの[発光量] (1/128 - 1/1) た白分で決めて掲載)
۲۲۲L E-TTL II	する、上級者向けのモードです。
発光モード マニュアル発光 ETTL M EtA Et.M	 そのほかの発光モードについては、その発光モードに対応した外部ストロボの使用説明書を参照してください。
SET OK	

シンクロ設定

通常は、撮影開始直後にストロボが発光する[先幕シンクロ]に設定します。 [後幕シンクロ] に設定すると、シャッターが閉じる直前にストロボが発 光します。遅いシャッタースピードと組み合わせると、走行中の車の ライトなどの軌跡を自然な感じで写すことができます。なお、後幕シ ンクロと [E-TTL II] の組み合わせのときは、シャッターボタンを全押し したときと撮影終了直前の計2回、ストロボが発光します。また、シャッ タースピードが 1/100 秒以上の速い速度のときは、自動的に先幕シ ンクロ撮影になります。

外部ストロボ使用時は、[**ハイスピード**](**\$**_H)も選択できます。詳しくは、 ストロボの使用説明書を参照してください。

• 調光補正

「ストロボ調光補正を使って撮影する」(Q172)を参照してください。

外部ストロボカスタム機能を設定する

[外部ストロボカスタム機能設定] で表示される内容は、使用するストロボによっ て異なります。



 外部ストロボカスタム機能設定 オートパワーオフ 	1,
0:入	
1:切	

1 カスタム機能を表示する

 外部ストロボ撮影ができる状態で【外部 ストロボカスタム機能設定】を選び、〈SET〉 を押します。

2 カスタム機能を設定する

 <
 <
 <
 を設定します。操作方法はカメラのカス タム機能の設定と同じです(□453)。

設定初期化/一括解除する

MENU 🕤

応用

ストロホ制御
ストロボの発光 🖇
E-TTL II調光方式 評価調光
スローシンクロ ¹ 器A
内蔵ストロボ機能設定
外部ストロボ機能設定
外部ストロボカスタム機能設定
設定初期化 MENU ♪

設定初期化

-

内蔵ストロボ設定初期化

外部ストロボ設定初期化 外部ストロボカスタム機能一括解除

1 [設定初期化] を選ぶ

- [□:ストロボ制御]の[設定初期化]を選び、
 〈SET〉を押します。
- 2 初期化する内容を選ぶ
 [内蔵ストロボ設定初期化]
 - [内蔵ストロボ設定初期化] [外部ストロボ設定初期化] [外部ストロボカスタム機能一括解除]のいずれかを選び、〈SET〉を押します。
 - [OK] を選ぶとストロボの設定が初期化 されます。

 【ストロボ制御】の画面から、ストロボのパーソナル機能(P.Fn)の設定・解除 はできません。ストロボを直接操作して設定してください。

応用

液晶モニターを見ながら撮 影する (ライブビュー撮影)

カメラの液晶モニターに表示される映像を見ながら撮影すること ができます。この撮影方法を「ライブビュー撮影」といいます。

- カメラを手に持って液晶モニターを見ながら撮影すると、手 ブレにより、鮮明な画像が得られないことがあります。その ときは、三脚などの使用をおすすめします。
- 📱 リモートライブビュー撮影について
 - EOS 用ソフトウェアの EOS Utility (皿491) がインストール されたパソコンにカメラを接続すると、パソコンの画面を見なが らリモート撮影することができます。詳しくは、EOS Utility 使 用説明書を参照してください。
液晶モニターを見ながら撮影する



1 ライブビュー映像を表示する

- ⇒ 液晶モニターに映像が表示されます。 〈▲ > モード時は、画面の左上にカメ ラが判別したシーンアイコンが表示されます(□185)。
- ライブビュー映像は、実際の撮影結果 に近い明るさで表示されます。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しすると、設定されている AF 方式(①196)でピント合わせが行われます。
- 画面にタッチして人物の顔や被写体を 選ぶこともできます(凹207)。
- 3 撮影する
 - シャッターボタンを全押しします。
 - → 撮影が行われ、液晶モニターに撮影した画像が表示されます。
 - ⇒表示が終わると、自動的にライブビュー 撮影に戻ります。
 - (

 ・ボタンを押すとライブビュー撮影
 が終了します。
- 映像の視野率は、約100%(記録画質 JPEG 4L時、アスペクト比3:2時) です。

応用撮影ゾーンでは、〈SET〉ボタンや〈DISP〉ボタンに以下の設定をすると、
 各ボタンを押して被写界深度を確認することができます。

- [午:カスタム機能 (C.Fn)] の [SET ボタンの機能] を [7:絞り込み] に設定。

- [f: カスタム機能 (C.Fn)] の [DISP ボタンの機能] を [1: 絞り込み] に設定。

 ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1(別売)やリモートスイッ チ RS-60E3(別売)を使ってライブビュー撮影を行うこともできます (ロ471)。

ライブビュー撮影ができないときは

Ľ	2	撮影	婝			
1	2	3	4	5	6	SHOOT5
	57.	ブビ・	r	編影	する	
				144 IL.2	Ltri	1
					0.00	·

[D: ライブビュー撮影] を [する] に設定します。

連続撮影中の表示について

ライブビュー撮影時に、ワンショット AF で〈□〉連続撮影を行ったときは、シャッターボタンを全押ししている間、撮影した画像が連続して表示(再生)されます。連続撮影を終了すると(シャッターボタンを半押しに戻すと)、 ライブビュー映像が表示されます。

- ストロボ撮影時や長秒時露光を行ったときなど、撮影条件によっては撮影した画像が連続して表示(再生)されないことがあります。
 - ◆ (SCN: 图) モードで、ライブビュー撮影を行うことはできません。
 - 〈SCN: 榊〉モードは歪曲収差補正が行われるため、ライブビュー撮影時は、 画角がわずかに変化します。
 - 〈SCN: 図 送〉〈②: Ser Ser (Ser Ser) モード設定時は、撮影範囲が狭くなります。
 - ストロボ撮影時は、連続撮影速度が低下します。
 - カメラを強い光源(太陽や人工的な強い光源など)に向けないでください。 撮像素子やカメラの内部が損傷する恐れがあります。
 - ライブビュー撮影全般に関する注意事項は、214ページ~215ページに まとめて記載しています。
- ストロボ撮影時は、シャッターが2回切れたような音がしますが、撮影枚数は1枚です。また、シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間が、ファインダー撮影時より長くなります。
 - カメラを操作しない状態が続くと、[+:オートバワーオフ]の設定時間で電源が 自動的に切れます(二263)。[しない]に設定されているときは、30分で ライブビュー機能が自動的に終了します(電源は切れません)。
 - HDMIケーブルを使用すると、ライブビュー映像をテレビに表示することができます(□308)。ただし、音声は出力されません。なお、テレビに映像が表示されないときは、[+:ビデオ方式]の[NTSC][PAL]の設定を確認してください(テレビが対応している方式に合わせてください)。

情報表示について

- 〈INFO〉ボタンを押すたびに、情報表示内容が切り換わります。 (10)(11)(12) (13) (14)(1) — M [2405] 53 — (15) (2)(16)(17) (3)ONE SHOT (4)(18)(5) (19)Cin (ñ) (20)3:2 -(7)ATT NO (23) (22) (21)(8)(9)〒 11 8 5 52-1/2 F4.0 AUTO (24) (25)(30) (31) (33)(27)(26) (28)(29) (32)(1) 撮影モード (18)オートライティングオプティマイザ (2) AF 方式 (19) クリエイティブフィルター (3) AF 動作 (20)静止画アスペクト比 (4) ドライブモード (21) タッチシャッター (5) 測光モード (22)露出シミュレーション (6) 記録画質 (23) 拡大 (7) Bluetooth 機能 (24) AE ロック (8) Wi-Fi 電波強度 (25)シャッタースピード (26) ストロボ充電完了/ストロボ発光禁 (9) Wi-Fi 機能 ιĿ (10) 撮影可能枚数 (27) 絞り数値 (11) 連続撮影可能枚数 (28) ストロボ調光補正
- (12)電池残量
- (13) AF フレーム(1点 AF)
- (14)ヒストグラム
- (15) クイック設定
- (16)ホワイトバランス/ホワイトバラン ス補正
- (17) ピクチャースタイル

- (29) GPS 接続表示
- (30) 露出レベル表示/ AEB レベル
- (31) AEB 撮影/ FEB 撮影/マルチ ショットノイズ低減機能
- (32)高輝度側·階調優先
- (33) ISO 感度

- 〈INFO〉ボタンを押すと、ヒストグラムを表示できます。ただし、シャッター ボタン全押し中は、ヒストグラムは表示されません。
 - 〈野勁>が白く表示されているときは、実際の撮影結果に近い明るさでライ ブビュー映像が表示されています。

 - 〈SCN: 図 ふ〉モード設定時、マルチショットノイズ低減機能設定時、ストロボ使用時、バルブ設定時は、露出シミュレーションは行われません。〈www〉とヒストグラムが灰色で表示されます。このとき、液晶モニターに表示される映像は、標準的な明るさで表示されます。また、低輝度、高輝度条件下ではヒストグラムが適切に表示されないことがあります。

⚠ 警告

長時間、身体の同じ箇所に触れたまま使用しないでください。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温や けどの原因になる恐れがあります。気温の高い場所で使用する場合や、血行の悪い 方や皮膚感覚の弱い方などが使用する場合は、三脚などをお使いください。

シーン判別のアイコン一覧

撮影モードが〈広な〉のときは、カメラがシーンを判別して、シーンに合っ た全自動撮影を行うことができます。判別したシーンは画面の左上に表示 されます。

被写体		人物		人物以外の被写体			
背票	ł		動いてい るとき	自然や屋 外シーン	動いてい るとき	近い とき *1	背景色
明る	561				Ē	Ÿ	灰色
	逆光			Th			风音
青空	を含む		2=		Ē		水布
	逆光			Tr,			小巴
夕景		*2		<u></u>		*2	オレンジ 色
スポットライト		A				\$	
暗い						Ÿ	紺色
三脚使用時		*3*4	*2	*3*4	*	2	

- *1:距離情報を持っているレンズを使用しているときに表示されます。なお、エク ステンションチューブやクローズアップレンズ併用時は実際のシーンと異なる アイコンが表示されることがあります。
- *2:判別可能なシーンから選ばれたアイコンが、適宜表示されます。
- *3:下記の条件が揃ったときに表示されます。 「撮影シーンが暗いとき」、「夜景撮影時」、「三脚などでカメラを固定していると き |
- *4: 下記のレンズ使用時に表示されます。

 - · FF300mm F2.8L IS II USM
 - · FE500mm F4L IS ILUSM
 - · EF-S18-55mm F3.5-5.6 IS II · EF-S55-250mm F4-5.6 IS II
 - · FF400mm F2.8L IS II USM
 - · FE600mm E4L IS ILUSM
 - ・2012年以降に発売された手ブレ補正機能内蔵レンズ
- *3+*4: *3 と *4 の条件がすべて揃ったときは、シャッタースピードが遅くなりま す。
- ・シーンや撮影状態によっては、実際のシーンと異なるアイコンが表示される ことがあります。

撮影機能の設定

ライブビュー撮影の機能設定について説明します。

クイック設定

液晶モニターに映像が表示された状態で〈Q〉ボタンを押すと、クイック 設定画面が表示されて設定を変更できます。



1 〈 🖸 〉ボタンを押す

→ 設定できる項目が表示されます。

2 機能を選んで設定する

- 〈▲〉〈▼〉を押して機能を選びます。
- ⇒機能の内容と、機能ガイド(□56)が画面に表示されます。
- <
 <
 <

 <
- 〈SCN〉〈◇〉モードのときは、画面左上の撮影モードの欄を選び 〈SET〉を押して、撮影モードを選びます。
- ドライブモードの〈**心**c〉、WB補正 /WB ブラケティングの設定、 ピクチャースタイルやクリエイティブフィルターの詳細設定を行う ときは、〈INFO〉ボタンを押します。

3 設定を終了する

- 〈SET〉を押すと設定され、ライブビュー撮影に戻ります。
- [ጏ] を選んで、ライブビュー撮影に戻ることもできます。
- 🚺 🔹 応用撮影ゾーンでは、〈ISO〉ボタンを押すと ISO 感度を設定できます。
 - 〇(部分測光)、〇(スポット測光)設定時は、画面の中央に測光範囲を示 す円が表示されます。
 - ライブビュー撮影時は、ドライブ / セルフタイマーの〈ロS〉〈US〉は設定 できません。

フィルター効果を付けて撮影する

ライブビュー映像を見ながら、フィルター効果(7種類:ラフモノクロ/ ソフトフォーカス/魚眼風/油彩風/水彩風/トイカメラ風/ジオラマ風) を付けた画像を撮影することができます。

保存される画像は、フィルター効果ありの画像のみです。フィルター効果 なしで撮影を行い、撮影後に画像に効果を付けて別画像として保存するこ ともできます(1)332)。

- 1 モードダイヤルを応用撮影ゾーンにす る
- 2 〈 🖸 〉ボタンを押す
 - ⇒ クイック設定状態になります。
- 3 [🖛] を選ぶ
 - <▲> 〈▼> を押して画面の右側に表示された【@mf】(クリエイティブフィルター)を選びます。
- 4 フィルター効果を選ぶ
 - <
 <
 <

 <
 - → フィルター効果が反映された映像が表示されます。
- 5 フィルター効果を調整する
 - 〈INFO〉ボタンを押します(過を除く)。
 - <<>><を押して効果を調整し、<
 SET>を押します。









応用

6 撮影する

⇒ フィルター効果が付いた画像が撮影されます。

- クリエイティブフィルターを設定したときは、ドライブモードを〈□〉に設定していても1枚撮影になります。
 - クリエイティブフィルター撮影時、RAW、AEB、ホワイトバランスブラケティング、マルチショットノイズ低減機能は設定できません。

□ クリエイティブフィルター撮影時は、ヒストグラムは表示されません。

各クリエイティブフィルターの特徴について

• 🖺 ラフモノクロ

ざらついた感じの白黒写真になります。コントラストを調整すること で、白黒の感じを変えることができます。

• 🚨 ソフトフォーカス

やわらかい感じの写真になります。ぼかし具合を調整することで、や わらかさの感じを変えることができます。

魚眼レンズで撮影したような効果が得られます。タル型にゆがんだ写 真になります。

なお、フィルター効果のレベルによって、画像周辺のカットされる領 域が変わります。また、フィルター効果により画面中央が拡大される ため、記録画素数によっては、画面中央の解像感が低下することがあ りますので、映像を確認しながら設定してください。なお、AF フレー ムは、中央1点固定になります。

🔹 🤜 油彩風

油絵のような写真で、被写体の立体感が強調されます。効果を調整す ることで、コントラストや彩度を変えることができます。なお、空や 白壁のようなシーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、 ムラやノイズが発生することがあります。

🔹 🔩 水彩風

水彩画のような写真で、やわらかい感じの色になります。効果を調整 することで、色の濃度を変えることができます。なお、夜景や暗い撮 影シーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、ムラやノ イズが発生することがあります。

〇 トイカメラ風

トイカメラ(おもちゃのカメラ)で撮影したような独特の色調で、画 面の四隅が暗い写真になります。色調によって、色の感じを変えるこ とができます。

• 過 ジオラマ風

ジオラマ(ミニチュア模型)風の写真になります。 画面の中央をはっきり見せたい場合は、そのまま撮影します。 はっきり見せたい部分(ジオラマ枠)を移動する場合は「ジオラマ風 の操作」(QQ99)を参照してください。AF方式は1点AFになり ます。AFフレームとジオラマ枠の位置を合わせて撮影することをおす すめします。

- ラフモノクロのときは、液晶モニターに表示される映像と撮影画像のざらつ き感が異なります。
 - ソフトフォーカス、ジオラマ風のときは、液晶モニターに表示される映像と 撮影した画像のぼかし具合が異なることがあります。なお、〈SET〉ボタン や〈DISP〉ボタンに以下の設定をすると、各ボタンを押して撮影する画像の ぼかし具合を確認することができます。

- [+:カスタム機能 (C.Fn)]の [SET ボタンの機能]を [7:絞り込み] に設定。

- [+:カスタム機能 (C.Fn)]の [DISP ボタンの機能]を [1: 絞り込み] に設定。

メニュー機能の設定

ライブビュー撮影のときは、【▲】および【¥】タブにライブビュー撮影特 有の項目が表示されます。



静止画アスペクト比 図目

画像のアスペクト(縦横)比を変えることができます。初期状態では、 [3:2] に設定されています。[4:3] [16:9] [1:1] のときは、撮影範 囲外が黒くマスクされた状態でライブビュー映像が表示されます。 JPEG 画像は、設定したアスペクト比で保存されます。RAW 画像 は、常に [3:2] のアスペクト比で保存されます。RAW 画像には、設 定したアスペクト比情報が付加され、EOS 用ソフトウェアの Digital Photo Professional で現像する際に、撮影時に設定したアスペクト 比で画像を生成することができます。なお、[4:3] [16:9] [1:1] では、 再生時にアスペクト比を示した線が表示されますが、この線は撮影画 像には記録されません。

≡⊐¢⊒का&б	アスペクト比と記録画素数(約)					
記跡回貝	3:2	4:3	16:9	1:1		
▲ L/ ຟ L	6000×4000	5328×4000*	6000×3368*	4000×4000		
	(2400万)	(2130万)	(2020万)	(1600万)		
	3984×2656	3552×2664	3984×2240*	2656 × 2656		
	(1060万)	(950万)	(890万)	(710万)		
▲ S1/ ▲ S1	2976 × 1984	2656 × 1992	2976×1680*	1984 × 1984		
	(590 万)	(530 万)	(500万)	(390万)		
S2	2400 × 1600	2112×1600*	2400×1344*	1600 × 1600		
	(380万)	(340万)	(320万)	(260 万)		
RAW/CRAW	6000×4000	6000×4000	6000×4000	6000×4000		
	(2400万)	(2400万)	(2400万)	(2400万)		

● • [4:3] [16:9] [1:1] は、ライブビュー撮影時に設定可能です。

- 記録画素数は、1万、または1千の位を四捨五入した値です。
- JPEG は、設定したアスペクト比の画像を生成します。
- RAWは、[3:2]の画像を生成して、設定したアスペクト比情報を画像に付加します。
- •「*」印の付いた記録画質は、正確なアスペクト比になりません。

● 測光タイマー 励用

露出値の表示時間(AE ロック時の保持時間)を変えることができます。 なお、かんたん撮影ゾーンのときは 8 秒固定です。

タッチシャッター (□207)

画面にタッチするだけで、ピント合わせから撮影までを自動で行うことができます。

• AF方式(皿196)

【ご+追尾優先 AF】、【スポット 1 点 AF】、【1 点 AF】、【ゾーン AF】が選択できます。 なお、〈C↓〉 モードでは、【ご+追尾優先 AF】固定です。

● 瞳 AF (Ⅲ203)

AF 方式が [ご+追尾優先 AF] のとき、目にピントが合うように撮影する ことができます。

コンティニュアス AF (□204)

シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、 とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。 ● MF ピーキング設定 図 (□212)

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることでピント 合わせをしやすくすることができます。

● 撮影時のグリッド

[9分割 ++] または [24分割 ##] でグリッド (格子線) を表示して、水平、 垂直の傾きを確認しながら撮影することができます。また、[9分割+対 角 ×+] では、格子線と対角線が表示され、水平、垂直の傾きの確認だ けでなく、交点を被写体に合わせることで、バランスの良い構図で撮 影することができます。

□ [✿:ダストデリートデータ取得]、および[Y:センサークリーニング]の[今すぐクリーニング] ニング:[□][手作業でクリーニング]を選ぶと、ライブビュー撮影が終了します。 再開するときは、再度〈●〉ボタンを押してください。

ピント合わせの動作を変える

撮影状況や被写体にあわせて、AF(Auto Focus:自動ピント合わせ)の 作動特性を選ぶことができます。なお、かんたん撮影ゾーンでは、撮影モー ドごとに最適な AF 動作が自動設定されます。



1 〈 🖸 〉ボタンを押す

⇒ クイック設定の状態になります。

- 2 [ONE SHOT] を選ぶ
 - 〈▲〉〈▼〉を押して画面の左側に表示された[ONE SHOT](AF 動作)を選びます。

応用

3 AF 動作を選ぶ

<
 <
 <>> を押して AF 動作を選び、
 <>> SET > を押します。
 ONE SHOT: ワンショット AF
 SERVO: サーボ AF

4 ピントを合わせる

 AF フレームを被写体に合わせ、シャッ ターボタンを半押しすると、設定した AF 動作でピント合わせが行われます。

ライブビュー撮影時のみ設定できます(動画撮影時は設定できません)。
 ピントが合わないとAFフレームがオレンジ色になります。このときはシャッターボタンを全押ししても撮影できません。構図を変えて再度ピント合わせを行うか、「ピントが合いにくい撮影条件」(囗201)を参照してください。

止まっている被写体を撮る:ワンショット AF

止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しす ると1回だけピント合わせを行います。

- 被写体にピントが合うと、AFフレームが緑色に変わり、「ピピッ」と 電子音が鳴ります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントが固定され、構図を変 えて撮影できます。
- ストロボ撮影時は、連続撮影速度が低下します。
- (+:電子首)を〔切]に設定すると、ピントが合ったときに、合焦音が鳴らないようになります。

動いている被写体を撮る:サーボ AF

動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しして いる間、被写体にピントを合わせ続けます。

- ドライブモードが(型)連続撮影に設定されているときは、被写体追従優先で撮影されます。
- ストロボ撮影時は、連続撮影速度が低下します。
- 被写体にピントが合うと、AF フレームが青色に変わります。
- 露出は撮影の瞬間に決まります。
- 【AF方式】が【こ+追尾優先 AF】のときは、エリア AF フレームで被写体 を捉えていれば、継続してピント合わせが行われます。
- 使用するレンズや被写体との距離、被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。
 - 連続撮影中にズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。ズーム 操作を行い構図を決めてから撮影してください。
- □ ・ サーボ AF のときは、ピントが合っても電子音は鳴りません。

AF でピントを合わせる

AF 方式を選ぶ

撮影状況や被写体にあわせて、AF 方式を選ぶことができます。AF 方式に は、【ご(顔)+追尾優先AF](□197)、【スポット1点AF] [1点AF] [ゾーン AF](□198) があります。

なお、厳密にピントを合わせたいときは、レンズのフォーカスモードスイッ チを〈**MF**〉にしたあと、映像を拡大して手動ピント合わせを行ってくださ い(<u>211</u>)。



AF 方式を選ぶ

- [△] タブの [AF方式] で選びます。
- AF 方式を選び、〈SET〉を押します。
- ライブビュー映像表示中に〈Q〉ボタンを押すと、クイック設定(□186)でAF方式を選ぶこともできます。
- 197ページ~198ページでは、[AF動作]が[ワンショットAF](①195)に設定されていることを前提に説明しています。[サーボAF](①195)に設定しているときは、被写体にピントが合うとAFフレームが青色に変わります。
 - 〈SCN: え へ) モードのときは、自動的にサーボ AF に設定され、ピントが 合うと AF フレームが青色に変わり、電子音も鳴ります。
 - 4K 動画設定時は [ビ+追尾優先 AF] [1 点 AF] のみ設定できます。
 - タッチシャッター(タッチ操作による AF と撮影)については、207ページ を参照してください。

顏+追尾優先 AF

人の顔を検知してピント合わせを行います。顔が動くとAFフレーム〈ご〉も動いて顔を追尾します。



1 AF フレームを確認する

- 顔を検知すると、ピント合わせを行う 〈ご〉が顔の部分に表示されます。
- 複数の顔を検知しているときは〈()〉 が表示されます。〈◀〉〈▶〉でピント を合わせたい顔に〈()〉を合わせます。
- 画面にタッチして、顔または被写体を 選ぶこともできます。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。
- → 顔が検知できないときや、画面にタッ チしなかったときは、エリア AF フレー ムの中でピント合わせが行われます。
- → ピントが合うと AF フレームが緑色に変わり、「ピピッ」と電子音が鳴ります。
- → ピントが合わないときは、AF フレーム がオレンジ色に変わります。



3 撮影する

ピントと露出を確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します(単181)。

• 人の顔以外にピントを合わせるとき

被写体にAFフレーム〈ミ゙〉を合わせたあと、構図を変更したり、被 写体が動いたりすると、AFフレーム〈ミ゙〉も動いて被写体を追尾します。

- ↓ ・ ピントが大きく外れていると顔を検知できません。顔が検知できる位置まで 手動でピントを動かしてから(□211)、AFを行ってください。
 - 顔以外の被写体を顔として検知することがあります。
 - 「顔が画面に対して極端に小さい/大きい」、「顔が明るすぎる/暗すぎる」、 「顔の一部が隠れている」ときは、顔を検知できません。
 - ピント合わせを行う(ご)が、顔全体ではなく、顔の一部分にだけ表示されることがあります。
- □ AF フレームは被写体により大きさが変化します。

スポット 1 点 AF / 1 点 AF / ゾーン AF

AF フレーム、またはゾーン AF フレームを任意設定することができます。 ここでは、1 点 AF 時の画面を例に説明します。



(1)

▲ AF フレームを確認する

- AF フレーム(1)が表示されます。
- ゾーン AF のときは、ゾーン AF フレームが表示されます。



2 AF フレームを移動する

- 画面にタッチしたり、〈◆〉十字キー で AF フレームを移動することもできま す。
- 〈 価〉ボタンを押すと、AF フレームまたはゾーン AF フレームが画面中央に戻ります。
- 〈Q〉ボタンを押すと、拡大表示することができます。〈Q〉ボタンを押すたびに、拡大倍率が切り換わります。



3 ピントを合わせる

- AF フレームに被写体に合わせ、シャッ ターボタンを半押しします。
- → ピントが合うと AF フレームが緑色に変わり、「ピピッ」と電子音が鳴ります。
- → ピントが合わないときは、AF フレーム がオレンジ色に変わります。

4 撮影する

シャッターボタンを全押しして撮影します(QQ181)。

● 外側寄りのAFフレームを選択しているときは、ピントが合いにくいことが あります。そのときは、中央のAFフレームを選択してください。

AF に関するおことわり

AF の動作について

- ピントが合った状態でも、シャッターボタンを半押しすると、もうー度ピント合わせが行われます。
- AF 中と AF を行った後で、映像の明るさが変わることがあります。
- 被写体や撮影条件により、ピント合わせに時間がかかったり、連続撮 影速度が低下することがあります。
- ライブビュー映像表示中に光源(照明光)が変化すると、画面がちらついてピントが合いにくいことがあります。そのときは、ライブビュー撮影を一旦終了し、撮影する光源下で AF を行ってください。
- AF でピントが合わないときは、レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉 にして手動ピント合わせを行ってください(皿211)。
 - 画面の端のほうにある被写体を撮影したときに、わずかにピントがズレているときは、被写体(AFフレーム)を画面の中央寄りにして、再度ピント合わせを行ってから撮影してください。
 - AF補助光は投光されません。ただし、LED ライト付き EX スピードライト 使用時は、必要に応じて AF補助用のライトが点灯します。
 - 使用するレンズによっては、AFでピントが合うまでに時間がかかったり、 適切なピント合わせができないことがあります。

ピントが合いにくい撮影条件

- 青空、単色の平面、画面上で被写体が白とびや黒つぶれしているとき など、明暗差(コントラスト)のない被写体
- 暗い場所にある被写体
- ・ 縞模様など、水平方向のコントラストしかない被写体
- 繰り返し模様の被写体(例:ビルの窓やパソコンのキーボードなど)
- 細い線、被写体の輪郭部分
- 明るさや色、パターンが変化する光源
- 夜景など、点状の光源
- 蛍光灯や LED 照明などの光源下で、映像がちらついている場合(フリッカー)
- 被写体が極端に小さい場合
- 画面の端のほうにある被写体
- 強い逆光状態、または光の反射が強い被写体(例:反射光の強い車の ボディなど)
- 近くと遠くにある被写体が、AFフレームの中に入っている場合(例: おりの中の動物など)
- 手ブレや被写体ブレで、AFフレーム内の被写体が揺れ動いて、静止しない場合
- 大きくピンボケした状態から AF を行った場合
- ソフトフォーカスレンズで、ソフトフォーカス撮影する場合
- ・特殊効果フィルターを使用している場合
- AF 中に画面にノイズ(輝点、縞など)が表示されている場合

AF 範囲

使用するレンズやアスペクト比、4K動画、動画電子 IS などの設定によって、 AF 可能な範囲は変わります。





[ご+追尾優先 AF] 以外のときに〈Q〉ボタンを押すか、画面右下に表示された[Q] にタッチすると、映像を約5倍、約10倍に拡大してピントを確認することができます。

[**ご+追尾優先 AF**] のときは拡大表示できま せん。

- AF フレームを移動するときは、〈◆〉十字キーを押すか、拡大したい 部分にタッチします。
- 〈Q〉ボタンを押すか[Q]にタッチすると、拡大表示枠の位置が拡 大表示されます。〈Q〉ボタンを押す、または[Q]にタッチするご とに拡大倍率が切り換わります。
- 【スポット1点AF】[1点AF] 設定時は AF フレームの位置、【ゾーンAF】設 定時はゾーン AF フレームの中央部が拡大表示されます。
- シャッターボタンを半押しすると、【スポット1点AF】【1点AF】設定時は 拡大表示のまま AF が行われます。【スポット1点AF】【1点AF】以外を設 定しているときは、通常表示に戻って、AF が行われます。
- サーボ AF 時は、拡大表示した状態で、シャッターボタンを半押しすると、通常表示に戻ってピント合わせが行われます。
- 拡大表示の状態でピントが合いにくいときは、通常表示に戻して AF を行ってください。
 - 通常表示の状態で AF を行ったあと拡大表示を行うと、正確にピントが合っていないことがあります。
 - AFの速度は通常表示と拡大表示の状態で異なります。
 - 拡大表示中、動画サーボ AF(□ 254)は行われません。
 - 拡大表示のときは、手ブレによりピントが合いにくくなります。三脚の使用 をおすすめします。

人物の目にピントを合わせる

AF 方式が【**:+追尾優先 AF】**のとき、目にピントが合うように撮影することができます。



- 1 [瞳 AF] を選ぶ
 - [▲] タブの [瞳 AF] を選び、〈SET〉を 押します。
- Willio22
 Willio22
 2 3 4 5 6 7 940016
 Willion
 Willion
 Willion
 Willion
 Willion
 Jする

2 [する] を選ぶ

3 被写体にカメラを向ける

- ➡ 目の周囲に AF フレームが表示されます。
- 画面にタッチして、ピントを合わせた い目を選ぶことができます。
 - 鼻や口などをタッチしたときは顔が選 ばれます。ピントを合わせる目はカメ ラが自動的に選びます。
- (☆ >) または 〈: !) が表示されるときは、

 <>> でピントを合わせたい目または顔を選ぶことができます。

4 撮影する

撮影シーンや被写体によっては、被写体の目が正しく検出されないことがあります。

コンティニュアス AF の設定

常に被写体に対しておおまかにピントを合わせ続ける機能です。シャッター ボタンを半押ししたときに素早くピントが合います。

	 【コンティニュアス AF】を選ぶ [✿] タブの [コンティニュアス AF] を選び、 〈SET〉を押します。
1 2 3 4 5 6 7 940016 コンティニュアスAF する しない	2 [する] を選ぶ

 [する] 設定時は、常にレンズが動作してバッテリーを消耗するため、撮影可 能枚数が少なくなります。

セルフタイマー撮影



- 1 [ドライブモード] を選ぶ
 - [△] タブの [ドライブモード] を選び、 〈SET〉を押します。

ドライブモード
セルフタイマー:連続撮影
□ □ © ©2 © (2 ▼
SET OK

2 セルフタイマーを選ぶ

- <<>> を押してセルフタイマーを 選び、
 SET > を押します。

ワイヤレスリモートコントロー ラー BR-E1(別売)を使用 したリモコン撮影も可能です (皿471)。

- **32**:2秒後に撮影 シャッターボタンを押すと、2秒 後に撮影します。
- ᠔c¹10秒後、設定した枚数を連続撮影

シャッターボタンを押すと、10 秒後に設定した枚数を連続撮影し ます。

<

 〈▲〉 〈▼〉 を押して、撮影する枚
 数(2~10)を設定します。



3 撮影する

- ピントを合わせ、シャッターボタンを 全押しします。
- ➡ 電子音と液晶モニターに表示される秒 数の減算表示で作動を確認できます。
- → 撮影の2秒前に、電子音が速く鳴ります。
- ↓ < (᠔c) では、記録画質やストロボ撮影などの撮影条件によって、連続撮影の 間隔が長くなることがあります。
 - ファインダーに光が入ると、適切な露出が得られないことがあります。そのため、ライブビュー撮影をおすすめします。
- セルフタイマー撮影した画像はその場で再生し、ピントや露出を確認することをおすすめします(①102)。
 - 自分一人だけをセルフタイマーで写すときは、自分が入る位置とほぼ同じ距離にあるものにフォーカスロックして撮影します(①75)。
 - セルフタイマー撮影を開始してから途中で中止するときは、液晶モニターを タッチするか、〈SET〉を押します。

タッチシャッターで撮影する

画面にタッチするだけで、ピント合わせから撮影まで自動で行うことがで きます。



1 タッチシャッター機能を設定する

- [森] にタッチします。
 タッチするたびに、[森] と【は】が交互に切り換わります。
- 【3】(タッチシャッター:する)
 タッチした位置にピントを合わせてから撮影が行われます。
- 【歳】(タッチシャッター:しない)
 タッチした位置にピントを合わせることができます (タッチ AF)。シャッターボタンを全押しして撮影します。



- 画面上の顔や被写体にタッチします。
- ⇒ 設定されている AF 方式(□196)で タッチした位置でピント合わせが行わ れます(タッチ AF)。
- → ピントが合うと、AF フレームが緑色に 変わり、自動的に撮影されます。
- ピントが合わないときは、AF フレーム がオレンジ色に変わり、撮影できません。もう一度、画面上の顔や被写体に タッチします。



- ♥ ドライブモードを〈♀〉に設定していても、1枚撮影になります。
 - [AF動作]が「サーボAF」に設定されていても、画面にタッチしたときは「ワンショットAF」でピント合わせが行われます。
 - 拡大表示中に画面にタッチしても、ピント合わせや撮影は行われません。
 - クリエイティブフィルターの魚眼風設定時は、タッチした位置に関わらず、 画面中央のAFフレームでピント合わせが行われます。
 - クリエイティブフィルターのジオラマ風設定時は、タッチシャッターは機能 しません。
- タッチシャッターの機能は、【①:タッチシャッター】で設定することもできます。
 バルブ撮影時は、2回タッチします。1回目のタッチで露光を開始し、2回目のタッチで露光を終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

自分を撮影する(自分撮り)

自分撮り機能では、人物撮影に適した画像処理が行われます。また、背景のぼかしや、明るさ、美肌効果を設定して撮影することができます。



- 1 液晶モニターを対面状態にする
 - 液晶モニターを図のように対面状態に します(皿40)。



2 画面の [ぬ] にタッチする

画面の () にタッチして、自分撮りモードにします。



(1) (2)



3 自分撮り機能を設定する

- 各機能(1)をタッチして選び、効果を 設定します。
- 4 撮影する

タッチシャッターを使用する場合

- [編](2)をタッチして[d](タッ チシャッター:する)に設定します (囗207)。
- ピントを合わせたい位置をタッチして 撮影します。

シャッターボタンを使用する場合

 シャッターボタンを半押してピントを 合わせ、全押して撮影します。

- ピントが合ってから撮影が終了するまで、カメラと自分との距離が変わらないようにしてください。
 - カメラを落とさないように注意してください。
 - ストロボ撮影はできません。暗い場所などでは手ブレに注意してください。
- 自分撮りは、電源スイッチの〈OFF〉または次の操作で終了します。
 - 画面の [🍋] にタッチする
 - 液晶モニターの向きを元に戻す
 - 〈��〉ボタンを押す

MF:手動でピントを合わせる

映像を拡大表示して、手動で厳密にピントを合わせることができます。



- 1 レンズのフォーカスモードスイッチを 〈MF〉にする
 - レンズのフォーカスリングを回して、お おまかにピントを合わせておきます。







- 2 拡大表示枠を表示する
 - 〈Q〉ボタンを押します。
 - → 拡大表示枠が表示されます。
 - 画面の【Q】をタッチして拡大表示する こともできます。
- 3 拡大表示枠を移動する
 - ピントを合わせたい場所に、〈◆〉十字 キーで拡大表示枠を移動します。
 - 〈 価〉ボタンを押すと、画面中央に戻り ます。
- 4 映像を拡大する
 - 〈Q〉ボタンを押すたびに、次のように 画面が切り換ります。

→ 通常表示 → 5 倍 → 10 倍 ----

- (1) AE ロック
- (2) 拡大表示位置
- (3) 拡大率

5 手動でピントを合わせる

- 拡大された映像を見ながら、レンズの フォーカスリングを回してピントを合 わせます。
- ピント合わせが終わったら、(Q)ボタンを押して通常表示にします。

6 撮影する

- ピントと露出を確認し、シャッターボ タンを押して撮影します(皿181)。
- 拡大表示中は露出が固定されます(シャッタースピードと絞り数値が赤く表示されます)。
 - 手動ピント合わせのときも、タッチシャッターで撮影することができます。

MF ピーキング設定(輪郭強調)

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることでピント合わ せをしやすくすることができます。また、輪郭の検出感度(レベル)や輪 郭の色を変えることもできます(〈**広**〉モードを除く)。





1 [MF ピーキング設定] を選ぶ

[△] タブの [MFピーキング設定] を選び、
 〈SET〉を押します。

2 [ピーキング] を選ぶ

- [ピーキング] を選び、〈SET〉を押します。
- [入] を選び、〈SET〉を押します。

MFピーキング設定	
ピーキング	Л
レベル	強
色	レッド
	MENU 🕤

3 レベル、色を設定する

• 必要に応じて設定します。

● 拡大表示中、ピーキング表示は行われません。
 ● 高 ISO 感度設定時(特に拡張 ISO 感度設定時など)は、MF ピーキングが分かりにくい場合があります。必要に応じて ISO 感度を下げるか、[ビーキング]を〔切〕に設定してください。

□ • 液晶モニターに表示される輪郭は、撮影画像には記録されません。

♥ ライブビュー撮影全般に関する注意事項

画質について

- 高 ISO 感度で撮影すると、ノイズ(輝点、縞など)が目立つことがあります。
- 高温下で撮影すると、ノイズや色ムラが発生することがあります。
- ライブビュー撮影を長時間継続すると、カメラ内部の温度が上昇して、画質 が低下することがあります。撮影しないときは、こまめにライブビュー撮影 を終了してください。
- カメラ内部の温度が上昇した状態で長秒時露光を行うと、画質が低下することがあります。ライブビュー撮影を一旦終了し、数分経ってから撮影してください。

カメラ内部の温度上昇にともなう、白い〈闘〉と赤い〈闘〉表示について

- ライブビュー撮影を長時間行ったり、高温下でライブビュー撮影を行うと、 カメラ内部の温度が上昇し、白い〈闘〉または赤い〈闘〉が表示されます。
- 赤い〈
 ・(
 ・) は、もうすぐライブビュー撮影が自動的に終了することを示しています。そのときは、カメラ内部の温度が下がるまで、撮影ができなくなりますので、ライブビュー撮影を一時休止する、または一旦電源を切り、しばらく休止してください。
- 高温下でライブビュー撮影を長時間行うと、(図)または(図)が表示されるタイミングが早くなります。撮影しないときは、こまめに電源を切ってください。
- 白い〈母〉が表示される手前でも、カメラ内部の温度が上昇している状態で 高 ISO 感度撮影、長秒時露光を行うと、画質が低下することがあります。

撮影結果について

- 拡大表示の状態で撮影すると、意図した露出で撮影されないことがあります。
 通常表示に戻して撮影してください。なお、拡大表示中は、シャッタースピードと絞り数値が赤く表示されます。なお、拡大表示の状態で撮影しても、通常表示の範囲が撮影されます。
- TS-E レンズ(TS-E17mm F4L、TS-E24mm F3.5L II を除く)を使用してシフトやティルトを行ったり、エクステンションチューブを使用すると、 標準露出にならなかったり、露出ムラが発生することがあります。

↓ ライブビュー撮影全般に関する注意事項

ライブビュー映像について

- 低輝度、高輝度条件下では、映像が撮影結果に近い明るさで表示されないことがあります。
- ISO 感度を低く設定しても、暗い場所ではライブビュー映像にノイズが多く 表示されることがありますが、撮影を行うとノイズの少ない画質で撮影され ます(ライブビュー映像と撮影した画像の画質は異なります)。
- 表示中に光源(照明光)が変化すると、画面がちらつくことがあります。そのときは、ライブビュー撮影を一旦終了し、撮影する光源下でライブビュー 撮影を再開してください。
- カメラの向きを変えると、映像が一瞬適切な明るさで表示されないことがあります。適切な明るさに安定するのを待ってから撮影してください。
- 極端に明るい光源が画面内にあると、明るい部分が黒っぽくつぶれたように 表示されることがあります。ただし、撮影すると、その部分は明るい状態で 正しく記録されます。
- ・ 暗い場所で [↓: 画面の明るさ] を明るい設定にすると、ライブビュー映像にノ イズや色ムラが発生することがあります。ただし、このノイズや色ムラは撮 影画像には記録されません。
- 映像を拡大表示すると、シャーブネスが実際の設定よりも強くかかって見えることがあります。
- シャッタースピードが1秒以上のときは、液晶モニターに「BUSY」が表示 され、露光が終了するまでライブビュー表示は行われません。

カスタム機能について

• ライブビュー撮影では、設定が無効になるカスタム機能があります。

レンズとストロボについて

- 手ブレ補正機能を搭載したレンズ使用時は、手ブレ補正スイッチを〈ON〉にすると、シャッターボタンを半押ししなくても常時手ブレ補正機能が作動します。そのため、電池が消耗して撮影条件により撮影可能枚数が少なくなることがあります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正スイッチを〈OFF〉にすることをおすすめします。
- 2011年下期以降に発売されたフォーカスプリセット機能を備えた(超) 望遠レンズ使用時のみ、ライブビュー撮影時にフォーカスプリセットを行う ことができます。
- 内蔵ストロボ使用時にFEロックはできません。また、外部ストロボ使用時にFEロック、モデリング発光はできません。

動画を撮影する



電源スイッチを〈'栗〉にすると、動画撮影が できるようになります。

- 動画が記録できるカードについては、7ページを参照して ください。
- カメラを手に持って動画撮影を行うと、手ブレにより、鮮明な映像が得られないことがあります。そのときは、三脚などの使用をおすすめします。
- 手持ち撮影時のカメラの持ち方については、76ページを参照してください。
動画を撮影する

撮影した動画は、カメラをテレビに接続して再生することをおすすめしま す(¹¹308)。

自動露出で撮影する

撮影モードが〈M〉以外のときは、明るさに応じて自動露出制御が行われ ます。









(1)

- 1 電源スイッチを〈╹昗〉にする
 - ⇒ ミラーが動く音がしたあと、液晶モニ ターに映像が表示されます。
- 2 モードダイヤルを〈SCN〉〈②〉〈M〉 以外にする
- 3 ピントを合わせる
 - 動画撮影を始める前に、AFまたは手動でピントを合わせます(口196~ 口202、口211)。
 - 初期設定では、「動画サーボAF:する」に設定されていますので、常時ピント合わせが行われます。動画サーボAFを停止したいときは、「二254を参照してください。
- 4 動画を撮影する
 - < ▲〉ボタンを押すと動画撮影が始まり、もう一度< ▲〉ボタンを押すと動 画撮影が終わります。
 - ・動画撮影中は画面右上に「●REC」が 表示されます。
 - ⇒ 音声は内蔵マイク(1)で記録されます。

- 動画撮影全般に関する注意事項は、□ 259 ~ □ 260 にまとめて記載しています。
 - 必要に応じて (二214~二215の「ライブビュー撮影全般に関する注意 事項」もお読みください。
- □ 撮影モードが〈Av〉〈Tv〉のときは、〈P〉と同じ設定で撮影されます。
 - かんたん撮影ゾーンと応用撮影ゾーンでは、設定できるメニューが異なります。
 - シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度は自動設定されます。
 - 応用撮影ゾーンのときは、〈★〉ボタン(□165)を押すと、露出を固定(AE ロック)することができます。[Δ:測光タイマー]の設定時間に応じて露出値 が表示されます。動画撮影中にAEロックを行ったときは、〈⊡〉ボタンを 押すと、AEロックを解除することができます(〈⊡〉ボタンを押すまで保 持されます)。
 - 応用撮影ゾーンのときは、〈AV図〉ボタンを押しながら〈 (二)〉を回すと、露 出補正を行うことができます。
 - 自動露出で撮影した動画の画像情報(Exif情報)には、シャッタースピード、 絞り数値、ISO感度は記録されません。
 - このカメラは、自動露出(タイムラブス動画撮影時除く)で動画を撮影する際、 暗い場所でLEDライトが自動的に点灯する機能に対応しています。詳しくは、 LEDライトを内蔵したEXスピードライトの使用説明書を参照してください。

かんたん撮影ゾーン時の ISO 感度について

 ISO100~12800の範囲で自動設定されます。ただし、4K動画に 設定したときは、ISO感度がISO100~6400になります。

〈P/Tv/Av〉モード時の ISO 感度について

- ISO100~12800の範囲で自動設定されます。なお、上限値は
 [☆: '〒ISO感度に関する設定] にある [オートの上限]の設定によって変わります(□256)。ただし、4K 動画に設定したときは、ISO 感度が ISO100~6400 になります。
- [Y:カスタム機能(C.Fn)]の[ISO感度拡張]が[1:する]に設定されているときは、[オートの上限]で[H(25600)]も選択できるようになります。
 ただし、4K動画に設定したときは、ISO感度がISO100~6400になります。
- 【▲:高輝度側・階調優先】が【する】に設定されているときは、ISO 感度が ISO200 ~ 12800 になります。ただし、4K 動画に設定したときは、ISO 感度が ISO100 ~ 6400 になります。
- 静止画撮影から動画撮影に切り換えたときは、動画撮影を行う前に ISO 感度の設定を再確認してください。

シーン判別のアイコン一覧

 で動画を撮影するときは、カメラが判別したシーンアイコンが表示
 され、そのシーンに応じた撮影が行われます。なお、シーンや撮影状態によっ
 ては、実際のシーンと異なるアイコンが表示されることがあります。

被写体			人物以外の被写体			
背景		人物	自然や屋外 シーン	近いとき*1	背景色	
明るい				*	灰色	
	逆光	<u>_</u>	Tr,	Sec.	灰色	
青空を含む				*	水东	
	逆光		TIT	W	小巴	
夕景		*2	<u></u>	*2	オレンジ色	
スポットライト		A		\$	紺春	
暗い				V	7日巳	

*1 :距離情報を持っているレンズを使用しているときに表示されます。なお、エ クステンションチューブやクローズアップレンズ併用時は実際のシーンと異 なるアイコンが表示されることがあります。

*2 :判別可能なシーンから選ばれたアイコンが、適宜表示されます。

マニュアル露出で撮影する

撮影モードが〈**M**〉のときは、任意にシャッタースピード、絞り数値、 ISO 感度を設定して、動画撮影を行うことができます。動画のマニュアル 露出撮影は上級者向けの機能です。



1 電源スイッチを〈╹戻〉にする

⇒ ミラーが動く音がしたあと、液晶モニ ターに映像が表示されます。



2 モードダイヤルを〈M〉にする





(1) (2)

3 ISO 感度を設定する

- 〈ISO〉ボタンを押し、〈◀〉〈►〉または〈☆☆〉でISO感度を選びます。
- ISO 感度については、222ページを参照してください。
- 4 シャッタースピードと絞り数値を設定 する
 - シャッタースピード(1)は、〈ごふ〉を 回して設定します。
 - 絞り数値(2)は、〈Av図〉ボタンを押しながら〈ごふ〉を回して設定します。

5 ピントを合わせて撮影する

「動画を撮影する」(□217)の手順3、
 4と同じです。

マニュアル露出撮影時の ISO 感度について

- [AUT0]のときは、ISO100~12800の範囲で自動設定されます。 なお、上限値は [▲: "〒ISO感度に関する設定]にある [オートの上限]の設 定によって変わります(□256)。ただし、4K動画に設定したとき は、ISO感度が ISO100~6400 になります。
- 手動設定のときは、ISO100 ~ 12800 の範囲で、1 段ステップで 設定することができます。[◆:カスタム機能(C.Fn)]の[ISO感度拡張]を [1:する]に設定すると、手動設定範囲の上限が拡張され H(ISO25600 相当)も選択できるようになります。ただし、4K動画に設定したときは、 ISO 感度が ISO100 ~ 6400 になります。
- 【●:高輝度側・階調優先】を【する】に設定したときは、ISO 感度が ISO200~12800になります。ただし、4K動画に設定したときは、 ISO 感度が ISO100~6400になります。
- 動画撮影時の ISO25600 相当は、ノイズが多いことがあるため拡張 ISO 感度になります(「H」表示)。
 - 静止画撮影から動画撮影に切り換えたときは、動画撮影を行う前にカメラの 設定を再確認してください。
 - 動画撮影中に、シャッタースピードや絞り数値の変更を行うと、露出変化が 記録されるため、おすすめできません。
 - 動きのある被写体を動画撮影するときは、1/30~1/125 秒程度のシャッ タースピードをおすすめします。シャッタースピードを速くするほど、被写 体の動きが滑らかに再現されなくなります。
 - 蛍光灯やLED照明などの光源下で動画撮影を行っているときに、シャッター スピードを変更すると、画面のちらつきが記録されることがあります。
- [+:カスタム機能 (C.Fn)]の [SET ボタンの機能]の [5: 露出補正(押しながら ヘ)] に設定すると(□ 459)、ISO オート設定時に露出補正を行うことができます。
 - ISO オート設定時に〈★〉ボタンを押すと、ISO 感度を固定(ロック)する ことができます。
 - 〈★〉ボタンを押して構図を変えると、〈★〉ボタンを押したときとの露出 差を露出レベル表示(□223)で確認することができます。
 - 〈INFO〉ボタンを押すと、ヒストグラムを表示することができます。

情報表示について

 〈INFO〉ボタンを押すたびに、情報表示内容が切り換わります。 (11) (12) (13) (14)01.18.35 (1) ____ M 0 (15) (2)(16)AF 🗆 AWB FHD (3)28A (17)(4)(18)(5)(19)709-m Cin (6) (20) (8)⁽⁷⁾ GPS Q (21) (9) 0.1.2.*3 ±0 🛃 🔤 AUTO (10)1/125 F4.0 (22) (24)(25) (27) (28)(29) (23) (26) (1) 動画撮影モード/ (11)動画撮影可能時間*/撮影経過時間 シーン判別アイコン *1回の撮影可能時間です。 ▲*:自動露出(かんたん撮影ゾーン) (12) 雷池残量 !! (13) AF フレーム ■M:マニュアル露出 (14) ヒストグラム (マニュアル露出時) ะ HDR 動画 ↓ : クリエイティブフィルター (15) クイック設定 ★ 〒:タイムラプス動画 (16)ホワイトバランス (2) AF 方式 (17)ピクチャースタイル ·AFUEL: U+追尾優先AF (18)オートライティングオプティマイザ AF回:スポット1点AF · AF 口: 1 点 AF (19) クリエイティブフィルター AF[1: ゾーンAF (20) GPS 接続表示 (3) 動画記録サイズ (21) 拡大/デジタルズーム (4)デジタルズーム (22)シャッタースピード (5)動画電子 IS (23) Wi-Fi 電波強度 (6) ビデオスナップ (24) Bluetooth 機能 (7) 録音レベル (マニュアル) (25) 絞り数値 (8) Wi-Fi 機能 (26)露出レベル表示 (マニュアル露出時) (9) 動画サーボ AF (27)露出補正 (10)AFロック (28)高輝度側・階調優先 (29)ISO 感度

- 動画撮影中にグリッド、ヒストグラムを表示することはできません(表示した状態で動画撮影を開始すると、表示が消えます)。
 - 「動画撮影可能時間」は、撮影が始まると「撮影経過時間」に変わります。

静止画撮影について

動画撮影時に静止画は撮影できません。

静止画を撮影するときは、動画撮影を終了して、ファインダー撮影、また はライブビュー撮影を行ってください。

動画撮影時共通注意事項

- カメラを強い光源(太陽や人工的な強い光源など)に向けないでください。 撮像素子やカメラの内部が損傷する恐れがあります。
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しして AF を行うと、以下の現象が起きることがあります。
 - 一時的にピントが大きくぼける
 - 動画の明るさが変化して記録される
 - 動画が一瞬停止して記録される
 - レンズの作動音が記録される
- (WB) (WB w)の設定で動画撮影中に、ISO 感度や絞り数値が変わると、ホワイトバランスが変化することがあります。
- 蛍光灯やLED照明などの光源下で動画を撮影すると、画面にちらつきが発生することがあります。
- 動画撮影中にズーム操作を行うときは、テスト撮影をおすすめします。ズーム操作を行うと、露出変化やレンズの作動音が記録されたり、ピントがズレることがあります。
- 動画撮影中に〈Q〉ボタンを押しても、拡大表示はできません。
- 内蔵マイク(□217)を指などでふさがないようにしてください。
- 動画撮影中に HDMI ケーブルの接続や取り外しを行うと、動画撮影が終了します。
- 動画撮影全般の注意事項は、259 ページ~260 ページにまとめて記載しています。
- 必要に応じて214ページ~215ページの「ライブビュー撮影全般に関する注意事項」もお読みください。

⚠ 警告

長時間、身体の同じ箇所に触れたまま使用しないでください。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温や けどの原因になる恐れがあります。気温の高い場所で使用する場合や、血行の悪い 方や皮膚感覚の弱い方などが使用する場合は、三脚などをお使いください。

動画撮影時共通事項

- 1回撮影するたびに、カードに新たな動画ファイルが作成されます。
- 映像の視野率は、4K / フル HD / HD 撮影時ともに約 100%です。
- 音声は、カメラに内蔵されたマイクでステレオ録音されます。
- 外部マイク入力端子(単28)に、指向性ステレオマイクロホン DM-E1(別売)を接続すると、外部マイクが優先されます。
- ミニプラグ(φ3.5mm)を備えたマイクであれば、ほとんどの外部マイク が使用できます。
- 2011年下期以降に発売されたフォーカスプリセット機能を備えた(超)望 遠レンズ使用時は、動画撮影時にフォーカスプリセットを行うことができます。

撮影機能の設定

動画撮影の機能設定について説明します。

クイック設定

液晶モニターに映像が表示された状態で〈Q〉ボタンを押すと、AF方式 /動画記録サイズ/デジタルズーム/動画電子 IS /ビデオスナップ/ホワ イトバランス/ピクチャースタイル/オートライティングオプティマイザ /クリエイティブフィルターの設定を行うことができます。

ただし、かんたん撮影ゾーンのときは、撮影モードにより、設定できない 項目があります。



1 〈 🖸 〉 ボタンを押す

⇒ 設定できる項目が表示されます。

- 2 機能を選んで設定する
 - ●〈▲〉〈▼〉を押して機能を選びます。
 - →機能の内容と、機能ガイド(□56) が画面に表示されます。
 - <
 <
 <

 <
 - オートホワイトバランスの設定を行う ときは、[WB]を選んだ状態でく● / Q > ボタンを押します。
 - WB補正、ピクチャースタイル、クリ エイティブフィルターの詳細設定を行 うときは、〈INFO〉ボタンを押します。
 - 〈SET〉を押すと動画撮影に戻ります。
 - [♪] を選んで、動画撮影に戻ることも できます。

動画記録サイズの設定



【●:動画記録サイズ】で、動画記録サイズ(画像サイズ、フレームレート、圧縮方式)などを設定することができます。 MP4形式で記録されます。

● 画像サイズ

^I₄k 3840 × 2160

4K 画質で記録されます。画面の横縦比は 16:9 です。

FHD 1920 × 1080

フルハイビジョン (Full HD) 画質で記録します。画面の横縦比は 16:9です。

丽 1280 × 720

ハイビジョン(HD) 画質で記録します。画面の横縦比は 16:9 です。

- ↓ 4K 動画、 FFID B2B2 / B000 で撮影した動画は、再生時のデータ処理の負荷が高いため、他の機器で正常に再生できないことがあります。
- 動画記録サイズの画面に表示されるフレームレートは、【♀:ビデオ方式】の [NTSC] [PAL] の設定に応じて変わります。
 - [+:ビデオ方式]の設定を変更したときは、再度動画記録サイズの設定を行ってください。
 - VGA 画質の動画を撮影することはできません。

4K 動画撮影について

- 4K 動画を撮影するには高性能なカードが必要です。
- 4K 動画撮影時は、処理負荷が高いため、通常の動画撮影時に比べ カメラ内部の温度が早く上昇したり、より温度が高くなることがあ ります。
- 4K 画質で撮影した動画から任意のフレームを選んで、約830万 画素(3840×2160)のJPEG 画像(静止画)としてカードに 保存することができます(1304)。
- ↓ 4K 動画撮影時のフォーカス方式は、コントラスト検出方式になります。フ ル HD や HD 動画撮影時に比べ、ピントが合うまでに時間がかかったり、ピ ントが合いにくいことがあります。
 - $7\nu 4\nu 1$ (fps : frame per second)

29.97 29.97 fps / 59.94 fps

テレビの映像方式が「NTSC」の地域(北米、日本、韓国、メキシコなど) で設定します。

25.00 25.00 fps / 50.00 fps

テレビの映像方式が「PAL」の地域(ヨーロッパ、ロシア、中国、オー ストラリアなど)で設定します。

23.98P 23.98fps

主に映画関連で使用します。

[IPB] IPB (標準)

複数のフレーム単位で効率的に圧縮して記録します。

IPB ≧IPB (軽量)

さまざまな機器で再生できるように、ビットレートを低く抑えて記録 するため、IPB(標準)よりもファイルサイズが小さくなります。その ため、IPB(標準)よりも撮影できる時間が長くなります。

動画記録形式

MP4 MP4

このカメラで撮影した動画は、すべて MP4 形式の動画ファイルとして記録されます(拡張子:「.MP4」)。

ファイルサイズが 4GB を超える動画撮影について

1回の撮影でファイルサイズが4GBを超える場合でも、一時中断することなく、動画撮影を続けることができます。

● このカメラで初期化した「SD/SDHC カード」使用時

SD/SDHC カードをこのカメラで初期化すると、FAT32 形式でフォーマットされます。

FAT32 形式でフォーマットされたカードを使用したときは、動画撮影を開始してファイルサイズが 4GB を超えると、新しい動画ファイルが自動的に作成されます。

なお、再生時は動画ファイルごとの再生になります。動画ファイルを 自動で連続再生することはできません。再生が終わったら、続きのファ イルを選んで再生してください。

● このカメラで初期化した「SDXC カード」使用時

SDXC カードをこのカメラで初期化すると、exFAT 形式でフォーマットされます。

exFAT 形式でフォーマットされたカードを使用したときは、1回の撮影でファイルサイズが4GBを超える場合でも、(ファイルが分割されず)1つの動画ファイルに記録されます(4GBを超える動画ファイルが作成されます)。

撮影時間の制限について

1回に撮影できる時間は、最長 29分 59秒です。29分 59秒に達した時点で動画撮影が自動的に終了します。< ▲ > ボタンを押すと、動画撮影を再開することができます(新規ファイルとして記録されます)。

↓ 4GB を超える動画ファイルをパソコンに取り込むときは、EOS Utilityを 使用するか(□491)、カードリーダーを使用してください(□495)。 パソコン(OS)の機能を使って画像の取り込みを行うと、4GBを超える動 画ファイルは取り込まれません。

動画デジタルズームを使う

記録サイズが、FFID 2000 [PB](NTSC)、または FFID 2000 [PB)(PAL)のときに、デジタルズームで約3~10倍の望遠撮影ができます。

	a	撮影	定		
1	2	3	4	5	SHOOTI
	動画	記録	ナイ:	ズ	FHD SER IPB
	デジ:	タルン	ズー.	4	しない
	録音				オート

デジタルズーム		
約3~10倍ズーム		
C [⊕]	[<u>3~10</u>	



- 1 モードダイヤルを〈SCN〉〈②〉以外 にする
- 2 [デジタルズーム] を選ぶ
 - [△] タブの [デジタルズーム] を選び、 〈SET〉を押します。
- 3 [約3~10倍ズーム] を選ぶ
 - [約3~10倍ズーム]を選び〈SET〉を押します。
 - 〈MENU〉ボタンを押してメニューを終 了し、動画撮影状態に戻ります。
- 4 デジタルズームを使う
 - 〈▲〉 〈▼〉 を押します。
 - ➡ デジタルズームバーが表示されます。
 - 〈▲〉を押すと望遠側、〈▼〉を押すと広 角側にズームします。
 - シャッターボタンを半押しすると、 [1点AF](中央固定)でピント合わせが 行われます。
 - デジタルズームを解除するときは、手順2で[しない]を選びます。

- 手持ち撮影では手ブレしますので、三脚の使用をおすすめします。
 - タイムラプス動画、クリエイティブフィルター、動画電子 IS は設定できま せん。
 - 上限感度は ISO6400 になります。
 - 拡大表示はできません。
 - 動画デジタルズームでは映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が 粗くなります。また、ノイズや輝点などが目立つことがあります。
 - シーン判別のアイコンは表示されません。
 - •「ピントが合いにくい撮影条件」(201)も参照してください。

動画電子 IS

動画撮影時の手ブレを、カメラの「動画電子 IS」機能で軽減することがで きます。手ブレ補正機能が搭載されていないレンズを使用したときでも、 動画電子 IS 機能により、手ブレ補正効果が得られます。手ブレ補正機能が 搭載されているレンズを使用するときは、レンズの手ブレ補正スイッチを ⟨ON⟩ にしてください。



しない(《職off)

動画電子 IS による手ブレ補正は行われません。

● する (《ॷ∎』)

手ブレ補正が行われます。映像がやや拡大されます。

● 強(《ॷ∎)

[する] 設定時より、大きな手ブレを補正することができます。映像が さらに拡大されます。

- レンズの(光学式)手ブレ補正スイッチが〈OFF〉のときは、動画電子 IS は 機能しません。
 - レンズの焦点距離が 800mm を超えるときは、動画電子 IS は機能しません。
 - 〈SCN〉〈②〉モード時、動画デジタルズーム、タイムラブス動画、クリエイティ ブフィルター設定時は、動画電子 IS は設定できません。
 - 画角が広くなるほど、手ブレ補正効果は大きくなり、画角が狭くなるほど、 手ブレ補正効果は小さくなります。
 - TS-E レンズや魚眼レンズ使用時、または他社製レンズ使用時は [しない] に 設定することをおすすめします。
 - 拡大表示時、動画電子 IS の効果は映像に反映されません。
 - 動画電子 IS は映像を拡大しているため、映像が粗くなります。また、ノイズや輝点などが目立つことがあります。
 - 被写体や撮影条件によっては、動画電子 IS の効果により、被写体のブレが 目立つ(被写体が一瞬ボケたように見える)ことがあります。
 - 動画電子 IS を設定すると、AF フレームの大きさも変わります。
 - 三脚使用時は【しない】に設定することをおすすめします。
 - 一部のレンズは、この機能に対応していません。詳しくはキヤノンのホーム ページを参照してください。

HDR 動画を撮影する

明暗差が大きいシーンで、明るいところが白くなりすぎて、見えにくくなる(白とびする)のを緩和して動画を撮影することができます。 記録サイズは、FFFD 2000 [PB](NTSC)、または FFFD 2000 [PB](PAL)で記録されます。



1 モードダイヤルを〈SCN〉にする



2 HDR 動画を撮影する

● HDR 動画は、複数のフレームを合成して画像を作成するため、映像の一部がゆがむ場合があります。手持ち撮影では、手ブレにより、この現象が目立つことがありますので、三脚の使用をおすすめします。なお、三脚を使用して撮影しても、コマ送りやスロー再生時には通常の再生時に比べ、残像が目立ったり、ノイズが増えたように見える場合があります。

• 動画デジタルズーム、タイムラプス動画、動画電子 IS は設定できません。

フィルター効果を付けて動画を撮影 する

〈②〉(クリエイティブフィルター)モードでは、フィルター効果(5種類: ファンタジー/オールドムービー/メモリー/ダイナミックモノクローム /ジオラマ風動画)を付けて動画を撮影することができます。 記録サイズは、〒TTD 2007 (NTSC)、または 〒TTD 2007 (PAL)に設定できます。



1 モードダイヤルを〈②〉にする



- 2 〈 (Q) ボタンを押す → クイック設定の状態になります。
- 3 [』] を選ぶ
 - <▲><▼>を押して画面左上の[^{*}](撮 影モード)を選び、
 SET>を押します。
- 4 フィルター効果を選ぶ
 - <▲><▼>を押してフィルター効果
 (□236)を選び <SET>を押します。
 - ⇒ フィルター効果が反映された映像が表示されます。
 - ジオラマ風動画のときは、ピントを合わせたい位置に、AFフレームを移動します。AFフレームがジオラマ枠から出たときは、ジオラマ枠を移動させてAFフレームの位置に合わせます。



5 フィルター効果の強さを調整する

- 〈(Q)〉ボタンを押して、[撮影モード]の下 のアイコン [フィルター効果の強さ]を選び ます。
- <<>>を押して効果を調整し、<SET> を押します。
- ジオラマ風動画設定時は、再生時の速度(倍速)を選びます。

6 撮影する

- 拡大表示はできません。
 ヒストグラムは表示されません。
 動画デジタルズーム、ビデオスナップ、タイムラプス動画、動画電子 IS は 設定できません。
 - 空や白壁のようなシーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、 露出ムラや色ムラ、ノイズが発生することがあります。

 応用撮影ゾーンのときは、クイック設定でクリエイティブフィルターを設定 することができます(□226)。

各クリエイティブフィルターの特徴について

• 🐙 ファンタジー

夢の中にいるような、幻想的でやわらかな雰囲気になります。全体的 にやわらかい感じで、画面周辺にモヤがかかったような動画になりま す。効果を調整することで、画面周辺のモヤがかかる範囲を変えるこ とができます。

• 還 オールドムービー

映像の揺れや傷、明滅効果で古い映画のような雰囲気になります。画 面の上下が黒くマスクされます。効果を調整することで、映像の揺れ や傷の具合を変えることができます。

• 🛃 メモリー

遠い昔の記憶のような雰囲気になります。全体的にやわらかい感じで、 画面周辺の光量を落とした動画になります。効果を調整することで、 画面全体の彩度や画面周辺の暗部の範囲を変えることができます。

• 🖉 ダイナミックモノクローム

黒と白の階調を際立たせ、力強い臨場感のある雰囲気になります。効 果を調整することで、粒子のざらついた感じや白黒の感じを変えるこ とができます。

🔹 🖉 ジオラマ風動画

ジオラマ (ミニチュア模型) 風の動画が撮影できます。再生時の速さを、 選んでから撮影します。

画面の中央をはっきり見せたい場合は、そのまま撮影します。

はっきり見せたい部分(ジオラマ枠)を移動する場合は「ジオラマ風の操作」(QQ99)を参照してください。AF方式は1点AFになります。AFフレームとジオラマ枠の位置を合わせて撮影することをおすすめします。撮影中、AFフレーム、ジオラマ枠は表示されません。 手順5で再生速度を、[5倍速][10倍速][20倍速]のいずれかに設定してから撮影します。

倍速と再生時間の目安(動画を1分間撮影したとき)

倍速	再生時間
5 倍速	約12秒
10 倍速	約6秒
20 倍速	約3秒

🗣 🖉 (ジオラマ風動画) について

- 音声は録音されません。
- 動画サーボ AF は機能しません。
- 再生時間が1秒未満のジオラマ風動画は編集できません(QQ302)。

タイムラプス動画を撮影する

ー定間隔で撮影した静止画を自動でつなぎ合わせて、4K動画またはフル HD動画にすることができます。この機能を使うと、撮影開始から終了ま での被写体の変化を、コマ送りのようにして短時間にまとめることができ ます。景色の変化、植物の成長などの定点観測に効果的です。

タイムラプス動画は、4K 撮影時: WAK 20000 ALL:(NTSC) / WAK 20000 ALL:) (PAL)、フル HD 撮影時: WALD 20000 ALL:(NTSC) / WALD 200000 ALL:(PAL)の設定で、ともに MP4 形式で記録されます。

▲ 1 2 3 4 5	SHOOT2
タイムラブス動画	しない
リモコン撮影	しない
ビデオスナップ	撮影しない
	MENU 🕤

タイムラプス動画。

 タイムラブス撮影しない

 撮影間隔/回数

 動画記録サイズ

 印加

 自動露出

 1枚目固定

 モニター自動消灯しない

- 1 モードダイヤルを〈SCN〉〈②〉以外 にする
- 2 [タイムラプス動画] を選ぶ
 - [△] タブの [タイムラプス動画] を選び、 (SET) を押します。
- 3 [タイムラプス撮影] を選ぶ

タイムラプス撮影	
しない	
シーン1	
シーン2	
シーン3	
歩く人など動きがある被写体を	
撮影するのに適しています	
SET OK	

MENU 5

- 4 シーンを選ぶ
 - 撮影シーンに応じて、シーンを選びます。
 - 撮影間隔と回数を自由に設定して撮影したいときは [カスタム]を選びます。

5 [撮影間隔/回数] を選ぶ

 【撮影間隔 / 回数】を選び、〈SET〉を押し ます。

撮影間隔/回数	
撮影間隔 ◀ 3 ▶	秒
撮影回数 300	
1~4の範囲で設定でま	きます
▶ 00:14:57	:00:10
INFOD期設定	SET OK

撮影間	嗝/ 回数	
措	影間隔 3	秒
报	影回数 ◀ 300 →	
30-	~900の範囲で設定で	できます
00 ≓	14:57):00:10
INFO	J期設定	SET OK
(*	1) (2)

🔓 撮影間隔を設定する

- 【撮影間隔】(秒)を選びます。〈◀〉〈►〉 で数値を設定し〈SET〉を押します。
- ['冊:撮影所要時間](1)、[▶:再生時間](2)
 を参考にして設定します。

[カスタム] 設定時

- 【撮影間隔】(分:秒)を選びます。
- 〈SET〉を押して〈↓〉の状態にします。
- 数値を設定し〈SET〉を押します(〈ロ〉の状態に戻ります)。
- **[OK]** を選ぶと設定されます。

7 撮影回数を設定する

- 【撮影回数】を選びます。〈◀〉〈►〉で数 値を設定し〈SET〉を押します。
- ['\, :撮影所要時間](1)、[▶:再生時間](2)
 を参考にして設定します。

[カスタム] 設定時

- 項目(桁)を選びます。
- 〈SET〉を押して〈♪〉の状態にします。
- 数値を設定し〈SET〉を押します(〈ロ〉の状態に戻ります)。
- [▶:再生時間]が赤く表示されていない ことを確認します。
- [OK] を選ぶと設定されます。
- ・[シーン**]設定時は、各シーンに適切な撮影ができるように、設定できる撮影間隔/回数が限定されています。
 - 撮影回数を 3600 回に設定したときは、NTSC 設定時:約2分、PAL 設定時:約2分24秒のタイムラブス動画になります。

8 動画記録サイズを選ぶ

タイムラプス動画。	
動画記録サイズ	E4K ▶ FFHD

■ ¼k (3840 × 2160)

4K 画質で記録されます。画面の横縦比は 16:9 です。 フレームレートは NTSC:29.97fps(2007)/PAL:25.00fps(2007)、 圧縮方式は ALL-I(ALLI)、動画記録形式は MP4(MP4)で記録されます。

• FHD (1920 × 1080)

フルハイビジョン (Full HD) 画質で記録されます。画面の横縦比は 16:9です。

フレームレートはNTSC:29.97fps(2007)/PAL:25.00fps(2007)、 圧縮方式はALL-I(ALL)、動画記録形式はMP4(MP4)で記録されます。

タイムラブス動画。		
自動露出	▶1枚目固定 毎フレーム更新	

9 [自動露出] を設定する

1 枚目固定

1 枚目を撮影するときに測光が行われ、明るさに応じて露出が自動的 に決まります。2 枚目以降は 1 枚目と同じ露出で撮影されます。また、 撮影に関する設定も、1 枚目と同じ設定で撮影されます。

● 毎フレーム更新

2枚目以降も毎回測光が行われ、そのときの明るさに応じて露出が自動的に決まります。なお、ピクチャースタイル、ホワイトバランスなどの機能が、【オート】に設定されているときは、2枚目以降も1枚毎に自動更新されます。

タイムラプス動画。	-
モニター自動消灯 ▶しない する	

10 [モニター自動消灯] を設定する

• しない

タイムラプス動画撮影中も、映像が表示されます。撮影開始から約 30 分経過すると、画面が消灯します。

• する

撮影開始から約10秒経過すると、画面が消灯します。

タイムラブス動画撮影中に〈INFO〉ボタンを押すと、画面を点灯/消灯することができます。



3秒/300

1枚目固定

(2)

MENU 5

L.tr(.) ₩ 00:14:57 ► 00:00:10

FHD

11 電子音を設定する

- 「撮影時の電子音」を選びます。
- 「切」に設定すると、撮影が行われると きに雷子音が鳴らなくなります。

12 設定内容を確認する



撮影間隔、撮影回数をもとに撮影に必要な時間が表示されます。なお、 24 時間を超えるときは、「*** 日」で表示されます。

(2) 再生時間

タイムラブス動画。 タイムラブス撮影 撮影間隔/ 回数

動画記録サイズ

モニター自動消灯

(1)

自動露出

一定間隔で撮影した静止画から 4K 動画、またはフル HD 動画を生成 したときに、動画として記録される時間です(=動画再生に必要な時 間)。

13 メニューを終了する

 〈MENU〉ボタンを押してメニュー画面 を消します。



14 撮影所要時間と撮影間隔を再確認する

 〈INFO〉ボタンを押して、画面に表示 される「撮影所要時間(1)」「撮影間隔 (2)」を再確認します。





15 タイムラプス動画を撮影する

- (
)ボタンを押すと、タイムラプス動 画撮影が始まります。
- タイムラプス動画撮影中は AF は行われ ません。
- タイムラプス動画撮影中は、「●REC」 が表示されます。
- ⇒ 設定した回数の撮影が終わると、タイムラプス動画撮影が終了します。
- タイムラプス動画撮影を解除するときは、「タイムラブス撮影」を「しない」に設定します。
- 設定した撮影回数でカードの容量が不足するときは、「再生時間」が赤く表示されます。そのまま撮影することはできますが、カードの残量がなくなった時点で撮影が終了します。
 - 設定した[撮影回数]でファイルサイズが 4GB を超えるときに、カードが exFAT 形式でフォーマットされていないときは(①68)、[再生時間]が 赤く表示されます。そのまま撮影を行ったときは、ファイルサイズが 4GB に達した時点で、タイムラプス動画撮影が終了します。

- カメラを強い光源(太陽や人工的な強い光源など)に向けないでください。 撮像素子やカメラの内部が損傷する恐れがあります。
 - インターフェースケーブルでパソコンと接続しているときや、HDMIケーブ ルを接続しているときは、タイムラプス動画撮影はできません。
 - 動画サーボ AF は機能しません。
 - タイムラプス動画撮影中は、レンズのズーム操作を行わないでください。ピントがぼけたり、露出が変化したり、レンズ光学補正が適切に行われないことがあります。
 - タイムラブス動画撮影中は、オートパワーオフは機能しません。また、撮影 機能やメニュー機能の設定、画像再生などの操作はできません。
 - タイムラプス動画に音声は記録されません。
 - 【撮影間隔】が3秒以下で、【自動露出】が【毎フレーム更新】に設定されているときに、1フレーム前と明るさが大きく異なるときは、設定した間隔で撮影が行われないことがあります。
 - 動画電子 IS は設定できません。
 - 撮影機能の設定やカードの性能などにより、カードに記録する時間が撮影間 隔よりも長いときは、設定した間隔で撮影できないことがあります。
 - カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続して、EOS 用ソフト ウェアの EOS Utility を使用するときは、[△:タイムラブス動画]を[しない] に設定してください。[しない] 以外を選択しているときは、パソコンと通信 できません。
 - タイムラプス動画撮影中は、レンズの手ブレ補正機能は作動しません。
 - 電源スイッチ (OFF) などを行ったときは、タイムラプス動画撮影が終了し、 設定が [しない] になります。
 - ストロボを使用しても発光しません。
 - 次の操作を行うと、タイムラプス動画の撮影準備状態が解除され、設定が [しない] になります。
 - [+:センサークリーニング]の[今すぐクリーニング :[---]、[+:設定解除]の[カメ ラ設定初期化]を選んだとき
 - モードダイヤルを回したとき
 - 白い〈図〉温度上昇警告(□214)が表示されている状態で、タイムラプス動画撮影を開始すると、タイムラプス動画の画質が低下することがあります。白い〈図〉が消えてから(カメラ内部の温度が下がってから)撮影開始することをおすすめします。

- 三脚の使用をおすすめします。
 - 映像の視野率は、4K / フル HD タイムラプス動画撮影時ともに約 100%です。
 - タイムラプス動画撮影を途中で中止するときは、(
) ボタンを押します。
 そのときは、中止したときまでのタイムラプス動画がカードに記録されます。
 - 撮影したタイムラプス動画は、通常の動画と同じようにこのカメラで再生できます。
 - 撮影所要時間が24時間超~48時間以下のときは2日と表示されます。3
 日以上のときも同じように24時間単位の基準で表示されます。
 - タイムラプス動画の「再生時間」が1秒未満でも動画ファイルが生成されます。そのとき【再生時間】は「00'00"」と表示されます。
 - 撮影時間が長くなるときは、家庭用電源アクセサリー(別売/□469)の 使用をおすすめします。
 - ワイヤレスリモートコントローラーBR-E1(別売)を使用して、タイムラ ブス動画の撮影の開始/終了などを行うことができます。

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 使用時

- あらかじめ、ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 とペアリングを行っ てください(皿416)。
- [△:リモコン撮影] を [する] に設定してください。

ビデオスナップを撮影する

1 シーンが数秒間の短い動画「ビデオスナップ」(以下スナップ)を繰り返し撮影して、旅行やイベントなどの想い出を、1 つの動画に簡潔にテンポ良くまとめた「ビデオスナップアルバム」(以下アルバム)を作ることができます。

ビデオスナップは、動画記録サイズがFFFD 29973[IPB](NTSC)、 FFFD 25093[IPB](PAL)のときに設定できます。

できあがったアルバムは、BGM(音楽)と一緒に再生することもできます (皿340)。



スナップの撮影時間を決める

● 撮影設定	
1 2 3 4 5	SHOOT2
タイムラプス動画	しない
リモコン撮影	しない
ビデオスナップ	撮影しない
	MENU 🕤

ビデオスナップ		_
ビデオスナップ	撮影しない	1
)撮影する	

1 モードダイヤルを〈◇〉以外にする

- 2 [ビデオスナップ] を選ぶ
 - [△] タブの [ビデオスナップ] を選び、 (SET) を押します。
- 3 [撮影する] を選ぶ
 - [ビデオスナップ]を選び、[撮影する]を選びます。

ビデオスナップ	
ビデオスナップ	撮影する
アルバムの設定	新規に作成
再生時間	4秒
再生時の効果	1倍速
保存確認画面の表示	する
撮影所要時間	4秒
	MENU 🗂

アルバムの設定

既存のアルバムに追記

4 [アルバムの設定] を選ぶ

5 [アルバムを新規に作成] を選ぶ

メッセージを確認して [OK] を選びます。



MENU 🕤

6 再生時間を設定する

• 1 スナップの再生にかかる時間です。



ビデオスナップ				
ビデオスナップ	撮影する			
アルバムの設定	新規に作成			
再生時間	4秒			
再生時の効果	1倍速			
保存確認画面の表示	する			
撮影所要時間	4秒			
	MENU 🕤			
	(1)			
(1)				

7 再生時の効果を設定する

- アルバムの再生速度です。
- 〈SCN〉のときは、[再生時の効果]は設定 できません。

8 撮影所要時間を確認する

 再生時間と再生時の効果をもとに、1ス ナップの撮影に必要な時間(1)が表示 されます。



9 メニューを終了する

- 〈MENU〉ボタンを押してメニューを終 了します。
- ➡ 画面に撮影時間(1)を示す青いバーが 表示されます。

スナップを撮影してアルバムを作る





- 10 最初のスナップを撮影する

 - → 撮影時間を示す青いバーが減っていき、 設定時間経過後、自動的に撮影が終了 します。
 - → 確認画面が表示されます (□249)。
 - ▲ アルバムとして保存する
 - [転 アルバムとして保存]を選び、〈SET〉 を押します。
 - アルバムの先頭スナップとして保存されます。



12 続けてスナップを撮影する

- 手順10と同じ操作で、次のスナップ を撮影します。
- [転 アルバムに追加する]を選び、〈SET〉 を押します。
- 別のアルバムを作るときは、【ご新しい アルバムとして保存】を選びます。
- 必要に応じて手順 12 を繰り返します。

● 撮影設定	
1 2 3 4 5	SH00T2
タイムラブス動画	しない
リモコン撮影	しない
ビデオスナップ	撮影しない
	MENU 🕤

13 ビデオスナップ撮影を終了する

- [ビデオスナップ] を [撮影しない] に設定します。通常の動画を撮影するときは、[撮影しない] に設定してください。
- 〈MENU〉ボタンを押してメニューを終 了すると、通常の動画撮影に戻ります。

手順11、手順12の画面について

項目	内容		
📷 アルバムとして保存(手順 11)	アルバムの最初のスナップとして保存します。		
12)	いま撮影したスナップを、直前に記録したアルバ ムに追加します。		
□ 新しいアルバムとして保存 (手順 12)	新しいアルバムを作成し、最初のスナップとして 保存します。直前に記録したアルバムとは別ファ イルになります。		
湿 撮影したスナップを再生する(手順11、手順12)	いま撮影したスナップを再生します。		
	いま撮影したスナップをアルバムに保存しないで 消去します。確認画面で [OK] を選びます。		

既存のアルバムに追記する



- 1 [既存のアルバムに追記] を選ぶ



2 既存のアルバムを選ぶ

- <
 <
 <

 <
- [OK] を選びます。
- →一部の設定が、既存のアルバムの設定 に変更されます。

3 メニューを終了する

- 〈MENU〉ボタンを押してメニューを終 了します。
- ➡ ビデオスナップの撮影画面が表示されます。

4 スナップを撮影する

- 「スナップを撮影してアルバムを作る」
 (□248)を参照し、スナップを撮影します。
- 他のカメラで撮影したアルバムは選択できません。

↓ ビデオスナップ撮影全般の注意事項

- [再生時の効果] で、[1/2 倍速] [2 倍速] を選んだときは、音声は記録されません。
- 1スナップの撮影所要時間は目安です。フレームレートとの関係上、再生時に表示される撮影時間と若干ズレが生じる場合があります。

メニュー機能の設定

電源スイッチを〈╹果〉にすると、【▲】および【¥】タブに動画撮影特有の 項目が表示されます。

 攝影設定 		通影設定		 撮影設定 	
1 2 3 4 5	SHOOT1	1 2 3 4 5	SHOOTZ	1 2 3 4 5	SHOOT3
動画記録サイズ	FHD SSNE IPB	タイムラブス動画	しない	露出補正 -32.	.1012.:3
デジタルズーム	しない	リモコン撮影	しない	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	-
録音	オート	ビデオスナップ	撮影しない	オートライティングオプティ	マイザ 囁
動画電子IS	する			高輝度側・階調優先	OFF
レンズ光学補正	-			マートスローシャッター	A SUON ON
				測光タイマー 8秒	
	MENU 🗂		MENU ᠫ		MENU 🕤
▲ 撮影設定 1 2 3 4 5	SHOOT4	▲ 撮影設定 1 2 3 4 5	SH0075		SET UP4
ホワイトバランス	AWB	AF方式	AF C BB	 撮影時のグリッド 表示	しない
MWB画像選択		動画サーボAF	する	動画撮影時シャッターボタン	ノの機能
WB補正	0,0	瞳AF	しない	■と米ボタンの入換 しな	11
ピクチャースタイル	オート	レンズの電子式手動こ	フォーカス ®+0ff	HDMI出力解像度 自動	
HDMI出力時の情報表示	⊼ ON	MFビーキング設定	-	HDMI HDR出力 切	
	MENU ᅿ		MENU 🛳		MENU ᠫ

動画記録サイズ(□227)
 動画記録サイズ(画像サイズ、フレームレート、圧縮方式)を設定することができます。

デジタルズーム(□230)
 デジタルズームで望遠撮影ができます。





通常は内蔵マイクでステレオ録音されま す。外部マイク入力端子(皿28)に、 指向性ステレオマイクロホン DM-E1(別 売)を接続すると、外部マイクが優先され ます。

(1) レベルメーター

[録音/録音レベル] の項目

【オート】 :録音レベルが自動調整されます。音の大きさに応じて、 オートレベルコントロール機能が自動的に働きます。

- 【マニュアル】:上級者向けの機能です。録音レベルを64段階で任意に調整することができます。
 【録音レベル】を選び、レベルメーターを見ながら〈◀〉
 〈►〉を押して、録音レベルを調整することができます。音量が大きいときに、レベルメーターの「12」(-12dB)の右側が、時々点灯するように、ピークホールド機能(約3秒間)を参考にして調整します。「0」を超えると音が割れます。
- [しない] :録音は行われません。

[ウィンドカット]

【オート】に設定すると、屋外で撮影する際、風の影響により発生する「ボ コボコ」という音を低減することができます。内蔵マイク使用時のみ 機能します。なお、ウィンドカット機能が働くと、低い音の一部も低 減されます。

[アッテネーター]

音割れを抑制する機能です。【録音】を【オート】または【マニュアル】に設定して撮影しても、大音響の環境では音割れすることがあります。そのときは【入】に設定することをおすすめします。

[●] 外部マイク使用時に Wi-Fi (無線通信)機能を使用すると、ノイズが録音されることがあります。録音中は無線通信機能を使用しないことをおすすめします。
- かんたん撮影ゾーンのときは、【▲:録音】は【する/しない】になります。なお、 [する】に設定したときは、録音レベルが自動調整され(【オート】と同じ)、ウィンドカットが行われます。
 - L/R(左/右)の音量バランスを調整することはできません。
 - L/R ともに、サンプリング周波数 48kHz / 16bit で記録されます。
 - 動画電子 IS (□232)

動画撮影時の手ブレを軽減することができます。

• レンズ光学補正 🔤 (□142)

周辺光量補正、色収差補正を設定することができます。

タイムラプス動画(□238)

タイムラプス動画を撮影することができます。

• リモコン撮影

[する] に設定すると、ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1(別 売/□471)を使用して、動画撮影の開始/停止を行うことができます。

BR-E1 使用時は、撮影タイミング / 動画撮影切り換えスイッチを 〈 🗮 〉 の位置にして、レリーズボタンを押します。

ビデオスナップ (□246)

ビデオスナップを撮影することができます。

- ・ 「果 オートスローシャッター 随田(□257) 薄暗い場所で動画を撮影するとき、明るさとなめらかさのどちらを優 先するか選ぶことができます。
- 測光タイマー 図 露出値の表示時間(AE ロック時の保持時間)を変えることができます。
- HDMI 出力時の情報表示 MB (□ 258)
 情報表示のない映像を HDMI 出力することができます。

AF 方式

「AF でピントを合わせる」(皿196)で説明している AF 方式と同じです。[ご+追尾優先 AF] [スポット1点 AF] [1点 AF] [ゾーン AF] が選択できます。

動画サーボ AF

動画撮影のときに被写体に対して常にピントを合わせ続ける機能です。 初期設定では【する】に設定されています。

[する] 設定時

- シャッターボタンを半押ししなくても、被写体に対して常にピント を合わせ続けます。
- 狙った位置でピントを止めたいときや、レンズの作動音などが記録 されるのが気になるときは、以下の方法で動画サーボ AF を一時的 に停止することができます。
 - · 画面左下の [*: [にタッチする
 - 「◆:カスタム機能(C.Fn)]の「シャッターボタン/AEロックボタン]が[2: AF/AFロック(AEロックなし)]に設定されているときは、〈★〉ボ タンを押している間、動画サーボ AF を停止することができます。
 〈★〉ボタンを離すと、動画サーボ AF が再開します。
- 動画サーボ AF が停止しているときに、〈MENU〉ボタンや〈▶〉 ボタンを押したり、AF 方式を変更するなどの操作を行ったあと、 動画撮影に戻ると、動画サーボ AF が再開します。

[しない] 設定時

- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。

↓ [動画サーボ AF:する] 設定時の注意事項

- ピントが合いにくい撮影条件
 - 速い速度で近づく、または遠ざかる被写体
 - 近距離で動いている被写体
 - 「ピントが合いにくい撮影条件」(201)も参照してください。
- 常にレンズが作動して電池を消耗するため、動画撮影できる時間が短くなります。
- レンズの種類により、ピント合わせのための作動音が記録されることがあります。そのときは、指向性ステレオマイクロホン DM-E1(別売)を使用することで、低減できる場合があります。なお、一部の USM レンズ(例: EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM)、および一部の STM レンズ(例: EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM)使用時は、レンズの作動音が録音されにくくなっています。
- ズーム操作中や拡大表示を行っているときは、動画サーボ AF が一時停止します。
- 動画撮影中に被写体が近づいたり/遠ざかったり、カメラを上下/左右に動かすと(パンニング)、映像が一瞬伸縮(像倍率変化)して記録されることがあります。
- 動画サーボ AF 中に、レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉にするときは、カメラの電源スイッチを〈ON〉にしてから操作してください。

レンズの電子式手動フォーカス 図3(1)108)

電子式手動フォーカス機能を備えたレンズ使用時に、設定することが できます。

撮影時のグリッド

[9分割 ++] または [24分割 ##] でグリッド (格子線)を表示して、水平、 垂直の傾きを撮影開始前に確認することができます。また、[9分割+対 角 **] では、格子線と対角線が表示され、水平、垂直の傾きの確認だ けでなく、交点を被写体に合わせることで、バランスの良い構図にす ることができます。

なお、動画撮影中は液晶モニターにグリッドは表示されません。

動画撮影時シャッターボタンの機能

動画撮影時にシャッターボタンを半押し/全押ししたときの動作を設 定することができます。

[半押し]

- [測光・動画サーボ] [測光・ワンショット] [測光のみ] のいずれかに設定できます (4K 動画では [測光・ワンショット] を除く)。

[全押し]

- [無効] 【動画撮影の開始/終了】 のいずれかに設定できます。 なお、全押ししたときの動作に【動画撮影の開始/終了】を設定すると、 (▲) ボタン、シャッターボタンの全押しだけでなく、リモートス イッチ RS-60E3 (別売) で、動画撮影を開始/終了することがで きます(□471)。
- [¥:カスタム機能 (C.Fn)]の[シャッターボタン/AEロックボタン]でシャッターボ タンに機能が割り当てられていても、動画撮影時は[¥:動画撮影時シャッターボ タンの機能]の設定が優先されます。

動画撮影時の ISO 感度について 図測

• 乗ISO感度に関する	5設定
ISO感度	オート
オートの上限	12800
	MENU 🕤

ISO 感度は、静止画撮影時と動画撮影時で、 別々に設定することができます。[▲]タ ブの [***〒ISO 感度に関する設定**] で設定します。

[ISO 感度]

マニュアル露出時は、ISO 感度を設定できます()222)。

• [オートの上限]

ISO 感度オート時に自動設定される感度の上限値を、ISO6400または ISO12800 に設定することができます。

[♥:カスタム機能(C.Fn)]の[ISO感度拡張]が[1:する]に設定されているときは、[H(25600)]を選択することができます。

動画オートスローシャッターについて 🖾



暗い場所で動画撮影を行ったときに、 シャッタースピードを自動的に遅くして、 [しない] 設定時よりも明るくノイズを抑え た映像を記録するかどうかを選択すること ができます。

この機能は、動画記録サイズのフレーム レートが、59947、50007のときに機能します。

• [しない]

[する] 設定時よりも被写体のブレが少なく、自然でなめらかな動きが 撮影できます。ただし、暗い場所では、[する] 設定時よりも映像が暗 くなることがあります。

• [する]

暗い場所で動画撮影を行ったときに、シャッタースピードを自動的に 1/30 秒(NTSC)、または 1/25 秒(PAL)まで遅くして、【しない】 設定時よりも明るくノイズを抑えた映像を撮影することができます。

● 暗い場所で動きのある被写体を撮影するときや、尾を引いたような残像が出るときは、[しない] に設定することをおすすめします。

HDMI 出力時の情報表示 図目

HDMI出力時の情報表示	
あり	
なし / ⊑4K	
なし/ 軒回	
	SET OK

HDMI ケーブルで映像を出力するときの情報表示を設定することができます。

• [あり]

HDMI 出力先に、映像および撮影情報や AF フレームなどが表示され ます。なお、カメラの画面は消灯します。 記録した映像はカードに保存されます。

■ [なし /℡4k]

4K動画の映像のみを HDMI 出力します。カメラの画面には撮影情報 やAFフレームなども表示されますが、カードに映像は記録されません。 また、Wi-Fi 通信はできません。

[なし/FHD]

フル HD 動画の映像のみを HDMI 出力します。カメラの画面には撮影 情報や AF フレームなども表示されますが、カードに映像は記録され ません。また、Wi-Fi 通信はできません。

動画撮影全般の注意事項

カメラ内部の温度上昇にともなう、赤い〈题〉表示について

- 動画撮影を長時間行ったり、高温下で動画撮影を行うと、カメラ内部の温度 が上昇し、赤い(四)が表示されます。
- 赤い〈
 ・(
 ・) くは、もうすぐ動画撮影が自動的に終了することを示しています。
 そのときは、カメラ内部の温度が下がるまで、撮影ができなくなりますので、
 一旦電源を切り、しばらく休止してください。
- 高温下で動画撮影を長時間行うと、(
) が表示されるタイミングが早くなります。撮影しないときは、こまめに電源を切ってください。

記録と画質について

- 手ブレ補正機能を搭載したレンズ使用時は、手ブレ補正スイッチを〈ON〉にすると、シャッターボタンを半押ししなくても、常時手ブレ補正機能が作動します。そのため、電池が消耗し、撮影条件により動画撮影時間が短くなることがあります。三脚使用時など、補正の必要がないときは、手ブレ補正スイッチを〈OFF〉にすることをおすすめします。
- カメラに内蔵されたマイクにより、撮影中の操作音やカメラの作動音なども ー緒に録音されます。なお、指向性ステレオマイクロホン DM-E1(別売) を使用すると、これらの音を録音しないように低減できる場合があります。
- 外部マイク入力端子に、外部マイク以外は接続しないでください。
- 自動露出で動画撮影中に明るさが変化すると、その場面の映像が一瞬止まっ て見えることがあります。このようなときは、マニュアル露出で撮影してく ださい。
- 極端に明るい光源が画面内にあると、明るい部分が黒っぽくつぶれたように 表示されることがあります。動画撮影時は、表示された映像とほぼ同じ状態 で記録されます。
- 暗い場所では映像にノイズや色ムラが発生することがあります。動画撮影時は、表示された映像とほぼ同じ状態で記録されます。
- 撮影した動画を他の機器などで再生すると、画質や音質が悪くなったり、 (MP4形式に対応していても)再生できないことがあります。

動画撮影全般の注意事項

記録と画質について

書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画撮影中に画面の右側に5段階のインジケーター(1)が表示されることがあります。インジケーターは、カードにまだ書き込まれていないデータ量(内蔵メモリーの空き容量)を表し、遅いカードほど、段階が早く上がっていきます。インジケーターがフルになると、動画撮影が自動的に停止します。
 書き込み速度が速いカードは、インジケーターが表示されないか



書き込み速度が速いカードは、インジケーターが表示されないか、 表示されても段階はほとんど上がりません。そのため、事前にテス ト撮影を行うことで、動画撮影に適したカードかどうかを判断する ことができます。

MP4 形式の動画の制約について

- MP4形式の動画には、一般的に以下の制約事項がありますので、ご了承く ださい。
 - 最後の約2フレームには、音が記録されません。
 - Windows で動画を再生すると、映像と音声が若干ズレることがあります。

知っていると便利な機能

- 電子音が鳴らないようにする()262)
- カードの入れ忘れを防止する()262)
- 撮影直後の画像表示時間を設定する(皿263)
- 電源が切れるまでの時間を設定する/オートパワーオフ (囗263)
- 液晶モニターの明るさを調整する(皿264)
- フォルダの作成と選択(□265)
- 画像番号の付け方を設定する()267)
- 著作権情報の設定(皿270)
- 縦位置で撮影した画像の自動回転表示の設定(□272)
- カメラの設定を初期状態に戻す()273)
- 液晶モニターの消灯/点灯の設定()274)
- 撮像素子の自動清掃(皿275)
- ゴミ消し情報を画像に付加する()277)
- 手作業で撮像素子を清掃する(皿279)
- HDMI 出力時の解像度()
 HDMI 出力時の解像度()
- HDR 対応テレビでの RAW 画像の表示()282)

普段使う上で便利な機能

電子音が鳴らないようにする

ピントが合ったときや、セルフタイマー撮影時、画面にタッチして操作したときに、電子音が鳴らないようにすることができます。



[♥] タブの [電子音] を選び、〈SET〉を押します。[切] を選び〈SET〉を押します。 画面にタッチしたときの電子音だけを鳴らないようにするときは [タッチ音切] を選びます。

カードの入れ忘れを防止する

カードが入っていないときに、撮影ができないようにすることができます。



[□] タブの [カードなしレリーズ] を選び、 〈SET〉を押します。[しない] を選び 〈SET〉 を押します。

カードを入れないでシャッターボタンを押 すと、ファインダー内に「**Card**」が表示 されてシャッターが切れません。

撮影直後の画像表示時間を設定する

撮影直後に液晶モニターに表示される画像の表示時間を変更することができます。[切] に設定すると、撮影直後に画像は表示されません。[ホールド] に設定すると、[オートパワーオフ] の時間まで画像が表示されます。

なお、画像表示中にシャッターボタン半押しなどのカメラ操作を行うと、 表示が終了します。

撮影画像の確認時間	
切	
2秒	
4秒	
8秒	
ホールド	
	SET OK

[▲] タブの [撮影画像の確認時間] を選び、 〈SET〉を押します。内容を選び〈SET〉 を押します。

電源が切れるまでの時間を設定する/オートパワーオフ

カメラを操作しない状態で放置すると、節電のため設定されている時間で 電源が自動的に切れます。この機能が働いて電源が切れたときは、シャッ ターボタンなどを押すと電源が入ります。

[しない] に設定したときは、節電のために電源をこまめに切るか、〈DISP〉 ボタンを押して液晶モニターの表示を消すことをおすすめします。

なお、[しない] の設定でもカメラを約 30 分放置すると、液晶モニターが消 灯します。液晶モニターを点灯するときは、〈DISP〉ボタンを押してくだ さい。



[¥] タブの [オートパワーオフ] を選び、〈SET〉 を押します。内容を選び〈SET〉を押します。

[10秒/30秒] 設定時は約10秒放置すると、電源が切れます。なお、機能設定時、ライブビュー撮影時、動画撮影時、再生時などは、電源が切れるまでの時間が約30秒になります。

液晶モニターの明るさを調整する

液晶モニターが見やすいように、明るさを調整することができます。



[♥] タブの [画面の明るさ] を選び、〈SET〉 を押します。調整画面で〈◀〉〈▶〉を押 して明るさを調整し、〈SET〉を押します。

露出を確認するときは、目盛を4の位置に して、なるべく周りの光の影響を受けない ようにしてください。



フォルダの作成と選択

画像を保存するフォルダを任意に作成/選択することができます。 なお、この操作を行わなくても、画像を保存するフォルダは自動で作成され、 そのフォルダに画像が保存されます。

フォルダの作成

一機能設定	
1 2 3 4 5	SET UP1
フォルダ選択	
画像番号	通し番号
縦位置画像回転表示	する白旦
カード初期化	
	MENU 🗂

1 [フォルダ選択] を選ぶ

 [♥] タブの [フォルダ選択] を選び、〈SET〉 を押します。

[フォルダ作成] を選び 〈SET〉を押します。

フォルダ選択		
10004101	46	
フォルダ作成		
		SET OK

2 [フォルダ作成] を選ぶ

フォルダ選択
フォルダ101を作成します
キャンセルOK

3 フォルダを作成する

- [OK] を選び 〈SET 〉を押します。
- ➡ 番号が1つ繰り上がった、新しいフォ ルダが作成されます。

フォルダの選択



- フォルダ選択画面が表示された状態で、 フォルダを選び (SET) を押します。
- ➡ 画像を保存するフォルダが選択されます。
- 撮影を行うと、選択したフォルダに画 像が記録されます。
- (1) フォルダ内画像数
- (2) 最小番号画像
- (3) フォルダ名
- (4) 最大番号画像

🖥 フォルダについて

 フォルダ名は、「100CANON」のように先頭3桁の数字(フォルダ番号) と、5文字の英数字で構成されています。1つのフォルダには、画像が最大 9999枚保存されます(画像番号0001~9999)。フォルダ内の画像がいっ ばいになると、番号が1つ繰り上がったフォルダが自動的に作成されます。 また、強制リセット(単269)を行ったときもフォルダが自動的に作成されます。 フォルダは100~999まで作成することができます。

パソコンを使ったフォルダ作成

カードを開いたところに「DCIM」という名前のフォルダを作ります。次に DCIM フォルダを開いたところに、画像を記録するフォルダを必要な数だけ 作ります。フォルダ名は、「100ABC_D」のように、必ず100~999ま での3桁の番号に続けて、5文字の英数字を付けます。使用できる文字は、 半角アルファベットA~Z(大文字、小文字混在可)、半角の「_」(アンダー バー)、および数字です。スペースは使用できません。また、同じフォルダ 番号(例:100ABC_D、100W_XYZ)を付けたときも、カメラがフォル ダを認識できません。

画像番号の付け方を設定する

画像番号は、撮影した順に0001~9999の番号が付けられて、1つのフォ ルダに保存されます。画像番号は、用途に応じて番号の付け方を変えるこ とができます。

画像番号は、パソコンでは **IMG_0001.JPG** というような形で表示され ます。



[♥]タブの[画像番号]の[番号の付け方]を選び、 〈SET〉を押します。下記の説明を参考に して内容を選び、〈SET〉を押します。

【通し番号】:カードの交換やフォルダ作成を行っても連番で保存したいとき

カード交換やフォルダ作成を行っても、画像番号 9999 の画像ができ るまで、連続した番号が付けられ、保存されます。複数のカード、ま たはフォルダにまたがった 0001 ~ 9999 までの画像を、パソコン で 1 つのフォルダにまとめて保存したいときなどに有効です。

ただし、交換したカードや、作成したフォルダにすでに画像が入って いるときは、その画像に付けられた番号の続き番号になることがあり ます。画像を通し番号で保存したいときは、初期化したカードを使用 してください。





(1) 続きの画像番号





[オートリセット]:カードの交換やフォルダ作成で、画像番号を 0001
 にしたいとき

カード交換やフォルダ作成を行って撮影すると、画像番号 0001 から 順に番号が付けられ、保存されます。カード単位、またはフォルダ単 位で画像を分類したいときなどに有効です。

ただし、交換したカードや、作成したフォルダにすでに画像が入っているときは、その画像に付けられた番号の続き番号になることがあります。0001から順に保存したいときは、初期化したカードを使用してください。









(1) 画像番号リセット

 【強制リセット】:任意に画像番号を0001にしたり、新しいフォルダで 画像番号0001から撮影したいとき

通し番号	
	通し番号

[♀] タブの[画像番号]の[強制リセット]を選び、 確認画面で [OK] を選びます。

この操作を行うと、自動的に新しいフォルダが作られ、そのフォルダ に画像番号 0001 から順に番号が付けられ、保存されます。 前の日に撮影した画像と、今日撮影する画像を別々のフォルダに保存 したいときなどに有効です。操作を行ったあとは、通し番号、またはオー トリセットの設定に戻ります(強制リセットの確認表示は行われません)。

- フォルダ番号 999のフォルダに画像番号 9999の画像が保存されると、カードに空き容量があっても撮影できなくなります。カードの交換を促すメッセージが表示されますので、新しいカードに交換してください。
- ファイル名の先頭は、JPEG画像、RAW画像はともに「IMG_」、動画は「MVI_」 になります。拡張子は、JPEG画像は「.JPG」、RAW画像は「.CR3」、動 画は「.MP4」になります。

著作権情報の設定

著作権情報の設定を行うと、その内容が Exif(イグジフ)情報として画像 に付加されます。





【著作権情報】を選ぶ

 [♥] タブの [著作権情報] を選び、〈SET〉 を押します。

応用

- 2 設定する項目を選ぶ
 - [作成者名入力] または[著作権者名入力] を 選び、〈SET〉を押します。



3 文字を入力する

- <◆> 十字キーで□を移動し、希望する 文字を選び、<SET>を押すと入力され ます。
- 最大 63 文字入力できます。
- 【<>】を選ぶか、〈 ´ ´ 」、ボタンを押すと、
 1 文字消去されます。
- 【△】を選ぶと、入力モードが切り換わります。
- 画面右上の [◆] [◆] を選ぶか、〈ごふ〉 を回すと、入力位置を移動できます。
- 入力をキャンセルするときは、〈MENU〉 ボタンを押して [キャンセル] を選びます。
 - (1) 入力モード
 - (2) 文字パレット

4 設定を終了する

- 文字の入力が終わったら、〈MENU〉ボ タンを押して [OK] を選びます。
- → 設定した内容が保存されます。

著作権情報の確認

応用

著作権情報の表示 作成者 XXXXXXXXXXX

著作権者 Canon Inc. 手順2で【著作権情報の表示】を選ぶと、入力 した【作成者】【著作権者】の情報を確認する ことができます。

著作権情報の消去

MENU 🕤

手順2で[著作権情報の消去]を選ぶと、[作成者][著作権者]の情報が消去されます。

● 入力した作成者名または著作権者名が長いときは、【著作権情報の表示】を選ん だ際に、入力した文字の一部が表示されないことがあります。

 EOS 用ソフトウェアの EOS Utility (11491)から、著作権情報を設定・ 確認することもできます。

縦位置で撮影した画像の自動回転表示の設定



楼能設定
 1 2 3 4 5 Strun
 総位置画像回転表示)するロロ
 するロ
 しない
 しない
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 し
 れ
 し
 れ
 し
 し
 し
 れ
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し
 し

縦位置で撮影した画像は、カメラで再生すると きや、パソコンの画面で見るときに、被写体が 横向きで表示されないように、自動回転して見 やすい向きで表示されますが、この設定を変更 することができます。

> [♥]タブの[縦位置画像回転表示]を選び、〈SET〉 を押します。下記の説明を参考にして内容 を選び、〈SET〉を押します。

- 【する △ □】: カメラで再生するときと、パソコン画面で見るときに、 自動回転させたいとき
- 【する 旦】 : パソコン画面で見るときだけ自動回転させたいとき
- [しない] : 自動回転させたくないとき

? こんなときは

撮影直後に表示される画像が回転表示されない
 (下)ボタンを押して、画像を再生したときに回転表示が行われます。

 【する △ 旦】にして再生しても回転表示されない
 【しない】の設定で撮影した画像は回転表示されません。また、カメラを 上や下に向けて撮影すると、回転表示が正しく行われないことがあり ます。その場合は、「回転させる」(〔〕290)の操作で画像を回転さ せることができます。

- [する □] で撮影した画像をカメラで回転表示させたい
 [する □ □] に設定して再生すると、回転表示が行われます。
- パソコンの画面で回転表示されない
 回転表示に対応していないソフトウェアです。EOS 用ソフトウェアを 使用してください。

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの撮影機能や、メニュー機能の設定を初期状態に戻すことができま す。この操作は、応用撮影ゾーンで行うことができます。



【設定解除】を選ぶ
 ●【♥】タブの【設定解除】を選び、〈SET〉

応用

 ファームウェア
 OVer. 1.0.0

 MENU
 MENU

 設定解除
 カメラ設定初期化

 カスタム機能(C.Fn)一括解除
 MENU

2 [カメラ設定初期化] を選ぶ

を押します。

【カメラ設定初期化】を選び〈SET〉を押します。

カメラ設定初期化
カメラの設定を初期状態にします
キャンセルOK

- <u>3</u> [OK] を選ぶ
 - [OK] を選び 〈SET 〉を押します。

? こんなときは

すべての設定を初期状態に戻したい

MENU 🕤

上記操作を行ったあと、[♥:設定解除]で「カスタム機能(C.Fn) --括解除]を選ぶと、設定されているカスタム機能をすべて解除できます (□ 453)。

液晶モニターの消灯/点灯の設定

シャッターボタンの半押し(または〈★〉ボタンを押す)に連動して、液 晶モニターが消えたり点いたりしないようにすることができます。



- [♥]タブの[モニター消灯/点灯]を選び、〈SET〉 を押します。下記の説明を参考にして内容 を選び、〈SET〉を押します。
- 【半押し連動】 :半押しすると表示が消え、指を離すと表示されます。
- 【半押し/DISP】:半押しすると表示が消え、指を離しても表示されません。
 〈DISP〉ボタンを押すと表示されます。
- 「消灯しない】 :半押ししても表示は消えません。消したいときは、 〈DISP〉ボタンを押します。

撮像素子の自動清掃

このカメラは、電源スイッチを〈ON〉にしたときと、〈OFF〉にしたときに、 撮像素子前面に付いたゴミを自動的に取り除く、セルフ クリーニング セン サー ユニットが作動するようになっています。通常はこの機能を意識する 必要はありませんが、任意に作動させたいときや、このユニットを作動さ せたくないときは、次のようにします。

任意に作動させて清掃する

一機能設定		
1 2 3 4 5	1	IET UP3
ビデオ方式	NTSC	
タッチ操作	標準	
電子音	入	
バッテリー情報		
センサークリーニン	ノグ	
	MENU	•

センサークリーニング 自動クリーニング あする 今すぐクリーニング ふ 手作業でクリーニング

1 [センサークリーニング] を選ぶ

 [♥] タブの [センサークリーニング] を選び、 (SET) を押します。

2 [今すぐクリーニング [---] を選ぶ

- [今すぐクリーニング …] を選び、〈SET〉 を押します。
- [OK] を選び〈SET〉を押します。
- クリーニング中を示す画面が表示され、 清掃が行われます(小さな音が鳴ること があります)。清掃中にシャッターの作 動音がしますが、撮影は行われません。
- マルチショットノイズ低減機能が設定されているときは [今すぐクリーニング .□·] を選択できません。
- 効果的なゴミの除去を行うため、机の上などにカメラを置いて(底面が机に 付いた状態で)清掃してください。
 - 繰り返し清掃を行っても、効果は大きく変わりません。清掃終了直後は、【今 すぐクリーニング・(___)が一時的に選べなくなります。
 - 撮像素子が宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点」が生じることがあります。[今すぐクリーニング・・・」を行うと、輝点の発生が改善することがあります(①484)。

自動清掃を行わないようにする

● 手順2で[自動クリーニング た]を選び、[しない]を選びます。
 ● 電源スイッチを〈ON〉にしたときと、〈OFF〉にしたときに、清掃が行われなくなります。

ゴミ消し情報を画像に付加する

応用

通常は、セルフ クリーニング センサー ユニットで、画像に写り込む可能 性があるほとんどのゴミを除去することができます。しかし、除去できな かったゴミがある場合に備え、ゴミを消すための情報(ダストデリートデー タ)を画像に付加することができます。付加された情報は、EOS 用ソフト ウェアの Digital Photo Professional (単491)で、自動ゴミ消し処 理を行うときに使われます。

事前準備

- 白い無地の被写体(白紙など)を用意する。
- レンズの焦点距離を 50mm 以上にする。
- レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉にして、無限遠(∞)に 設定する。距離目盛のないレンズは、正面から見てフォーカスリング を時計方向に突き当たるまで回します。

ダストデリートデータを取得する







- 1 [ダストデリートデータ取得] を選ぶ
 - [△] タブの [ダストデリートデータ取得] を 選び、〈SET〉を押します。
- 2 [OK] を選ぶ
 - [OK]を選び〈SET〉を押すと、撮像素子の自動清掃が行われたあと、説明画面が表示されます。清掃中にシャッターの作動音がしますが、撮影は行われません。



ſ	

ダストデリートデータ取得
データの取得が完了しました
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

3 真っ白な無地の被写体を撮影する

- 20~30cmの距離で、(模様などがない)真っ白な無地の被写体を画面いっぱいに入れて撮影します。
- → 絞り優先 AE、絞り数値 F22 で撮影されます。
- 画像は保存されませんので、カードが 入っていなくてもデータを取得することができます。
- → 撮影を行うと、データの取得が始まり ます。取得が終わると、完了画面が表 示されます。

[OK] を選ぶと、メニューに戻ります。

 データが取得できなかったときは、その 内容の画面が表示されます。「事前準備」 (①277)の内容を確認し、[OK]を選 んだあと、もう一度撮影します。

ダストデリートデータについて

ダストデリートデータを取得すると、そのあとで撮影したすべての JPEG 画像、RAW 画像にデータが付加されます。大切な撮影をするときは、撮 影の直前にデータの再取得(更新)を行ってください。

なお、EOS 用ソフトウェアの Digital Photo Professional による自動ゴ ミ消し処理については、Digital Photo Professional 使用説明書を参照 してください。

画像に付加されるダストデリートデータの容量は、ごく小さいため、画像のファイルサイズにはほとんど影響しません。

● 未使用のコピー用紙など、必ず真っ白な無地の被写体を撮影してください。 被写体に模様などがあると、その模様がゴミ情報として記録され、EOS 用 ソフトウェア使用時に、正常なゴミ消し処理が行われないことがあります。

手作業で撮像素子を清掃する

撮像素子の自動清掃で取りきれないゴミやほどりがあったときに、市販品 のブロアーなどを使用して、自分で清掃することができます。清掃を始め る前にレンズを取り外してください。

応用

撮像素子は非常にデリケートな部品です。直接清掃が必要なときは、でき るだけ修理受付窓口にお申し付けください。



家庭用電源アクセサリー(別売/00469)の使用をおすすめします。

- ↓ マルチショットノイズ低減機能が設定されているときは [手作業でクリーニング] を選択できません。
 - 清掃中は、絶対に次のことを行わないでください。電源が切れてシャッター が閉じ、シャッター幕や撮像素子が損傷する恐れがあります。
 - 電源スイッチを〈OFF〉にする
 - 電池を取り出す/入れる
 - 撮像素子の表面は非常にデリケートな部分です。細心の注意を払って清掃してください。
 - ブロアーは、ブラシの付いていないものを使用してください。ブラシが撮像 素子に触れると、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
 - ブロアーは、レンズマウント面より内側に入れないでください。電源が切れると、シャッターが閉じ、シャッター幕やミラーを破損する原因になります。
 - 高圧の空気やガスを吹き付けて清掃しないでください。圧力により撮像素子 が破損したり、吹き付けたガスが凍結することで、撮像素子の表面に傷が付 くことがあります。
 - 撮像素子の清掃中に電池の残量が少なくなると、警告のため電子音が鳴ります。作業を中止し、清掃を終了してください。
 - ブロアーで除去できない汚れがあったときは、修理受付窓口に撮像素子の清掃をお申し付けください。

HDMI 出力時の解像度

カメラとテレビや外部記録機器などを、HDMI ケーブルで接続して映像を 出力するときに、解像度を設定することができます。

一機能設定	
1 2 3 4 5	SET UP4
■と★ボタンの入換	しない
HDMI出力解像度	自動
HDMI HDR出力	切
	MENU 🕤

- [HDMI 出力解像度] を選ぶ
 - [♥] タブの [HDMI 出力解像度] を選び、 (SET) を押します。

HDMI出力解像度	
自動	
1080p	
解像度が切り換わるときに、 画面の表示まで時間がかかることが あります	
SET OK	

2 項目を選ぶ

 <▲><▼>を押して項目を選び、<SET> を押します。

• 自動

接続したテレビに合わせて、自動的に最適な解像度で画像が表示されま す。

1080p

1080pの解像度で出力します。解像度が切り換わるときの表示や時間 が気になるときに選びます。

HDR 対応テレビでの RAW 画像の 表示

HDR 対応テレビにカメラをつないで、RAW 画像を HDR 表示で見ることができます。



HDMI HDR出力	
切	
入	
再生表示からMENU画面への 切り換えなどを行うと、切り換えた 画面が表示されるまで時間がかかる ことがあります	

2 [入] を選ぶ

● 〈▲〉〈▼〉を押して [入] を選びます。

- HDR 対応テレビの設定が、HDR 入力になっていることを確認してください。 お使いになるテレビの入力の切り換え方法は、テレビの使用説明書を参照してください。
 - お使いのテレビによっては、思いどおりの効果で表示されないことがあります。
 - HDR テレビに表示しているときは、画像の効果や一部の情報が表示されないことがあります。

画像の再生

この章では、「かんたん撮影と画像確認」() 70) で説明した 再生方法の応用的な使い方や、撮影した画像(静止画/動画)を カメラで再生・消去する方法、テレビで見る方法など、撮影画像 の再生に関連する内容について説明しています。

他の機器で撮影・記録された画像について 他のカメラで撮影した画像や、このカメラで撮影したあとにパソコンなど で画像を加工したり、ファイル名を変更した画像は、カメラで正常に表示 できないことがあります。



一度に複数の画像を表示する(インデックス表示)

見たい画像を素早く見つけることができる、インデックス表示といわれる 再生方法で、一度に4枚/9枚/36枚/100枚の画像を表示すること ができます。



- 1 画像を再生する



2 インデックス表示にする

- 〈■·Q〉ボタンを押します。
- → 4 枚表示になります。選択されている 画像にオレンジ色の枠が付きます。
- さらに〈■・Q〉ボタンを押すと、9枚 → 36枚→ 100枚表示になります。
- < < <
 < <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <





- 3 画像を選ぶ
 - 〈�〉十字キーで、オレンジ色の枠を移 動させ、画像を選びます。
 - 〈心〉を回すと、1 画面分先、または 前の画像が表示されます。
 - インデックス表示の状態で〈SET〉を 押すと、選んだ画像が1枚表示されま す。

画像を飛ばして表示する(ジャンプ表示)

1 枚表示のときに〈☆☆〉を回すと、指定した方法で前後に画像を飛ばして表示することができます。

再生設定	
1 2 3	PLAY3
スライドショー	
画像検索の条件設定	
 での画像送り 	ก่
ヒストグラム	輝度
AFフレーム表示	しない
前回の画像から再生	する
	MENU 🕤

- 1 [🖧 での画像送り] を選ぶ
 - [▶] タブの [²○³ での画像送り] を選び、 SET > を押します。

2 ジャンプ方法を選ぶ

- 〈�〉十字キーで、ジャンプ方法を選び、
 〈SET〉を押します。
 - (1:1 枚ずつ画像表示
 - (1): 10 枚ごとに画像表示
 - ☆:指定した枚数ごとに画像を表示
 - ☆ : 撮影日を切り換えて画像を表示
 - 13: フォルダを切り換えて画像を表示
 - ③ : 動画だけを表示
 - : 静止画だけを表示
 - ☆: プロテクト画像だけを表示
 - ☆:指定したレーティングの画像を表示(□291)

〈☆☆〉を回して選びます。





3 画像送りをする

- 〈
)ボタンを押して画像を再生します。
- 1 枚表示の状態で<ご
 を回します。
- → 設定した方法で画像が送られます。
 - (1) ジャンプ方法

(2) 再生位置

拡大して見る

撮影した画像を、約1.5倍~10倍に拡大して表示することができます。





1 画像を拡大する

- 画像を再生した状態で、〈④、〉ボタンを 押します。
- → 拡大表示されます。画面右下に拡大位置(1)が表示されます。
- 〈Q〉ボタンを押し続けると、最大の拡 大率まで連続的に大きくなります。
- 〈図・Q〉ボタンを押すと、縮小表示になります。押し続けると、1枚表示まで 連続的に小さくなります。



2 表示位置を移動する

- く

 <
- く▶〉ボタンを押すと、拡大表示が終了し、1枚表示になります。

■ 〈☆〉を回すと、拡大表示のまま画像が切り換わります。
 ■ 動画は拡大表示できません。

画面にタッチして再生する

液晶モニター(タッチパネル)に指で触れて、いろいろな再生を行うこと ができます。まず、〈I>〉ボタンを押して画像を再生します。

画像を送る





指1本でドラッグする

- 1枚表示のときは「指1本」で液晶モニターに触れます。指を左または右に動かすと1枚ずつ画像が送られます。 左に動かすと新しい画像、右に動かすと古い画像が表示されます。
- インデックス表示のときも「指1本」 で液晶モニターに触れます。指を上ま たは下に動かすと1画面ずつ画像が送 られます。
 - 上に動かすと新しい画像、下に動かす と古い画像が表示されます。
 - 画像を選んで、オレンジ色の枠が付い た画像にもう一度触れると、1枚表示 になります。

画像を飛ばして表示する(ジャンプ表示)



指2本でドラッグする

液晶モニターに「**指2本**」で触れます。指 を左または右に動かすと、[**」**]タブの[**ごの画像送り**]で設定されている方法で、画 像を飛ばして表示することができます。
画像を縮小表示する(インデックス表示)



2本の指を閉じる

指2本を広げた状態で液晶モニターに触れ、触れたまま指を閉じます。

- 指を閉じるたびに、1枚表示からイン デックス表示になります。
- 画像を選んでオレンジ色の枠が付いた 画像にもう一度触れると、1枚表示に なります。





2本の指を開く

指2本を閉じた状態で液晶モニターに触れ、触れたまま指を開きます。

- 指を開くたびに、拡大されます。
- 最大約 10 倍に拡大できます。

ダブルタップする

- 指でダブルタップすると、タッチした 位置を中心に、記録画像の画素を約 100%で表示します。
- もう一度ダブルタップすると、1枚表示に戻ります。

🥊 💿 インデックス表示時は、ダブルタップでの拡大表示はできません。

- 指を動かすと、表示位置を移動することができます。
 - 指を閉じると縮小します。
 - [5]をタッチすると、1枚表示に戻ります。

回転させる

画像が表示される向きを変えたいときに、この方法で回転させます。





 [▶] タブの [画像回転] を選び、〈SET〉 を押します。





2 画像を選ぶ

- <
 <
 <

 を押して、回転する画像を 選びます。
- インデックス表示(皿284)にして選 ぶこともできます。
- 3 画像を回転する
 - 〈SET〉を押すたびに、時計方向に回転 (90°→270°→0°)します。
 - 他に回転したい画像があるときは、手順2、3を繰り返します。
 - 〈MENU〉ボタンを押すと、画像回転が 終了しメニューに戻ります。



動画は回転できません。

お気に入りのレベルを設定する

撮影した画像(静止画 / 動画)に、5 種類のお気に入りマーク([•]/[•]/ [•]/[•]/[•])を付加することができます。この機能をレーティングといい ます。

* レーティングは、「評価」や「等級」などの意味です。



1 [レーティング] を選ぶ

 [▶] タブの [レーティング] を選び、〈SET〉 を押します。



2 [画像を選択] を選ぶ

⇒ 画像が表示されます。



3 レーティングする画像を選ぶ

- く<>> を押して、お気に入りマー クを付ける画像を選び、〈SET〉を押し ます。
- 〈国・Q〉ボタンを押すと、3 画像表示にして選ぶことができます。<Q〉ボタンを押すと1 枚表示に戻ります。



4 レーティングを設定する

- 〈▲〉〈▼〉を押して、お気に入りマーク を選びます。
- ⇒ お気に入りマークを付けると、そのマー クの横にある数値がカウントされます。
- 他にレーティング設定したい画像があるときは、手順3、4を繰り返します。

範囲を指定する

画像の範囲を指定して、まとめて設定することができます。

★レーティング 画像を選択 範囲造 フォルダ内・全画像 カード内・全画像 MENU ♪

- 1 [範囲指定] を選ぶ
 - [▶:レーティング]の[範囲指定]を選び、
 〈SET〉を押します。



- 2 画像の範囲を指定する
 - 始めの画像(始点)を選び(SET)を 押します。
 - 最後の画像(終点)を選び(SET)を 押します。
 - ⇒ 選択した画像に [√] が表示されます。
 - 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
 - 終点を選んでいない状態で〈MENU〉ボ タンを押すと、【√】が外れます。

3 範囲を確定する

〈MENU〉ボタンを押します。

★レーティング	4 レーティングを設定する
指定した画像のレーティングを 変更します	 〈ご〉を回して、お気に入りマークを 選び、[OK] を選びます。
中止 OK	

フォルダ内/カード内の全画像を指定する

フォルダ内、またはカード内のすべての画像をまとめてレーティング設定 することができます。

★レーティング		
画像を選択		
範囲指定		
フォルダ内・全画像		
カード内・全画像		
MENU 🛨		
★レーティング		
フォルダ内の画像のレーティングを 変更します		

- [▶: レーティング] で [フォルダ内・全画像] または [カード内・全画像] を選ぶと、その中のすべての画像が指定されます。
- 〈

 ふ
 〉を回して、お気に入りマークを 選び、[OK]を選びます。
- 解除するときは、お気に入りマークの [OFF] を選びます。
- お気に入りマークの横にある数値は、3 桁(999 枚)までしか表示されません。
 1000 枚を超えると、[###] と表示されます。

レーティングの利用方法

- [D:: 二: での画像送り]で、特定のお気に入りマークを付けた画像だけを表示 することができます。
- パソコンの OS によっては、ファイルの詳細表示や、標準装備された画像 表示機能で再生したときに、お気に入りマークを確認することができます (JPEG 画像のみ)。

再生する画像を絞り込む

指定した条件で画像を検索し、目的の画像を絞り込んで表示することがで きます。また、検索した画像をまとめてスライドショーで再生したり、プ ロテクトをかけたり、消去することもできます。

▶ 再生設定	
1 2 3	PLAY3
スライドショー	
画像検索の条件設定	
▲での画像送り	CT0
ヒストグラム	輝度
AFフレーム表示	しない
前回の画像から再生	する
	MENU 🕤

解除 INFO / SET OK MENU 5



2 検索条件を設定する

- ●〈▲〉〈▼〉を押して、条件を選びます。
- ●〈◀〉〈▶〉を押して、内容を設定します。
- 〈INFO〉ボタンを押すと、指定が解除 されます。
- すべての条件を設定することもできます。
- 〈 価〉ボタンを押すと、すべての指定が 解除されます。

条件	内容	
★ レーティング	選んだお気に入りマークが付いた画像を表示します。	
◎ 日付	選んだ撮影日の画像を表示します。	
🖿 フォルダ	選んだフォルダ内にある画像を表示します。	
••• プロテクト	カード内のプロテクト「あり」「なし」画像を表示します。	
9 ファイルの種類	選んだ種類の画像ファイルを表示します。 設定できるファイルの種類は、【 Ѻ 静止画 】、【 Ѻ (RAW) 】、 【 Ѻ (RAW,RAW+JPEG)】、【� (RAW+JPEG)】、 【 ゆ (RAW+JPEG,JPEG)】、【� (JPEG)】、【¹県 動画 】です。	





3 検索条件を確定する

- 〈SET〉を押します。
- → 表示されるメッセージを確認して [OK] を選びます。

4 検索した画像を表示する

- 〈
 ▶〉ボタンを押して画像を再生します。
- ➡ 設定した条件の画像が黄色の枠の中に 表示されます。
- 設定した検索条件に該当する画像がないときは、手順2の画面で〈SET〉を 押しても [OK] できません (手順3に進めません)。
- ・ [
 +:オートバワーオフ] を [4分] 以下に設定していても、検索条件の画面を表示しているときは、オートパワーオフまでの時間は約6分になります。
 - 検索した画像の表示中は、検索した画像だけをまとめて操作(プロテクト、 消去、印刷指定、フォトブック指定、レーティング、スライドショー)する こともできます。

下記の操作を行うと、検索した画像の表示は自動解除されます。

- 撮影を行ったとき
- オートパワーオフ機能が作動したとき
- 電源スイッチを〈OFF〉にしたとき
- SD カードをフォーマットしたとき
- 画像が追加されたとき(撮影済みの画像にフィルター効果を施したり、リ サイズしたり、トリミングして、新規保存したときなど)
- 検索条件に一致する画像がなくなったとき

再生時のクイック設定

再生時に〈**《**〉ボタンを押すと、再生しながら [**○**_邢: 画像プロテクト] [②:画像回転] [★:レーティング] [③:クリエイティブフィルター] [⊡:リサイズ (JPEG 画像のみ)] [ኪ:トリミング] [त:: での画像送り] [♣:画像の検索] [□:スマートフォ ンへ画像を送信*] [④: クリエイティブアシスト (RAW 画像のみ)] の設定を行うこと ができます。

* [(y): WiFi 設定]の [Wi-Fi] が [使わない] に設定されているときは選択できません。



- 1 〈 🖸 〉ボタンを押す
 - 画像を再生した状態で(Q)ボタンを 押します。
 - → クイック設定の項目が表示されます。



2 項目を選んで設定する

- ●〈▲〉〈▼〉を押して、項目を選びます。
- ➡ 選んだ項目の名称と設定内容が、画面 下側に表示されます。
- <
 <
 <

 <
- 画像プロテクト(囗310)、レーティング(囗291)は、〈INFO〉を押すと 複数の画像を選択できます。
- クリエイティブフィルター(皿332)、 リサイズ(皿341)、トリミング (皿343)、画像の検索(皿294)、 スマートフォンへ画像を送信 (皿366)、クリエイティブアシスト (皿335)は、さらに〈SET〉を押し て設定します。

- ごの画像送り(皿285):画像
 送りする枚数の指定、レーティング
 (皿291)は、〈INFO〉を押して設定
 します。
- キャンセルするときは、〈MENU〉ボタンを押します。

3 設定を終了する

- 〈SET〉を押すと、クイック設定が終了 します。
- 画像回転(□290)を行うときは、[+: 縦位置画像回転表示]を[する●□] に設定してください。[+: 縦位置画像回転表示]が[する□][しない]に設定されているときは、[図 画像回転]で選んだ内容は画像に記録されますが、カメラで回転表示は行われません。

🔹 💿 他のカメラで撮影した画像は、選択できる項目が制限されることがあります。

撮った動画の楽しみ方

撮影した動画は、主に次の3つの方法で再生して楽しむことができます。

テレビに接続して再生する(2308)

HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続して、撮影した動画や静止画をテ レビで再生することができます。

- ハードディスクレコーダーは、HDMI 入力端子を備えていないため、HDMI ケーブルでカメラとレコーダーを接続することはできません。
 - USB ケーブルでカメラとハードディスクレコーダーを接続しても、動画や 静止画を再生・保存することはできません。
 - MP4形式の動画ファイルの再生に対応していない機器で、動画を再生する ことはできません。

カメラの液晶モニターで再生する(〇〇299~〇〇306)

カメラの液晶モニターで動画を再生することができます。また、動画の前 後部分をカット(簡易編集)したり、カードに記録されている静止画と動 画を、スライドショーで自動再生することもできます。

● パソコンで編集した動画をカードに書き戻して、カメラで再生することはできません。

パソコンで再生・編集する

カードに記録されている動画ファイルをパソコンに取り込んで、(カメラで 撮影した動画の記録形式に対応した)OS 標準のソフトウェアや汎用ソフ トウェアで、動画の再生・編集を行うことができます。

市販のソフトウェアで再生・編集するときは、MP4形式の動画に対応した ソフトウェアを使用してください。市販のソフトウェアについては、ソフト ウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生する











1 画像を再生する

- 〈

 ボタンを押して画像を表示します。
- 2 動画を選ぶ
 - <<>>

 </>
 </>
 - 1枚表示のときに、画面左上に〈SET と が表示されている画像が動画です。
 - インデックス表示のときは、画面左側 に縦帯の付いた画像が動画です。イン デックス表示からは再生できませんの で、〈SET〉を押して1枚表示にします。
- 3 1 枚表示の状態で〈SET〉を押す
- 4 動画を再生する
 - [▶] (動画再生)を選び〈SET〉を押し ます。
 - ⇒ 動画再生が始まります。
 - 再生中に〈SET〉を押すと、再生が一時停止し、動画再生パネルが表示されます。
 - 再生中に〈▲〉〈▼〉を押すと、音量を 調整することができます。
 - 再生操作に関する詳しい内容は、300 ページを参照してください。

(1) スピーカー

• 他のカメラで撮影した動画は、このカメラで再生できないことがあります。

動画再生パネル

項目	再生内容		
▶ 再生	〈SET〉を押すたびに再生/停止を繰り返します。		
▶ スロー再生	 <■〉 を押すとスロー再生の速さを変えることができます。 画面右上に速さの度合いが表示されます。 		
▼ 前スキップ	〈SET〉を押すたびに約4秒戻します。		
◀Ⅱ フレーム戻し	〈SET〉を押すたびに 1 コマ戻します。〈SET〉を押し続けると、 早戻しします。		
II▶ フレーム送り	〈SET〉を押すたびに 1 コマ送ります。〈SET〉を押し続けると、 早送りします。		
▶ 次スキップ	〈SET〉を押すたびに約4秒送ります。		
8 編集	編集画面を表示します (単302)。		
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	4K 動画/4K タイムラブス動画再生時に選択することができます。画面に表示しているフレームを切り出して、静止画(JPEG)画像)として保存することができます(囗304)。		
♫ BGM 選択	音楽を選択し、音楽と一緒に動画を再生できます(12340)。		
	再生位置		
mm' ss"	再生時間(mm':分、ss":秒)		
◀》音量	〈▲〉〈▼〉でスピーカー(囗299)の音量を調整することがで きます。		
	〈MENU〉ボタンを押すと、1 枚表示の状態に戻ります。		

動画再生パネル(ビデオスナップアルバム)

項目	再生内容	
▶ 再生	〈SET〉を押すたびに再生/停止を繰り返します。	
▶ スロー再生	< <>> < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < > < < <	
▼ 前のチャプター	前のスナップの先頭画面を表示します。	
┫ フレーム戻し	〈SET〉を押すたびに1コマ戻します。〈SET〉を押し続けると、 早戻しします。	
II▶ フレーム送り	〈SET〉を押すたびに 1 コマ送ります。〈SET〉を押し続けると、 早送りします。	
▶ 次のチャプター	次のスナップの先頭画面を表示します。	
🛅 チャプター消去	再生中のスナップを削除します。	
8 編集	編集画面を表示します (🛄 302)。	
□ BGM 選択	音楽を選択し、音楽と一緒に動画を再生できます(〇〇340)。	
	再生位置	
mm' ss"	再生時間(mm':分、ss":秒)	
◀》音量	〈▲〉〈▼〉でスピーカー(□299)の音量を調整することができます。	
	〈MENU〉ボタンを押すと、1 枚表示の状態に戻ります。	

- カメラをテレビに接続して動画を再生するときは(□,308)、テレビ側で 音量の調整を行ってください(〈▲〉〈▼〉を押しても音量は変わりません)。
 カードの読み取り速度が遅いときや、動画ファイル内のフレームが壊れてい
 - るときは、動画再生が終了することがあります。

タッチパネルで再生する



画面中央の [▶] をタッチする

- ⇒ 動画再生が始まります。
- 画面左上の〈SET 還〉をタッチすると、 クイック設定画面が表示されます。
- 再生中に画面をタッチすると、再生が 一時停止し、動画再生パネルが表示されます。

動画の前後部分をカットする

撮影した動画の前後部分を約1秒単位で削除することができます。







- 1 動画を再生して一時停止させる
 - ⇒ 動画再生パネルが表示されます。
- 2 動画再生画面で [8] を選ぶ
 - ➡ 画面の下に動画編集パネルが表示されます。
- 3 削除する範囲を指定する
 - [』□](前部を削除)か、[□』](後部を削除)
 を選んで〈SET〉を押します。
 - く<>> を押すと、フレームが送ら れます。押したままにすると、早送り になります。
 - 削除する範囲が決まったら、〈SET〉を 押します。上部に白く表示された範囲 が残ります。





(1)(2)

4 編集内容を確認する

- [▶] を選ぶと、編集した動画が再生されます。
- 削除する範囲を変更するときは、手順 2の操作を行います。
- 編集を中止するときは、〈MENU〉ボタンを押し、確認画面で[OK]を選びます。
- 5 保存する
 - [1] (1) を選んで〈SET〉を押します。
 - ⇒ 保存画面が表示されます。
 - 別のファイルとして保存するときは【新 規保存】、編集前の動画を残さないときは [上書き保存]を選択して、〈SET〉を押し ます。
 - 【記】(2)を選ぶと、圧縮して別のファイルで保存します。4K動画はフルHD 動画に変換して圧縮されます。
 - 確認画面で[OK]を選び〈SET〉を押す と、編集した動画が保存され、動画再 生画面に戻ります。
- 約1秒単位(画面下部に[8]が表示される位置)で削除されるため、実際にカットされる位置が指定した位置と異なることがあります。
 - カードの空き容量が少ないときは、「新規保存」は選択できません。
 - 電池の残量が少ないときは、動画編集はできません。フル充電した電池を使用してください。
 - 他のカメラで撮影した動画はこのカメラで編集できません。

4K 動画/ 4K タイムラプス動画か らのフレームの切り出し

4K 動画、4K タイムラプス動画から任意のフレームを選び、約830万画素(3840×2160)の静止画(JPEG画像)として保存することができます。この機能を「フレーム切り出し(4K フレームキャプチャー)」と言います。



1 画像を再生する

- 〈ト〉ボタンを押します。
- 2 4K 動画または 4K タイムラプス動画 を選ぶ
 - <
 <
 <

 で選びます。
 - 撮影情報表示の画面(□329)で[┖本] と表示されている画像が4K動画/4K タイムラプス動画です。
 - インデックス表示のときは、〈SET〉を 押して1枚表示にします。
- 3 1 枚表示の状態で〈SET〉を押す
- 4 動画を再生して、一時停止させる
 - 動画再生パネルが表示されます。
- 5 切り出すフレームを選ぶ
 - 動画再生パネルを操作して、静止画として切り出したいフレームを選びます。
 - 動画再生パネルの操作方法については、
 〇〇 200 を参照してください。





6 [☆1] を選ぶ
 ● 〈◀〉〈▶〉で選びます。



7 保存する

 [OK] を選ぶと、画面に表示されている フレームが静止画(JPEG画像)とし て保存されます。

8 表示する画像を選ぶ

- 保存先のフォルダと画像番号を確認します。
- [元の動画] または [切り出した静止画] を選びます。

↓ フル HD 動画やフル HD タイムラブス動画、他のカメラで撮影した 4K 動画 / 4K タイムラブス動画からは、フレーム切り出しはできません。

自動再生する(スライドショー)

カードに記録されているすべての画像を自動的に連続再生します。





1 [スライドショー] を選ぶ

- [▶] タブの [スライドショー] を選び、 (SET) を押します。
- 2 [設定] の内容を設定する
 - 〈▲〉〈▼〉を押して [設定] を選び、〈SET〉 を押します。
 - 静止画の[再生間隔] と[リピート](繰り返し再生)、[切り換え効果](画像を切り換える際の演出効果)、[BGM選択]を設定します。
 - BGM 選択の設定方法は、340 ページ を参照してください。
 - 設定が終わったら、〈MENU〉ボタンを 押します。
 - (1) 再生する枚数





3 スライドショーを開始する

- 〈▲〉〈▼〉を押して [スタート] を選び、
 〈SET〉を押します。
- → [画像読み込み中...] が表示されたあと、ス ライドショーが始まります。

4 スライドショーを終了する

- 〈MENU〉ボタンを押すと、スライド ショーが終了し、設定画面に戻ります。
- ・一時停止したいときは〈SET〉を押します。一時停止中は画像の左上に[II] が表示されます。再度〈SET〉を押すと再開します。画面にタッチして、一 時停止することもできます。
 - 自動再生中に〈INFO〉ボタンを押すと、静止画の表示形式を切り換えることができます(□102)。
 - 動画再生中に〈▲〉〈▼〉と、音量を調節することができます。
 - 自動再生中、または一時停止中に 〈◀〉 〈▶〉 を押すと、画像が切り換わります。
 - 自動再生中、オートパワーオフ機能は働きません。
 - 画像により表示時間が異なる場合があります。
 - テレビでスライドショーを見るときは、308ページを参照してください。
 - [▶:画像検索の条件設定]で、絞り込み再生をしているときは、その画像をス ライドショーで再生することができます。

テレビで見る

カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続して、撮影した静止画や動画をテ レビで見ることができます。HDMI ケーブルは、別売の HTC-100 の使用 をおすすめします。

なお、テレビに映像が表示されないときは、**[∳:ビデオ方式]**の [NTSC] [PAL] <u>の設定を確認してください</u>(テレビが対応している方式に合わせてくださ い)。



- 1 HDMI ケーブルをカメラに接続する
 - プラグの〈▲ HDMI MINI〉がカメラの 前面に向くようにして、〈HDMI OUT〉 端子に差し込みます。



- 2 テレビに HDMI ケーブルを接続する
 - HDMI ケーブルを、テレビの HDMI 入 力端子に接続します。
- 3 テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えで接続した端子を選ぶ
- 4 カメラの電源スイッチを〈ON〉にす る
- 5 〈 🕒 〉 ボタンを押す
 - ➡ 画像がテレビに表示されます(液晶モ ニターには何も表示されません)。
 - 接続したテレビに合わせて、自動的に 最適な解像度で画像が表示されます。
 - 〈INFO〉ボタンを押すと、表示を切り 換えることができます。
 - 動画の再生方法は、299ページを参照してください。



- 動画再生時の音量は、テレビ側で調整します。カメラ側から音量の調整はできません。
 - ケーブルの取り付け/取り外しを行うときは、カメラとテレビの電源を切った状態で行ってください。
 - 使用するテレビにより、表示内容の一部が欠けて表示されることがあります。
 - 他の機器からの出力をカメラの〈HDMI OUT〉端子に入力しないでください。 故障の原因になります。
 - テレビとの相性により、映像が表示されないことがあります。

保護する(プロテクト)

大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないように、プロテクト(保護) することができます。

1 枚ずつプロテクト



1	[画像プロテクト]	を選ぶ
---	-----------	-----

 [▶] タブの [画像プロテクト] を選び、 (SET) を押します。

- 2 [画像を選択] を選ぶ
 - ➡ 画像が表示されます。

(1)



- 3 プロテクトする画像を選ぶ
 - <
 <
 <

 <
- 4 プロテクトする
 - 〈SET〉を押すと画像がプロテクトされ、
 〈 い) (1) が表示されます。
 - もう一度〈SET〉を押すと、プロテクトが解除され〈い〉が消えます。
 - 他にプロテクトしたい画像があるとき は、手順3、4を繰り返します。

^{● ●} 画像 ブロラクト 画像を選択 範囲指定 フォルダ内・全画像 フォルダ内・全画像 カード内・全解除 カード内・全解除

プロテクトする範囲を指定

画像の範囲を指定して、まとめてプロテクトすることができます。

⊶画像プロテクト	
画像を選択	
範囲指定	
フォルダ内・全画像	
フォルダ内・全解除	
カード内・全画像	
カード内・全解除	
MENU 🛨	J

- 1 [範囲指定] を選ぶ
 - [▶:画像プロテクト]の[範囲指定]を選び、 〈SET〉を押します。



2 画像の範囲を指定する

- 始めの画像(始点)を選び(SET)を 押します。
- 最後の画像(終点)を選び(SET)を 押します。
- → 画像がプロテクトされ、〈 <>>> が表示されます。
- 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、元の画面に 戻ります。

フォルダ内/カード内全画像プロテクト

フォルダ内、またはカード内のすべての画像をまとめてプロテクトするこ とができます。



[▶:画像プロテクト] で[フォルダ内・全画像] または [カード内・全画像] を選ぶと、その中 のすべての画像にプロテクトがかかりま す。

解除するときは【フォルダ内・全解除】または 【カード内・全解除】を選びます。

・ カードを初期化すると(□67)、プロテクトされた画像も消去されます。

- 動画もプロテクトすることができます。
 - プロテクトをかけた画像は、カメラの消去機能で消去できません。画像を消 去するときは、プロテクトを解除してください。
 - 必要な画像にプロテクトをかけてから全画像消去(11315)を行うと、プロテクトをかけた画像以外はすべて消去されます。不要な画像を一度にまとめて消去するときに便利です。

不要な画像を1枚ずつ選んで消去したり、まとめて消去することができます。なお、プロテクト(〇310)をかけた画像は消去されません。

● 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。また、大切な画像は、誤って消去しないようブロテクトをかけてください。 RAW+JPEGで撮影した画像は、両方消去されます。

1 枚ずつ消去



- 1 消去したい画像を再生する
- 2 〈 而 〉 ボタンを押す
 - → 消去メニューが表示されます。



- 3 消去する
 - 【消去】を選び〈SET〉を押すと、表示されている画像が消去されます。

チェック〈√〉を付けてまとめて消去

消去したい画像にチェックを付けて、まとめて消去することができます。



- 1 [画像消去] を選ぶ
 - [▶] タブの [画像消去] を選び、〈SET〉 を押します。

面画像消去	
選択して消去	
和田田 フォルダ内・全画像	
カード内・全画像	
	MENU 🕤



2	[選択して消去]	を選ぶ
~		でたのい

⇒ 画像が表示されます。

3 消去したい画像を選ぶ

- <<>> を押して消去したい画像を 選び、
 SET > を押します。
- ⇒ 画面の左上に〈√〉が表示されます。
- 〈■へ〉ボタンを押すと、3画像表示にして選ぶことができます。<
 ◇スシャック
 ンを押すと1枚表示に戻ります。
- 他に消去したい画像があるときは、手順3を繰り返します。

面画像消去
選択した画像を消去します
中止 OK

4 消去する

- 〈MENU〉ボタンを押します。
- [OK] を選び〈SET〉を押します。
- ⇒ 選択した画像が消去されます。

消去する範囲を指定

而面像消去

選択して消去

カード内・全面像

範囲指定
フォルダ内・全画像

画像の範囲を指定して、まとめて消去することができます。

1 [範囲指定] を選ぶ

 [▶:画像消去]の[範囲指定]を選び、〈SET〉 を押します。

2 画像の範囲を指定する

- 始めの画像(始点)を選び(SET)を 押します。
- 最後の画像(終点)を選び(SET)を 押します。
- ⇒ 選択した画像に [√] が表示されます。
- 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、元の画面に 戻ります。

3 消去する

- 〈MENU〉ボタンを押します。
- 確認画面で [OK] を選んで〈SET〉を押 します。
- ⇒ 選択した画像が消去されます。

フォルダ内/カード内全画像消去

MENU

フォルダ内、またはカード内のすべての画像をまとめて消去することができます。 「▶:**画像消去**」で「フォルダ内・全画像」または「カード内・全画像」を選 ぶと、その中のすべての画像が消去されます。

 プロテクトがかけられた画像も含めてすべて消去するときは、カード初期化 を行います(□67)。

印刷の準備をする

ダイレクトプリントの操作は、カメラの液晶モニターに表示される操作画 面を見ながら、**すべてカメラ側で行います**。

カメラとプリンターを接続する



1 プリンターの準備をする

詳しくはプリンターの使用説明書を参照してください。

2 カメラとプリンターを接続する

- インターフェースケーブル(別売)で 接続します。
- プリンター側の接続方法については、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる



- 4 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする
 - → プリンターの機種により、電子音が「ピ ピッ」と鳴ることがあります。
 - → 画像が表示され、画面左上にプリンター が接続されていることを示すアイコン が表示されます。
- プリンターに PictBridge 用の接続端子があることをあらかじめ確認してく ださい。
 - 動画は印刷できません。
 - 「CPダイレクト」または「Bubble Jetダイレクト」のみに対応したプリンター は使用できません。
 - 手順4で電子音が「ピーピーピー」と長く鳴ったときは、プリンターに問題 が発生しています。表示されるエラーメッセージに対応した処置を行ってく ださい(①395)。
- このカメラで撮影した RAW 画像も印刷できます。
 - カメラの電源に電池を使用するときは、フル充電してから使用してください。
 - ケーブルを取り外すときは、カメラとプリンターの電源を切ってから、プラ グの側面を持って引いてください。
 - ダイレクトプリントを行うときは、カメラの電源に DC カプラー DR-E18(別売)と AC アダプター AC-E6N(別売)の使用をおすすめします。

使用するプリンターによって表示される内容や、設定できる内容が異なり ます。また、設定そのものができないことがあります。詳しくは、プリンター の使用説明書を参照してください。



1 印刷する画像を選ぶ

- 液晶モニターの左上にアイコンが表示 されていることを確認します。
- <
 <
 <

 <
 - (1) プリンター接続表示

2〈SET〉を押す

- ⇒ 印刷設定画面になります。
- 設定の詳細は、「印刷の設定」(
 391)

 を参照してください。

画像を印刷指定する/ DPOF

カードに記録されている画像の中から、印刷したい画像と印刷枚数などを 指定することができる DPOF (Digital Print Order Format)機能に対応 しています。複数の画像を一度に印刷したいときや、写真店に印刷注文す る際に使います。

印刷タイプや日付、画像番号の入/切といった印刷内容の設定を行います。 この設定は、印刷指定したすべての画像に対して、一律に適用されます(1) 画像ごとに別々の設定はできません)。

印刷内容を設定する

再生設定	
1 2 3	PLAY1
画像プロテクト	
画像回転	
画像消去	
印刷指定	
フォトブック指定	
クリエイティブフィルター	
	MENU 🕤

0枚

ŧЛ

ŁЛ

設定

この刷指定

日付

スタンダード

画像番号

画像選択 複数選択 🥑

1 [印刷指定] を選ぶ

- [▶] タブの [印刷指定] を選び、〈SET〉 を押します。
- 2 [設定] を選ぶ

- 3 項目の内容を設定する
 - [印刷タイプ] [日付] [画像番号] の内容を設 定します。
 - 項目を選び〈SET〉を押します。内容 を選び〈SET〉を押します。



/	-		
印刷タイプ		スタンダード	用紙 枚に 画像を印刷します。
	•	インデックス	用紙 1 枚に縮小画像を複数印刷します。
	₽	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
	•		します。
日付	入	[入] にすると、撮影画像に記録されている日付情報を入れて	
	切	印刷します。	
画像番号	入	[入] にすると、画像番号を付けて印刷します。	
	切		

4 設定を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押します。
- ➡ 印刷指定画面に戻ります。
- 次に印刷指定画面の (画像選択) (複数選択)
 で、印刷する画像を指定します。
- RAW 画像と動画は印刷指定できません。
 - [日付] [画像番号] を [入] にしても、印刷タイプの設定や、プリンターの機種 により、印刷されないことがあります。
 - [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] を同時に [入] にできません。
 - 印刷するときは、印刷指定を行ったカードを使用してください。画像データだけをカードから抜き出して印刷すると、指定した内容で印刷できません。
 - DPOF に対応したプリンターの機種や、写真店の機器により、指定内容が反映されないことがあります。プリンターの場合は、プリンターの使用説明書を参照してください。写真店の場合は、事前にお店に確認してください。
 - 他のカメラで印刷指定した画像を、このカメラに入れて再度印刷指定しない でください。印刷指定されている内容が、意図せずにすべて書き換えられる ことがあります。また、画像の種類により、印刷指定できないことがあります。

印刷する画像を指定する

画像選択





 画像を1枚ずつ選んで指定します。

〈■●○〉ボタンを押すと、3 画像表示にして選ぶことができます。〈●〉ボタンを押すと1 枚表示に戻ります。

〈MENU〉ボタンを押すと、指定した内容 がカードに保存されます。

• [スタンダード] [両方]

<▲><▼>を押して、表示されている画 像の印刷枚数を指定します。

- (1) 指定枚数
- (2) 総指定枚数

• [インデックス]

〈SET〉を押して、【√】を付けた画像が、 インデックス印刷用の画像として指定 されます。

- (3) チェックマーク
- (4) インデックスマーク

複数選択

範囲を指定





- 1 [範囲指定] を選ぶ
 - [複数選択]の[範囲指定]を選び、〈SET〉 を押します。
- 2 画像の範囲を指定する
 - 始めの画像(始点)を選び(SET)を 押します。
 - 最後の画像(終点)を選び(SET)を 押します。
 - → 選択した画像に【√】が表示されます。 指定したすべての画像が、1画像1枚 で印刷指定されます。
 - 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
 - 〈MENU〉ボタンを押すと、元の画面に 戻ります。
- フォルダ内の全画像

[フォルダ内の全画像を指定] を選び、フォルダを選択すると、フォルダ内のすべての画像が、1 画像 1 枚で印刷指定されます。なお、[フォルダ内の全画像指定を解除] を選び、フォルダを選択すると、フォルダ内の印刷 指定がすべて解除されます。

カード内の全画像

[カード内の全画像を指定]を選ぶと、カードに記録されているすべての画像が、1 画像 1 枚で印刷指定されます。なお、[カード内の全画像指定を解除] を選ぶと、カード内の印刷指定がすべて解除されます。

- ↓ 複数選択 でまとめて画像を指定しても、RAW 画像と動画は印刷指定されません。
 - PictBridge に対応したプリンターで印刷するときは、一度に印刷指定する 画像の数を 400 画像以下にしてください。それ以上指定すると、すべての 画像を印刷できないことがあります。

フォトブックにする画像を指定する

フォトブックにする画像を指定(最大 998 枚)することができます。 EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使ってパソコンに取り込むと、フォ トブック指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネッ トでフォトブックを注文するときに便利です。





 [▶] タブの [フォトブック指定] を選び、 (SET) を押します。



- 2 「画像を選択」 を選ぶ
 - ⇒ 画像が表示されます。



3 指定する画像を選ぶ

- <
 <
 <
 を押して、指定する画像を 選び、

 を押します。
- 画像を複数選ぶときは、この操作を繰り返します。画面の左上に、指定した枚数が表示されます。
- < 図・Q 〉ボタンを押すと、3 画像表示 になります。< Q 〉ボタンを押すと、元 の表示に戻ります。
- もう一度〈SET〉を押すと、指定が解除されます。

画像の範囲を指定して、まとめてフォトブック指定することができます。



- 1 [範囲指定] を選ぶ
 - [▶:フォトブック指定]の[複数選択]で[範 囲指定]を選び、〈SET〉を押します。

- 2 画像の範囲を指定する
 - 始めの画像(始点)を選び (SET)を 押します。
 - 最後の画像(終点)を選び(SET)を 押します。
 - → 選択した画像に 【√】 が表示されます。
 - 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
 - 〈MENU〉ボタンを押すと、元の画面に 戻ります。
フォルダ内/カード内全画像指定

フォルダ内、またはカード内のすべての画像をまとめてフォトブック指定 することもできます。



[▶:フォトブック指定]の[複数選択]で[フォ ルダ内の全画像を指定]または[カード内の全画像 を指定]を選ぶと、その中のすべての画像が フォトブック指定されます。 解除するときは[フォルダ内の全画像指定を解除]

解除するときは【フォルタ内の全画像指定を解除】 または【カード内の全画像指定を解除】を選びま す。

- RAW 画像と動画は指定できません。
 - 他のカメラでフォトブック指定した画像を、このカメラに入れて再度フォト ブック指定しないでください。フォトブック指定されている内容が、意図せ ずにすべて書き換えられることがあります。

撮影情報の内容

表示される内容は、撮影モードや設定によって異なります。

静止画の例

簡易情報表示



AF フレーム表示について

[▶: AF フレーム表示] を [する] に設定すると、ピント合わせを行った AF フレームが赤い枠で表示されます。なお、AF フレーム自動選択の ときは、AF フレームが複数同時に表示されることがあります。

- 他のカメラで撮影した画像は、一部の撮影情報が表示されないことがあります。
 - このカメラで撮影した画像は、他のカメラで再生できないことがあります。

• 撮影情報表示

- 詳細情報



- (1) 撮影日時
- (2) ヒストグラム (輝度/RGB)
- (3) 撮影モード
- (4) シャッタースピード
- (5) 絞り数値
- (6) 露出補正量
- (7) ISO 感度
- (8) 高輝度側·階調優先
- (9) ホワイトバランス

- (10) ホワイトバランス補正量
- (11) ピクチャースタイル設定内容
- (12) ストロボ調光補正量/マルチショッ トノイズ低減
- (13) 測光モード
- (14) オートライティングオプティマイザ
- (15) 記録画質
- (16) ファイルサイズ
- * RAW と JPEG の両方を選んで撮影した画像は、RAW のファイルサイズが表示されます。
- * 調光補正なしでストロボ撮影を行ったときは、 (1) が表示されます。
- * マルチショットノイズ低減処理が行われた画像は、〈へ) が表示されます。
- * クリエイティブフィルター機能で撮影した画像、画像加工(リサイズ処理、クリエ イティブフィルター、クリエイティブアシスト)を行って保存した画像は、〈」〉 が表示されます。
- * トリミングを行って保存した画像は、〈□〉と〈4〉が表示されます。

- レンズ/ヒストグラム情報



- ホワイトバランス情報



- ピクチャースタイル情報2



- レンズ光学補正情報



- (1) レンズ名
- (2) 焦点距離
- (3) ヒストグラム(輝度)
- (4) ヒストグラム (RGB)
- ピクチャースタイル情報1



- 色空間/ノイズ低減情報



- 画像の送信履歴



GPS レシーバー GP-E2 またはスマートフォンを使用して、画像に GPS 情報が記録されているときは、「GPS 情報」の画面も表示されます。

動画の例



- (1) 再生
- (2) 絞り数値
- (3) シャッタースピード
- (4) 動画撮影モード/タイムラプス動画 (10) 撮影時間・再生時間
- (5) 動画電子 IS
- (6) 動画記録サイズ

- (7) フレームレート
- (8) 圧縮方式
- (9) 動画記録形式
- (11) 動画ファイルサイズ
- * シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度(任意設定時)は、マニュアル露出で撮 影したときに表示されます。
- ● 動画再生時、「ピクチャースタイル」の「シャープネス」の「細かさ」「しきい値」は、「*.*」 と表示されます。

• ハイライト警告表示について

撮影情報表示にしたときに、露出オーバーで白とびした部分が点滅表示します。階調を再現させたい部分が点滅しているときは、露出をマイナス補正して、もう一度撮影すると良い結果が得られます。

・ヒストグラムについて

ヒストグラムには、露出レベルの傾向と全体の階調を確認できる輝度 表示と、色の飽和と階調を確認できる RGB 表示があります。表示の 切り換えは、【 [▶]: ヒストグラム】で行います。

[輝度] 表示

このヒストグラムは、横軸に明るさ(左:暗、 右:明)、縦軸に明るさごとの画素数を積み上 げたグラフで、画像の輝度分布を表しています。 画面の中の「暗い成分」ほどグラフの左寄りに 積み上げられ、「明るい成分」ほどグラフの右 寄りに積み上げられて表示されます。横軸の左 端に積み上げられた成分は黒くつぶれ、右端に 積み上げられた成分は白くとびます(ハイライ ト)。その他の成分は階調が再現されます。再 生画像とそのヒストグラムを見ることで、露出 レベルの傾向と全体の階調を確認することがで きます。

ヒストグラム例



暗い成分が多い



普通の明るさ



明るい成分が多い

[RGB] 表示

このヒストグラムは、横軸に色の明るさ(左:暗、右:明)、縦軸に色 の明るさごとの画素数を積み上げたグラフで、R(赤)/G(緑)/B(青) 別に色の輝度分布を表しています。画面の中の「暗く薄い色」ほどグ ラフの左寄りに積み上げられ、「明るく濃い色」ほどグラフの右寄りに 積み上げられます。横軸の左端に積み上げられた成分は色の情報がな く、右端に積み上げられた色は飽和して階調がありません。RGBのヒ ストグラムを見ることで、色の飽和と階調の状態や、ホワイトバラン スの傾向を確認することができます。

撮影した画像を加工する

撮影後、画像にフィルター効果を施したり、JPEG 画像をリサイズ(画素数を少なく)したり、JPEG 画像の一部をトリミング(切り抜く)ことができます。

● 他のカメラで撮影した画像は、加工できないことがあります。
 ● カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続しているときは、この章で説明している画像の加工はできません。

画像にフィルター効果を付ける

撮影した静止画に、ラフモノクロ/ソフトフォーカス/魚眼風/油彩風/ 水彩風/トイカメラ風/ジオラマ風のフィルター処理を行い、別画像とし て保存することができます。





- [▶] タブの [クリエイティブフィルター] を 選び、〈SET〉を押します。
- ⇒ 画像が表示されます。



MENU

SET E

0

オラマ国

2 画像を選ぶ

- フィルター処理を行う画像を選びます。
- 〈国·Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。



- 〈SET〉を押すと、フィルターの種類が 表示されます(Q)333)。
- フィルター効果を選び、〈SET〉を押し ます。
- ⇒ フィルター効果が反映された画像が表示されます。
- 4 フィルター効果を調整する
 - フィルター効果を調整し、〈SET〉を押します。
 - ジオラマ風は〈▲〉〈▼〉を押して、はっ きり見せたい部分(白枠)を移動させ、 〈SET〉を押します。



1 1 0 < < 0 2





5 保存する

- [OK] を選び保存します。
- 表示される保存先のフォルダと画像番号を確認して [OK] を選びます。
- 他にフィルター処理を行いたい画像が あるときは、手順2~5を繰り返しま す。
- RAW + JPEG で撮影した画像は、RAW 画像を使ってフィルター処理を行い、 JPEG 画像として保存します。
 - アスペクト比を設定して撮影した RAW 画像は、フィルター処理を行うと、 設定したアスペクト比で保存されます。
 - 魚眼風のフィルター処理を行った画像には、ダストデリートデータ (単277)は付加されません。

各クリエイティブフィルターの特徴について

🔹 🛓 ソフトフォーカス

やわらかい感じの写真になります。ぼかし具合を調整することで、や わらかさの感じを変えることができます。

🔹 📣 魚眼風

魚眼レンズで撮影したような効果が得られます。タル型にゆがんだ写 真になります。

なお、フィルター効果のレベルによって、画像周辺のカットされる領 域が変わります。また、フィルター効果により画面中央が拡大される ため、記録画素数によっては、画面中央の解像感が低下することがあ りますので、手順4でフィルター効果が反映された画像を確認しなが ら設定してください。

🔹 🤝 油彩風

油絵のような写真で、被写体の立体感が強調されます。効果を調整す ることで、コントラストや彩度を変えることができます。なお、空や 白壁のようなシーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、 ムラやノイズが発生することがあります。

🔹 髦 水彩風

水彩画のような写真で、やわらかい感じの色になります。効果を調整 することで、色の濃度を変えることができます。なお、夜景や暗い撮 影シーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、ムラやノ イズが発生することがあります。

〇 トイカメラ風

トイカメラ(おもちゃのカメラ)で撮影したような独特の色調で、画 面の四隅が暗い写真になります。色調によって、色の感じを変えるこ とができます。

ジオラマ(ミニチュア模型)風の写真になります。はっきり見せたい 部分を変えることができます。手順で〈INFO〉ボタンを押す(または 画面の[��]をタッチする)と、はっきり見せたい部分(白枠)の横 /縦を切り換えることができます。

好みの効果を付ける(クリエイティ ブアシスト)

RAW 画像を現像して、好みの効果をつけた JPEG 画像を作成することが できます。

再生設定	
1 2 3	PLAY2
クリエイティブアシスト	
赤目補正	
アルバム編集	
トリミング	
リサイズ	
レーティング	
	MENU 🕤

【クリエイティブアシスト】を選ぶ 【□】タブの【クリエイティブアシスト】を 選び、〈SET〉を押します。



2 画像を選ぶ

<
 <
 <

 <



3 効果を選ぶ

<<>>

く</>
く

</br/>

</br/>

</br/>

</br/>

 [プリセット] を選んで〈SET〉を押すと、 [VIVID] や [SOFT] など、用意された設 定から効果を選ぶことができます。な お、[AUT01] [AUT02] [AUT03] は、画 像の状態からカメラが判断したおすす めの効果です。

- [明るさ] [コントラスト] などは、〈SET〉 を押して〈◀〉〈►〉で効果を選びます。
 - 調整が終了したら〈**SET**〉を押します。

- く★)ボタンを押すと効果がリセットされます。

4 [OK] を選んで保存する

赤目補正

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画 像として保存できます。

再生設定	
1 2 3	PLAY2
クリエイティブアシスト	
赤目補正	
アルバム編集	
トリミング	
リサイズ	
レーティング	
	MENU 🕤

1 [赤目補正] を選ぶ

 [▶] タブの [赤目補正] を選び、〈SET〉 を押します。

2 画像を選ぶ

- ●〈◀〉〈▶〉を押して画像を選びます。
- 3 補正する
 - [ŷ]をタッチするか、〈SET〉を押します。
 - → 補正された部分に枠が表示されます。

4 [OK] を選ぶ

• 別画像として保存されます。

♥ • 画像によっては正しく補正されないことがあります。

Þ	再生設定	
1 2	3	PLAY2
クリ	エイティブアシスト	
赤目	補正	
アル	バム編集	
トリ	ミング	
リサ	イズ	
ν-	ティング	
		MENU 🕤

1 [アルバム編集] を選ぶ

 [▶] タブの [アルバム編集] を選び、〈SET〉 を押します。

2 編集するアルバムを選ぶ

- 〈SET〉を押して【√】を付けます。
- 選び終わったら〈MENU〉ボタンを押し ます。
- <u>3</u> [OK] を選ぶ

4 編集する項目を選ぶ

<<>>

を押して編集項目を選び、

項目	内容
₽ ビデオスナップ並べ換え	< <p>〈◀〉〈▶〉で移動したいスナップを選び、〈SET〉 を押します。〈◀〉〈▶〉で移動し〈SET〉を押し ます。</p>
値 ビデオスナップ削除	< <p>〈◀〉〈▶〉で削除したいスナップを選び、〈SET〉 を押します。選択したスナップに、【値】が表示 されます。もう一度〈SET〉を押すと、選択が解 除され【値】が消えます。</p>
▶ ビデオスナップ再生	 < < <l< td=""></l<>

0	アルバム編集
	プレビュー
	BGM選択
	保存する
	保存しない
	5

5 編集を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押して編集を終了し ます。
- [1](編集完了)を選び、〈SET〉を押します。

6 保存する

- アルバムの再生時に BGM を一緒に再 生するときは、[BGM 選択] で BGM を 選択します (340 ページ)。
- 編集結果を確認するときは [プレビュー]
 を選びます。
- 【保存する】を選ぶと編集したアルバムが 新規アルバムとして保存されます。

📱 🔹 編集後のアルバムを再度編集することはできません。

BGM を選択する

する

SET V INFO N 48 5 C MENU S

□BGM選択/再生

BGM選択

XXXXXX
 XXXXXX
 XXXXXXX
 XXXXXXX
 XXXXXXX

EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使用して、BGM をカードにコピー すると、アルバム再生時やスライドショー時に BGM を再生することがで きます。

1	[BGM 選択]	を選ぶ
---	----------	-----

[BGM選択] で [する] を選びます。

2 音楽を選ぶ

〈▲〉〈▼〉で音楽を選び、〈SET〉を押します。[スライドショー]では、音楽を複数選ぶことができます。

3 試聴する

- 〈INFO〉ボタンを押すと、試聴することができます。
- 〈▲〉〈▼〉で音量が調整できます。再度 〈INFO〉ボタンを押すと、停止します。
- ・ 音楽を削除するときは、〈▲〉〈▼〉で音楽を選び、〈値〉ボタンを押します。

BGM をカードにコピーする方法については、EOS Utility 使用説明書を参照してください。

JPEG 画像をリサイズする

撮影した JPEG 画像の画素数を少なくして、別画像として保存することが できます。リサイズは、JPEG の L / M / SI で撮影した画像で行うこと ができます。JPEG の S2 と RAW で撮影した画像は、リサイズできません。

再生設定	
1 2 3	PLAY2
クリエイティブアシスト	
赤目補正	
アルバム編集	
トリミング	
リサイズ	
レーティング	
	MENU 🕤

1 [リサイズ] を選ぶ

- [▶] タブの [リサイズ] を選び、〈SET〉 を押します。
- ⇒ 画像が表示されます。

MENU 🕤

SET 12

2 画像を選ぶ

- リサイズする画像を選びます。
- 〈国·Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。
- 3 画像サイズを選ぶ
 - 〈SET〉を押すと、画像サイズが表示されます。
 - リサイズする画像サイズ(1)を選び、 (SET)を押します。

M S1 S2 (1)

11M 3984×2656

4 保存する

- [OK] を選ぶと、リサイズされた画像が 保存されます。
- 保存先のフォルダと画像番号を確認して [OK] を選びます。
- 他にリサイズしたい画像があるときは、
 手順2~4を繰り返します。

撮影時の記録画質とリサイズできるサイズ

塩料味の司谷両産	リサイズできるサイズ		
加於时の記跡回貝	M	S1	S2
L	0	0	0
M		0	0
S1			0

● リサイズとアスペクトの組み合わせによっては、画像の周辺部分が少しトリ ミングされることがあります。

JPEG 画像をトリミングする

撮影した JPEG 画像の必要な部分を切り抜いて、別画像として保存することができます。トリミングは、JPEG で撮影した画像で行うことができます。 RAW で撮影した画像は、トリミングを行うことができません。

Þ	再生設定	
1 2	3	PLAY2
クリ	エイティブアシスト	
赤目	補正	
アル	バム編集	
トリ	ミング	
リサ	イズ	
ν-	ティング	
		MENU 🕤

1 [トリミング] を選ぶ

- [▶] タブの [トリミング] を選び、〈SET〉 を押します。
- → 画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- トリミングを行う画像を選びます。
- 〈■・Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。

- 3 トリミング枠の大きさ、アスペクト比、 位置、傾き補正を設定する
 - 〈SET〉を押すと、トリミング枠が表示 されます。
 - → 枠で囲まれた範囲をトリミングできます。

トリミング枠の大きさを変える

〈Q〉<図·Q〉ボタンを押します。

⇒ 枠の大きさが変わります。枠を小さくするほど拡大してトリミングされます。

トリミング枠のアスペクト比を変える

- 〈 △ 〉を回し [→ 】を選びます。
- ⇒〈SET〉を押すたびに、枠のアスペクト比が切り換わります。
- ⇒ 横位置で撮影した画像を、縦位置で撮影したようにトリミングすることもできます。

トリミング枠を移動する

- <▲><▼> または <<>><►> を押します。
- → 枠が上下左右に移動します。
- トリミング枠にタッチしたままドラッグして、枠の位置を移動することもできます。

傾きを補正する

- 〈 △ 〉を回し、 [🗘] を選びます。
- ⇒ 表示されるグリッドで傾きを確認し、〈☆☆〉を回して傾きを補正します。 傾きは±10°の範囲で、0.1°単位で補正できます。
- ⇒ 画面左上の[▶][ヽ]をタッチして補正するときは0.5°単位になります。
- 〈**SET**〉を押します。

4 トリミングした部分を全画面表示する

- 〈☆☆〉を回し、 [━━] を選びます。
- → トリミングした画像を確認できます。
- もう一度〈SET〉ボタンを押すと、元 の表示に戻ります。

5 保存する

- 〈ご〉を回し、[1] を選びます。
 〈SET〉を押して [OK] を選ぶと、トリミングされた画像が保存されます。
- 保存先のフォルダと画像番号を確認して [OK] を選びます。
- 他にトリミングしたい画像があるとき は、手順2~5を繰り返します。

- ・ 傾き補正の角度によっては、トリミング枠の位置や大きさが変わることがあ
 ります。
 - トリミング保存した画像を、再度トリミングすることはできません。また、 リサイズや、クリエイティブフィルター処理を行うこともできません。
 - トリミングを行った画像には、AFフレーム表示用の情報(口326)、ダ ストデリートデータ(口277)は付加されません。

再生開始時に最初に表示する画像を 設定する

画像の再生を開始したときに、画面に最初に表示する画像を設定すること ができます。

■ 再生設定 1 2 3 ■ PLM3 スライドショー ■ 個体換の条件設定 ● での画像法り 「1 とストグラム 輝度 AF2レー人表示 しない 前回の画像から再生 する	 [前回の画像から再生]を選ぶ [⊡] タブの [前回の画像から再生] を選び、 〈SET〉を押します。
 ・ 再生設定 ・ ・ ・	 2 項目を選ぶ ● 〈▲〉〈▼〉を押して内容を選びます。

- 【する】を選んで画像を再生すると、前回再生したときに最後に表示されていた画像が最初に表示されます(撮影を行ったときを除く)。
- [しない]を選んで電源を入れ直すと、最新の画像が最初に表示されます。

無線通信機能

この章では、Bluetooth[®] 機能や Wi-Fi[®] 機能を使用して、カメラ とスマートフォンや Web サービスなどと無線接続して画像を送 信する方法や、パソコンやワイヤレスリモコンでカメラを操作す る方法について説明しています。

無線通信機能でできること

必ずお読みください

このカメラを使用するために、誤った無線通信の設定を行った結果生じた 損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。 また、このカメラを使用した結果生じた損害に対しても、弊社では補償で きませんので、併せてご了承ください。

無線通信機能を使用する際には、お客様の責任と判断で必要なセキュリ ティーを設定してご使用ください。不正侵入等によって生じた損害に対し て、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。

メニュー目次:無線タブ

((₁))	無線通信設定			
1			NETWORK	
Wi-I	i/Bluetooth接	続		Щ350
Wi-I	設定	使う		<u> </u>
Blue	tooth設定	使う		<u> </u>
ニッ	クネーム	XXXXX		<u> </u>
GPS	機器の設定			<u> </u>
無線	通信の設定初	〕期化		<u> </u>
			MENU 🕤	

- ↓ インターフェースケーブルでカメラとパソコンなどを接続しているときは、 無線通信機能を使用することはできません。
 - Wi-Fi 接続中は、カメラとパソコンなどを、インターフェースケーブルで接続して使用することはできません。
 - カメラにカードが入っていないときは、Wi-Fi 接続できません([<u>□</u>]は除く)。 また、[<u>心</u>] および Web サービスでは、カードに画像が記録されていないと きも、Wi-Fi 接続できません。
 - カメラの電源を〈OFF〉にしたときや、カード/バッテリー収納部ふたを開けたときは、Wi-Fi 接続を終了します。
 - Wi-Fi 接続中は、カメラのオートパワーオフ機能は働きません。

Wi-Fi/Bluetooth 接続の選択

((†))	無線通信設定	È	
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth	接続	
Wi-	Fi設定	使う	5
Blue	tooth設定	使う	5
ニッ	クネーム	XXX	XX
GPS	機器の設定		
無線	通信の設定	初期化	
			MENU 🕤

1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ

[(ヤ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、
 〈SET〉を押します。

2 カメラと接続する項目を選ぶ

(1) スマートフォンと通信() 352)

スマートフォンやタブレット(以降は「スマートフォン」と記載)に Wi-Fi 接続して、専用アプリケーション「Camera Connect(カメラ コネクト)」を使ってカメラをリモート操作したり、カメラ内の画像を 見ることができます。

(2) 旦 EOS 用または専用ソフトウェアと連携(00378)

パソコンに Wi-Fi 接続して、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を 使ってカメラをリモート操作することができます。また、専用ソフト ウェアの Image Transfer Utility 2 を使って、カメラの画像をパソ コンに自動送信することができます。

(3) 凸 Wi-Fi 対応プリンターで印刷() 386)

Wi-Fi で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンター に Wi-Fi 接続して、画像を印刷することができます。

(4) **4** Web サービスへ画像を送信(2396)

キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY (登録無料)を通じて、家族や友人との画像共有や、 さまざまな Web サービスを利用した画像共有を行うことができます。

(5) ジ ワイヤレスリモコンと接続

別売のワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 と Bluetooth 接続 して、リモコン撮影を行うことができます(QQ416)。

スマートフォンと通信

カメラと Bluetooth low energy technology(以降は「Bluetooth」と 記載)対応スマートフォンを Bluetooth 接続して、以下のことができます。

- スマートフォンのみの操作による Wi-Fi 接続(□354)
- 電源オフ中のカメラとの Wi-Fi 接続(□359)
- スマートフォンで取得した位置情報の画像への付加(□□427)
- スマートフォンをリモコンにしたカメラの操作(□358)

また、カメラとスマートフォンをWi-Fi 接続して、以下のことができます。

- スマートフォンでのカメラ内の画像の閲覧および保存(□358)
- スマートフォンでのカメラのリモート操作(0358)
- カメラからスマートフォンへの画像の送信(□366)

スマートフォンの Bluetooth 機能と Wi-Fi 機能を ON にする

スマートフォンの設定画面で、Bluetooth 機能と Wi-Fi 機能を ON にして おきます。なお、スマートフォンの Bluetooth 機能設定画面では、カメラ とのペアリングはできません。

アクセスポイントを使用して Wi-Fi 接続するときは、「アクセスポイントを使用した Wi-Fi 接続」(□411)を参照してください。

スマートフォンに Camera Connect をインストールする

Android または iOS がインストールされたスマートフォンに、専用アプリ ケーションの Camera Connect (無料) をインストールします。

- スマートフォンのOSは、最新のバージョンをお使いください。
- Camera Connect は、Google Play または App Store からインストールすることができます。Google Playまたは App Storeは、スマートフォンとのペアリング時や Wi-Fi 接続時に表示される QR コードからもアクセスできます。
- Camera Connect が対応している OS のバージョンについては、Camera Connect のダウンロードサイトでご確認ください。
 - カメラのファームウェアアップデートや Camera Connect、Android、 iOS などのバージョンアップにより、本書の記載と実際の画面例などが異な ることがあります。

Bluetooth 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する

カメラ側の操作 - 1

((†))	無線通信設定	2	
1	NETWORK		
Wi-	Fi/Bluetooth	接続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS機器の設定			
無線通信の設定初期化			
			MENU 🕤

1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ

[(い)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、
 〈SET〉を押します。

2 [] スマートフォンと通信] を選ぶ

接続先の機器の選択	
接続先の機器の追加	
接続先の機器の編集/削除	
	MENU 🕤

3 [接続先の機器の追加] を選ぶ

スマートフォンにCamera Connectを インストールしてください。 ダウンロードサイトのQRコードを 表示しますか?		
表示しない		
Android		
iOS		

4 項目を選ぶ

- Camera Connect をインストール済み のときは [表示しない] を選びます。
- Camera Connect がインストールされていないときは、[Android] または [iOS] を選んで表示される QR コード をスマートフォンで読み取り、Google Play または App Store にアクセスして Camera Connect をインストール します。

スマートフォンと通信
Bluetoothペアリング
Wi-Fi接続
Bluetoothを利用してスマートフォン からカメラを操作できるようになり ます。Canonアブリを操作すると かんたんにWi-Fi接続できます MERU ち SET (OK

ペアリング		
現在のBluetooth接続を切断して 新しい機器とペアリングします		
現在のBluetooth接続先:		
キャンセルOK		

- 5 [Bluetooth ペアリング]を選ぶ
 - 〈SET〉を押すと、ペアリングが開始されます。
 - 2台目以降のスマートフォンとペアリングするときは、左の画面で[OK]を選び、〈SET〉を押します。

スマートフォン側の操作-1

6 Camera Connect を起動する

7 ペアリングするカメラをタッチする ⇒ Android の場合は手順9に進みます。

웅 [ペアリング] をタッチする(iOS のみ)

カメラ側の操作-2

- ♀ 2 台以上の機器と同時に Bluetooth 接続することはできません。Bluetooth 接続するスマートフォンを切り換えるときは、□□430を参照してください。
 - Bluetooth 接続中は、カメラのオートパワーオフ中もバッテリーを消耗する ため、カメラを使用するときにバッテリーの残量が少なくなっていることが あります。

ペアリングできないとき

 スマートフォン側に、前回ペアリングしたときのカメラの登録が残っていると、ペアリングすることができません。スマートフォンの Bluetooth 設定 画面で、前回ペアリングしたカメラの登録を解除してから、ペアリングをやり直してください。

Bluetooth 接続中に、カメラを操作してスマートフォンへ画像を送信できます(口366)。

スマートフォン側の操作-2

□Wi-Fi動作中	
切断して終了	
設定の確認	
エラー内容の表示	
Wi-Fi接続を切断してWi-Fi 機能の選択画面に戻ります	
	MENU 🕤

- 11 Camera Connectの機能を選んで タッチする
 - iOSの場合は、カメラへの接続を確認 する画面が表示されたら【接続】をタッ チします。
 - Camera Connectの機能については 〇358 を参照してください。
 - Wi-Fi 接続が完了すると、選んだ機能の 画面が表示されます。
 - カメラの液晶モニターに【**UWi-Fi動作中**】 の画面が表示されます。
 - Camera Connectのトップ画面に BluetoothおよびWi-Fi接続中の図が 表示されます。

これで Bluetooth 対応スマートフォンとの Wi-Fi 接続は完了です。

- Wi-Fi 接続を終了する方法は、「Wi-Fi 接続の終了」(①373)を参照 してください。
- Wi-Fi 接続を終了すると Bluetooth 接続に切り換わります。
- 再度 Wi-Fi 接続するときは、Camera Connect を起動して、使用したい機能をタッチします。

[Wi-Fi 動作中] の画面について

切断して終了

Wi-Fi 接続を終了します。

設定の確認

設定の内容が確認できます。

エラー内容の表示

• Wi-Fi 接続でエラーが発生したときに、エラー内容を確認できます。

Camera Connect の機能

カメラ内の画像一覧

- 画像の閲覧、削除、レーティングを行うことができます。
- スマートフォンに画像を保存することができます。

リモートライブビュー撮影

スマートフォンでライブビュー映像を見ながらリモート撮影することができます。

撮影自動転送

 撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信するときに (QQ365)、カメラやアプリケーションの設定を変更することができます。

Bluetooth リモートコントローラー

- Bluetooth 接続中のスマートフォンをリモコンにして、カメラの操作 を行うことができます。なお、Wi-Fi 接続中は使用できません。
- Bluetooth リモートコントローラーをお使いのときは、あらかじめオートパワーオフの時間を長めに設定することをおすすめします。

位置情報

• このカメラでは使用できません。

カメラ設定

カメラの設定を変更することができます。

電源オフ中のカメラとの Wi-Fi 接続

カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続中であれば、カメラの電源ス イッチが〈**OFF**〉の状態でも、スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続する ことができます。

- 1 [Bluetooth 設定] を選ぶ
 - [(如)] タブの [Bluetooth 設定] を選び、 (SET) を押します。

Bluetooth設定 電源オフ中の通信 する

2 [電源オフ中の通信] で [する] を選ぶ

- カメラの電源スイッチが〈OFF〉の状態で、Camera Connectのメニューから[カメラ内の画像一覧]をタッチすると、Wi-Fi 接続が開始されます。
- iOS の場合は、カメラへの接続を確認 する画面が表示されたら【接続】をタッ チします。

Wi-Fi 接続が完了すると、カメラ内の画像の一覧が表示されます。

- Camera Connect を操作して、スマートフォンへの画像の保存、カメラ内の画像の削除を行うことができます。
- Wi-Fi 接続を終了するときは、Camera Connect のトップ画面で [≤] をタッチします (□373)。

● 無線通信の設定を初期化したり、スマートフォンの接続情報を消去すると、 本機能は使用できなくなります。

スマートフォンとのペアリングを解除するときは、以下の手順で行います。

(1) 無線通信設定	
1	NETWORK
Wi-Fi/Bluetooth接線	5
Wi-Fi設定	使う
Bluetooth設定	使う
ニックネーム	XXXXX
GPS機器の設定	
無線通信の設定初期	化
	MENU 🕤

- 1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ
 - [(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。

2 [□ スマートフォンと通信]を選ぶ
 ● 履歴(□ 419)が表示されたときは、
 <
 <

接続先の機器の選択	
接続先の機器の追加	
接続先の機器の編集/削除	
SmartPhone	0
	MENU 🕤

3 [接続先の機器の編集 / 削除] を選ぶ

- 4 ペアリングを解除するスマートフォン を選ぶ
 - ペアリング中のスマートフォンは [8] が表示されます。
| SmartPhone | |
|------------|--------|
| ニックネームの変更 | |
| 公開画像の設定 | |
| 接続情報の削除 | |
| | |
| 公開画像 | |
| | すべての画像 |
| | MENU 🕤 |
| | |
| | |
| 接続情報の削除 | |

XXXXX を削除します

キャンセル OK

5 [接続情報の削除] を選ぶ

6 [OK] を選んで〈SET〉を押す

7 スマートフォン側の登録を解除する

 スマートフォンの Bluetooth 設定画面 で、カメラの登録を解除します。

Bluetooth 機能を使用せず Wi-Fi 接続する

カメラ側の操作 - 1

((†))	無線通信設定	2	
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth	接続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無額	通信の設定	初期化	
			MENU 🕤

1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ

[(い)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、
 〈SET 〉を押します。



2 [] スマートフォンと通信]を選ぶ 履歴() (219)が表示されたときは、

〈◀〉〈▶〉で画面を切り換えます。

接続先の機器の選択	
接続先の機器の追加	
接続先の機器の編集/削除	
	MENU 🕤

3 [接続先の機器の追加] を選ぶ

スマートフォンにCamera Connectを インストールしてください。 ダウンロードサイトのORコードを 表示しますか? 表示しない Android
表示しない Android
Android
iOS

4 項目を選ぶ

 Camera Connect をインストール済み のときは【表示しない】を選びます。

5	[Wi-Fi 接続]	を選ぶ
---	------------	-----

スマートフォンと通信
Bluetoothペアリング
Wi-Fi接続
カメラとスマートフォンの両方を操作 して、WiーFi接続します
MENU SET OK



6 SSID (ネットワーク名) とパスワー ドを確認する

- カメラの液晶モニターに表示される SSID(1)とパスワード(2)を確認 します。
- [(𝑘): Wi-Fi 設定] → [パスワード] を [ស b]
 に設定すると、パスワードは表示されず、入力も不要になります(□422)。

手順6で【ネットワーク変更】を選ぶと、アクセスポイント経由でWi-Fi接続することができます(皿411)。

スマートフォン側の操作



7 スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続 する

- スマートフォンの Wi-Fi 機能を ON にして、手順6 で確認した SSID(ネットワーク名)をタッチします。
- パスワード欄には、手順6で確認した パスワードを入力します。

8 Camera Connect を起動して Wi-Fi 接続するカメラをタッチする

カメラ側の操作 -2





9 [OK] を選ぶ

- 公開する画像を設定するときは、 〈INFO〉ボタンを押します。口374 の手順5を参照して設定してください。
- スマートフォンに、Camera Connect のメイン画面が表示されます。
- これでスマートフォンとの Wi-Fi 接続は 完了です。
- Camera Connect を使用してカメラを 操作します(Q)358)。
- Wi-Fi 接続を終了する方法は、「Wi-Fi 接続の終了」(□373)を参照 してください。
- 2回目以降のWi-Fi 接続については、「2回目以降のWi-Fi 接続」 (□419)を参照してください。
- Wi-Fi 接続中に、再生時のクイック設定画面からスマートフォンに画像を送 信できます(□366)。

撮影画像の自動送信

撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信することができます。あらかじめ、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth接	続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無新	通信の設定初	期化	
		M	IENU 🕤

- 1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ
 - [(1)] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、〈SET〉 を押します。

2 [スマートフォンへの撮影時画像送信] を選ぶ

パスワード	あり
接続先履歴の表示	表示する
パソコンへの画像自	動送信
スマートフォンへの	撮影時画像送信
MACアドレス	
	MENU ᠫ

使う

Wi-Fi設定 Wi-Fi

スマートフォン・	への撮影時画像送信
自動送信	しない
	りする

	3 [目動送信] で [する] を選ぶ	Ì
--	---------------------	---

スマートフォンへの	撮影時画像送信	
送信画像サイズ	▶縮小 オリジナル	

4 [送信画像サイズ] を設定する

5 撮影する

カメラからスマートフォンへ画像を送信

カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続(Android のみ)または Wi-Fi 接続された状態で、カメラを操作してスマートフォンへ画像を送信するこ とができます。





2 〈 🖸 〉ボタンを押す



3 [1] を選ぶ

 Bluetooth 接続中にこの操作を行った ときは、メッセージが表示され、Wi-Fi 接続に切り換わります。

4 送信方法を選んで送信する

(1) 1 枚ずつ送信





1 送信する画像を選ぶ

- <
 <
 <

 <
- 〈国·Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。
- 2 [この画像を送信] を選ぶ
 - 【送信画像サイズ】で送信する画像サイズを 選ぶことができます。
 - 動画を送信するときは、【送信動画の画質】
 で、送信する動画の画質を選ぶことができます。

(2) 複数の画像を選んで送信



1 〈SET〉を押す



2 [選んで送信] を選ぶ





2枚

圧縮

縮小 キャンセル 送信

画像を送信

送信枚数

送信動画の画質

送信画像サイズ

3 送信する画像を選ぶ

- <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <
 <

 を押します。
- <■·Q〉ボタンを押すと、3枚表示に して選ぶことができます。1枚表示に 戻すときは〈�、〉を押します。
- 送信する画像の選択が終わったら、 〈MFNU〉ボタンを押します。

4 画像指定を完了する

- [OK] を選びます。
- 5 [送信画像サイズ] を 選ぶ
 - 表示される画面で画像サイズを選びま d_

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

 動画を送信するときは、「送信動画の画質] で画質を選びます。

画像を送信	
送信枚数	2枚
送信動画の画質 送信画像サイズ	圧縮 縮小
キャンセル	送信

6 [送信] を選ぶ

(3) 範囲を指定して送信する場合



1 〈SET〉を押す





2 [範囲指定で送信] を選ぶ

3 画像の範囲を指定する

- 始めの画像(始点)を選びます。
- 最後の画像(終点)を選びます。
- 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
- 〈■・Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示の枚数を変えることができます。

4 範囲を確定する

〈MENU〉ボタンを押し、[OK]を選びます。

5 [送信画像サイズ] を選ぶ

表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

動画を送信するときは、【送信動画の画質】
 で画質を選びます。

画像を送信	
送信枚数	2枚
送信動画の画質 送信画像サイズ	圧縮 縮小
キャンセル	送信

6 [送信]	を選ぶ
--------	-----

画像を送信	
送信枚数	2枚
	510
送信動画の画質	圧縮
送信画像サイズ	縮小
キャンセル	送信

(4) カード内の画像をすべて送信



1 〈SET〉を押す



2 [カード内全送信]を選ぶ

画像を送信	
送信枚数	51枚
送信動画の画質 送信画像サイズ	圧縮 縮小
キャンセル	送信

3 [送信画像サイズ] を選ぶ

表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

 動画を送信するときは、【送信動画の画質】 で画質を選びます。

画像を送信		
送信枚数	51枚	
送信動画の画質 送信画像サイズ	圧縮 縮小	
キャンセル	送信	

4 [送信] を選ぶ

(5) 検索条件が設定された画像を送信

[画像検索の条件設定] で検索条件が設定された画像をまとめて送信します。 [画像検索の条件設定] については、「再生する画像を絞り込む」(□294) を 参照してください。







2 [検索結果全送信] を選ぶ

画像を送信	
送信枚数	42枚
送信動画の画質 送信画像サイズ	圧縮 縮小
キャンセル	送信

3 [送信画像サイズ] を選ぶ

表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

動画を送信するときは、【送信動画の画質】
 で画質を選びます。

画像を送信	
送信枚数	42枚
送信動画の画質 送信画像サイズ	圧縮 縮小
キャンセル	送信

4 [送信] を選ぶ

画像の送信の終了

Bluetooth 接続中にカメラを操作して画像を送信した場合(Android のみ)





 画像の送信画面で〈MENU〉ボタンを押 します。

 左の画面で [OK] を選ぶと、画像の送信 と Wi-Fi 接続を終了します。

Wi-Fi 接続中にカメラを操作して画像を送信した場合



- 画像の送信画面で〈MENU〉ボタンを押 します。
- Wi-Fi 接続を終了するときは「Wi-Fi 接続の終了」(Q373)を参照してください。

• 画像送信の操作中は、カメラのシャッターボタンを押しても撮影できません。

- Wi-Fi 接続中は、スマートフォンの節電機能をオフにしておくことをおすす めします。
 - 静止画を縮小するときは、同時に送信する静止画がすべて縮小されます。なお、52 サイズの静止画は縮小されません。
 - 動画を圧縮するときは、同時に送信する動画がすべて圧縮されます。
 - カメラの電源にバッテリーを使用するときは、フル充電してから使用してく ださい。

Wi-Fi 接続の終了

0

下記のいずれかの操作を行ってください。

Camera Connect	:
E * ····· 🙆 ·····	~ >
□ Wi-Fi動作中	
切断して終了	
設定の確認	
エラー内容の表示	
Wi-Fi接続を切断してWi-Fi	
機能の選択画面に戻ります	

Camera Connect の画面で 💌 をタッ チする

[UWi-Fi動作中] の画面で [切断して終了] を 選ぶ

- [ロWi-Fi動作中]の画面が表示されていないときは、((い) タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続]を選びます。
- 【切断して終了】を選び、確認画面で【OK】
 を選びます。

スマートフォンに公開する画像の設定

Wi-Fi 接続を終了してから設定します。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth接	続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無線	通信の設定初]期化	
			MENU 🕤

- 1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ
 - [(1)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



接続先の機器の選択 接続先の機器の追加 接続先の機器の編集/削除 SmartPhone

2	[[コスマー	ートフォンと	通信]	を選ぶ	
		履歴	(🛄 419)	が表	示されたとき	は、

3 [接続先の機器の編集 / 削除]を選ぶ



ø

MENU 5

SmartPhone	
ニックネームの変更	
公開画像の設定	
接続情報の削除	
公開画像	
	すべての画像
	MENU ᠫ

4 スマートフォンを選ぶ

 画像を公開するスマートフォンの名称 を選びます。

5 [公開画像の設定] を選ぶ

^{〈◀〉〈▶〉}で画面を切り換えます。

公開画像の設定			
 ● すべての画像 			
○ 今日から何日前までの画像			
O レーティングで選択			
O ファイル番号の範囲			
キャンセル OK			

6 項目を選ぶ

[OK] を選ぶと、設定画面が表示されます。

[すべての画像]

カード内のすべての画像を公開します。

[今日から何日前までの画像]



撮影日で公開する画像を指定します。最大 で9日前までの画像を指定できます。

- 【何日前までに撮影した画像】のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。〈▲〉〈▼〉で日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- [OK] を選ぶと、公開する画像が設定されます。

● [公開画像の設定] で [すべての画像] 以外を設定しているときは、リモート撮影はできません。

[レーティングで選択]



レーティングを付加した画像(または付加 していない画像)やレーティングの種類で 公開する画像を指定します。

レーティングの種類を選ぶと、公開する画像が設定されます。

[ファイル番号の範囲] (範囲で指定)



- ファイル番号順に並んだ画像の開始と終了 の画像を選んで、公開する画像を指定しま す。
- (SET)を押して、画像の選択画面を表示します。
 - 〈◀〉〈▶〉で画像を選びます。
 - <■·Q 〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。
- 2. 始点(1)の画像を選びます。
- 3. 〈▶〉で終点(2)の画像を選びます。
- 4. [OK] を選びます。

- リモート撮影で動画を記録中に、Wi-Fi 接続が切断されたときの動作は、以下のようになります。
 - 電源スイッチが〈!果〉のときは、動画撮影が継続します。
 - 電源スイッチが〈ON〉のときは、動画撮影が終了します。
 - 電源スイッチが〈ON〉のときに、Camera Connectの操作で動画モードにしたときは、カメラを操作して撮影することはできません。
 - スマートフォンと Wi-Fi 接続中は、操作できない機能があります。
 - リモート撮影では、AF 速度が遅くなることがあります。
 - 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、レリーズのタイミングが遅れることがあります。
 - スマートフォンへの画像保存中は、カメラのシャッターボタンを押しても撮影できません。また、カメラの液晶モニターが消灯することがあります。
- Wi-Fi 接続中は、スマートフォンの節電機能をオフにしておくことをおすす めします。

パソコンと Wi-Fi 接続

ここでは、カメラとパソコンをWi-Fi 接続してEOS 用または専用ソフト ウェアと連携する方法について説明しています。パソコンに最新のソフト ウェアをインストールしてからWi-Fi 接続の設定を行ってください。 パソコンの操作方法については、パソコンの使用説明書を参照してください。

EOS Utility でカメラを操作

EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使って、カメラ内の画像の取り込み や、カメラの操作などを行うことができます。

カメラ側の操作 - 1

	 [Wi-Fi/Bluetooth 接続]を選ぶ [(ヤヤ)]タブの[Wi-Fi/Bluetooth 接続]を選び、 〈SET〉を押します。
EOS Utilityでリモート操作 し し し し し し し し し し し し し	 2 [旦 EOS Utility でリモート操作]を選ぶ ● 履歴(□ 419)が表示されたときは、 < <>> ぐ画面を切り換えます。
接続先の機器の選択 接続先の機器の追加 接続先の機器の編集/削除 低ENU ●	3 [接続先の機器の追加] を選ぶ



4 SSID (ネットワーク名) とパスワー ドを確認する

- カメラの液晶モニターに表示されているSSID(1)とパスワード(2)を確認します。
- 【(𝑘): Wi-Fi 設定] で【パスワード】を【なし】
 に設定すると、パスワードは表示されず、入力も不要になります。詳しくは、
 (二) 422 を参照してください。

パソコン側の操作 - 1 パソコンの画面例



5 SSID を選んでパスワードを入力する

- パソコンのネットワークの設定画面から、手順4で確認したSSIDを選びます。
- パスワード欄には、手順4で確認した パスワードを入力します。

カメラ側の操作 -2



6 [OK] を選ぶ

⇒ 下記のメッセージ画面が表示されます。 なお、「******」は、接続しようとして いるカメラの MAC アドレス下6 桁で す。



パソコン側の操作 -2



7 EOS Utility を起動する

- 8 EOS Utility の [Wi-Fi/LAN 接続ペアリン グ] をクリックする
 - ファイアウォールに関するメッセージ が表示されたときは、[はい]を選びます。

9 [接続] をクリックする

接続するカメラを選んで、【接続】をクリックします。

カメラ側の操作-3



10 Wi-Fi 接続を確立する

• [OK] を選びます。

[] Wi-Fi 動作中]の画面について

□Wi-Fi動作中	
切断して終了	
設定の確認	
エラー内容の表示	
Wi-Fi接続を切断してWi-Fi	
機能の選択画面に戻ります	
	MENU 🕤

- 切断して終了
- Wi-Fi 接続を終了します。

設定の確認

設定の内容が確認できます。

エラー内容の表示

 Wi-Fi 接続でエラーが発生したときに、 エラー内容を確認できます。

これでパソコンとの Wi-Fi 接続は完了です。

- パソコンの EOS Utility でカメラを操作します。
- 2回目以降のWi-Fi 接続については、「2回目以降のWi-Fi 接続」 (□419)を参照してください。

- リモート撮影で動画を記録中に、Wi-Fi 接続が切断されたときの動作は、以下のようになります。
 - 電源スイッチが〈?,,)のときは、動画撮影が継続します。
 - 電源スイッチが〈ON〉のときは、動画撮影が終了します。
 - カメラが静止画撮影モードのときに、EOS Utilityの操作で動画モードにしたときは、カメラを操作することはできません。
 - EOS Utility と Wi-Fi 接続中は、操作できない機能があります。
 - リモート撮影では、AF 速度が遅くなることがあります。
 - 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、レリーズのタイミングが遅れることがあります。
 - リモートライブビュー撮影では、インターフェースケーブルでの接続時より
 も通信速度が遅くなるため、動きのある被写体を滑らかに表示することはできません。

カメラ内の画像の自動送信

専用ソフトウェアの Image Transfer Utility 2を使って、カメラ内の画 像を自動的にパソコンへ送ることができます。

パソコン側の操作 -1

- パソコンとアクセスポイントを接続して
 T Image Transfer Utility 2 を起動 する
 - はじめて Image Transfer Utility 2 を 起動したときは、画面の手順にしたがっ て操作を行うとペアリングを設定する 画面が表示されます。

カメラ側の操作-1

Wi-Fi設定	
Wi-Fi	使う
パスワード	あり
接続先履歴の表示	表示する
パソコンへの画像自	動送信
スマートフォンへの	撮影時画像送信
MACアドレス	
	MENU ᠫ

パソコンへの画像自動送信			
自動送信	しない		
	りする		

2 [パソコンへの画像自動送信] を選ぶ

- [(ψ)] タブの [Wi-Fi設定] を選び、〈SET〉 を押します。
- [パソコンへの画像自動送信]を選びます。

3 [自動送信] で [する] を選ぶ

ペアリングを始めます。 Canonアプリがインストールさ パソコンを起動してください	れた
キャンセル 04	•

ネットワークを選択			
更新			
WPS機能で接続			
XXXXXXXX	🖬 11ch		
XXXXXXXX	🖬 12ch		
WPSに対応したアクセスポイントに			
簡単に接続できます			
キャンセ	IV		

4 [OK] を選ぶ

5 アクセスポイントと Wi-Fi 接続する

パソコンと接続しているアクセスポイントとカメラをWi-Fi 接続します。接続方法は「アクセスポイントを使用したWi-Fi 接続」(QQ411)を参照してください。

再検索 XXXXX		
	キャンセル	

6 カメラとペアリングするパソコンを選ぶ

パソコン側の操作-2

7 カメラとパソコンをペアリングする

カメラを選んで、【ペアリング】をクリックします。

カメラ側の操作 -2

Wi-Fi設定	
Wi-Fi	使う
パスワード	あり
接続先履歴の表示	表示する
パソコンへの画像自	動送信
スマートフォンへの	撮影時画像送信
MACアドレス	
	MENU ᠫ

する

MENU 5

パソコンへの画像自動送信

自動送信

送信設定 ペアリング解除

8 [パソコンへの画像自動送信] を選ぶ

- [(ψ)] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、〈SET〉 を押します。
- [パソコンへの画像自動送信]を選びます。

9 [送信設定] を選ぶ

送信設定	
送信対象範囲	全て
送信対象画像	静止画+動画
送信画像選択	
	MENU 🗂

10 送信する対象を選ぶ

- 【送信対象範囲】で【選択画像のみ】を選んだ ときは【送信画像選択】の画面で送信する 画像を設定します。
- 設定が終了したらカメラの電源を切り ます。

パソコンが起動した状態で、アクセスポイントの通信範囲内でカメラの電 源を入れると、カメラ内の画像がパソコンに自動送信されます。

● 自動送信が始まらないときは、カメラの電源を入れなおしてください。

プリンターと Wi-Fi 接続

ここでは、カメラと Wi-Fi で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応 したプリンターを直接 Wi-Fi 接続して画像を印刷する方法について説明し ています。プリンターの操作方法については、プリンターの使用説明書を 参照してください。







4 SSID (ネットワーク名) とパスワー ドを確認する

3 [接続先の機器の追加] を選ぶ

- カメラの液晶モニターに表示されている SSID(1)とパスワード(2)を確認します。
- [(y): Wi-Fi 設定] で [パスワード] を [なし] に設定すると、パスワードは表示され ず、入力も不要になります(□1422)。

5 プリンターを操作する

- お使いのプリンターの Wi-Fi に関する設 定メニューから、確認した SSID を選 びます。
- パスワード欄には、手順4で確認した パスワードを入力します。

五桳索		
XXXXX		
	キャンセル	

6 プリンターを選ぶ

- 検出されたプリンターの一覧から、 Wi-Fi 接続するプリンターを選びます。
- 接続したいプリンターが表示されない 場合、[再検索]を選択することで表示さ れることがあります。

アクセスポイントを使用して Wi-Fi 接続するときは、「アクセスポイントを使用した Wi-Fi 接続」(□411)を参照してください。

画像の印刷

1 枚ずつ印刷





- <<>>ぐてのでのです。
 <

 <
- 〈国·Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。





1992 and fitter	ଏ ଏ ଅ	
All States	四切	
D. Jora Sale	圆 1 枚	
	トリミング	
D 標準設定	用紙設定	
長 標準設定	キャンセル	
町 フチあり	EDRJ	

3 印刷する

- 印刷の設定方法は、(1)391を参照してください。
- [印刷] を選び、[OK] を選ぶと印刷が始まります。

画像を指定して印刷



1 〈SET〉を押す

2 [印刷指定] を選ぶ

MENU 🕤 印刷指定
この画像を印刷



▶印刷指定	
🗅 スタンダード	0枚
日付	ŁЛ
画像番号	
画像選択 複数選択	設定
ED刷	MENU 4

3 1	印刷	内容	を設	淀	đ	る
-----	----	----	----	---	---	---

- 設定方法は、「画像を印刷指定する/ DPOFL(CC319)を参照してくださ い。
- Wi-Fi 接続前に印刷指定をしているとき は、手順4に進んでください。
- ▲ [印刷] を選ぶ
 - [印刷] は、画像が選択され、印刷できる。 状態になっていないと選択できません。
- 5 [用紙設定] の内容を設定する (2391)

ロ スタンダ・	-×	2枚	
日付 画像番号		切切	
画像選択	複数選択		設定
EDRJ			MENU 🕤

►印刷指定

6 印刷する

• [OK] を選ぶと印刷が始まります。

印刷を開始します		
	キャンセル	ОК

- ♀ ・プリンターと Wi-Fi 接続中は撮影できません。
 - 動画は印刷できません。
 - 印刷するときは、必ず用紙サイズの設定を行ってください。
 - プリンターの機種により、画像番号が印刷できないことがあります。
 - [7チあり]にすると、プリンターの機種により、日付がフチにかかることがあります。
 - 日付の背景が明るいときや、日付がフチにかかるときは、プリンターの機種により、日付が薄く印刷されることがあります。
 - RAW 画像は[印刷指定]を選んで印刷することはできません。印刷するときは、 [この画像を印刷]を選んで印刷してください。
- カメラの電源にバッテリーを使用するときは、フル充電してから使用してく ださい。
 - 印刷する画像のファイルサイズや記録画質により、[印刷]を選んでから実際に印刷が始まるまで、しばらく時間がかかることがあります。
 - 印刷を途中で中止するときは、【中止】が表示されている間に〈SET〉を押して [OK] を選びます。
 - [印刷指定] で印刷するときに、途中で印刷を中止してから残りの画像を印刷するときは、[再開] を選びます。ただし、次のときは印刷の再開はできません。
 再開する前に印刷指定の内容を変更したり、指定した画像を削除したとき
 - インデックス設定時、再開する前に用紙設定を変更したとき
 - 印刷中に問題が発生したときは、□□395 を参照してください。

印刷の設定

使用するプリンターによって表示される内容や、設定できる内容が異なり ます。また、設定そのものができないことがあります。詳しくは、プリンター の使用説明書を参照してください。

印刷設定画面



- (1) 日付や画像番号の印刷を設定します()393)
- (2) 印刷効果を設定します()393)
- (3) 印刷枚数を設定します(2393)
- (4) 印刷範囲を設定します(□394)
- (5) 用紙のサイズ、タイプとレイアウトを設定します(皿392)
- (6) 画像の選択画面に戻ります
- (7) 印刷を開始します
- (8) 設定されている用紙のサイズ、タイプ、レイアウトの情報が表示され ます

* プリンターの機種により、一部の設定項目が選択できないことがあります。

用紙設定



[用紙設定] を選びます。

[□] 用紙サイズの設定

₽ ►0 0	用紙サイズ
L判	
2L判	
はがき	
カード	

 プリンターにセットされている用紙の サイズを選びます。

[1]] 用紙タイプの設定

9. ▶ 10	用紙タイプ
フォト	
高級フォト	
標準設定	

 プリンターにセットされている用紙の タイプを選びます。

[閏] レイアウトの設定

Q)	U	R)	レイアウト
フチ	あり		
フチ	なし		
フチ	あり∎		
標準	设定		

印刷レイアウトを選びます。

● 用紙の縦横比と、画像のアスペクト比が異なる条件でフチなし印刷を行うと、 大きくトリミングされることがあります。また、解像度が低く印刷されることがあります。

日付/画像番号印刷の設定

画像と一	緒に印刷する情報	
	切	
	日付	
	画像番号	
	両方]
	標準設定	
		SET OK

- [2]を選びます。
- 印刷内容を選びます。

印刷効果(イメージオプティマイズ)の設定



- [公]を選びます。
- 印刷効果を選びます。

● ISO 感度「H」で撮影した画像の撮影情報を印刷すると、ISO 感度が適切な 値で印刷されないことがあります。

印刷効果などの選択肢にある【標準設定】は、プリンターメーカーが独自に設定する印刷内容のことです。【標準設定】の内容は、プリンターの使用説明書を参照してください。

印刷枚数の設定



- [□] を選びます。
- 印刷枚数を選びます。

トリミング(印刷範囲)の設定



トリミングの設定は、印刷する直前に行っ てください。トリミングを行ったあとで印 刷設定の内容を変更すると、再設定が必要 になることがあります。

1 印刷設定画面で [トリミング] を選ぶ

2 トリミング枠の大きさ、位置、縦横を設定する

 枠で囲まれた範囲が印刷されます。枠の形状(縦横比)は、[用紙設定] の設定で変わります。

枠の大きさを変える

〈�、〉〈�、〉で枠の大きさが変わります。

枠を移動する

〈◆〉十字キーで枠が上下左右に移動します。

枠の縦 / 横を切り換える

〈INFO〉ボタンを押すと、枠が縦長、横長に変わります。

3 〈SET〉を押してトリミングを終了する

• 印刷設定画面の左上で印刷範囲を確認できます。

● プリンターの機種により、枠のとおりに印刷されないことがあります。
 ● 枠を小さくするほど解像度が低く印刷されます。

📱 プリンターエラー発生時の操作について

プリンターに関するエラー(インク切れ、用紙切れなど)を解決したあと、「続行]を選んでも印刷が再開されないときは、プリンター側を操作してください。
 印刷の再開方法については、プリンターの使用説明書を参照してください。

エラーメッセージについて

印刷中に問題が発生したときは、カメラの液晶モニターにエラーメッセージが表示されます。問題を解決してから再度印刷してください。プリンターの問題解決方法については、プリンターの使用説明書を参照してください。

用紙エラー

• 用紙が正しくセットされていることを確認してください。

インクエラー

• インク残量や、インク吸収体の状態を確認してください。

ハードウェアエラー

• 用紙、インク以外の問題が発生していないか確認してください。

ファイルエラー

 選択した画像は印刷できません。別のカメラで撮影した画像や、パソコンに 取り込んで加工した画像は、印刷できないことがあります。

Web サービスへ画像を送信

ここでは、Web サービスを利用して画像を送信する方法について説明しています。

Web サービスの情報の登録

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報 をカメラに登録します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザーが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウ ザー(Microsoft Internet Explorer など)のバージョンや設定条件 については、CANON iMAGE GATEWAYのサイトで確認してくだ さい。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国/地域の 情報は、弊社 Web サイト (http://www.canon.com/cig/) で確認 してください。
- CANON iMAGE GATEWAY での操作や設定については、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、 その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サー ビスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。
CANON iMAGE GATEWAY の登録

CANON iMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録します。

パソコンまたはスマートフォンのメールアドレスが必要です。

カメラ側の操作-1

((†))	無線通信設定	2	
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth	接続	
Wi-I	Fi設定	使	5
Blue	tooth設定	使于	5
ニッ	クネーム	XXX	XX
GPS	機器の設定		
無線	通信の設定	初期化	
			MENU 🕤

Wi-Fi/Bluetooth 接続]を選ぶ

 [(い)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 <SFT>を押します。



Party Reads Party Reads Date: Tunck Color Dated: Color Dated: Color Dated. Kenne Disson Kanan Kenne Kanan Kanan they have they have been been Grow Dates: Grow Dates: Grow Dates: Kana Diego Kana Kana Kana Kana キャンセル

同意する

カメラ連携設定

2 [🕰 Web サービスへ画像を送信]を選ぶ

3 [同意する] を選ぶ



▲ Wi-Fi 接続する

 アクセスポイントと Wi-Fi 接続します。 □ 412の手順7に進みます。

カメラ連携設定	
メールアドレスを) (254文字以内)	しカしてください
XXXXXX	
キャンセル	ОК •

任意の数字4桁を入力してください

カメラ連携設定時に必要です

カメラ連携設定

キャンセル

5 メールアドレスを入力する

 メールアドレスを入力して [OK] を選び ます

🔓 4 桁の数字を入力する

任意の4桁の数字を入力し[OK]を選びます。

お知らせ URLの通知メールを送信しました メールに記載のURLアクセスして カメラ連携設定を行ってください メールが届かない場合はメールの 設定を確認してやり直してください

OK →

7 [OK] を選ぶ

→ [▲] が [♠] になります。

Wet)サービスの夏	更新
		Ъ
ß	6	
INFO 情報表	示	MENU ᠫ

パソコンまたはスマートフォン側の操作

晑 カメラ連携を設定する

- 受信した通知メールの URL にアクセス します。
- カメラ連携設定ページの案内にした がって設定します。

カメラ側の操作 -2



9 CANON iMAGE GATEWAY を送 信先に追加する

● [ゐ] を選びます。

CANON iMAGE GATEWAY が追加さ れます。



他の Web サービスの登録

パソコンまたはスマートフォン側の操作

1 利用する Web サービスの設定をする

- CANON iMAGE GATEWAY の Web サイトにアクセスして、カメラ連携設 定のページを表示します。
- 画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。

カメラ側の操作



- 2 設定した Web サービスを送信先に追加する
 - [(ŋ^v] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、
 〈SET 〉を押します。
 - [6] を選びます。



撮影した画像を家族や友人と共有できるよう、登録した Web サービスへ カメラ内の画像を送信したり、オンラインアルバムのリンク先を送信でき ます。

Web サービスとの Wi-Fi 接続

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth报	巍	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無綱	通信の設定着	刀期化	
			MENU 🕤

- 1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ
 - [(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



2 Web サービスを選ぶ

- 履歴(□419)が表示されたときは、 〈◀〉 < ▶)で画面を切り換えます。

- Web サービスの種類や設定によって、 送信先の選択画面が表示されることが あります(2414)。

1 枚ずつ送信





利用規	約の確認
Theory.	Asso they have been tend
Keeps.	And Descharge Case (See
Name	Annual Kanana Kanana Kanana Kanana
Theory.	kord face face face face
Keeps.	Asso Geo. Juno Geo. Juno
Name	Anna Anna Anna Anna Anna
	キャンセル 同意する

- 1 送信する画像を選ぶ
 - <
 <
 <

 <
 - 〈国·Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示にして選ぶことができます。
- 2 [この画像を送信] を選ぶ
 - 【送信画像サイズ】で送信する画像サイズを 選ぶことができます。
 - 送信の完了画面で[OK]を選ぶと、
 Wi-Fi 接続を終了します。
 - 【利用規約の確認】の画面が表示されたときは、内容をよくお読みのうえ、【同意する】
 を選びます。
 - 〈▲〉〈▼〉で画面をスクロールできます。

複数の画像を選んで送信



1 〈SET〉を押す



2 [選んで送信] を選ぶ



3 送信する画像を選ぶ

- <
 <
 <

 <
- <図・Q〉ボタンを押すと、3画像表示にして選ぶことができます。1枚表示に戻すときは、<Q〉ボタンを押します。
- 送信する画像の選択が終わったら、 〈MENU〉ボタンを押します。

画像を送信
送信枚数 2枚
送信画像サイズ 縮小
キャンセル 送信

4 [送信画像サイズ] を選ぶ

- 送信先が YouTube のときは、【送信画像 サイズ】は表示されません。
- 表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ	
オリジナル	
縮小	

画像を送信	
送信枚数	2枚
送信画像サイズ	縮小
Cathol No. 1. III	
キャンセル	达信

	_
利用規約の確認	
Download Described Described	
Keen Date Gen Date State State	
Name Name Name Name Name Name	
the field the field benched.	
Keen Date Date State Date State	i
Kenne States Kenne States Kenne States	l
キャンセル 同意する	

5 [送信] を選ぶ

- 送信の完了画面で [OK] を選ぶと、
 Wi-Fi 接続を終了します。
- 【利用規約の確認】の画面が表示されたときは、内容をよくお読みのうえ、【同意する】
 を選びます。
- 〈▲〉〈▼〉で画面をスクロールできます。

範囲を指定して送信

画像の範囲を指定して、まとめて送信します。







1 〈SET〉を押す

2 [範囲指定で送信] を選ぶ



- 始めの画像(始点)を選びます。
- 最後の画像(終点)を選びます。
- ⇒ 画像が選択され、【√】が表示されます。
- 指定を解除するときは、この操作を繰り返します。
- 〈国・Q〉ボタンを押すと、インデックス 表示の枚数を変えることができます。
- 4 範囲を確定する
 - 〈MENU〉ボタンを押します。
- 5 [送信画像サイズ] を選ぶ
 - 表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

画像を送信
送信枚数 2枚
State (The same life) is a state of same
送信画像サイス 縮小
キャンセル 送信

画像を送信
送信枚数 2枚
送信画像サイズ 縮小
キャンセル 送信

利用規約の確認
Download Download Download
Keek Need Keek Need Keek Need
Keep Jugo Keep Jugo Keep Jugo
Doubled Doubled Doubled
Keen Need Gene State State State
Name Street Know Street Know Name
キャンセル 同意する

6 [送信] を選ぶ

- 送信の完了画面で[OK]を選ぶと、
 Wi-Fi 接続を終了します。
- 【利用規約の確認】の画面が表示されたときは、内容をよくお読みのうえ、【同意する】
 を選びます。
- 〈▲〉〈▼〉で画面をスクロールできます。

カード内の画像をすべて送信



1〈SET〉を押す



2 [カード内全送信] を選ぶ

画像を送信
送信枚数 2枚
送信画像サイズ 縮小
キャンセル 送信

画像を送信	
送信枚数	2枚
送信画像サイズ	縮小
キャンセル	送信

利用規約の確認
Designed they have been lower
Keen State Georgians Georgians
Keep Dates Spec Name Spec Name
they have they have been been
Keen Date Gen Date Keen State
Kenne Streen Kenne Streen Kenne Streen
キャンセル 同意する

3 [送信画像サイズ] を選ぶ

表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

4 [送信] を選ぶ

- 送信の完了画面で[OK]を選ぶと、 Wi-Fi 接続を終了します。
- 【利用規約の確認】の画面が表示されたときは、内容をよくお読みのうえ、【同意する】
 を選びます。
- 〈▲〉〈▼〉で画面をスクロールできます。

検索条件が設定された画像を送信

[画像検索の条件設定] で検索条件が設定された画像をまとめて送信します。 [画像検索の条件設定] については、「再生する画像を絞り込む」(□294) を 参照してください。





┫〈SET〉を押す

2 [検索結果全送信] を選ぶ

画像を送信
送信約数 2枚
ASIG1XXX 21X
送信画像サイズ 縮小
キャンセル 送信

3 [送信画像サイズ] を選ぶ

表示される画面で画像サイズを選びます。

送信画像サイズ
オリジナル
縮小

画像を送信
送信枚数 2枚
送信画像サイズ 縮小
キャンセル 送信

利用規約	内の確認
Theory II.	and these fields force from
Keep 2	and face have face have
Name 2	and Kenne Manne Kenne Manne
100003	and they have been and
Name 2	and Grow Asso Grow Asso
Name 2	and Know Manue Know Manue
3	キャンセル 同意する

4 [送信] を選ぶ

- 送信の完了画面で[OK]を選ぶと、
 Wi-Fi 接続を終了します。
- 【利用規約の確認】の画面が表示されたときは、内容をよくお読みのうえ、【同意する】
 を選びます。
- 〈▲〉〈▼〉で画面をスクロールできます。

- Web サービスに Wi-Fi 接続中は、カメラのシャッターボタンを押しても撮影できません。
 - CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスへ画像を送信した場合、その Web サービスへ送信できていないのに、送信エラーが表示されないことがあります。このような場合の送信エラーは、CANON iMAGE GATEWAY のサイトで確認できますので、エラーの内容をご確認の上、再度送信してください。
- Web サービスによっては送信できる画像の種類や数、動画の時間が制限されます。
 - 【範囲指定で送信】、「カード内全送信】または【検索結果全送信】で、一部の画像が送信 できないことがあります。
 - 画像を縮小するときは、同時に送信する画像がすべて縮小されます。なお、 動画や S2 サイズの静止画は縮小されません。
 - [縮小]が有効になるのは、このカメラと同じ機種のカメラで撮影された静止 画だけです。それ以外のカメラで撮影された静止画は、サイズを縮小せずに 送信します。
 - CANON iMAGE GATEWAY にアクセスすると、画像を送信した Web サービスの送信履歴が確認できます。
 - カメラの電源にバッテリーを使用するときは、フル充電してから使用してく ださい。

アクセスポイントを使用した Wi-Fi 接続

ここでは、WPS(PCB 方式)に対応したアクセスポイントを利用した Wi-Fi 接続の方法について説明しています。

あらかじめ、WPS 用ボタンの場所と押す時間を確認しておいてください。 Wi-Fi 接続の開始から完了まで 1 分程度かかる場合があります。



 次に表示される [スマートフォンと通信]の 画面では [Wi-Fi接続] を選んで 〈SET〉 を押します。

iOS

接続待機中	
接続する機器を操作して、このカメラ	
(以下のネットワーク)に接続し、	
Canonアプリを起動してください	
SSID	
	XXX-XXX_CanonXX
パスワード	XXXXXXXX
キャンセル	ネットワーク変更・

ネットワークを選択 更新 カメラアクセスポイントモード WPS機能で接続 XXXXXXXX 自11ch WPSに対応したアクセスポイントに 簡単に接続できます キャンセル

4 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [□] [□] [□] を選んだときに表示されます。
- 5 [WPS 機能で接続] を選ぶ

手順5の画面で表示される [カメラアクセスポイントモード] については、 (1)414 を参照してください。



WPS		
無線LAN端末(押して [OK]を押すと、	のWPS用ボタンを ください。 接続を始めます	
キャンセル	OK	•

IPアドレス設定	
 自動設定 	
O 手動設定	
キャンセル	OK

6 [WPS (PBC 方式)] を選ぶ

• [OK] を選びます。

7 アクセスポイントに Wi-Fi 接続する

- アクセスポイントの WPS 用ボタンを 押します。
- [OK] を選びます。
- 8 [自動設定] を選ぶ
 - [OK] を選ぶと、Wi-Fi 機能に応じた設 定画面が表示されます。
 - 【自動設定】でエラーが表示されたときは、
 □ 435 を参照してください。

接続待機中
スマートフォンでCanonアプリを
起動してください
SSID
CENTRAL CONTROL OF
ニックネーム
XXXXX
キャンセル



再検索		
XXXXX		
	キャンセル	

9 Wi-Fi 機能に応じた設定を行う

[]スマートフォンと通信]

 スマートフォンの Wi-Fi 機能で、モニ ターに表示された SSID (ネットワーク 名)をタッチして、接続するアクセス ポイントのパスワードを入力します。
 363の手順8に進みます。

[旦 EOS Utility でリモート操作]

□□380の手順7または手順8に進みま す。

[凸Wi-Fi対応プリンターで印刷]

□387の手順6に進みます。

CANON iMAGE GATEWAY を登録す る

□398の手順5に進みます。

送信先画面

Web サービスによっては、送信先の選択画面が表示されることがあります。 送信先の登録や送信時の設定は、パソコンで行います。設定方法については、 EOS Utility の使用説明書を参照してください。

送信先	
Friends	
Business	
Family	
MENU 🗂	SET OK

- 【送信先】の画面が表示されることがあります。
- 登録した送信先の一覧から、送信先を 選びます。
- 接続設定や画像の送信方法は、他の Web サービスと同じです。

カメラアクセスポイントモード

ネットワークを選択	
更新	
カメラアクセスポイント	ヽ モード
WPS機能で接続	
XXXXXXXX	🖬 11ch
カメラをアクセスポイン	ハトにして
接続したい機器と接続し	/ます

カメラアクセスポイントモードは、カメラ と各機器を直接 Wi-Fi 接続する方法です。 [(ŋ):Wi-Fi/Bluetooth 接続] で、[□] [□] [凸] を選んだときに表示されます。

IP アドレスの手動設定

表示される項目は Wi-Fi 機能によって異なります。

IPアドレス設定	
 自動設定 	
O 手動設定	
キャンセル	ОК

[手動設定]	を選ぶ
--------	-----

[OK] を選びます。

IPアドレス設定	
IPアドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	使わない
キャンセル	ОК

2 項目を選ぶ

- 項目を選ぶと、数値の入力画面が表示 されます。
- ゲートウェイを使う場合は、【使う】を選んでから【アドレス】を選びます。

ゲートウェイ		
● 使う		
0 使わない		
	アドレス	
	0.0.0.0	
キャンセル		ОК

3 数値を入力する

- < (ご) で上側の入力場所を選び、< ◄>
 < >で入力する数値を選びます。
 < SET>
 を押すと選んだ数値が入力されます。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定 して手順2の画面に戻ります。

4 [OK] を選ぶ

- 必要な項目の設定が完了したら [OK] を 選びます。
- 設定する内容が分からない場合は、 「ネットワークの設定を確認する」 (単449)を参照するか、ネットワー ク管理者、またはネットワークに詳し い方に問い合わせてください。



IPアドレス設定	
IPアドレス	192.168.1.3
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	使わない
キャンセル	OK 🔸

ワイヤレスリモコンと接続

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1(別売/ □ 471)と Bluetooth 接続して、ワイヤレスでリモコン撮影することができます。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth接線	読	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	/クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		

- 1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ
 - [(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



2 🕼 ワイヤレスリモコンと接続] を選ぶ

3 [接続先の機器の追加] を選ぶ

MENU 🕤

ペアリング
ペアリング中です。 ワイヤレスリモコン側でも ペアリングを開始してください

4 ペアリングする

- 【ペアリング】の画面が表示されたら、 BR-E1の〈W〉ボタンと〈T〉ボタン を同時に3秒以上押します。
- 「****(BR-E1の個別名称)と接続しま した」が表示されたら、〈SET〉を押し ます。

静止画撮影時

動画撮影時

● 撮影設定 1 2 3 4

リモコン撮影



SHOOT2

しない りする

5 リモコン撮影できるように設定する

 【△】タブの【ドライブモード】で【I◇】を 選びます(□113)。

 [△] タブの [リモコン撮影] で [する] を 選びます。

- このあとの操作は、BR-E1の使用説明 書を参照してください。
- カメラがオートパワーオフのときも、Bluetooth 接続中はカメラのバッテ リーが消耗します。
- Bluetooth 機能を使わないときは、手順1で【使わない】に設定することをお すすめします。
 - リモコン撮影ができる状態に設定されているときは、オートパワーオフまでの時間が約2分になります。



他の BR-E1 とペアリングするときは、接続中のリモコンの登録を解除します。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth接	続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
»	/クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		

1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ

 [(ヤ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



2 [ぶ ワイヤレスリモコンと接続] を選ぶ

接続先の機器の選択	
接続先の機器の追加	
接続情報の削除	
XXXXX	0

3 [接続情報の削除] を選ぶ

接続情報の削除		
XXXXX を削除します		
キャンセル OK		

4 [OK] え	を選ぶ
----------	-----

2回目以降の Wi-Fi 接続

ー度 Wi-Fi 接続して接続設定が登録された機器や Web サービスに、再度 Wi-Fi 接続する方法です。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth	接続	
Wi-I	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	歳器の設定		
無線	通信の設定	初期化	
			MENU 🕤

1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ

[(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、
 〈SET〉を押します。

・・ ① SmartPhone ③ ◆ 凸 Canon Printer ・ □ PC INFO 情報表示 MENU ⑤

2 項目を選ぶ

- 表示された履歴から、Wi-Fi 接続する項目を選びます。表示されていないときは〈◀〉〈▶〉で画面を切り換えます。
- [接続先履歴の表示]を[表示しない]に設定 しているときは履歴は表示されません (①422)。

3 接続先の機器を操作する

[1] スマートフォンの場合

- Camera Connect を起動します。
- スマートフォンの接続先が変更されているときは、カメラ、または カメラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直し ます。

カメラとスマートフォンを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾 に「_CanonOA」と表示されます。

[旦] パソコンの場合

- パソコンで EOS 用ソフトウェアを起動します。
- パソコンの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラ と同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。 カメラとパソコンを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾に 「_CanonOA」と表示されます。

[凸] プリンターの場合

 プリンターの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメ ラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。 カメラとプリンターを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾に [_CanonOA] と表示されます。

複数の接続設定の登録

無線通信機能全体で、接続設定を10個まで登録することができます。



1	[Wi-Fi/Bluetooth 接続]	を選ぶ
---	----------------------	-----

 [(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



2 項目を選ぶ

- 履歴(□419)が表示されたときは、
 (◀) < ▶)で画面を切り換えます。
- 【コスマートフォンと通信】は「スマートフォンと通信」(口352)を参照してください。
- 【旦EOS Utilityでリモート撮影】は「パソコンとWi-Fi 接続」(皿378)を参照してください。
- 【凸Wi-Fi 対応ブリンターで印刷】は「プリン ターとWi-Fi 接続」(口386)を参照 してください。
- Web サービスへ画像を送信すると きは「Web サービスへ画像を送信」 (皿396)を参照してください。

📱 🔹 接続設定を削除するときは、🛄 430 を参照してください。

Wi-Fi 機能の設定

((†))	無線通信設定			
1			NETWORK	
Wi-F	i/Bluetooth	妾続		
Wi-f	·設定	使う		
Blue	tooth設定	使う		
ニッ	クネーム	XXXXX		
GPSt	機器の設定			
無線	通信の設定社	切期化		
			MENU 🕤	

1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

 [(い)] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、〈SET〉 を押します。

Wi-Fi設定	
Wi-Fi	使う
バスワード	あり
接続先履歴の表示	表示する
パソコンへの画像自	動送信
スマートフォンへの	撮影時画像送信
MACアドレス	
	MENU 🛳

2 項目を選ぶ

Wi-Fi

飛行機内や病院内などで、電子機器や無線機器の使用が禁止されてい るときは、【使わない】に設定してください。

• パスワード

[なし] に設定すると、Wi-Fi 接続時のパスワードの入力を省略することができます(アクセスポイントとの Wi-Fi 接続時を除く)。

接続先履歴の表示

Wi-Fi 接続した機器の履歴を [表示する] / [表示しない] が設定できます。

専用ソフトウェアの Image Transfer Utility 2 を使って、カメラ内の 画像を自動的にパソコンへ送ることができます(囗 383)。

• スマートフォンへの撮影時画像送信

撮影した画像をスマートフォンに自動送信することができます (⁽¹⁾365)。

MAC アドレス

カメラの MAC アドレスの確認ができます。

Bluetooth 機能の設定

(p) 無線通信設定	
1	NETWORK
Wi-Fi/Bluetooth接続	
Wi-Fi設定	使う
Bluetooth設定	使う
ニックネーム	XXXXX
GPS機器の設定	
無線通信の設定初期	化
	MENU 🕤

使う

しない

MENU 🕤

1 [Bluetooth 設定] を選ぶ

[(ヤ)] タブの [Bluetooth 設定] を選び、
 (SET) を押します。

2 項目を選ぶ

Bluetooth

Bluetooth設定

Bluetooth 接続先情報の確認 Bluetoothアドレス 電源オフ中の通信

Bluetooth 機能を使わないときは【使わない】を選びます。

• 接続先情報の確認

ペアリングした機器の名前や通信状態を確認できます。

Bluetooth アドレス

カメラの Bluetooth アドレスを確認できます。

電源オフ中の通信

カメラとスマートフォンをペアリングすると表示されます。 【する】を選ぶと、スマートフォンと電源オフ中のカメラを Wi-Fi 接続して、カメラ内の画像の閲覧などができます(10359)。

ニックネームの変更

スマートフォンやカメラで表示される、このカメラのニックネームを変更 することができます。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth接線		
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無線	通信の設定初期	化	
		M	IENU 🕤

- 1 [ニックネーム] を選ぶ
 - [(ŋ)] タブの [ニックネーム] を選び、〈SET〉 を押します。
- 2 仮想キーボード(二434)で文字を 入力する
 - 入力が終了したら〈MENU〉ボタンを押し、[OK]を選びます。

GPS 機器を使用した位置情報の付加

GPS レシーバー GP-E2(別売)や Bluetooth 対応スマートフォンを使用して、位置情報を画像に付加することができます。



GPS機器の選択 使わたい

GPSレシーバー スマートフォン

┃ GP-E2 をカメラに取り付ける

 GP-E2をカメラのアクセサリーシュー に取り付けて電源を入れます。詳しく は GP-E2の使用説明書を参照してくだ さい。

((†))	無線通信設定	2	
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth	接続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	クネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無額	通信の設定	初期化	
			MENU 🕤

2 [GPS 機器の設定]を選ぶ

- [(い)] タブの [GPS 機器の設定] を選び、
 〈SET〉を押します。
- 3 [GPS 機器の選択]で[GPS レシーバー]を 選ぶ

4 撮影する

• 【設定】について、詳しくは GP-E2 の使 用説明書を参照してください。

SET OK

● GP-E2 を使用するときのご注意

- 使用可能な国や地域を確認の上、法令等の規制にしたがってください。
- GP-E2のファームウェアを Ver.2.0.0以上にアップデートしてください。 ファームウェアをアップデートする際は、インターフェースケーブルが必要 です。アップデートの方法については、キヤノンのホームページを参照して ください。
- このカメラと GP-E2 を、ケーブルで接続して使用することはできません。
- このカメラでは撮影方位は記録されません。

スマートフォン

無線通信設定

Wi-Fi/Bluetooth接続 Wi-Fi設定

Bluetooth設定

ニックネーム

GPS機器の設定 無線通信の設定初期化

スマートフォンに専用アプリケーションの Camera Connect をインストール(Q353)してから設定を行ってください。

- 1 スマートフォンの位置情報機能をオン にする
- 2 Bluetooth 接続する
 - カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続します(皿354)。
- 3 [GPS 機器の設定]を選ぶ
 - [(い)] タブの [GPS 機器の設定] を選び、 (SET) を押します。

使う

使う

XXXXX

NETWORK

MENU 🛨

- 4 [GPS 機器の選択] で [スマートフォン] を 選ぶ
 - 設定後に Camera Connect を起動し ます。

5 撮影する

 スマートフォンが取得した位置情報が 画像に付加されます。

GPS 接続表示

静止画撮影画面(〇183)または動画撮影画面(〇223)の GPS 接続 表示で、スマートフォンからの位置情報の取得の状態を確認することがで きます。

- グレー:位置情報機能がオフの状態
- 点滅:位置情報が取得できない状態
- 点灯:位置情報を取得済

なお、GP-E2 使用時の GPS 接続表示については、GP-E2 の使用説明書 を参照してください。

撮影時に位置情報を画像に付加する

GPS アイコンが点灯中に撮影すると、位置情報が画像に付加されます。

画像に付加される位置情報について

撮影情報表示の画面(印102)で、撮影した画像に付加された位置情報 を確認することができます。



- (1) 緯度
- (2) 経度
- (3) 標高
- (4) 協定世界時

- スマートフォンによる位置情報の取得は、カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続しているときのみに行われます。
 - 方位情報は取得されません。
 - 移動条件やスマートフォンの状態によって、取得される位置情報が正確でない場合があります。
 - 電源スイッチを入れてから、スマートフォンの位置情報を取得するまでに、
 時間がかかることがあります。
 - 以下の操作を行うと、位置情報が取得できなくなります。
 - ワイヤレスリモコンと Bluetooth 接続する
 - カメラの電源を切る
 - Camera Connect を終了する
 - スマートフォンの位置情報機能をオフにする
 - 以下の状態になると、位置情報が取得できなくなります。
 - カメラの電源が切れる
 - Bluetooth 接続が終了する
 - スマートフォンのバッテリーの残量が少なくなる
- 協定世界時(UTC: Coordinated Universal Time)は、グリニッジ標準時 とほぼ同じ時刻です。
 - 動画撮影のときは、撮影開始時の情報が付加されます。

接続設定の変更/削除

接続設定の変更や削除は、Wi-Fi 接続を終了してから行います。





 [(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



接続先の機器の選択	
接続先の機器の追加	
接続先の機器の編集/削除	
SmartPhone	0

接続先の機器の編集/	削除
SmartPhone	0
	MENU 🕤

- 2 項目を選ぶ
 - 履歴(□419)が表示されたときは、
 <
 <
 <
- 3 [接続先の機器の編集 / 削除] を選ぶ
 - 「ショガグレーで表示されたスマートフォンを選ぶと、Bluetooth 接続を切り換えることができます。「スマートフォンと通信」の画面が表示されたら「Bluetooth 接続」を選び、次の画面で〈SET〉を押します。
- 4 接続設定の変更や削除を行う機器を選ぶ

SmartPhone	
ニックネームの変更	
公開画像の設定	
接続情報の削除	
公開画像	
	すべての画像
	MENU 🕤

5 項目を選ぶ

- 表示される画面で接続設定の変更や削 除を行います。
- ニックネームの変更

ニックネームを仮想キーボード(0434)で変更できます。

公開画像の設定(□374)

[スマートフォンと通信]を選んだときに表示されます。設定した内容が 画面の下側に表示されます。

接続情報の削除

ペアリング中のスマートフォンの接続設定を削除したときは、スマートフォンのカメラの登録も解除してください(皿360)。

 Web サービスの接続設定は、CANON iMAGE GATEWAYの Web サイト で削除します。

無線通信の設定初期化

無線通信の設定をすべて削除します。カメラを貸与したり譲渡したときに、 無線通信の設定情報が流出することを防ぐことができます。

	 【無線通信の設定初期化】を選ぶ 〔(ψ)] タブの [無線通信の設定初期化] を選び、 ⟨SET⟩ を押します。
 無線通信の設定初期化 無線通信の設定をすべて初期化します キャンセル OK 	<mark>2</mark> [OK] を選ぶ

 ● [+:カメラ設定初期化]を行っても、無線通信の設定情報は削除されません。
 ● カメラとスマートフォンをペアリングしていたときは、スマートフォンの Bluetooth 設定画面で、無線通信の設定を初期化したカメラの登録を解除し てください。
情報表示画面

エラーの内容とカメラの MAC アドレスを確認することができます。

((†))	無線通信設定		
1			NETWORK
Wi-	Fi/Bluetooth接	続	
Wi-	Fi設定	使う	
Blue	tooth設定	使う	
ニッ	ウネーム	XXXXX	
GPS	機器の設定		
無綱	通信の設定初	期化	
		[MENU 🕤

- 1 [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選ぶ
 - [(ŋ)] タブの [Wi-Fi/Bluetooth 接続] を選び、 SET > を押します。



2 <⊪	2 〈INFO〉ボタンを押す → 【情報表示】の画面が表示されます			
	_ 情報表示 エラー内容の表示			
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX		

 エラーが発生しているときに〈SET〉を押すと、エラーの内容が表示 されます。

仮想キーボードの操作方法



- (1) 文字を入力するエリア(入力エリア)
- (2) 入力エリアでのカーソルの移動
- (3) 入力した文字数 / 入力できる文字数
- (4) キーボード

- (6) スペース
 - (7) 入力エリアでの文字の削除
 - (8) キーボードの種類の変更
 - (9) 入力の終了

- (5) 入力モードの切り換え
- (2)、(4) ~ (8) は <◆> 十字キーで移動します。
- 入力する文字の決定や、入力モードの切り換えなどを行うときは〈SET〉 を押します。

エラー表示の対応

エラーが発生したときは、下記のいずれかの方法でエラー内容を表示して ください。その後、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除い てください。

- [情報表示] の画面で〈SET〉を押す(□1433)。
- [Wi-Fi 動作中] の画面で [エラー内容の表示] を選ぶ。

下記のエラー番号のページをクリックすると該当ページにジャンプします。

11 (📖 436)	12 (🛄 436)	21 (🖽 437)	22 (🛄 438)
23 (🛄 439)	61 (🛄 440)	63 (🖽 441)	64 (🛄 441)
65 (📖 442)	66 (🛄 442)	67 (🛄 442)	68 (📖 443)
69 (📖 443)	91 (🖽 443)	121 (🛄 443)	125 (🛄 444)
126 (🛄 444)	127 (📖 444)	141 (📖 444)	142 (🛄 444)
151 (🛄 445)	152 (🛄 445)		

 エラーが発生したときは、「(*):Wi-FI/Bluetooth 接続」の画面の右上に[Err**] と表示されます。カメラの電源を〈OFF〉にすると表示されなくなります。

11:接続先が見つかりません

- □ の場合、Camera Connect は起動していますか?
 → Camera Connect から接続操作を行ってください (□363)。
- [**□**] の場合、EOS 用ソフトウェアは起動していますか?
 - ➡ EOS 用ソフトウェアを起動して、再度接続操作を行ってください (□ 380)。
- 【凸】の場合、プリンターの電源は入っていますか?
 → プリンターの電源を入れてください。
- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用のパスワードを設定していますか?
 - ⇒ 暗号化の認証方式が 【オーブン】の設定で、パスワードを間違えるとこのエラーになります。 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用のパスワードをカメラに設定してください(□434)。

12:接続先が見つかりません

- 接続先の機器とアクセスポイントの電源は入っていますか?
 - ⇒ 接続先の機器とアクセスポイントの電源を入れて、しばらくお待ち ください。それでも接続できないときは、再度接続操作を行ってく ださい。

21:DHCP サーバーからアドレスが割り当てられていません

カメラの確認内容

- カメラの設定が IP アドレス [自動設定] になっています。この設定で間違いありませんか?
 - ⇒ DHCP サーバーを使用していない場合は、カメラを IP アドレス [手 動設定] にして設定を行ってください (□414)。

DHCP サーバーの確認内容

- DHCP サーバーの電源は入っていますか?
 - ⇒ DHCP サーバーの電源を入れてください。
- DHCP サーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか?
 - ➡ DHCP サーバーが割り振るアドレスを増やしてください。
 - ➡ DHCP サーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネット ワークから外して減らしてください。
- DHCP サーバーは正常に機能していますか?
 - ⇒ DHCP サーバーの設定を確認して、DHCP サーバーとして正常に 機能しているか確認してください。
 - ⇒ ネットワーク管理者がいるときは、DHCP サーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

22:DNS サーバーから応答がありません

カメラの確認内容

- カメラに設定している DNS サーバーの IP アドレスは合っています か?
 - → IP アドレス [手動設定] にして、使用する DNS サーバーと同じ IP ア ドレスをカメラに設定してください(□1414、□1449)。

DNS サーバーの確認内容

- DNS サーバーの電源は入っていますか?
 - ⇒ DNS サーバーの電源を入れてください。
- DNS サーバーに IP アドレスと、そのアドレスに対応する名前を正し く設定していますか?
 - ➡ DNS サーバーに IP アドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。
- DNS サーバーは正常に機能していますか?
 - ⇒ DNS サーバーの設定を確認して、DNS サーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ⇒ ネットワーク管理者がいるときは、DNS サーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- Wi-Fi 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つ ルーターなどが使用されていませんか?
 - ⇒ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください(□414、□449)。
 - ⇒ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを 正しく設定してください。

23:ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が存在します

カメラの確認内容

- カメラと同じネットワークにWi-Fi接続している機器が、カメラと同じIPアドレスを使用していませんか?
 - ⇒ カメラの IP アドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器と IP アドレスが重複しないようにしてください。または、 IP アドレスが重複している他の機器の IP アドレスを変更してください。
 - ⇒ DHCP サーバーを使用するネットワーク環境で、カメラが IP アドレス [手動設定]の設定になっているときは、IP アドレス [自動設定]の設定にしてください (□ 412)。

🗐 エラー 20 番台の対応について

- エラー21~23が表示された場合は、下記の確認も行ってください。
- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用のパスワードを設定していますか?
 - 暗号化の認証方式が【オーブン】の設定で、パスワードを間違えるとこのエラー になります。大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用のパスワー ドをカメラに設定してください(①434)。

61:同じ SSID の無線 LAN ネットワークがみつかりません

- アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害 物はありませんか?
 - → アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動 してください(□1446)。

カメラの確認内容

- カメラにアクセスポイントと同じ SSID を設定していますか?
 - ⇒ アクセスポイントの SSID を確認して、同じ SSID をカメラに設定 してください。

アクセスポイントの確認内容

- アクセスポイントの電源は入っていますか?
 → アクセスポイントの電源を入れてください。
- MAC アドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録していますか?
 - → 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MAC アドレスは [情報表示]の画面(□□433)で確認できます。

63: 無線 LAN の認証に失敗しました

- カメラとアクセスポイントで、同じ認証方式を設定していますか?
 → カメラで設定できる認証方式は、【オーブン】、【共有キー】、【WPA/WPA2-PSK1です。
- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用のパスワードを設定していますか?
 - ⇒ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用のパスワード をカメラに設定してください。
- MAC アドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録していますか?
 - ⇒ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MAC アドレスは [情報表示]の画面(□□433)で確認できます。

64:無線 LAN 端末に接続できません

- カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか?
 → カメラで設定できる暗号化方式は、WEP、TKIP、AESです。
- MAC アドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録していますか?
 - ⇒ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MAC アドレスは [情報表示]の画面(□□433)で確認できます。

65:無線 LAN の接続が切れました

- アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害 物はありませんか?
 - ⇒ アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動 させてください(□1446)。
- 何らかの理由で、Wi-Fi 接続が切れ、再接続できない状態になっています。
 - ⇒ アクセスポイントにほかの機器からのアクセスが集中している 場合や、電子レンジなどが近くで使用されている場合(IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz帯))、雨天や高湿度などの影響が考えら れます(□1446)。

66:無線 LAN のパスワードが違います

- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用のパスワードを設定していますか?
 - ⇒ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用のパスワード をカメラに設定してください。

67:無線 LAN の暗号方式が違います

- カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか?
 → カメラで設定できる暗号化方式は、WEP、TKIP、AES です。
- MAC アドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録していますか?
 - → 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MAC アドレスは [情報表示]の画面(□433)で確認できます。

68:無線 LAN 端末に接続できませんでした。始めからやり直して ください。

- アクセスポイントのWPS(Wi-Fi Protected Setup)ボタンは、ア クセスポイントで指示されている時間押し続けましたか?
 - → WPS ボタンをアクセスポイントの使用説明書で指示されている時 間押し続けてください。
- アクセスポイントのすぐ近くで接続操作をしていますか?
 - ⇒ 両方の機器にすぐ手が届く距離で接続操作を行ってください。

69:複数の無線 LAN 端末を検出したため、接続できませんでした。 始めからやり直してください。

 ほかのアクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup)の PBC 方式(プッシュボタン接続方式)で接続操作を行っています。
 → しばらく待ってから接続操作を行ってください。

91:その他のエラー

エラー11~69以外の異常が発生しました。
 → カメラの電源スイッチを入れ直してください。

121:サーバーの空き容量が不足しています

- 送信先 Web サーバーの空き容量が不足しています。
 - ➡ Web サーバー内の不要な画像を削除し、Web サーバーの空き容量 を確認してから再度送信してください。

125:ネットワークの設定を確認してください

ネットワークが接続されていますか?
 ⇒ ネットワークの接続状態を確認してください。

126:サーバーと接続できませんでした

- CANON iMAGE GATEWAY がメンテナンス中か、一時的に負荷が 集中しています。
 - ➡ しばらくしてから Web サービスの接続をやり直してください。

127:エラーが発生しました

Web サービスの接続中に、エラー 121 ~ 126 以外の異常が発生しました。

➡ Web サービスの Wi-Fi 接続をやり直してください。

141: プリンターは処理中です。もう一度接続してください

- プリンターが印刷中ではありませんか?
 ・ 印刷が終わってから Wi-Fi 接続をやり直してください。
- プリンターにほかのカメラが Wi-Fi 接続していませんか?
 - ➡ ほかのカメラの Wi-Fi 接続を終了してから、Wi-Fi 接続をやり直してください。

142: プリンター情報の取得に失敗しました。もう一度接続してく ださい

- プリンターの電源は入っていますか?
 - ⇒ プリンターの電源を入れてから、Wi-Fi 接続をやり直してください。

151:送信を中止しました

● 何らかの理由で、パソコンへの画像の自動送信が中断されました。
 ⇒ カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから再度〈ON〉にすると、
 ● 向動送信が再開されます。

152:カードのスイッチが書き込み禁止位置になっています

- カードの書き込み禁止スイッチが、書き込み禁止位置になっていませんか?
 - ⇒ カードの書き込み禁止スイッチを、書き込み可能位置にしてください。

無線通信機能での注意事項

無線通信機能使用時に「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの 現象が起きたときは、下記の例を参考にして対応してみてください。

カメラとスマートフォンとの距離について

カメラとスマートフォンが離れすぎていると、Bluetooth 接続は可能でも Wi-Fi 接続ができないことがあります。その場合は、カメラとスマートフォ ンを近づけて Wi-Fi 接続を行ってください。

アクセスポイントのアンテナの設置場所について

- 室内で使用する場合、カメラを使用している部屋に設置してください。
- カメラとの間に、人や遮蔽物が入らない場所に設置してください。

近くにある電子機器について

下記の電子機器の影響でWi-Fiの通信速度が遅くなるときは、電子機器の 使用をやめるか、機器から離れた場所で通信を行ってください。

 カメラの IEEE 802.11b/g/n は、2.4GHz 帯の電波を使用して Wi-Fi の通信を行っています。そのため、同じ周波数帯を使用する Bluetooth 機器や電子レンジ、コードレス電話機、マイク、スマートフォ ン、他のカメラなどを使うと Wi-Fi の通信速度が遅くなります。

カメラを複数使うときの注意

- 1 つのアクセスポイントに複数のカメラをWi-Fi 接続するときは、カ メラの IP アドレスが重複しないよう注意してください。
- 1つのアクセスポイントに複数のカメラをWi-Fi接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/g/n(2.4GHz帯)のアクセスポイントが複数あるときは、電波干渉を少なくするために、Wi-Fiのチャンネルを、「1/6/11」、「2/7」、「3/8」というように5チャンネル分、間を開けてください。

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 の使用について

 カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されているときは、BR-E1 を使用することはできません。[(n):Wi-Fi/Bluetooth 接続]の ジ ワイヤレ スリモコンと接続]で、カメラの接続先をワイヤレスリモコンに変更して ください。

セキュリティーについて

セキュリティーに関する設定が適切に行われていないときは、次のような 問題が発生する恐れがありますので注意してください。

通信の傍受

悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見 られる恐れがあります。

ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、 情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。 また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」 通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点 にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、ネットワークのセキュ リティーを確保するための仕組みや機能を使用することをおすすめします。

ネットワークの設定を確認する

Windows の場合

Windows の [コマンドプロンプト] を開き、ipconfig/all と入力して 〈Enter〉キーを押します。

パソコンに割り当てられている IP アドレスのほかに、サブネットマス ク、ゲートウェイ、DNS サーバーの情報が表示されます。

 Mac OS の場合 Mac OS Xの[ターミナル]を開き、ifconfig -a と入力して〈Return〉キー を押します。[en0] 項目 [inet] の ****.**** がパソコンに割り当て られている IP アドレスです。

* [ターミナル] については、Mac OS X のヘルプを参照してください。

なお、

〇414 でカメラに割り当てる IP アドレスを設定するときは、パ ソコンやほかのネットワーク接続機器と IP アドレスが重複しないよう、一 番右側の数字を変えて設定します。

例) 192.168.1.(10)

無線通信機能の接続状態

液晶モニターで、無線通信機能の接続状態を確認することができます。

クイック設定画面

再生時の情報表示画面 (2) (1) (3)

(1) 電波強度

- (2) Wi-Fi 機能
- (3) Bluetooth 機能



(1)					
7年1年1年86			液晶モニター		
	迪启1788		Wi-Fi 機能	電波強度	
土埣娃	Wi-Fi:使わない	() TeOFF		、光石	
不按杭	Wi-Fi:使う	() POFF			
接続開始		((1-	(点滅)	٣	
接続中		((1-		Til	
送信中		((1-	$(\leftrightarrow \rightarrow)$	™ .	
接続エラー		(î;•	(点滅)	٣	

Bluetooth 機能の表示

Bluetooth 機能	接続状態	液晶モニター
「使わたい」といわ	Bluetooth 接続中	8
	Bluetooth 未接続	*
[使わない]	Bluetooth 未接続	非表示

 スマートフォンとの Wi-Fi 接続時、またはパソコンへの画像の自動送信時は 「Bluetooth 接続中」になります。

 パソコン、プリンター、WebサービスとのWi-Fi接続時は「Bluetooth未接続」 になります。

カメラの機能を 自分好みに変更する

撮影スタイルに応じて、カメラの機能を細かく変更することがで きます。これをカスタム機能といいます。カスタム機能は、応用 撮影ゾーンで設定・機能します。

応用撮影ゾーン



カスタム機能の設定方法



1	[カスタム機能	(C.Fn)]	を遅	星ぶ
			桃松台七	$(O \Box_{n})1$

応用



C.Fn I :露出 露出設定ステップ	1
0:1/3段	
1:1/2段	
	SET OK
C.Fn I:露出	1

- 2 カスタム機能番号(1)を選ぶ
 - <<>> を押して設定する機能番号 を選び、
 SET > を押します。

3 設定を変更する

- 〈▲〉〈▼〉を押して設定内容(番号)を 選び、〈SET〉を押します。
- 手順2、3を繰り返して、その他のカ スタム機能を設定します。
- 画面の下に並んでいる番号で、設定状態を確認することができます。

4 設定を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押します。
- ➡ 手順1の画面に戻ります。

カスタム機能の設定をすべて解除するときは

[♥:設定解除] で [カスタム機能 (C.Fn) −括解除] を選ぶと、設定されているカ スタム機能がすべて解除されます (□273)。

カスタム機能一覧

C.Fn I:露出

1	露出設定ステップ	QQ 455
2	ISO 感度拡張	Щ455
3	セイフティシフト	Щ456
4	露出補正の自動解除	Щ456

由LV 撮影	▶ 勇画撮影
0	0
0	0
0	0

C.Fn II:ドライブ

5	ミラーアップ撮影	<u> </u>	

C.Fn III:操作・その他

6	ファインダー内 🌗 警告の項目	Щ457
7	シャッターボタン /AE ロックボタン	Щ458
8	SET ボタンの機能	QQ459
9	DISP ボタンの機能	囗460
10	電源〈ON〉時のモニター点灯	QQ460
11	電源オフ時のレンズ収納	QQ461

0	0
0	0
(3を除く)	(4、5のみ*)
0	0
(4 を除く)	(1を除く)
0	0

* 動画撮影中は、4の設定は機能しません。

・ いかけいたカスタム機能は、ライブビュー(LV)撮影時、または動画撮影時は機能しません(設定が無効になります)。

カスタム機能で変更できる内容

カスタム機能は、機能ごとに3つのグループ(「C.Fn I: 露出」、「C.Fn II: ドライブ」、「C.Fn III: 操作・その他」)に分類されています。

応用



C.Fn-1 露出設定ステップ

- 0:1/3段
- 1:1/2段

シャッタースピードと絞り数値、および露出補正、AEB、ストロボ調 光補正などの設定ステップを 1/2 段ステップにすることができます。 1/3 段ステップの設定では細かすぎるというときに有効です。

■ ファインダー内表示では、1 設定時の露出レベル表示は図のようになります。

-25 45 ²n∰°™° 400 (9)•

C.Fn-2 ISO 感度拡張

- 0:しない
- 1:する

ISO 感度を設定するときに、静止画撮影時:「H」(ISO51200 相当)、 動画撮影時:「H」(ISO25600 相当)が選択できるようになります。 なお、[△:高輝度側・階調優先]を【する】[強]に設定したときは、「H」 は選択できません。

 4K 動画設定時は [ISO 感度拡張] を [1:する] に設定しても、ISO 感度の設定 は ISO 100 ~ 6400 になります。

C.Fn-3 セイフティシフト

0:しない

1:する

〈**Tv**〉〈**Av**〉モードで設定したシャッタースピードや絞り数値で標準 露出が得られないとき、標準露出に近づけるように自動的にシャッター スピードや絞り数値が変更されるようになります。

C.Fn-4 露出補正の自動解除

0:する

電源スイッチを〈OFF〉にすると、露出補正の設定が解除されます。

1:しない

電源スイッチを〈OFF〉にしても、露出補正の設定は記憶されます。

C.Fn II:ドライブ

C.Fn-5 ミラーアップ撮影

- 0:しない
- 1:する

超望遠レンズを使用した撮影のときや、近接(マクロ)撮影のときに、 カメラ内部の機械的な振動(ミラーショック)によるカメラブレを防 止することができます。ミラーアップ撮影については、166ページを 参照してください。

C.Fn III:操作・その他

C.Fn-6 ファインダー内〈!〉警告の項目

以下の機能が設定されているときに、ファインダーの左下に〈!〉を表示することができます(①32)。クイック設定画面(①58)にも、〈!〉が表示されます。

ピクチャースタイルが【モノクロ】に設定されているときに(①122)、 警告表示が行われます。

ホワイトバランス補正時:

ホワイトバランス補正が設定されているときに(口134)、警告表 示が行われます。

圖 設定時:

[●:高感度撮影時のノイズ低減]が[マルチショットノイズ低減機能]に設定され ているときに(□139)、警告表示が行われます。

スポット測光設定時:

【 **血 :測光モード**】が【スポット測光】に設定されているときに(□159) 警告表示が行われます。

[• [• : 撮影画面表示]を [やさしい] に設定しているときは機能しません(設定が 無効になります)。

C.Fn-7 シャッターボタン /AE ロックボタン

- 0:AF/AE ロック
- 1:AE ロック/AF

ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効です。〈★〉ボタンで AF 作動、シャッターボタン半押しで AE ロック(露出決定)することができます。

2: AF/AF ロック(AE ロックなし)

AI サーボ AF (ライブビュー撮影時は、サーボ AF) 中にカメラと主 被写体の間を障害物が横切るとき、障害物にピントが合わないように、 〈★〉ボタンで AF の作動を一時停止することができます。露出は撮影 の瞬間に決まります。

3: AE/AF (AE ロックなし)

移動/停止を繰り返す被写体を撮影するときに有効です。AIサーボ AF(ライブビュー撮影時は、サーボ AF)時は、〈★〉ボタンで AIサー ボ AF の作動/停止を繰り返すことができます。露出は撮影の瞬間に 決まります。ピントと露出を常に最適な状態にして、シャッターチャ ンスを待つことができます。

🖥 動画撮影時

1、3 設定時は、〈★〉ボタンでワンショット AF が行われます。

C.Fn-8 SET ボタンの機能

よく使う機能を、〈SET〉に割り当てることができます。撮影準備状態で 〈SET〉を押すと、割り当てた機能の設定画面が表示されます。

0: クイック設定画面

クイック設定画面(単58)が表示されます。

1:記録画質選択

記録画質の設定画面が表示されます。

2:調光補正

調光補正の設定画面が表示されます。

3:モニターの入/切

液晶モニターを、点灯/消灯することができます。

4:メニュー表示

メニュー画面が表示されます。

5:露出補正(押しながら 🚗)

〈SET〉を押しながら〈☆☆〉を回すと、露出補正を行うことができます。 〈M〉マニュアル露出+ ISO オート設定時に露出補正を行いたいとき に効果的です。

6:ストロボ機能設定

内蔵ストロボ、または外部ストロボ機能設定の画面が表示されます。

7:絞り込み

設定されている絞り数値でレンズの絞り込みが行われ、ピントの合う 範囲(被写界深度)を、ファインダー、またはライブビュー映像で確 認することができます。 C.Fn-9 DISP ボタンの機能

よく使う機能を、〈DISP〉ボタンに割り当てられます。撮影準備状態で〈DISP〉 を押すと、割り当てた機能の設定画面が表示されます。

0:モニターの入/切

液晶モニターを、点灯/消灯することができます。

1: 絞り込み

設定されている絞り数値でレンズの絞り込みが行われ、ピントの合う 範囲(被写界深度)を、ファインダー、またはライブビュー映像で確 認できます。

2: Wi-Fi/Bluetooth 接続

Wi-Fi/Bluetooth 接続の設定画面が表示されます。Wi-Fi 接続中は、 [Wi-Fi 動作中]の画面が表示されます。

3:モニターを一時的に明るくする

液晶モニターを一時的に明るくできます。

4:動画サーボ AF 一時停止

動画サーボ AF を一時停止できます。

C.Fn-10 電源 (ON) 時のモニター点灯

0:点灯

電源を入れるとクイック設定画面(□□58)が表示されます。

1:電源〈OFF〉時の状態を保持

電源を入れたときに、前回電源を切ったときの液晶モニターの表示状 態で、起動します。そのため、液晶モニターが消えている状態で電源 を切ると、次に電源を入れたときには何も表示されませんので、電池 の消耗を少なくしたいときに有効です。なお、メニュー操作や再生操 作は、通常どおり行うことができます。

C.Fn-11 電源オフ時のレンズ収納

ギアタイプの STM レンズ (EF40mm F2.8 STM など)をカメラに取り 付けているときの、レンズ収納に関する設定です。カメラの電源スイッチ を〈**OFF**〉にしたときに、前方に繰り出しているレンズを自動的に収納す るかどうかを設定することができます。

0:する

1:しない

- オートパワーオフのときは設定に関わらず、レンズは収納されません。
 レンズが収納されたことを確認してからレンズを取り外してください。
- O 設定時は、レンズのフォーカスモードスイッチの設定(AF / MF)に関わらず機能します。

マイメニューを登録する

設定変更の頻度が高いメニュー機能とカスタム機能を選んで、マイメニュー タブに登録することができます。また、登録したタブに名前を付けたり、 〈MENU〉ボタンを押したときにマイメニュータブから表示することもでき ます。

● [�: メニュー表示]を [やさしい] に設定しているときは [★] タブは表示されません。[メニュー表示]を [標準] に変更してください (□54)。

マイメニュータブを追加(作成)する



- 1 [マイメニュータブの追加] を選ぶ
 - [★] タブの [マイメニュータブの追加] を選び、(SET) を押します。

応用



2 [OK] を選ぶ

- ➡ [MY MENU1] タブが作成されます。
- 手順1、2を繰り返すと、[MY MENU5] まで作成することができます。

マイメニュータブに項目を登録する



- 1 [設定: MY MENU *] を選ぶ
 - <
 <> を押して [設定: MY MENU *] (項目を登録するタブ)を選び、
 <> SET > を押します。

設定	MY MENU1
登録項目の選択	
登録項目の並べ替え	
選択して削除	
タブ内の全項目削除	
タブの削除	
タブ名の変更	
	MENU ᠫ

登録項目の選択	
記録画質	
撮影画像の確認時間	
カードなしレリーズ	
レンズ光学補正	
ストロボ制御	
ドライブモード	
MENU 🔿	SET OK

2 [登録項目の選択] を選ぶ

3 項目を登録する

- 項目を選び〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選ぶと登録されます。
- 6項目まで登録できます。
- 〈MENU〉ボタンを押すと手順2の画面 に戻ります。



設定	MY MENU1
登録項目の選択	
登録項目の並べ替え	
選択して削除	
タブ内の全項目削除	
タブの削除	
タブ名の変更	

タブに登録した項目の並べ替え、項目また はタブの削除、タブの名称の変更を行うこ とができます。

登録項目の並べ替え

登録した項目の並び順を変えることができます。[登録項目の並べ替え]を 選び、並び順を変える項目を選んで〈SET〉を押します。[◆] が表示 された状態で〈▲〉〈▼〉を押して並び順を変え、〈SET〉を押します。

選択して削除/タブ内の全項目削除

登録した項目を削除することができます。[選択して削除]を選ぶと1項 目ずつ削除、[タブ内の全項目削除]を選ぶと、タブ内に登録されている項 目がすべて削除されます。

● タブの削除

現在設定しているタブを削除することができます。【タブの削除】を選ぶ と、[MY MENU *] のタブが削除されます。

タブ名の変更

タブの名称を[MY MENU *]から任意の名称に変更することができます。



1 [タブ名の変更] を選ぶ

- 2 文字を入力する
 - 〈 価〉ボタンを押して、不要な文字を消 去します。
 - <
 <p>◆ > 十字キーで□を移動し、希望する 文字を選び、〈SET 〉を押すと入力され ます。
 - 【①】を選ぶと、入力モードが切り換わ ります。
 - 最大 16 文字入力できます。
 - 画面右上の [◆] [◆] を選ぶか、〈ごふ〉 を回すと、入力位置を移動できます。
 - 入力をキャンセルするときは、〈MENU〉 ボタンを押して[キャンセル]を選びます。
- 3 設定を終了する
 - 文字の入力が終わったら、〈MENU〉ボ タンを押して [OK] を選びます。
 - ⇒ 設定した内容が保存されます。

マイメニュータブの全削除/全項目削除



作成したすべてのタブの削除、作成したす べてのタブに登録されている全項目の削除 を行うことができます。

マイメニュータブの全削除

作成したタブをすべて削除することができます。[マイメニュータブの全削 除]を選ぶと、[MY MENU1] ~ [MY MENU5] のタブがすべて削除され、 [★] タブが初期状態に戻ります。

全項目削除

[MY MENU1] ~ [MY MENU5] タブに登録されている項目だけを、すべ て削除することができます。タブ自体は削除されません。[全項目削除] を選ぶと、作成したすべてのタブに登録されている全項目が削除され ます。

↓ [タブの削除] [マイメニュータブの全削除] を行うと、[タブ名の変更] で設定した名前 も削除されます。

メニュー表示の設定



【メニュー表示】を選ぶと、〈MENU〉ボタンを押したときに表示する画面を設定することができます。

• 通常表示

前回操作を行ったときに、最後に表示していたメニュー画面が表示さ れます。

マイメニュータブから表示

[★] タブの画面から表示されます。

マイメニュータブのみ表示

[★] タブの画面だけが表示されます([△] [▶] [ψ] [↓] [△] タ ブは表示されません)。

資料

撮影の参考になるカメラの機能情報、システムアクセサリーの紹 介などを行っています。

📱 認証マークについて

電池情報を確認する

使用している電池の状態を画面で確認することができます。



■□□:バッテリーの買い換えをおすす めします

● キヤノン純正のバッテリーパック LP-E17 のご使用をおすすめします。純正品以外の電池を使用すると、カメラ本来の性能を発揮できない恐れや、故障の原因になることがあります。

 バッテリー通信エラーに関するメッセージが表示されたときは、メッセージ に従って操作してください。
家庭用電源を使う

DC カプラー DR-E18 (別売) と AC アダプター AC-E6N (別売) を使うと、 家庭用電源を使用してカメラを使うことができます。



- 1 DC カプラーのプラグを接続する
 - DC カプラーのプラグを、AC アダプター のソケットに接続します。



- 2 電源コードを接続する
 - 電源コードを図のように接続します。
 - 使い終わったら、プラグをコンセントから抜いてください。



3 DC カプラーを入れる

 ふたを開け、DC カプラーをロック位置 までしっかりと入れます。



- 4 DC コードを通す
 - DC コード通し部のカバーを開き、図の ようにコードを通します。
 - ふたを閉じます。

● カメラの電源スイッチを〈ON〉にしたまま、電源コードの抜き差しを行わないでください。

リモコン撮影

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 (別売)

カメラから最大約 5m 離れてリモコン撮影を行うことができます。 最初にカメラと BR-E1 のペアリングを行なってから、ドライブモードを 【10】に設定してください(20113)。 操作方法については、BR-E1 の使用説明書を参照してください。

リモートスイッチ RS-60E3 (別売)

コード長約 60cm のリモートスイッチ RS-60E3 に対応しています。カ メラのリモコン端子につないで、シャッターボタンと同じように半押し/ 全押しを行うことができます。





🔹 🔹 動画撮影時も、リモコン撮影ができます (🛄 253)。

アイカップの外しかた



アイカップの下側を押して取り外します。

故障かな?と思ったら

「カメラが故障したのかな?」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラを チェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、 修理受付窓口にご相談ください。

電源関連

電池が充電できない

純正のバッテリーパック LP-E17 を使用してください。

充電器のランプが点滅する

(1)充電器または電池に異常が発生した場合や、(2)電池と通信できない場合(純正以外の電池使用時)は、保護回路が働き充電が中止され、オレンジ色の充電ランブが点滅します。(1)の場合は、充電器のプラグをコンセントから抜き、電池の取り外し/取り付けを行ってから、2~3分後にもう一度コンセントに差し込んでください。改善しない場合は、修理受付窓口にご相談ください。

電源スイッチを〈ON〉にしてもカメラが作動しない

- 電池がカメラにきちんと入っているか確認してください(□37)。
- カード/バッテリー収納部ふたが閉まっているか確認してください (血37)。
- 電池を充電してください(皿35)。
- 〈DISP〉ボタンを押してください(□069)。

電源スイッチを〈OFF〉にしてもアクセスランプが点滅する

 カードへの画像記録中に電源を切ると、アクセスランブが数秒間点灯 /点滅します。画像記録が終了すると、自動的に電源が切れます。

[バッテリー通信エラー:ご使用のバッテリーに Canon のロゴはあ りますか?] と表示される

- 純正のバッテリーパック LP-E17 を使用してください。
- 電池の出し入れを行ってください(皿37)。
- 電池の接点が汚れているときは、やわらかい布などでふいてください。

電池の消耗が早い

- フル充電した電池を使用してください(皿35)。
- 電池の性能が劣化している可能性があります。[♥:バッテリー情報]で電池の劣化状態を確認してください(□468)。劣化している場合は、新しい電池をお買い求めください。
- 以下の操作を行うと、撮影可能枚数が少なくなります。
 - シャッターボタン半押しの状態を長く続ける
 - AFのみを行って撮影しない操作を頻繁に行う
 - レンズの手ブレ補正機能を使う
 - 液晶モニターを頻繁に使用する
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行う
 - Bluetooth 機能を使用する
 - Wi-Fi 機能を使用する

電源が勝手に切れる

- オートパワーオフ機能が働いています。自動的に電源が切れないようにしたいときは、[♥:オートパワーオフ]を[しない]にしてください(□263)。

撮影関連

レンズが装着できない

RF レンズ、EF-M レンズは装着できません(皿48)。

撮影・記録ができない

- カードが正しくセットされているか確認してください(皿37)。
- カードの書き込み禁止スイッチを、書き込み・消去可能な位置にして ください(口37)。
- カードの空き容量がない場合は、空き容量のあるカードに交換するか、 不要な画像を消去してください(137、1313)。
- ワンショット AF でピント合わせしたときに、ファインダー内の合焦 マーク (●) が点滅するときは撮影できません。もう一度シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせなおすか、手動でピントを合わせ てください(□51、□112)。

カードが使えない

カードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、38ページ、486ページを参照してください。

カードを他のカメラに入れるとエラーになる

 SDXC カードは exFAT 形式でフォーマットされるため、このカメラ で初期化したカードを他のカメラに入れると、エラーが表示され使用 できないことがあります。 画像がボケている/ブレている

- レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にしてください (皿48)。
- 手ブレを起こさないように、シャッターボタンを静かに押してください(四50~051)。
- 手ブレ補正機能を搭載したレンズは、手ブレ補正スイッチを〈ON〉にして撮影してください。
- 暗い場所では、シャッタースピードが遅くなることがあります。シャッタースピードを速くする(皿150)、ISO感度を上げる(皿119、ストロボを使用する(皿170)、三脚を使用するなどの方法で撮影してください。

ピントを固定したまま構図を変えて撮影できない

 AF動作をワンショット AF にしてください。AI サーボ AF、および AI フォーカス AF でサーボ状態のときは、フォーカスロック撮影はでき ません(QQ 194)。

画像に横縞が写る/露出や色あいがおかしい

 蛍光灯や LED 照明などの光源下で、ファインダー撮影、ライブビュー 撮影を行うと、横縞(ノイズ)や露出ムラが発生することがあります。
 また、露出(明るさ)や色あいが適切にならないことがあります。なお、
 シャッタースピードを遅くすると、この現象が緩和されることがあります。

標準露出にならない/露出ムラが出る

 ファインダー撮影時またはライブビュー撮影時に、TS-E レンズ(TS-E17mm F4L、TS-E24mm F3.5L II を除く)を使用してシフトやティ ルトを行ったり、エクステンションチューブを使用すると、標準露出 にならなかったり、露出ムラが発生することがあります。

連続撮影速度が遅い

 シャッタースピード、絞り数値、被写体条件、明るさ、レンズの種類、 ストロボ使用、温度、電池の種類、電池残量、撮影機能の設定などにより、 最高連続撮影速度が低下することがあります。詳しくは113ページ を参照してください。

連続撮影可能枚数が少なくなる

 芝生など細かいパターンの被写体を撮影すると、1枚あたりのファイ ルサイズが大きくなり、実際に連続撮影できる枚数が、少なくなるこ とがあります。

ISO100 に設定できない

 [△:高輝度側・階調優先]が[する][強]に設定されているときは、 ISO100に設定できません。[しない]に設定すると、ISO100が 設定できるようになります(□138)。動画撮影時も同様です (□222)。

拡張 ISO 感度が選択できない

 【△:高輝度側・階調優先】が【する】【強】に設定されているときは、【ISO 感度拡張】を【1:する】に設定しても、ISO 感度の設定範囲は ISO200 ~ 25600(動画撮影時は 12800、ただし 4K 動画は 6400)にな ります。【△:高輝度側・階調優先】を【しない】に設定すると、ISO 感度 【H】が設定できるようになります(□138)。動画撮影時も同様です (□222)。

オートライティングオプティマイザが設定できない

[▲:高輝度側・階調優先]が[する][強]に設定されているときは、オートライティングオプティマイザは設定できません。[しない]に設定すると、オートライティングオプティマイザが設定できるようになります(□138)。

露出を暗めに補正したのに、明るく撮影される

 【□:オートライティングオブティマイザ】を【しない】に設定してください。
 【標準/弱め/強め】に設定されているときは、露出補正、ストロボ調光 補正で露出を暗めに補正しても、明るく撮影されることがあります (□136)。

内蔵ストロボが発光しない

 内蔵ストロボを短時間に連続発光させると、発光部を保護するために、 しばらくストロボ撮影ができなくなることがあります。

外部ストロボの調光補正ができない

 外部ストロボ側で調光補正量が設定されているときは、カメラで補正 量の設定はできません。外部ストロボ側の設定を解除(ゼロに設定) すると、カメラで設定できるようになります。

カメラを振ると音がする

カメラ内部の機構がわずかに動くときに小さな音がすることがあります。

ライブビュー撮影でシャッター音が2回する

 ストロボ撮影時は、1回の撮影でシャッター音が2回します (①182)。

ライブビュー撮影時に、白い 💵 と赤い 💵 が表示される

 カメラ内部の温度が上昇していることを示しています。白い〈國〉が 表示されたときは、静止画の画質が低下することがあります。赤い〈國〉 が表示されたときは、もうすぐライブビュー撮影が自動的に終了する ことを示しています(囗214)。

動画撮影時に赤い 💵 が表示される

動画撮影が勝手に終了する

- 書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画撮影が自動的に終了することがあります。動画が記録できるカードについては、7ページを参照してください。なお、書き込み速度については、カードメーカーのホームページなどで確認してください。
- 動画撮影を開始してから29分59秒経過すると、動画撮影が自動的に終了します。

動画撮影時に ISO 感度が設定できない

撮影モードが〈M〉以外のときは、ISO 感度が自動設定されます。
 〈M〉モードのときは、ISO 感度を任意に設定することができます
 (□ 222)。

動画撮影時に露出が変化する

- 動画撮影中にシャッタースピードや絞り数値の変更を行うと、露出変化が記録されることがあります。
- 開放絞り数値が変化するレンズ、変化しないレンズに関わらず、動画 撮影中にズーム操作を行うと、露出変化が記録されることがあります。

動画撮影時に被写体がゆがむ

動画撮影中にカメラを左右に動かしたり、動きのある被写体を撮影すると、像がゆがんで写ることがあります。

動画撮影時に画面がちらつく/横縞が写る

蛍光灯や LED 照明などの光源下で動画撮影を行うと、画面のちらつきや、横縞(ノイズ)や露出ムラが記録されることがあります。また、露出(明るさ)や色あいの変化が記録されることがあります。なお、〈M〉モードのときは、シャッタースピードを遅くすると、この現象が緩和されることがあります。

スマートフォンとペアリングできない

- Bluetooth Specification Version 4.1 以上に対応しているスマート フォンを使用してください。
- スマートフォンの設定画面で、Bluetooth 機能を ON にしてください。
- スマートフォンの Bluetooth 機能設定画面では、カメラとのペアリン グはできません。スマートフォンに専用アプリケーションの Camera Connect (無料) インストールしてください (皿353)。
- 一度ペアリングしたスマートフォンと再びペアリングするときに、スマートフォン側に前回ペアリングしたときのカメラの登録が残っていると、ペアリングすることができません。そのときは、スマートフォンの Bluetooth 設定で残っているカメラの登録を解除してから、ペアリングをやり直してください(QQ360)。

Wi-Fi 機能の設定ができない

 カメラとパソコンなどを、インターフェースケーブルで接続している ときは、Wi-Fi 機能の設定はできません。インターフェースケーブルを 取り外してから、設定を行ってください(口349)。

インターフェースケーブルで接続した機器が使えない

 Wi-Fi 接続中は、カメラとパソコンなどを、インターフェースケーブル で接続して使用することはできません。Wi-Fi 接続を終了してからイン ターフェースケーブルで接続してください。

撮影や再生などの操作ができない

Wi-Fi 接続中は、撮影や再生などの操作ができないことがあります。
 Wi-Fi 接続を終了してから操作を行ってください。

スマートフォンに再接続できない

- 同じカメラとスマートフォンの組み合わせでも、設定を変更したり、 異なる設定を選んでいるときは、同じ SSID を選んでも再接続できな くなることがあります。そのときは、スマートフォンの Wi-Fi 設定で、 カメラとの接続設定を削除してから、接続設定をやり直してください。
- 接続設定をやり直すときに、Camera Connectを起動したままにしていると、接続できないことがあります。そのときは、Camera Connectを一旦終了させてから再起動してください。

操作関連

ボタンやスイッチなどが思ったとおりに動かない

- 動画撮影時は[+:動画撮影時シャッターボタンの機能]の設定を確認してください(二256)。

タッチ操作時の電子音が、急に小さくなった

■ スピーカーを、指でふさいでいないか確認してください(□28)。

タッチ操作ができない

表示関連

メニュー画面に表示されるタブや項目が少ない

- かんたん撮影ゾーンでは、一部のタブや項目は表示されません。撮影
 モードを応用撮影ゾーンにしてください(〇〇60)。
- [★] タブの [メニュー表示] が [マイメニュータブのみ表示] に設定されています (□466)。

ファイル名の先頭文字がアンダーバー(「_」)になる

 色空間を sRGB に設定してください。Adobe RGB に設定されている ときは、先頭文字がアンダーバーになります(凹146)。

ファイル名の先頭文字が「MVI_」になっている

動画ファイルです(皿269)。

画像番号が 0001 から始まらない

 画像が記録されているカードを使用すると、撮影した画像の番号が 0001から始まらないことがあります(凹268)。

撮影年月日/時刻が正しく表示されない

- 日付 / 時刻が正しく設定されているか確認してください(□144)。
- エリア、サマータイムの設定を確認してください(□44)。

画像に日付/時刻が写し込まれない

撮影した画像に日付 / 時刻は写し込まれません。画像データに撮影情報として記録されます。写真を印刷するときに、その情報を利用して用紙に日付 / 時刻を入れることができます(①319)。

[###] が表示される

 カードに記録されている画像数が、カメラで表示できる桁数を超える と【###】と表示されます(1293)。

液晶モニターの表示・画像が不鮮明になる

- 液晶モニターが汚れているときは、やわらかい布などでふいてください。
- 低温下、または高温下では、液晶の特性上、表示反応が遅くなったり、 表示が黒くなったりすることがありますが、常温に戻れば正常に表示 されるようになります。

再生関連

画像の一部が黒く点滅する

ハイライト警告表示です(口330)。露出オーバーで白とびした部分が点滅します。

画像を消去できない

プロテクトがかかっている画像は消去できません(皿310)。

動画が再生できない

• パソコンで編集した動画は、カメラで再生できません。

動画を再生すると操作音や作動音がする

 動画撮影中にダイヤル操作やレンズ操作を行うと、その操作音も録音 されます。指向性ステレオマイクロホン DM-E1(別売)の使用をお すすめします(Q252)。

動画が一瞬止まって見える

 自動露出撮影時に、大きな露出変化が生じると、明るさが安定するまでの一瞬の間、記録を止める仕様になっています。このようなときは、 〈M〉モードで撮影してください(①221)。

テレビに画像が表示されない

- HDMI ケーブルのプラグが根元までしっかりと差し込まれているか確認してください(皿308)。

動画ファイルが複数作成される

 1回の撮影でファイルサイズが4GBを超えるときは、動画ファイル が複数作成されます(□229)。ただし、SDXCカードをこのカメ ラで初期化してから撮影したときは、1回の撮影でファイルサイズが 4GBを超えても1つのファイルに記録されます。

カードリーダーでカードを認識できない

 SDXC カードは、お使いのカードリーダーやパソコンの OS の種類に より、カードリーダーに差しても正しく認識されないことがあります。 その場合は、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、 EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使って、画像を取り込んでくだ さい。

画像をリサイズできない

● JPEG の **52** と RAW 画像は、カメラでリサイズできません (□341)。

画像をトリミングできない

● RAW 画像は、カメラでトリミングできません (□343)。

画像に赤い枠が表示される

[▶: AF フレーム表示] が [する] に設定されています (□ 326)。

画像に赤い枠が表示されない

- [▶: AF フレーム表示]を[する]に設定していても(□326)、下記の 画像には表示されません。
 - マルチショットノイズ低減機能で撮影した画像(□139)
 - 〈SCN: 27 <>> 〈Q: Shor Shor Shor) で撮影した画像
 - トリミングした画像(皿343)
 - 撮影後に、魚眼風のフィルター処理を行った画像(□332)

画像に輝点が発生する

 撮像素子が宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点(白、赤、 青など)」が生じることがあります。[+:センサークリーニング]の[今すぐ クリーニング:---]を行うと(□275)、輝点の発生が改善することが あります。

センサークリーニング関連

センサークリーニング中にシャッター音がする

[今すぐクリーニング・ニー・]を選んだときは、シャッターの作動音がしますが、撮影は行われません(□275)。

撮像素子の自動清掃が行われない

電源スイッチの〈ON〉〈OFF〉を短い時間で繰り返すと、〈た 〉が表示されないことがあります(2242)。

パソコン接続関連

カメラとパソコンを接続しても通信できない

 EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使用するときは、【▲:タイムラ ブス動画】を【しない】に設定してください(□238)。

パソコンに画像が取り込めない

- EOS 用ソフトウェアをパソコンにインストールしてください (血491)。
- Wi-Fi 接続中は、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続 することはできません。

エラー表示



カメラに異常が発生すると、エラー画面が 表示されます。表示される内容に従って対 応してください。

- (1) エラー番号
- (2) 原因·対処方法

番号	メッセージ/対処方法					
01	カメラとレンズの通信不良です。レンズの接点を清掃してください					
	カメラ/レンズの接点清掃、純正レンズを使用、電池の出し入れ					
02	カードにアクセスできません。カードを入れなおすか、交換するか、こ のカメラで初期化してください					
	カード抜き差し、カード交換、カード初期化					
04	カードがいっぱいになったため、記録できませんでした。カードを交換 してください					
	カード交換、不要画像の消去、カード初期化					
06	センサークリーニングができませんでした。電源を入れなおしてくださ い					
	電源スイッチ操作					
07, 10 20, 30 40, 50 60, 70 80	エラーが発生したため撮影できません。電源を入れなおすか、バッテリー を入れなおしてください					
	電源スイッチ操作、バッテリーの出し入れ、純正レンズを使用					

* 上記の対処を行ってもエラーが表示されるときは、エラー番号を控えて修理受付窓 口にご相談ください。

商標について

- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。
- SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- DCF*は、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setup を意味しています。
- Bluetooth[®]のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所 有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセ ンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネーム は、それぞれの所有者に帰属します。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- * DCF は、主としてデジタルカメラの画像を関連機器間で簡便に利用しあうことを目 的として制定された(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の規格の「Design rule for Camera File System」の略称です。



MPEG-4 使用許諾について

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (I) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/ OR (II) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C.

SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

* 規定により英語で表記しています。

第三者のソフトウェアについて

本製品には、以下に示す第三者のソフトウェアが含まれています。

AES-128 Library

Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

- 1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
- binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
- 3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/ or fitness for purpose.

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合 に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正ア クセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、 破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害 については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノ ン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただ きます。あらかじめご了承ください。

● バッテリーパック LP-E17 は、キヤノン製品専用です。指定外の充電器、および製品と組み合わせて使用した場合の故障、事故に関しては一切保証できません。

修理対応について

- 1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛か りは、お客様にてご負担願います。
- 2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 修理品をご送付の場合は、見本の撮影データやプリントを添付するなど、 修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

ソフトウェアスタートガイド/ パソコンに画像を取り込む

ソフトウェアについて

ソフトウェアのダウンロード/インストール

EOS 用または専用ソフトウェアを使うときは、最新版のソフトウェアをご 使用ください。EOS 用または専用ソフトウェアをダウンロードする際に、 カメラ底面に記載のシリアル番号入力が必要になります。

- ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを絶対に接続しないでください。ソフトウェアを正しくインストールできません。
 - インターネットに接続していない状態では、パソコンに EOS 用ソフトウェ アをインストールすることはできません。
 - 旧バージョンのソフトウェアでは、このカメラで撮影した画像をパソコンで 正しく表示できません。また、このカメラで撮影した RAW 画像の処理はで きません。
 - 旧バージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、必ず最新版 にアップデート(上書きインストール)してください。

1 ソフトウェアをダウンロードする

 パソコンからインターネットに接続し、キヤノンの下記のWebサイト にアクセスしてください。

canon.jp/eos-sw

- ソフトウェアをダウンロードします。
- パソコン上で解凍します。
 - Windows :表示されたインストーラーファイルをクリックすると、 インストーラーが起動します。
 - Macintosh:dmg ファイルが生成 / 表示されるので、次の手順でインストーラーを起動してください。
 - (1) dmg ファイルをダブルクリックする
 - ⇒ デスクトップにドライブアイコンと、インストーラーファイル が表示されます。

インストーラーファイルが表示されないときは、ドライブアイ コンをダブルクリックすると、インストーラーファイルが表示 されます。 (2) インストーラーファイルをダブルクリックする
 → インストーラーが起動します。

2 画面の指示に従って、インストールする

ソフトウェア使用説明書(PDF ファ イル)のダウンロードと見かた

ソフトウェア使用説明書(PDF ファイル)のダウンロードは、インターネットに接続して行います。インターネット非接続の環境では、ダウンロードはできません。

- ソフトウェア使用説明書(PDF ファイル)をダウンロードする
 - インターネットに接続し、キヤノンの下記の Web サイトにアクセ スしてください。

canon.jp/eos-sw-manual

- 2 ソフトウェア使用説明書(PDF ファイル)を見る
 - ダウンロードした使用説明書(PDF ファイル)をダブルクリックすると、ファイルが開きます。
 - 使用説明書(PDF ファイル)を見るためには、Adobe Acrobat Reader DC などの Adobe 社製 PDF 閲覧用ソフトウェア(最新版 推奨)が必要です。
 - Adobe Acrobat Reader DC はインターネット上から無料でダウ ンロードできます。
 - PDF 閲覧用ソフトウェアの使い方については、そのソフトウェアの ヘルプなどを参照してください。

パソコンに画像を取り込む

EOS 用のソフトウェアを使って、カメラで撮影した画像をパソコンに取り 込むことができます。パソコンに取り込む方法は、2 通りあります。

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む





- 2 インターフェースケーブル (別売) で、 カメラとパソコンを接続する
 - カメラ側を接続するときは、プラグの く・・> が、カメラの前面に向くように して、デジタル端子に差し込みます。



 パソコンの USB 端子にプラグを差し込 みます。

3 EOS Utility を使って画像を取り込む

 EOS Utility 使用説明書を参照してくだ さい。

 Wi-Fi 接続中は、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続する ことはできません。

カードリーダーで画像を取り込む

カードリーダーを使って、画像をパソコンに取り込むことができます。

1 ソフトウェアをインストールする (□491)



2 カードリーダーにカードを差し込む

- 3 Digital Photo Professional を使っ て画像を取り込む
 - Digital Photo Professional 使用説明 書を参照してください。
- EOS 用ソフトウェアを使わずに、カードリーダーを使って画像を取り込む ときは、カード内の「DCIM」フォルダをパソコンにコピーしてください。

索引

数字

1 点 AF:109, 196, 198
1枚撮影:113
1 枚表示:102
[4K] 3840 × 2160 (動画):227
4K フレームキャプチャー: 304
9 点自動選択 AF:109
10 秒後 /2 秒後撮影: 205
1280 × 720 (動画): 227
1920 × 1080 (動画) : 227

アルファベット

А

AC アダプター:469
Adobe RGB: 146
AEB : 163, 455
AE ロック:165
AF
AF動作:105, 194
AFの苦手な被写体:111,201
AF方式:196,254
AF 補助光:107, 168
構図変更:75
コンティニュアス AF: 204
手動ピント合わせ:112
電子音:262
瞳 AF:203
ピンボケ:50, 111, 201
AI FOCUS (AI フォーカス AF):107
AI SERVO (AI サーボ AF): 75, 107
(A+) (シーンインテリジェントオート):
71

В

BGM : 340
Bluetooth 機能:352, 416
アドレス:423
接続:354
BULB(バルブ撮影):158

D

DC カプラー: 469 DISP ボタン: 28, 69, 263, 274 DPOF: 319

Е

exFAT : 68, 229

F

FEB:177
FE ロック:173
Full HD(動画):227

G

GPS : 425

Н

HDMI : 281, 298
HDMI HDR : 282
HDR 絵画調標準:97
HDR 逆光補正:91
HDR グラフィック調:97
HDR 動画:234
HDR ビンテージ調:97
HDR 油彩調:97
HD (動画):227

I

ICC プロファイル: 146 INFO ボタン: 102, 183, 223

J

JPEG (ジェイペグ):116

Μ

MF(手動ピント合わせ):112	
MF ピーキング:212	
MP4:227	
MWB: 132	
M(マニュアル露出):156	

Ν

NTSC: 228, 308

0

ONE SHOT (ワンショットAF):106, 195

Ρ

PAL:228 P(プログラム AE):148

R

RAW+JPEG:116,118 RAW (ロウ):59,116,118

S

SD、SDHC、SDXC カード→ カード sRGB:146

Т

Τv	(シ	ヤ	ッ	タ-	-優先	AE)	1	150

U

USB (デジタル) 端子:494

UTC: 429

W

WB(ホワイトバランス):130
Wi-Fi 機能:347
Android : 353
Camera Connect : 353, 358
CANON IMAGE GATEWAY : 396
EOS Utility : 378
Image Transfer Utility 2 : 383
iOS : 353
IP アドレス:414
MAC アドレス:433
PictBridge : 386
SSID : 363, 379, 386
Wi-Fi 設定:422
WPS (Wi-Fi Protected Setup) :
411
印刷:388
印刷指定:391
選んで送信:367,403
カード内全画像送信:370, 406
画像閲覧:358
仮想キーボード:434
画像検索の条件設定:371,408
カメラアクセスポイントモード:
414
公開画像の設定:374
再接続:419
情報表示画面:433
接続先の機器の編集:374,430
接続先履歴:419
接続情報の消去:431
設定初期化:432
送信画像サイズ:365, 369, 404
注意事項:446
ニックネーム:431
ネットワークの設定:449
ネットワーク変更:412
ネットワーク名: 363, 379, 386

プリンター:386

リモート操作:358

かな

あ

アイカップ:28, 472
アクセサリーシュー:28, 174
アクセスランプ:38
アッテネーター:252
後幕シンクロ:178
アルバム(ビデオスナップ):338

い

位置情報:425
色あい:87, 88, 126
色温度:130
色空間:146
色収差補正:144
色の濃さ:126
印刷指定 (DPOF): 319
インデックス表示:284

5

ウィンドカット:252

え

液晶モニター:26, 40	
明るさ調整:264	
角度調整:40,76	
画像の再生:102,283	
メニュー表示:60	
エラー表示:486	
エリア (地域):44	

お

応用撮影ゾーン:31	
オートパワーオフ:42, 263	
オートフォーカス → AF	
オートライティングオプティマイザ:	
136	

オートリセット:268
お気に入りマーク:291
温度警告:214, 259
音量(動画再生):300,301

か

カード:7, 27, 37, 67
書き込み禁止:37
初期化(フォーマット):67
トラブル:38, 68
物理フォーマット:68
カードなしレリーズ:262
回折補正:145
階調優先:138
回転(画像):272,290
外部ストロボ → ストロボ
顔 + 追尾優先 AF:196, 197
拡大表示:211,287
拡張子:269
各部の名称:28
カスタム機能:453
画像
AF フレーム表示:326
インデックス表示:284
拡大表示:287
画像番号:267
検索条件:294
再生:102,283
撮影情報:326
自動回転:272
自動再生:306
ジャンプ表示(画像送り):285
手動回転:290
消去:313
スライドショー:306
テレビで見る:298, 308
ハイライト警告:330
ヒストグラム:330
表示時間:263
保護 (プロテクト):310

レーティング:291
画素数:116
合焦マーク:71
家庭用電源:469
カメラ
構え方:50
カメラブレ:166
設定初期化:273
かんたん撮影ゾーン:30
感度 → ISO 感度

き

キッズ:85	
機能ガイド:56	
キャンドルライト:88	
強制リセット:269	
魚眼風:96, 189, 333	
記録画質:116	
近接撮影:86	

<

クイック設定:58,100,186,226, 296 クリーニング (撮像素子):275,279 クリエイティブアシスト:77,335 クリエイティブフィルター:94,187, 235,332 グリッド:193,255 クローズアップ:86

け

警告表示:457	
ケーブル:308, 494	
言語:47	

Z

高感度撮影時のノイズ低減:139
高輝度側・階調優先:138
故障:473
ゴミの写り込み防止:275

コントラスト:126

さ

-
サーボ AF
AI SERVO(AI サーボ AF):75,
<u>- 3ERVO(リーホAF)、195</u> 動画サーザAF:2E4
円生 · 102, 203
元帝ノノノロ·178 坦影両会・40
掫形 円・43 堤影 両角の波 四時間・969
1版於回家の唯祕时间,203
掫形 月靫・320 県影のレント・57
(A+/ ()-)1)))))))) ())
$P(\neg \neg \neg \neg \neg \land AE) \cdot 1/2$
Ty (シャッター優先 AE):150
クロエイティブフィルター:9/
<u></u>
HDR グラフィック調:97
HDRビンテージ調:97
HDR 油彩調:97
鱼眼网 96
ジオラマ国:97
水彩風:96
ソフトフォーカス:96
トイカメラ風:97
ラフモノクロ:96
スペシャルシーン (SCN): 79
HDR 逆光補正:91
キッズ:85
キャンドルライト:88
クローズアップ:86
集合写真:82
スポーツ:84

し

シーンインテリジェントオート:71
シーン判別アイコン:185,220
····································
ジオラマ風動画:237
自動再生:306
視度調整:50
自分撮り:209
絞り優先 AE:153
シャープネス:126
シャッターボタン:51
シャッター優先 AE:150
ジャンプ表示:285
集合写真:82
充電:35
周辺光量補正:143
縮小表示:284
手動ピント合わせ:112,211
消去 (画像):313
初期化(フォーマット):67
初期状態:273
白黒写真:78, 123, 127
白とび:330
シンクロ設定:178
シンクロ接点:28

す

水彩風:96,189,334

ストロボ
FE ロック:173
外部ストロボ:174
カスタム機能:179
シンクロ (先幕/後幕): 178
ストロボ制御(機能設定):175
スローシンクロ:176
調光補正:172
内蔵ストロボ:170
発光禁止:175
発光モード:177, 178
マニュアル発光:178
スピーカー:299
スペシャルシーン(SCN):79
スポーツ:84
スポット 1 点 AF:196, 198
スポット測光:159
スモール(記録画質):116, 341
スライドショー:306

ストラップ:34

せ

静止画アスペクト比:191
設定初期化:273
セピア調(モノクロ写真):127
セルフタイマー:205
全押し:51
センサークリーニング:275, 279

そ

ゾーン AF:196, 198
測距点(AF フレーム):109
測距点自動選択:109
測光タイマー:192, 253
測光モード:159
ソフトウェア:491
ソフトフォーカス:96,189,333

た

タイムラプス動画:238

ダストデリートデータ:277	
タッチ音:262	
タッチシャッター:207	
タッチ操作:64	
タッチパネル:64, 288	
縦位置画像回転表示:272	

ち

チャージャー:33, 35
中央部重点平均測光:160
調光補正:172
長時間露光:158
調色(モノクロ写真):127
長秒時露光のノイズ低減:140
著作権情報:270

τ

デジタル端子:28
デジタルレンズオプティマイザ:144
手ブレ:50
手持ち夜景:90
テレビで見る:298, 308
電源
オートパワーオフ:263
家庭用電源:469
充電:35
電池残量:43,468
電池情報:468
劣化度:468
電子音:262
電子ダイヤル:28, 147
電池:35, 37, 43

٢

トイカメラ風:97, 189, 334	
動画:216	
AE ロック:165	
AF 方式:226, 254	
HDMI 出力:281	
HDR 動画撮影:234	

圧縮方式:228
アッテネーター:252
ウィンドカット:252
外部マイク:252
クイック設定:226
クリエイティブフィルター:235
グリッド:255
再生:298, 299
自動露出:217
情報表示:223
前後カット:302
測光タイマー:253
タイムラプス動画:238
楽しみ方:298
テレビで見る:298,308
動画記録サイズ:227
動画サーボ AF:254
動画デジタルズーム:230
動画電子 IS:232
ビデオスナップ:246
ビデオスナップアルバム:246
フレーム切り出し:304
フレームレート:228
編集:302
マイク:217, 252
マニュアル露出:221
録音:252
動画クリエイティブフィルター:235
オールドムービー:236
ジオラマ風動画:237
ダイナミックモノクローム:237
ファンタジー:236
メモリー:237
動画電子 IS:232
通し番号:267
ドライブモード:59, 113
ドラッグ:65
トリミング:343
トリミング:343

な

内蔵ストロボ:170

に

任意選択(AFフレーム):109

ወ

ノイズ低減
高感度:139
長秒時:140
ノーマル(記録画質):116

は

バースト枚数:117	
ハイライト警告:330	
発光モード:177, 178	
バッテリー:35, 37, 43	
バリアングル液晶モニター:40,76	
バルブ撮影:158	
半押し:51	

ზ

ピクチャースタイル:122,125,128
被写界深度確認:155
ヒストグラム(輝度/ RGB):330
日付/時刻:44
ビデオスナップ:246
ビデオスナップアルバム:246
ビデオ方式:227, 308
瞳 AF:203
評価測光:159
表示レベル:52
ピント合わせ → AF

ßı

ファイルサイズ:327
ファイル名:267
ファイン(記録画質):116
視度調整:50

フィルター効果:124, 127
風景:83, 123
フォーカスモードスイッチ:48, 112,
211
フォーカスロック:75
フォーマット(カード初期化):67
フォトブック指定:323
フォルダ作成/選択:265
付属品:3
部分測光:159
ブラケティング:135
フルハイビジョン(Full HD):227
フレーム切り出し:304
フレームレート:228
プログラム AE:148
プログラムシフト:149
プロテクト (画像の保護):310

ほ

ポートレート:80, 122	
ホワイトバランス:130	
ブラケティング:135, 163	
雰囲気優先(AWB):131	
補正:134	
ホワイト優先(AWB):131	
マニュアル:132	

ま

マイメニュー:462
マクロ撮影:86
マニュアルフォーカス:112, 211
マニュアル露出:156, 221
マルチショットノイズ低減機能:139

ờ

ミドル(記録画質):116, 341	
ミラーアップ撮影:166,456	

む

無線通信:347

め

メニュー:60	
設定操作:61	
表示レベル:52	
マイメニュー:462	
メニュー表示:54	
メモリーカード → カード	

ŧ

モードダイヤル:30	
モノクロ写真:123, 127	

や

夜景:89,90	
夜景ポートレート:89	

ø

油彩風:189,334

5

ラージ(記録画質):116, 341
ライブビュー撮影:76,180
1点AF:198
AF動作:194
アスペクト比:191
顔 + 追尾優先 AF: 197
クイック設定:186
クリエイティブフィルター:187
グリッド:193
自分撮り:209
手動ピント合わせ:211
情報表示:183
 スポット 1 点 AF : 198
ゾーン AF:198
測光タイマー:192
瞳 AF : 203
ラフモノクロ:96, 189, 333

b

リサイズ:341	
リモートスイッチ:471	
リモコン撮影:471	
料理:87	

n

レーティング:291
レンズ:27, 48
色収差補正:144
回折補正:145
周辺光量補正:143
デジタルレンズオプティマイザ:
144
ロック解除:49
歪曲収差補正:143
連続撮影可能枚数:117
連続撮影(連写):113

3

ロウ:116, 118
録音レベル:252
露出設定ステップ:455
露出補正:161
露出レベル表示:32

わ

歪曲収差補正:143	
ワンショット AF: 106, 195	

Canon

CT2-D001-C

© CANON INC. 2019